平 成 25 年 度

第52回　市政世論調査

（平成25年10月～11月調査）

名　古　屋　市

はじめに

名古屋市では、市政に関する市民の皆さまの意識を把握し、これを施策に生かすための調査広聴事業のひとつとして、年に１回市政世論調査を実施しております。

この調査は、市内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の市民の皆さまを対象に実施するもので、平成25年度は、「名古屋の魅力・住みやすさについて」、「市政について」の調査をいたしました。調査の結果得られた貴重なデータは今後の市政運営のための参考資料とさせていただきます。

最後に、お忙しいところ、市政世論調査にご協力いただきました市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

平成26年3月

名古屋市長

目　　次

Ⅰ　調査の概要

１　調査のテーマ・趣旨 …… １
２　調査の設計・回収結果 …… １
３　調査項目 …… ２
４　調査結果の見方について …… ３
５　標本誤差 …… ５
６　標本構成 …… ６

Ⅱ　調査結果の概要

１　名古屋の魅力・住みやすさについて …… ９
２　市政について …… 11

Ⅲ　調査結果の詳細

１　名古屋の魅力・住みやすさについて …… 13
（１）名古屋の良いところ（問１） …… 13
（２）名古屋の悪いところ（問２） …… 16
（３）名古屋の住みやすさ（問３） …… 19
（４）住みやすい点（問４） …… 26
（５）住みにくい点（問５） …… 29
（６）今の地域での居住意向（問６） …… 32
（７）転居したい地域（問７） …… 36
（８）名古屋への愛着度（問８） …… 39
（９）名古屋の自慢できること（問９） …… 46
（10）今後の生活で不安に感じること（問 10） …… 49
（11）家庭の生活の程度（問 11） …… 53
（12）「生きがい」と感じるもの（問 12） …… 55
（13）生活の満足度（問 13） …… 57
（14）生活に満足している理由（問 14） …… 61
（15）生活に不満である理由（問 15） …… 63

２　市政について ･･ 65
（１）市政への関心（問 16）･･ 65
（２）市政に関心がある理由（問 17）･･ 68
（３）市政に関心がない理由（問 18）･･ 71
（４）市政への評価（問 19）･･ 76
（５）市政への要望（問 20）･･ 89
（６）市の行政改革の取り組みへの評価（問 21）･･････････････････････････････････ 103
（７）市の行政改革の取り組みへの要望（問 22）･･････････････････････････････････ 105
（８）市政への意見・要望（問 23）･･ 107

Ⅳ　使用調査票

１　使用調査票 ･･ 119

Ⅰ　調査の概要

１　調査のテーマ・趣旨

（１）名古屋の魅力・住みやすさについて

名古屋のまちの住みやすさなどについて、市民の印象を聞き、市政の参考とします。

（所管：市民経済局市民生活部広聴課）

（２）市政について

市政への関心について聞くとともに、名古屋市基本構想に基づく本市市政の 30 項目について、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。

（所管：総務局企画部企画課）

また、行政改革への取り組みについて、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。　**（所管：総務局行政改革推進部行政改革推進室）**

２　調査の設計・回収結果

（１）調　査　地　域　市内16区全域

（２）調　査　対　象　名古屋市内に居住する満20歳以上の男女（外国人を含む）

（３）標　　本　　数　2,000人

（４）標本数抽出法　住民基本台帳をフレームとする無作為抽出法

（５）調　査　方　法　郵送法

（６）調　査　期　間　平成25年10月29日（火）から11月12日（火）

（７）回　収　結　果　標本数　2,000人
回収数　1,052人
回収率　52.6％

（８）質　　問　　数　23問（他にフェイス項目７問）

（９）調　査　主　体　名古屋市市民経済局市民生活部広聴課

(10) 委託調査機関　株式会社　創建環境エンジニアーズ

３　調査項目

名古屋の魅力・住みやすさについて

（１）名古屋の良いところ　（問 １・複数回答）
（２）名古屋の悪いところ　（問 ２・複数回答）
（３）名古屋の住みやすさ　（問 ３・単一回答）
（４）住みやすい点　（問 ４・複数回答）
（５）住みにくい点　（問 ５・複数回答）
（６）今の地域での居住意向　（問 ６・単一回答）
（７）転居したい地域　（問 ７・単一回答）
（８）名古屋への愛着度　（問 ８・単一回答）
（９）名古屋の自慢できること　（問 ９・単一回答）
(10) 今後の生活で不安に感じること　（問 10・複数回答）
(11) 家庭の生活の程度　（問 11・単一回答）
(12)「生きがい」と感じるもの　（問 12・単一回答）
(13) 生活の満足度　（問 13・単一回答）
(14) 生活に満足している理由　（問 14・複数回答）
(15) 生活に不満である理由　（問 15・複数回答）

市政について

（１）市政への関心　（問 16・単一回答）
（２）市政に関心がある理由　（問 17・単一回答）
（３）市政に関心がない理由　（問 18・単一回答）
（４）市政への評価　（問 19・複数回答）
（５）市政への要望　（問 20・複数回答）
（６）市の行政改革の取り組みへの評価　（問 21・複数回答）
（７）市の行政改革の取り組みへの要望　（問 22・複数回答）
（８）市政への意見・要望　（問 23・自由記載回答）

４　調査結果の見方について

（１）　比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しました。このため、合計が100％にならないこともあります。

（２）　複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何％なのかという見方をします。このため、各項目の比率の合計は通常100％を超えます。

（３）　調査結果では、質問文の最後に（ＳＡ）（ＭＡ）の表示があります。ＳＡ（Single Answer）は回答を１つだけ選ぶ質問、ＭＡ（Multiple Answer）は複数回答が可能な質問であることを表しています。

（４）　本報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

（５）　クロス集計は、対象者の属性や関連の高い質問を分析軸として行い、比率については全体との差が大きいもの（概ね５ポイント以上の差を目安）や特徴的なものなどについて、主なものにコメントしました。また、回答対象者が少なく、標本誤差*が大きいと考えられる項目などについては、基本的に分析の対象外としています。

（６）　調査結果の詳細の中で、今回の調査結果と国の調査結果及び過去の市政世論調査等の結果との比較を盛り込んでいます。比較した調査項目及び比較調査の詳細は以下のとおりです。

＊　標本誤差についてはP.５参照

■比較項目一覧

問番号	調査項目	国 H25	市 H５	市 (2万) H10	市 H20	市 H21	市 H22	市 H23	市 H24
問 1	名古屋の良いところ	－	－	－	●	●	●	●	●
問 2	名古屋の悪いところ	－	－	－	●	●	●	●	●
問 3	名古屋の住みやすさ	－	●	●	●	●	●	●	●
問 4	住みやすい点	－	－	－	●	●	●	●	●
問 5	住みにくい点	－	－	－	●	●	●	●	●
問 6	今の地域での居住意向	－	－	－	－	－	－	●	●
問 7	転居したい地域	－	－	－	－	－	－	●	●
問 8	名古屋への愛着度	－	●	●	●	●	●	●	●
問 9	名古屋の自慢できること	－	－	－	●	●	●	●	●
問 10	今後の生活で不安に感じること	●	－	－	●	●	●	●	●
問 11	家庭の生活の程度	●	－	－	●	●	●	●	●
問 12	「生きがい」と感じるもの	－	－	－	●	●	●	●	●
問 13	生活の満足度	●	－	－	－	－	－	－	●
問 14	生活に満足している理由	－	－	－	－	－	－	－	●
問 15	生活に不満である理由	－	－	－	－	－	－	－	●
問 16	市政への関心	－	－	－	－	－	－	●	●
問 17	市政に関心がある理由	－	－	－	－	－	－	－	●
問 18	市政に関心がない理由	－	－	－	－	－	－	－	●
問19,20	市政への評価・要望	市 H12～H24							

■比較調査の詳細

調査主体	調査名	概要
国（内閣府）	国民生活に関する世論調査 （平成 25 年度）	対 象 者　：全国 20 歳以上の者 10,000 人 調査方法　：面接調査法
名古屋市	市政世論調査 （平成５年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：面接調査法
名古屋市	市政２万人アンケート （平成 10 年度）	対 象 者　：満 18 歳以上の市民 20,000 人 調査方法　：郵送法
名古屋市	市政世論調査 （平成 12 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 13 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 14 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 15 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 16 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 17 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 18 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 19 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 20 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 21 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,500 人 調査方法　：留置法
名古屋市	市政世論調査 （平成 22 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,000 人 調査方法　：郵送法
名古屋市	市政世論調査 （平成 23 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,000 人 調査方法　：郵送法
名古屋市	市政世論調査 （平成 24 年度）	対 象 者　：満 20 歳以上の市民 2,000 人 調査方法　：郵送法

※　各質問の経年比較などはそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています。

５　標本誤差

調査結果については、統計上多少の誤差（標本誤差）が生じることがあり、調査結果を見る場合には、次のような一定の幅を持たせて見る必要があります。

この調査の標本誤差は次の公式により計算されます。

$$\sigma = 2\sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

ただし　σ＝標本誤差
n＝回 収 数
P＝回 答 率

この公式によって計算された標本誤差は次のとおりです。

標本誤差早見表（信頼度：95%）

（単位：%）

n ＼ P	10 または 90	20 または 80	30 または 70	40 または 60	50
50	± 8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1
100	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	±10.0
300	± 3.5	± 4.6	± 5.3	± 5.7	± 5.8
500	± 2.7	± 3.6	± 4.1	± 4.4	± 4.5
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
1,052	± 1.8	± 2.5	± 2.8	± 3.0	± 3.1
1,200	± 1.7	± 2.3	± 2.6	± 2.8	± 2.9
1,500	± 1.5	± 2.1	± 2.4	± 2.5	± 2.6
2,000	± 1.3	± 1.8	± 2.0	± 2.2	± 2.2

≪この表の見方≫

例えば、回答者数が1,052である質問における、ある１つの選択肢の回答比率が30%であった場合、その回答の比率の誤差の範囲は±2.8%（27.2%～32.8%）の範囲にあることが95%の信頼度でいえることになります。

６　標本構成

（１）性別

	回答数	割合
男性	405	38.5%
女性	604	57.4%
無回答	43	4.1%
合計	1,052	100.0%

（２）年代別

	回答数	割合
20 歳代	67	6.4%
30 歳代	142	13.5%
40 歳代	188	17.9%
50 歳代	155	14.7%
60 歳代	238	22.6%
70 歳以上	219	20.8%
無回答	43	4.1%
合計	1,052	100.0%

（３）性・年代別

	男性		女性		性別無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
20 歳代	28	2.7%	39	3.7%	0	0.0%
30 歳代	56	5.3%	86	8.2%	0	0.0%
40 歳代	69	6.6%	119	11.3%	0	0.0%
50 歳代	59	5.6%	96	9.1%	0	0.0%
60 歳代	113	10.7%	125	11.9%	0	0.0%
70 歳以上	79	7.5%	138	13.1%	2	0.2%
年齢無回答	1	0.1%	1	0.1%	41	3.9%
合計	405	38.5%	604	57.4%	43	4.1%

（４）職業別

	回答数	割合
会社員（フルタイム）	241	22.9%
公務員	31	2.9%
自営・自由業	94	8.9%
アルバイト・パート(派遣も含む)	190	18.1%
家事専業	181	17.2%
学生	21	2.0%
無職（定年後も含む）	214	20.3%
その他	34	3.2%
無回答	46	4.4%
合計	1,052	100.0%

（５）出生地別

	回答数	割合
生まれてからずっと名古屋市に住んでいる（通学や転勤で一時的に名古屋を離れた方も含む）	496	47.1%
名古屋市以外から引っ越してきた	511	48.6%
無回答	45	4.3%
合計	1,052	100.0%

（６）転入前の居住地別

	回答数	割合
東海三県（愛知・岐阜・三重から）	257	50.3%
東海三県以外から	254	49.7%
無回答	0	0.0%
合計	511	100.0%

（７）居住歴別

	回答数	割合
30 年以上	686	65.2%
20 年以上 30 年未満	140	13.3%
10 年以上 20 年未満	84	8.0%
5 年以上 10 年未満	55	5.2%
5 年未満	44	4.2%
無回答	43	4.1%
合計	1,052	100.0%

（８）居住区別

	回答数	割合
千種区	80	7.6%
東区	36	3.4%
北区	62	5.9%
西区	71	6.7%
中村区	60	5.7%
中区	28	2.7%
昭和区	42	4.0%
瑞穂区	46	4.4%
熱田区	27	2.6%
中川区	93	8.8%
港区	62	5.9%
南区	65	6.2%
守山区	79	7.5%
緑区	117	11.1%
名東区	69	6.6%
天白区	71	6.7%
無回答	44	4.2%
合計	1,052	100.0%

Ⅱ　調査結果の概要

概　　要

１　名古屋の魅力・住みやすさについて

（１）　名古屋の良いところは「地理的に日本各地への移動が便利」が６割以上

名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」（63.1％）が６割以上で最も高く、次いで「名古屋の水道水がおいしい」（47.9％）、「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」（46.3％）、「道路が広くて整備されている」（44.5％）、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」（40.9％）と続いています。（問１・ＭＡ）

（２）　名古屋の悪いところは「夏が蒸し暑い」が６割以上

名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」（65.3％）が６割以上で最も高く、次いで「観光名所が少ない」（47.0％）、「交通マナーが悪い」（44.7％）と４割台で続いています。（問２・ＭＡ）

（３）　名古屋は住みやすいと思う人は約９割

名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は45.6％、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が45.6％で、あわせると、名古屋は住みやすいと思う人は約９割（91.2％）でした。

一方、「住みにくい」と答えた人は0.5％で、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人が3.7％で、あわせると、名古屋は住みにくいと思う人は１割未満（4.2％）でした。（問３・ＳＡ）

（４）　名古屋が住みやすい点は「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」が６割以上

名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」（66.5％）が６割以上で最も高く、次いで「交通の便がよい」（65.9％）となっています。（問４・ＭＡ）

（５）　名古屋が住みにくい点は「交通の便が悪い」が約５割

名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「交通の便が悪い」（52.3％）が約５割で最も高く、次いで「治安が悪い」（40.9％）、「買い物する場所などが近くになく生活に不便」（27.3％）、「建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている」（27.3％）となっています。（問５・ＭＡ）

（６）　今の地域での居住意向は８割以上

今の地域にずっと住み続けたいかとたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が46.3％、「どちらかというと住み続けたい」と答えた人が38.0％で、あわせると、今の地域に住み続けたい人は８割以上（84.3％）でした。

一方、「転居したい」と答えた人が2.4％、「どちらかというと転居したい」と答えた人が6.2％で、あわせると、転居したい人は約１割（8.6％）でした。（問６・ＳＡ）

（７）　転居したい地域は愛知県外が４割

今の地域から転居したいと答えた人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」と答えた人が４割（40.0%）で最も高くなっています。

また、「同じ区内」と答えた人は7.8%、「名古屋市内の別の区」と答えた人が27.8%で、あわせると、転居先も名古屋市内にしたいと思う人は３割以上（35.6%）でした。（問７・ＳＡ）

（８）　名古屋への愛着を感じている人は８割以上

名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人が41.3%、「どちらかといえば感じている」と答えた人が42.5%で、あわせると、名古屋への愛着を感じている人は８割以上（83.8%）でした。

一方、「感じていない」と答えた人が4.1%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人が7.5%で、あわせると、名古屋への愛着を感じていない人は約１割（11.6%）でした。（問８・ＳＡ）

（９）　名古屋を自慢できることがある人は約７割

よそのまちと比べて名古屋を自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人が9.3%、「いくつかはある」と答えた人が60.8%で、あわせると、名古屋を自慢できることがある人は約７割（70.1%）でした。

一方、「まったくない」と答えた人が1.5%、「あまりない」と答えた人が19.8%で、あわせると、名古屋を自慢できることがない人は約２割（21.3%）でした。（問９・ＳＡ）

(10)　今後の生活で不安に感じることは「老後の生活」「自分の健康・病気」が６割台

今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「老後の生活」（61.8%）、「自分の健康・病気」（61.7%）がそれぞれ６割台で高く、これらに次いで「家族の健康・病気」（54.8%）が５割台、「今後の収入」（43.8%）、「税金や保険料などの負担」（43.6%）がそれぞれ４割台と高くなっています。（問10・ＭＡ）

(11)　家庭の生活の程度は「中の中」が５割

家庭の生活の程度は、世間一般からみてどう思うかとたずねたところ、「中の中」と答えた人が５割（50.0%）で最も高く、次いで「中の下」と答えた人が24.0%、「中の上」と答えた人が16.0%、「下」と答えた人が7.6%と続いています。（問11・ＳＡ）

(12)　「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」が３割以上、「生きがいと感じるものがある」、「特に何もない」がそれぞれ約３割

「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人が36.2%で３割以上、「生きがいと感じるものがある」と答えた人が29.8%、「特に何もない」と答えた人が29.4%と、それぞれ約３割となっています。（問12・ＳＡ）

(13)　<u>生活に満足している人が約７割、不満である人が２割以上</u>

現在の生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人が17.4%、「どちらかといえば満足している」と答えた人が52.9%で、あわせると、満足している人は約７割（70.3%）でした。

一方、「不満である」と答えた人が4.8%、「どちらかといえば不満である」と答えた人が20.5%で、あわせると、不満である人は２割以上（25.3%）でした。（問13・ＳＡ）

(14)　<u>生活に満足している理由は「健康であるから」が７割以上で最も高い</u>

生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」（75.8%）が７割以上で最も高く、次いで「家族との生活が充実しているから」（58.2%）、「友人、知人との人間関係が充実しているから」（41.4%）と続いています。（問 14・ＭＡ）

(15)　<u>生活に不満である理由は「貯蓄が十分でないから」が約７割で最も高い</u>

生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」（67.7%）が約７割で最も高く、次いで「悩みや心配事があるから」（41.0%）と続いています。（問15・ＭＡ）

２　市政について

（１）　<u>市政に関心がある人は約６割</u>

市政（市の施策や事業など）に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人が12.8%、「どちらかというと関心がある」と答えた人が49.6%で、あわせると、市政に関心がある人は約６割（62.4%）でした。

一方、「どちらかというと関心がない」と答えた人が26.0%、「まったく関心がない」と答えた人が4.3%で、あわせると、市政に関心がない人は約３割（30.3%）でした。（問16・ＳＡ）

（２）　<u>市政に関心がある理由は「自分の生活と密接な関係があるから」が約５割</u>

市政に関心があると答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活と密接な関係があるから」と答えた人が約５割（50.4%）で最も高くなっています。次いで「自分の住むまちに愛着があるから」（22.2%）となっています。（問17・ＳＡ）

（３）　<u>市政に関心がない理由は「市政がわかりにくいから」が３割以上</u>

市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」と答えた人が３割以上（33.6%）で最も高くなっています。次いで「自分の生活にあまり関係がないから」（19.5%）となっています。（問18・ＳＡ）

（４）　**市政への評価（名古屋市がよく取り組んでいると思うこと）は「ごみの減量と処理」が最も高い**

市政への評価では「ごみの減量と処理」が最も高く、前年調査と同様に第１位でした。前回３位であった「高齢者福祉」が今回２位に、「児童福祉」が前回８位から今回４位に上昇しています。（問19・ＭＡ）

（５）　**市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）は「高齢者福祉」が最も高い**

市政への要望では「高齢者福祉」が最も高く、前年調査と同様に第１位で、次いで「健康・医療」、「災害の防止」も前回と同様に第２位、第３位となっています。（問20・ＭＡ）

（６）　**市の行政改革の取り組みへの評価は、「わからない」が約４割**

市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市がよく取り組んでいると思うことをたずねたところ、「わからない」と答えた人が約４割（39.2％）を占めています。評価としては、「市政に関する情報提供」（11.4％）、「職員の意識改革、資質の向上」（11.3％）、「職員数の削減」（11.2％）がそれぞれ１割を超えています。（問21・ＭＡ）

（７）　**市の行政改革の取り組みへの要望は、「職員の意識改革、資質の向上」が約４割**

市の行政改革の取り組みのなかで、特に力を入れて進めてほしいと思うものをたずねたところ、「職員の意識改革、資質の向上」（42.5％）が約４割で最も高く、次いで「外郭団体の見直し」（23.3％）、「職員数の削減」（22.2％）、「市政に関する情報提供」（16.1％）、「業務の民間委託や民営化」（14.4％）の順となっています。（問22・ＭＡ）

（８）　**市政についての意見・要望**

今後の市政について自由意見をたずねたところ、回答率は24.5％あり、回答総数では454件となりました。

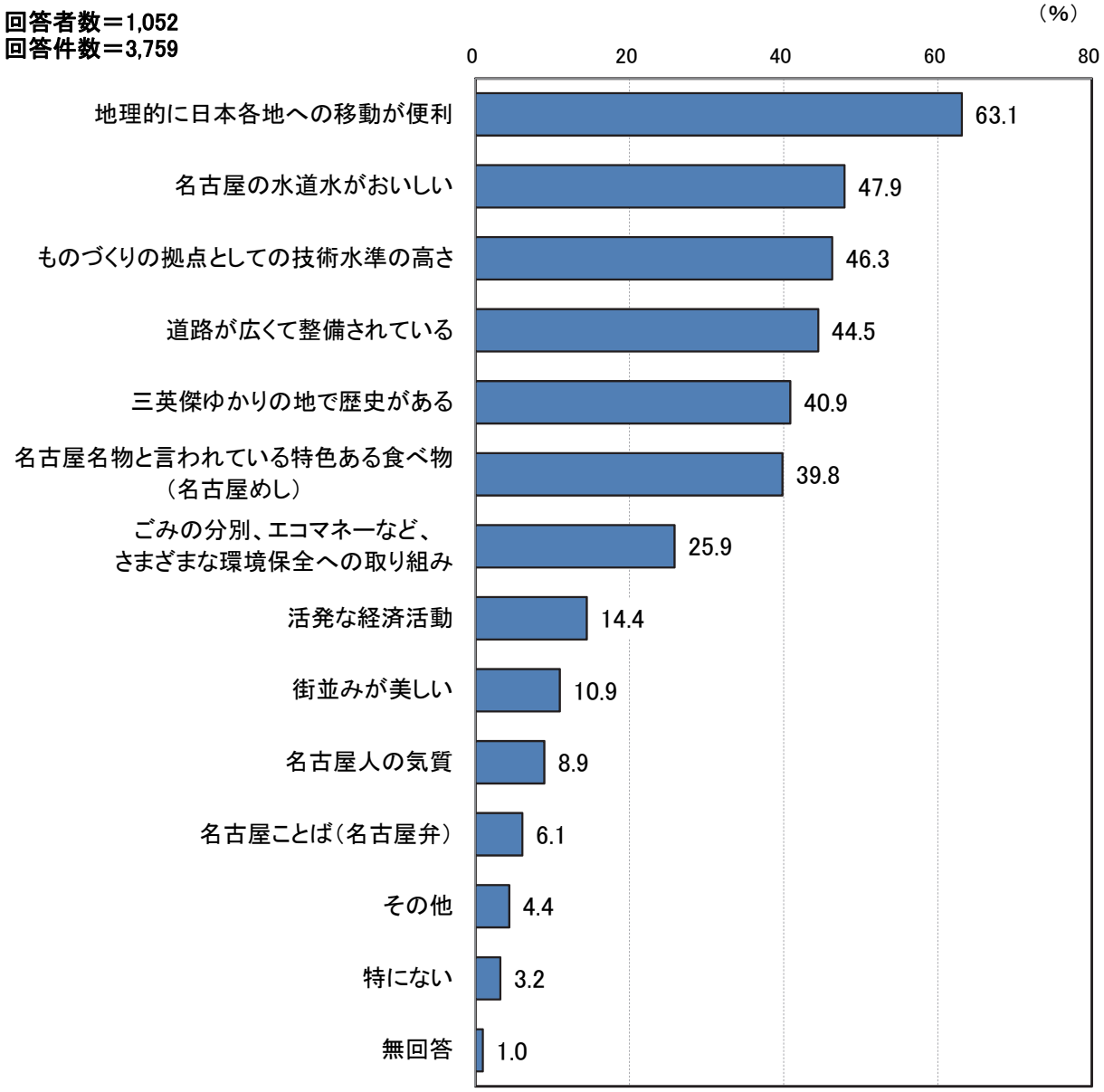
名古屋市基本構想に基づき構成した30項目及びその他１項目で該当する意見の件数をとりまとめたところ、「その他」を除くと、「高齢者福祉」に関する意見が最も多く寄せられ、次いで「道路交通」、「児童福祉」と続いています。（問23・自由記載回答）

Ⅲ　調査結果の詳細

１　名古屋の魅力・住みやすさについて

１　名古屋の魅力・住みやすさについて

（１）名古屋の良いところ（問１・ＭＡ）



◆　名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」（63.1%）が６割以上で最も高く、次いで「名古屋の水道水がおいしい」（47.9%）、「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」（46.3%）、「道路が広くて整備されている」（44.5%）、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」（40.9%）と続いています。

		地理的に日本各地への移動が便利	名古屋の水道水がおいしい	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ	道路が広くて整備されている	三英傑ゆかりの地で歴史がある	名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）	ごみの分別、エコマネーなど、さまざまな環境保全への取り組み	活発な経済活動	街並みが美しい	名古屋人の気質	名古屋ことば（名古屋弁）	その他	特にない	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全体		63.1	47.9	46.3	44.5	40.9	39.8	25.9	14.4	10.9	8.9	6.1	4.4	3.2	1.0	1,052	3.6
性別	男性	62.2	45.4	50.9	43.0	38.3	38.5	22.5	15.6	11.1	8.4	6.4	3.5	3.5	1.2	405	3.5
	女性	63.4	50.2	43.5	45.5	42.1	40.2	28.3	13.1	11.4	9.6	6.3	4.8	3.3	0.7	604	3.6
年代別	20歳代	68.7	38.8	32.8	14.9	35.8	58.2	9.0	9.0	0.0	9.0	11.9	4.5	4.5	0.0	67	3.0
	30歳代	58.5	30.3	49.3	33.8	40.8	50.7	10.6	17.6	3.5	7.0	4.9	5.6	3.5	0.0	142	3.2
	40歳代	62.8	37.2	44.1	39.4	33.0	54.8	11.7	14.9	10.1	6.4	4.3	5.9	2.7	0.0	188	3.3
	50歳代	57.4	48.4	50.3	52.9	44.5	42.6	25.2	10.3	9.0	7.1	5.2	4.5	1.3	1.9	155	3.7
	60歳代	63.9	58.8	46.6	48.7	38.7	23.9	30.3	13.4	17.6	8.4	6.7	1.7	5.0	1.7	238	3.7
	70歳以上	66.7	61.2	47.5	54.3	47.5	27.9	48.9	16.0	15.5	15.5	7.8	4.6	2.7	0.9	219	4.2
性×年代別	男性20歳代	71.4	39.3	35.7	17.9	39.3	67.9	10.7	7.1	0.0	10.7	10.7	3.6	7.1	0.0	28	3.2
	30歳代	53.6	26.8	51.8	28.6	50.0	58.9	7.1	19.6	5.4	7.1	3.6	3.6	3.6	0.0	56	3.2
	40歳代	59.4	42.0	46.4	39.1	29.0	53.6	8.7	14.5	8.7	8.7	4.3	2.9	4.3	0.0	69	3.2
	50歳代	62.7	44.1	55.9	59.3	45.8	40.7	15.3	13.6	10.2	3.4	5.1	5.1	0.0	1.7	59	3.7
	60歳代	65.5	54.9	54.9	47.8	31.0	21.2	31.9	14.2	15.9	7.1	6.2	2.7	4.4	2.7	113	3.7
	70歳以上	62.0	51.9	49.4	45.6	43.0	22.8	40.5	20.3	15.2	13.9	10.1	3.8	2.5	1.3	79	3.9
	女性20歳代	66.7	38.5	30.8	12.8	33.3	51.3	7.7	10.3	0.0	7.7	12.8	5.1	2.6	0.0	39	2.8
	30歳代	61.6	32.6	47.7	37.2	34.9	45.3	12.8	16.3	2.3	7.0	5.8	7.0	3.5	0.0	86	3.1
	40歳代	64.7	34.5	42.9	39.5	35.3	55.5	13.4	15.1	10.9	5.0	4.2	7.6	1.7	0.0	119	3.3
	50歳代	54.2	51.0	46.9	49.0	43.8	43.8	31.3	8.3	8.3	9.4	5.2	4.2	2.1	2.1	96	3.7
	60歳代	62.4	62.4	39.2	49.6	45.6	26.4	28.8	12.8	19.2	9.6	7.2	0.8	5.6	0.8	125	3.7
	70歳以上	69.6	65.9	46.4	58.7	50.0	30.4	53.6	13.8	15.2	15.9	6.5	5.1	2.9	0.7	138	7.0
出生地別	名古屋市	62.9	53.0	48.8	45.2	39.3	42.1	25.6	14.5	11.1	11.7	7.9	3.0	3.0	0.4	496	3.7
	名古屋市以外	62.4	43.2	44.0	43.6	41.7	37.0	26.0	13.5	11.5	6.8	4.9	5.5	3.5	1.4	511	3.5
居住歴別	30年以上	63.4	56.1	48.1	50.1	41.7	36.6	32.1	13.8	14.1	11.1	7.0	3.5	3.2	1.0	686	3.9
	20年以上30年未満	64.3	44.3	45.7	30.7	33.6	48.6	17.1	12.1	5.0	6.4	6.4	3.6	2.1	0.7	140	3.2
	10年以上20年未満	59.5	32.1	41.7	34.5	44.0	40.5	14.3	14.3	4.8	3.6	6.0	3.6	1.2	1.2	84	3.0
	5年以上10年未満	60.0	14.5	45.5	32.7	47.3	41.8	7.3	14.5	5.5	5.5	1.8	14.5	9.1	0.0	55	3.0
	5年未満	59.1	11.4	34.1	34.1	31.8	50.0	6.8	18.2	9.1	4.5	2.3	6.8	6.8	0.0	44	2.8
名古屋の自慢できること＊	たくさんある	72.4	61.2	60.2	58.2	54.1	56.1	31.6	31.6	21.4	24.5	10.2	7.1	0.0	2.0	98	5.0
	いくつかはある	67.0	48.8	51.1	48.3	44.7	43.1	29.2	15.3	12.0	9.2	7.3	4.2	0.5	0.6	640	3.8
	あまりない	56.3	45.2	36.5	33.7	30.3	29.8	16.3	6.7	4.3	2.9	2.4	4.3	5.3	1.0	208	2.8
	まったくない	18.8	31.3	25.0	12.5	12.5	25.0	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0	16	1.8
	わからない	48.6	39.2	18.9	28.4	27.0	25.7	16.2	6.8	8.1	4.1	2.7	2.7	17.6	0.0	74	2.5

（単位：%）

＊「名古屋の自慢できること」（問９）についてはP. 46 参照

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	地理的に日本各地への移動が便利 63.1%	名古屋の水道水がおいしい 47.9%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 46.3%	道路が広くて整備されている 44.5%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 40.9%
平成24年度	地理的に日本各地への移動が便利 62.7%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 49.2%	道路が広くて整備されている 47.6%	名古屋の水道水がおいしい 47.2%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 45.5%
平成23年度	地理的に日本各地への移動が便利 62.8%	名古屋の水道水がおいしい 48.2%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 44.4%	道路が広くて整備されている 44.2%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 43.2%
平成22年度	地理的に日本各地への移動が便利 62.6%	名古屋の水道水がおいしい 49.9%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 45.4%	道路が広くて整備されている 44.0%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 40.5%
平成21年度	地理的に日本各地への移動が便利 59.9%	名古屋の水道水がおいしい 53.8%	道路が広くて整備されている 47.3%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 39.6%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 37.2%
平成20年度	地理的に日本各地への移動が便利 59.6%	名古屋の水道水がおいしい 51.5%	道路が広くて整備されている 46.3%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 38.4%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 38.0%

【上位５項目の経年比較】

上位５項目に変化はみられませんが、前回第４位だった「名古屋の水道水がおいしい」は、第２位になっています。

【性別内比較】

「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」と答えた人は、女性（43.5%）よりも男性（50.9%）の方が、7.4ポイント高くなっています。

一方、「ごみの分別、エコマネーなど、さまざまな環境保全への取り組み」と答えた人は、男性（22.5%）よりも女性（28.3%）の方が、5.8ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「道路が広くて整備されている」と答えた人は、50歳代～70歳以上で高くなっており、20歳代で低くなっています。また、「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人は60歳代、70歳以上で、「名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）」と答えた人は20歳代～40歳代で高くなっています。

【性・年代別比較】

「名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）」と答えた人は若年層の方が高い傾向にあり、若年層では女性よりも男性の方が高くなっています。

【出生地別内比較】

生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人は、名古屋市以外から引っ越してきた人と比べて「名古屋の水道水がおいしい」、「名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）」と答えた人が高くなっています。

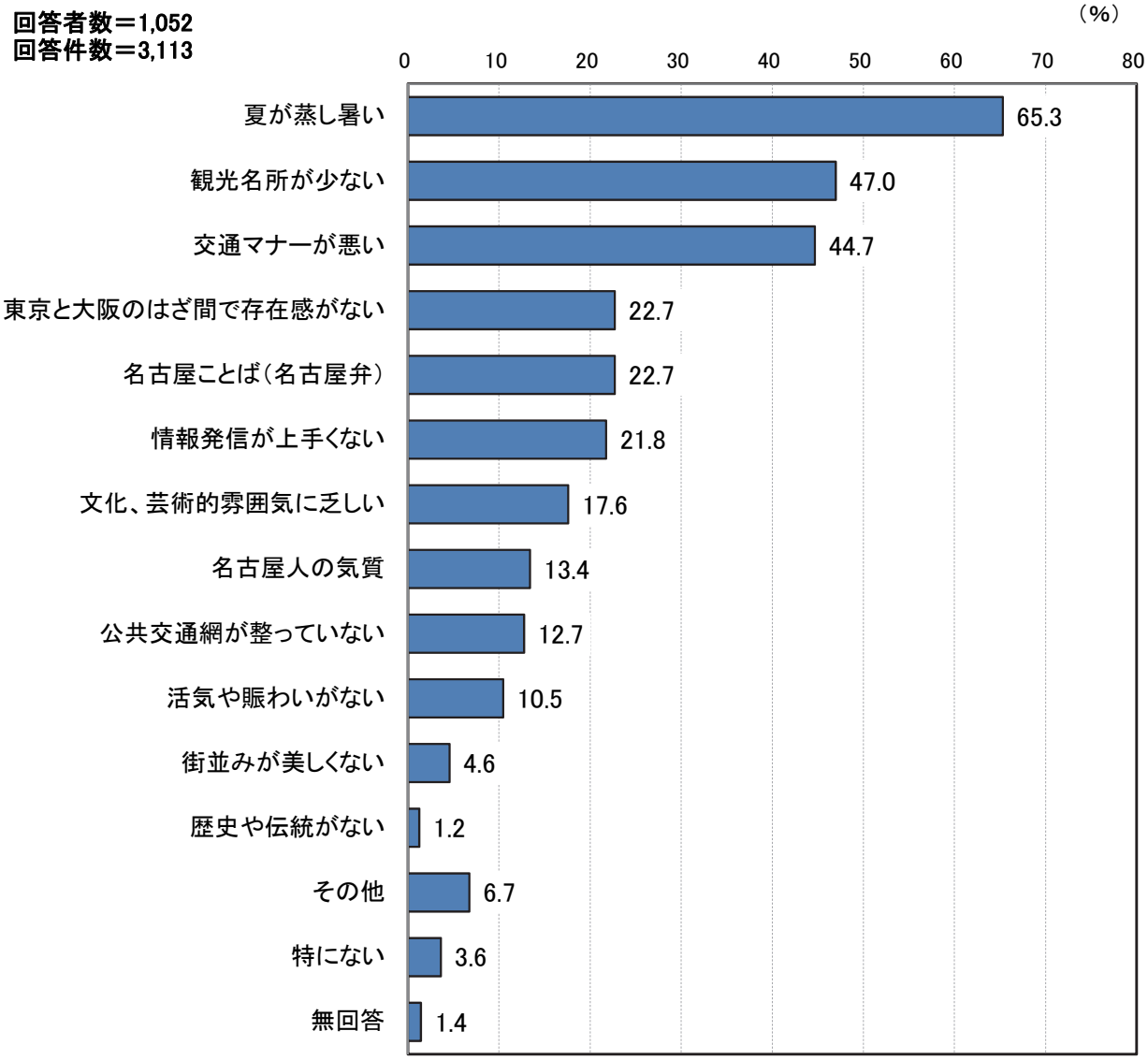
【居住歴別比較】

「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人は、居住歴が長いほど高い傾向にあり、5 年未満（11.4%）より 30 年以上（56.1%）の方が 44.7 ポイント高くなっています。

【「問９　名古屋の自慢できること」別比較】

「たくさんある」と答えた人では、名古屋の良いところの平均回答個数は 5.0 個で、「あまりない」と答えた人では、名古屋の良いところの平均回答個数は 2.8 個でした。

（２）名古屋の悪いところ（問２・ＭＡ）



◆　名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」（65.3%）が６割以上で最も高く、次いで「観光名所が少ない」（47.0%）、「交通マナーが悪い」（44.7%）、と４割台で続いています。

		夏が蒸し暑い	観光名所が少ない	交通マナーが悪い	東京と大阪のはざ間で存在感がない	名古屋ことば（名古屋弁）	情報発信が上手くない	文化、芸術的雰囲気に乏しい	名古屋人の気質	公共交通網が整っていない	活気や賑わいがない	街並みが美しくない	歴史や伝統がない	その他	特にない	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		65.3	47.0	44.7	22.7	22.7	21.8	17.6	13.4	12.7	10.5	4.6	1.2	6.7	3.6	1.4	1,052	3.0
性別	男性	60.0	44.2	47.4	21.2	20.0	25.7	18.3	14.1	16.0	12.3	2.7	1.0	6.4	3.2	2.2	405	3.0
	女性	68.9	47.7	43.5	23.0	23.8	19.7	16.7	12.3	10.3	9.1	5.8	1.3	7.1	4.0	1.0	604	3.0
年代別	20歳代	56.7	53.7	55.2	16.4	17.9	13.4	13.4	19.4	9.0	4.5	7.5	1.5	10.4	3.0	0.0	67	2.8
	30歳代	61.3	54.2	54.2	19.0	25.4	14.1	12.7	21.1	13.4	9.9	8.5	1.4	8.5	2.8	1.4	142	3.1
	40歳代	61.7	47.9	45.2	24.5	14.9	22.3	19.1	10.6	13.8	11.2	8.0	1.1	12.8	4.3	1.1	188	3.0
	50歳代	69.0	46.5	39.4	25.2	20.0	20.6	15.5	12.3	17.4	12.9	3.2	0.0	5.8	1.9	1.9	155	3.0
	60歳代	66.8	40.3	41.2	23.5	21.8	29.8	18.9	10.9	13.9	11.3	1.3	0.8	3.8	3.8	1.3	238	2.9
	70歳以上	69.9	44.3	44.3	21.0	30.6	22.4	19.6	10.5	7.3	9.1	2.3	2.3	3.7	4.6	2.3	219	3.0
性×年代別	男性20歳代	53.6	50.0	64.3	14.3	14.3	10.7	14.3	21.4	7.1	7.1	3.6	3.6	7.1	7.1	0.0	28	2.8
	30歳代	57.1	60.7	64.3	21.4	19.6	16.1	16.1	17.9	17.9	10.7	5.4	0.0	3.6	1.8	0.0	56	3.1
	40歳代	59.4	50.7	43.5	24.6	13.0	27.5	18.8	10.1	20.3	15.9	2.9	1.4	10.1	7.2	2.9	69	3.2
	50歳代	64.4	37.3	44.1	23.7	18.6	15.3	15.3	13.6	23.7	8.5	1.7	0.0	6.8	0.0	3.4	59	2.9
	60歳代	61.9	34.5	38.9	22.1	21.2	33.6	23.0	12.4	15.0	15.0	0.9	0.9	5.3	0.9	2.7	113	3.0
	70歳以上	59.5	43.0	48.1	17.7	27.8	32.9	16.5	15.2	10.1	11.4	2.5	1.3	6.3	5.1	2.5	79	3.1
	女性20歳代	59.0	56.4	48.7	17.9	20.5	15.4	12.8	17.9	10.3	2.6	10.3	0.0	12.8	0.0	0.0	39	2.8
	30歳代	64.0	50.0	47.7	17.4	29.1	12.8	10.5	23.3	10.5	9.3	10.5	2.3	11.6	3.5	2.3	86	3.1
	40歳代	63.0	46.2	46.2	24.4	16.0	19.3	19.3	10.9	10.1	8.4	10.9	0.8	14.3	2.5	0.0	119	2.9
	50歳代	71.9	52.1	36.5	26.0	20.8	24.0	15.6	11.5	13.5	15.6	4.2	0.0	5.2	3.1	1.0	96	3.0
	60歳代	71.2	45.6	43.2	24.8	22.4	26.4	15.2	9.6	12.8	8.0	1.6	0.8	2.4	6.4	0.0	125	2.9
	70歳以上	75.4	44.2	42.0	22.5	31.9	16.7	21.7	8.0	5.8	8.0	2.2	2.9	2.2	4.3	2.2	138	3.0
出生地別	名古屋市	63.7	50.4	42.1	22.8	18.1	24.0	19.0	7.9	12.9	8.1	4.6	1.4	6.7	4.2	1.4	496	2.9
	名古屋市以外	66.9	42.7	47.9	21.7	26.6	20.2	15.9	18.0	12.3	12.7	4.3	1.0	7.0	2.9	1.6	511	3.1
居住歴別	30年以上	67.1	46.2	41.7	22.9	23.0	24.5	18.8	9.6	13.4	11.4	3.6	1.5	5.4	4.1	1.7	686	3.0
	20年以上30年未満	62.9	49.3	46.4	23.6	17.9	17.9	14.3	16.4	10.7	10.0	5.0	0.0	7.9	2.9	1.4	140	2.9
	10年以上20年未満	56.0	51.2	51.2	25.0	22.6	22.6	17.9	19.0	9.5	10.7	6.0	0.0	9.5	2.4	1.2	84	3.1
	5年以上10年未満	74.5	43.6	58.2	20.0	29.1	10.9	14.5	34.5	10.9	3.6	7.3	0.0	10.9	3.6	0.0	55	3.2
	5年未満	52.3	36.4	65.9	9.1	18.2	11.4	6.8	15.9	13.6	4.5	9.1	4.5	15.9	2.3	0.0	44	2.7
名古屋の自慢できること＊	たくさんある	59.2	37.8	37.8	19.4	15.3	22.4	9.2	7.1	7.1	3.1	2.0	4.1	10.2	6.1	4.1	98	2.6
	いくつかはある	66.1	47.2	44.2	22.7	22.5	22.8	17.5	12.8	11.6	10.2	3.6	0.6	5.8	2.3	1.1	640	2.9
	あまりない	67.3	57.7	48.6	29.3	30.3	22.1	24.0	19.2	18.3	13.9	8.7	1.9	8.2	2.9	1.0	208	3.6
	まったくない	25.0	56.3	68.8	37.5	25.0	18.8	37.5	31.3	43.8	31.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	16	4.0
	わからない	68.9	28.4	44.6	8.1	14.9	13.5	6.8	5.4	9.5	6.8	4.1	0.0	8.1	14.9	1.4	74	2.4

（単位：％）

＊「名古屋の自慢できること」（問９）についてはP.46 参照

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	夏が蒸し暑い 65.3%	観光名所が少ない 47.0%	交通マナーが悪い 44.7%	東京と大阪のはざ間 22.7% 名古屋ことば 22.7%	
平成24年度	夏が蒸し暑い 65.2%	交通マナーが悪い 44.6%	観光名所が少ない 44.3%	東京と大阪のはざ間で存在感がない 24.7%	名古屋ことば（名古屋弁） 23.4%
平成23年度	夏が蒸し暑い 59.2%	交通マナーが悪い 47.7%	観光名所が少ない 46.3%	東京と大阪のはざ間で存在感がない 25.2%	情報発信が上手くない 24.0%
平成22年度	夏が蒸し暑い 66.1%	観光名所が少ない 46.0%	交通マナーが悪い 45.3%	東京と大阪のはざ間で存在感がない 28.4%	情報発信が上手くない 24.9%
平成21年度	夏が蒸し暑い 61.6%	観光名所が少ない 46.5%	交通マナーが悪い 41.8%	東京と大阪のはざ間で存在感がない 28.3%	情報発信が上手くない 22.8%
平成20年度	夏が蒸し暑い 65.8%	観光名所が少ない 46.0%	交通マナーが悪い 45.8%	東京と大阪のはざ間で存在感がない 21.7%	文化、芸術的雰囲気に乏しい 19.2%

【上位５項目の経年比較】

「夏が蒸し暑い」が毎年第１位となっています。また、前回第３位だった「観光名所が少ない」が第２位となっています。

【性別内比較】

「夏が蒸し暑い」と答えた人は、男性（60.0%）よりも女性（68.9%）の方が、8.9ポイント高くなっています。

一方、「情報発信が上手くない」と答えた人は、女性（19.7%）よりも男性（25.7%）の方が6.0ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「夏が蒸し暑い」と答えた人はすべての年代で第１位です。また、「観光名所が少ない」、「交通マナーが悪い」と答えた人は、20 歳代、30 歳代で高くなっています。

【性・年代別比較】

「交通マナーが悪い」と答えた人は、男性 20 歳代、30 歳代が高くなっています。「東京と大阪のはざ間で存在感がない」と答えた人は、男性 20 歳代、70 歳代、女性 20 歳代、30 歳代が１割台となっています。

【出生地別内比較】

生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人は、名古屋市以外から引っ越してきた人と比べて「観光名所が少ない」と答えた人が高くなっています。

一方、名古屋市以外から引っ越してきた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人と比べて「交通マナーが悪い」、「名古屋ことば（名古屋弁）」、「名古屋人の気質」と答えた人が高くなっています。

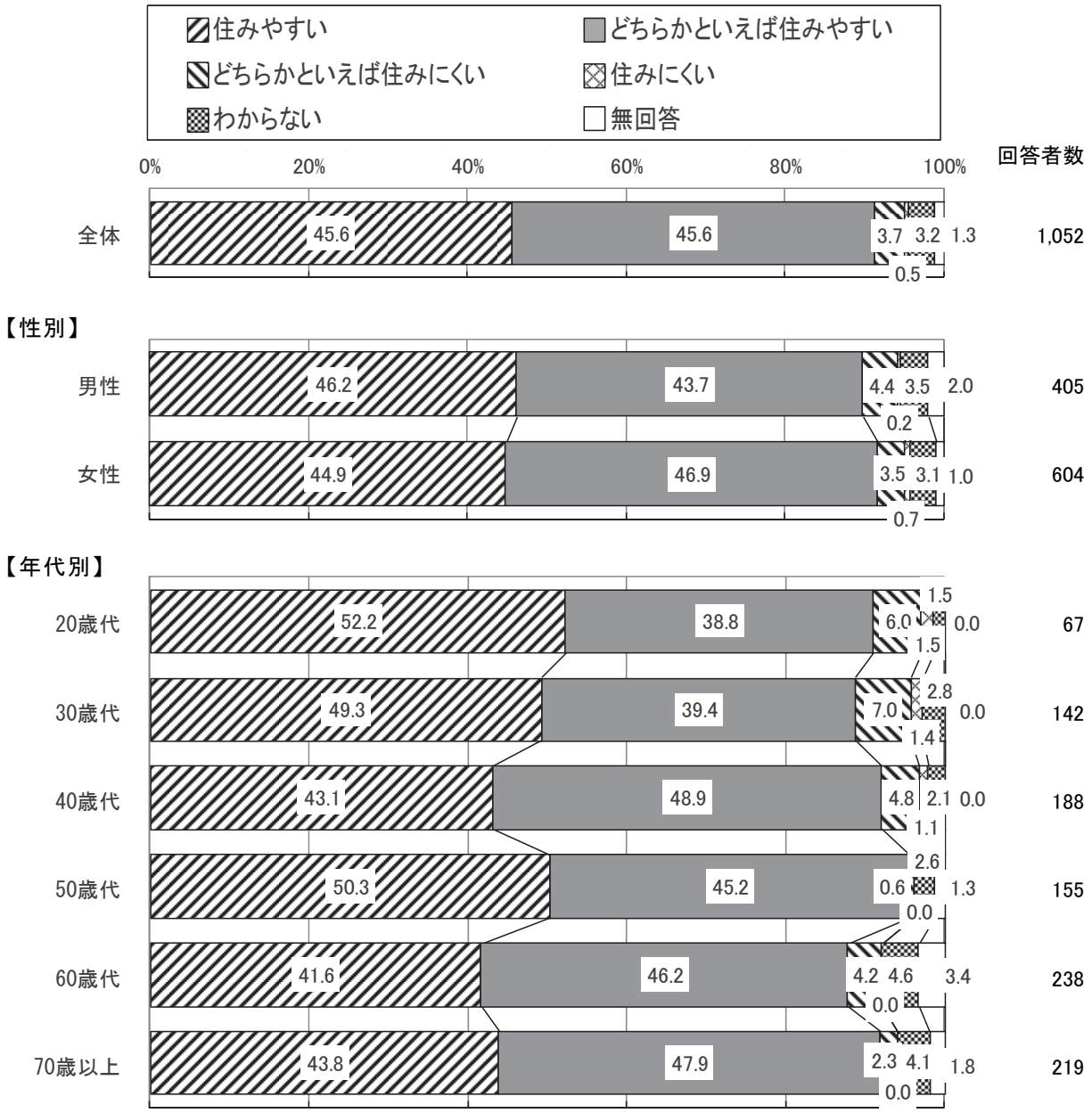
【居住歴別比較】

「交通マナーが悪い」と答えた人は、5 年未満、5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満で高くなっています。

【「問９　名古屋の自慢できること」別比較】

「あまりない」と答えた人では、名古屋の悪いことの平均回答個数は 3.6 個で、「たくさんある」と答えた人では、名古屋の悪いところの平均回答個数は 2.6 個でした。

（３）名古屋の住みやすさ（問３・ＳＡ）



◆　名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は 45.6%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が 45.6%で、あわせると、名古屋は住みやすいと思う人は約９割（91.2%）でした。

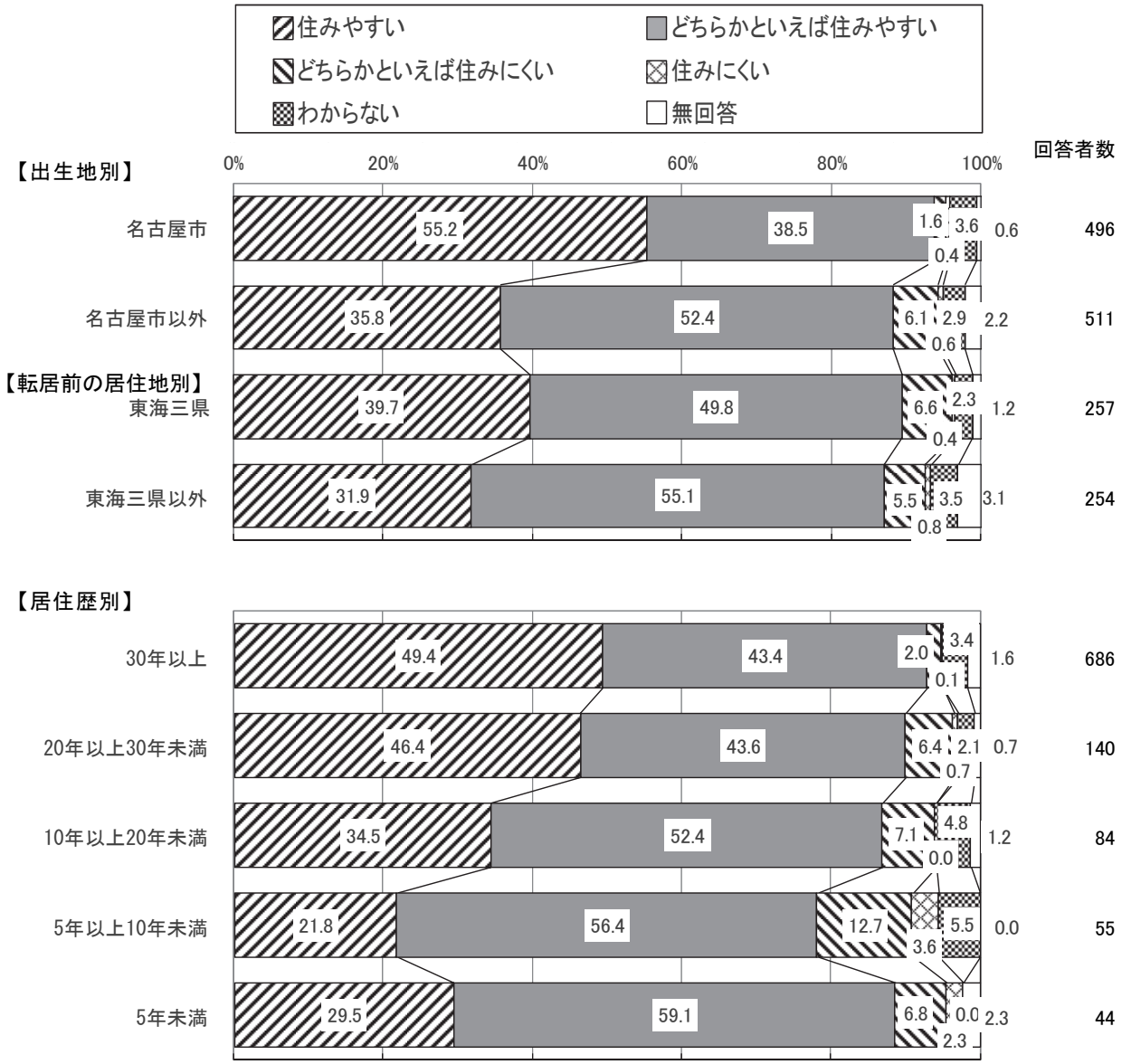
一方、「住みにくい」と答えた人は 0.5%で、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人が 3.7%で、あわせると、名古屋は住みにくいと思う人は１割未満（4.2%）でした。

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の合計は、すべての年代で８割以上で、大きな差はみられません。



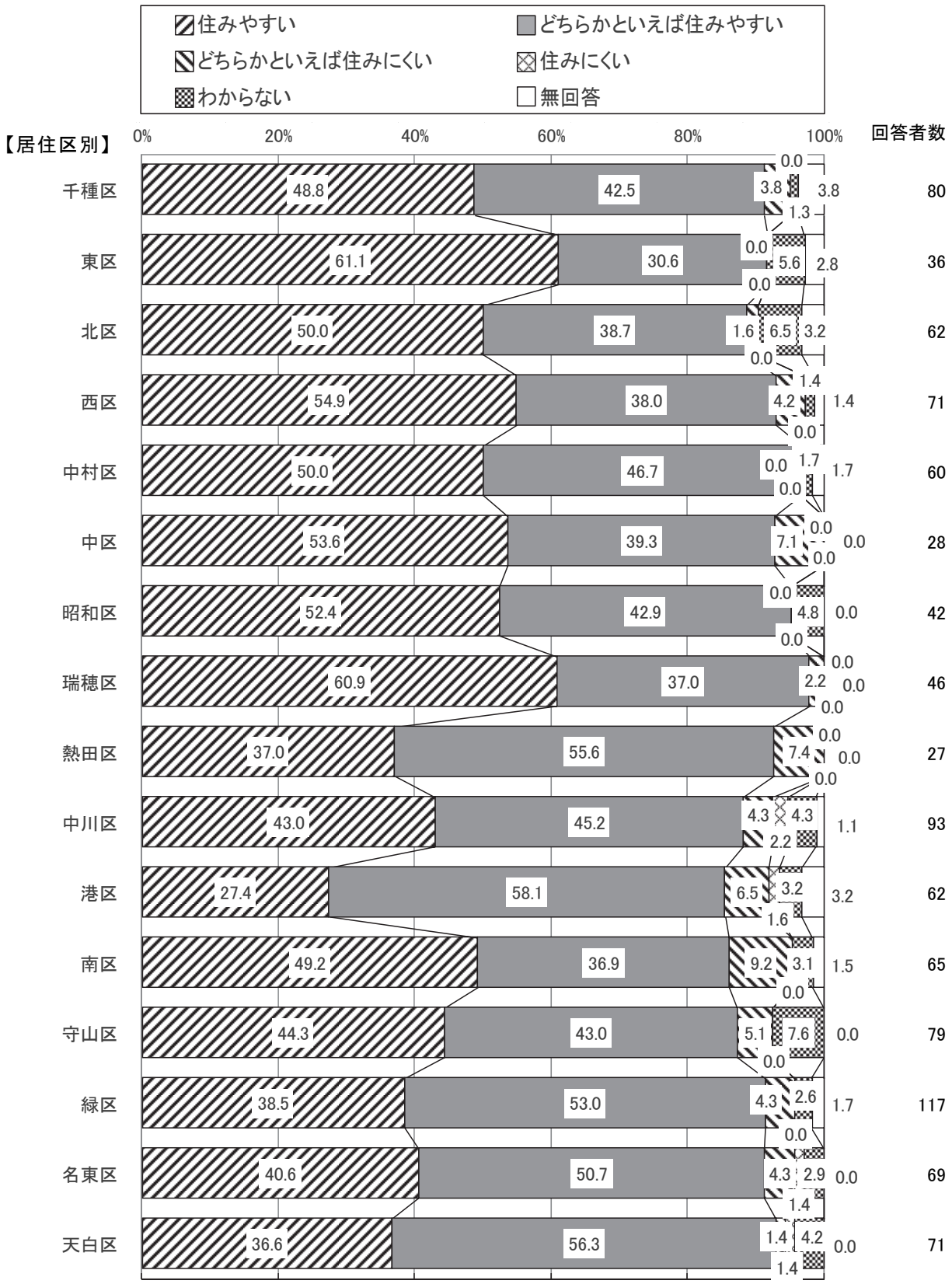
【出生地別内比較】

「住みやすい」と答えた人は、名古屋市以外から引っ越してきた人（35.8%）より、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（55.2%）の方が、19.4ポイント高くなっています。

さらに、転居前の居住地別内比較では、「住みやすい」と答えた人は、東海三県以外から（31.9%）よりも、東海三県（愛知・岐阜・三重）から（39.7%）の方が、7.8%ポイント高くなっています。

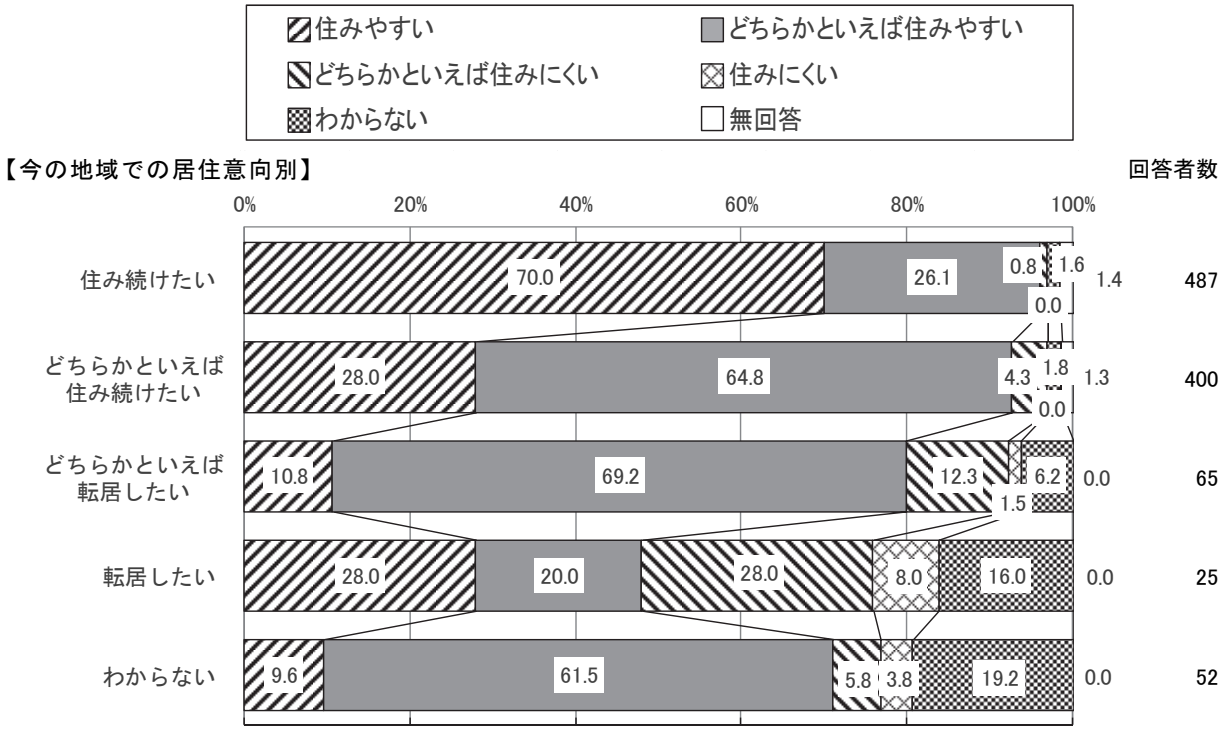
【居住歴別比較】

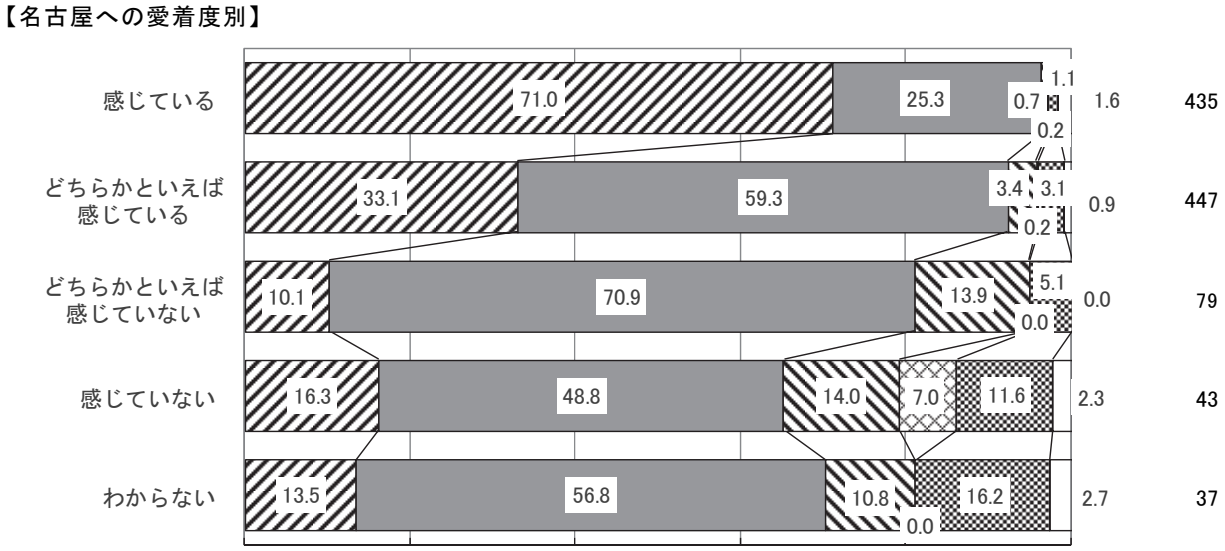
「住みやすい」と答えた人は、30年以上で高くなっています。



【居住区別比較】

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、すべての区において８割以上でした。





【「問６　今の地域での居住意向」*別比較】

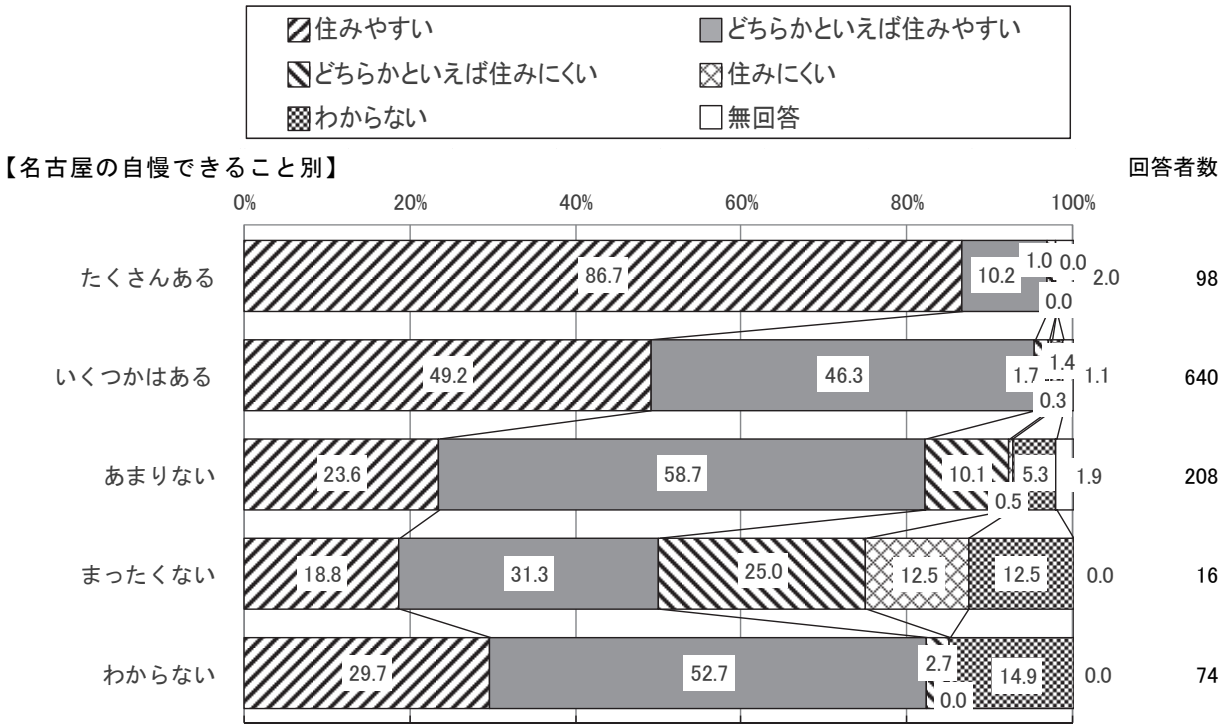
「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、今の地域にずっと住み続けたい人（96.1%）、どちらかといえば住み続けたい人（92.8%）でいずれも９割台となっているのに対し、どちらかといえば転居したい人（80.0%）では８割台、転居したい人（48.0%）では４割台でした。

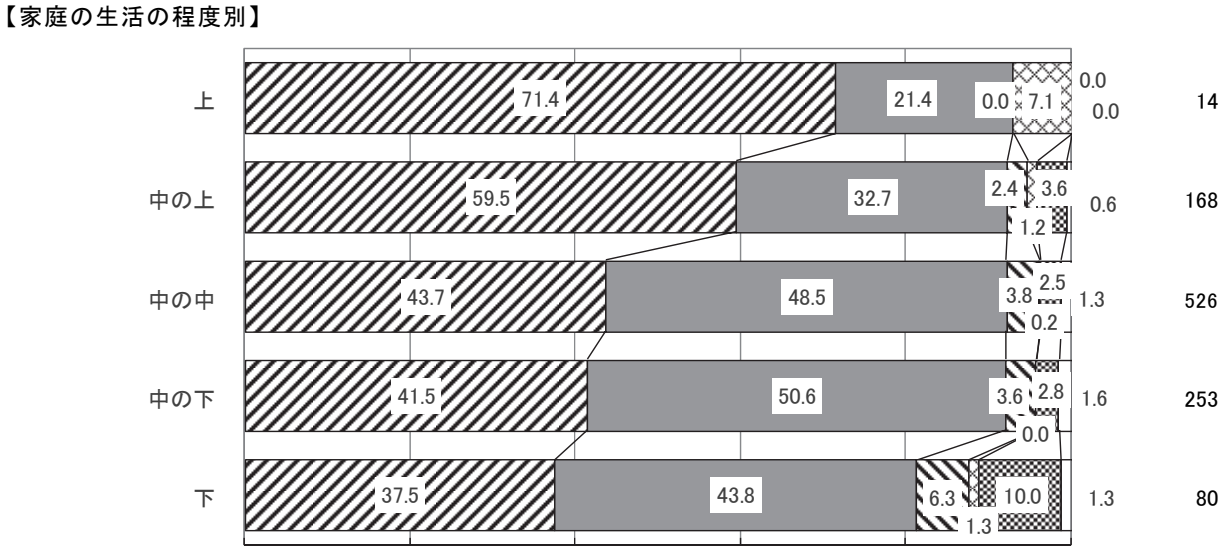
＊「問６　今の地域での居住意向」についてはP.32 参照

【「問８　名古屋への愛着度」*別比較】

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、名古屋への愛着を感じている人（96.3%）、どちらかといえば感じている人（92.4%）でいずれも９割台となっているのに対し、どちらかといえば感じていない人（81.0%）では８割台、感じていない人（65.1%）では６割台でした。

＊「問８　名古屋への愛着度」についてはP.39 参照





【「問９　名古屋の自慢できること」*別比較】

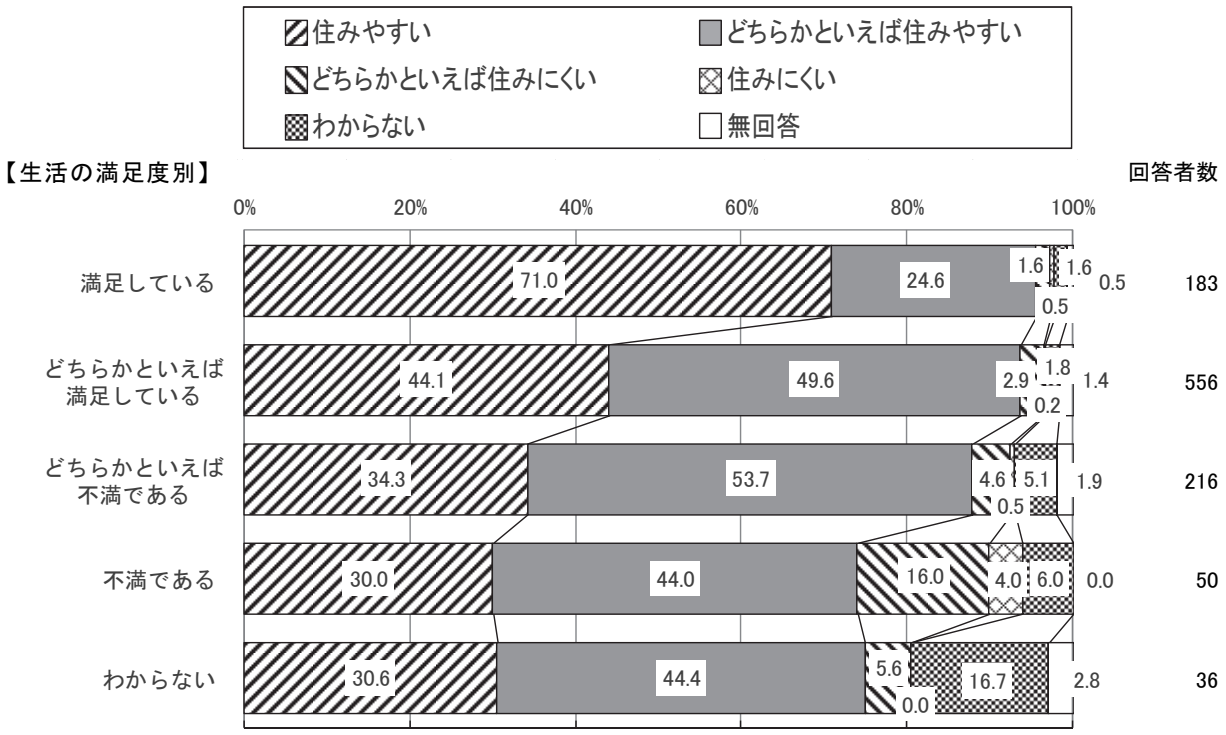
「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、名古屋の自慢できることがたくさんある人（96.9%）、いくつかはある人（95.5%）ではそれぞれ９割台、あまりない人（82.3%）は８割台でした。

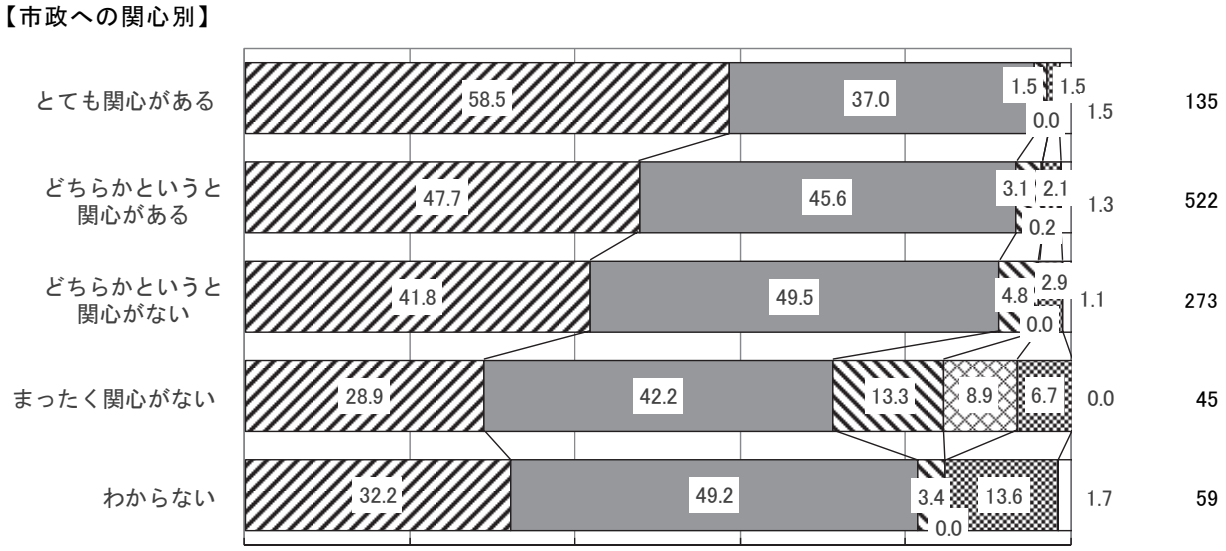
＊「問９　名古屋の自慢できること」についてはP.46 参照

【「問 11　家庭の生活の程度」*別比較】

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、家庭の生活の程度が上だと思う人（92.8%）、中の上だと思う人（92.2%）、中の中だと思う人（92.2%）、中の下だと思う人（92.1%）でいずれも９割台となっているのに対し、下と思う人（81.3%）では８割台でした。

＊「問 11　家庭の生活の程度」についてはP.53 参照





【「問 13　生活の満足度」*別比較】

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、生活に満足している人（95.6%）、どちらかといえば満足している人（93.7%）ではそれぞれ９割台、どちらかといえば不満である人（88.0%）は８割台、不満である人（74.0%）は７割台でした。

＊「問 13　生活の満足度」については P.57 参照

【「問 16　市政への関心」*別比較】

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」と答えた人の合計は、市政にとても関心がある人（95.5%）、どちらかというと関心がある人（93.3%）、どちらかというと関心がない人（91.3%）ではそれぞれ９割台、まったく関心がない人（71.1%）は７割台でした。

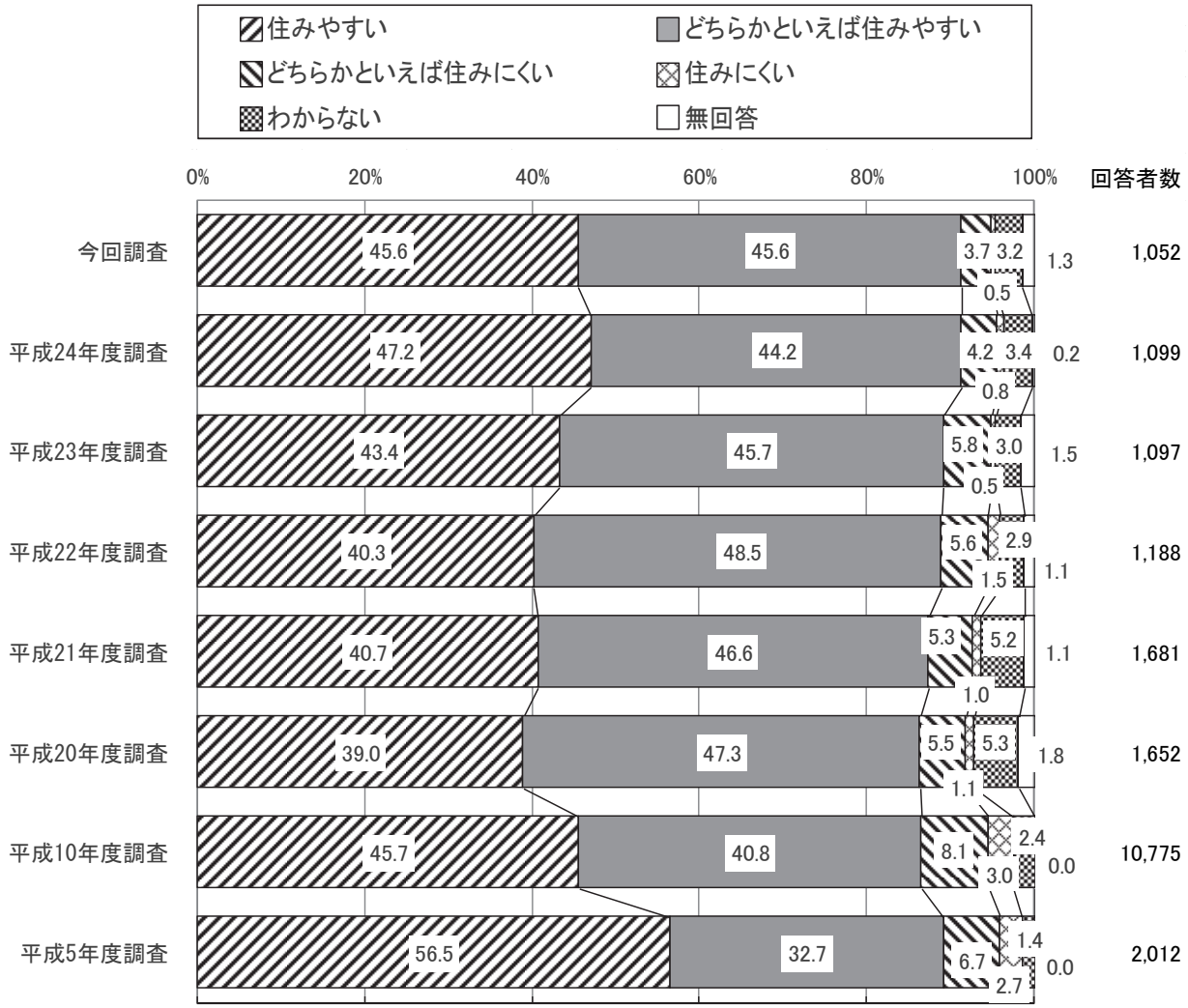
＊「問 16　市政への関心」については P.65 参照

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、過去の市政世論調査と比較すると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の合計は、平成 23 年度以前の調査においては８割台、前回と今回の調査では９割台となっています。

名古屋の住みやすさ



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成５年度）

名古屋市「市民２万人アンケート」（平成 10 年度）

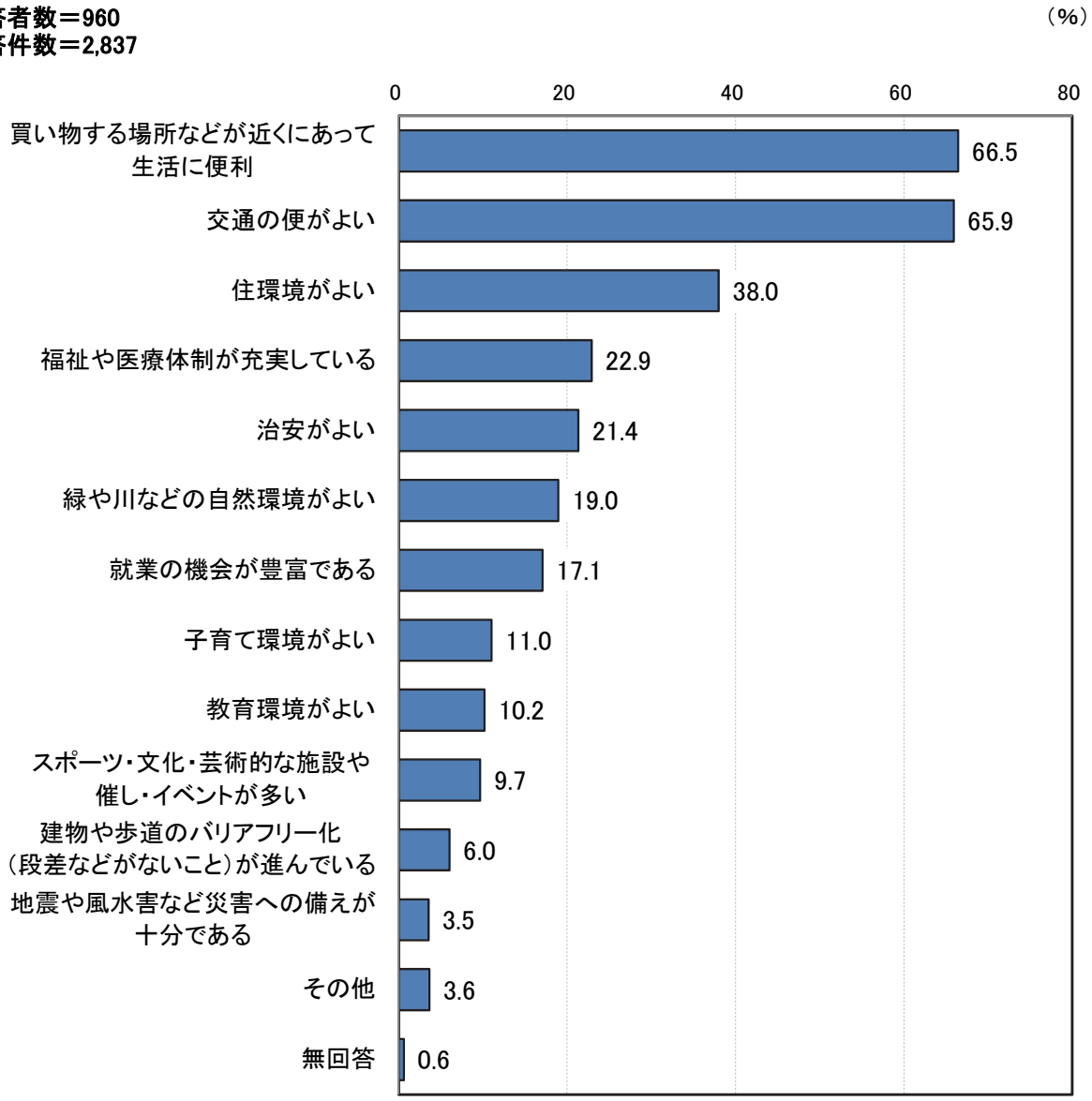
名古屋市「市政世論調査」

（平成 20 年度、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（４）住みやすい点（問４・ＭＡ）

回答者数＝960
回答件数＝2,837



◆　名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」（66.5%）が６割以上で最も高く、次いで「交通の便がよい」（65.9%）となっています。

		買い物する場所などが近くにあって生活に便利	交通の便がよい	住環境がよい	福祉や医療体制が充実している	治安がよい	緑や川などの自然環境がよい	就業の機会が豊富である	子育て環境がよい	教育環境がよい	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが多い	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が進んでいる	地震や風水害など災害への備えが十分である	その他	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		66.5	65.9	38.0	22.9	21.4	19.0	17.1	11.0	10.2	9.7	6.0	3.5	3.6	0.6	960	2.9
性別	男性	67.0	60.7	37.9	21.2	20.9	18.1	20.1	9.9	8.2	9.3	6.6	3.3	2.7	0.3	364	2.9
	女性	65.3	69.3	38.3	23.5	22.2	19.5	14.3	11.9	11.6	10.1	5.6	3.2	4.3	0.9	554	3.0
年代別	20歳代	67.2	80.3	29.5	9.8	11.5	14.8	11.5	9.8	8.2	9.8	1.6	1.6	4.9	0.0	61	2.6
	30歳代	72.2	66.7	43.7	15.1	19.0	19.0	24.6	13.5	12.7	7.9	3.2	1.6	2.4	0.0	126	3.0
	40歳代	62.4	58.4	33.5	18.5	18.5	12.1	21.4	13.9	9.2	11.6	1.7	1.2	4.0	0.0	173	2.7
	50歳代	62.8	62.2	42.6	20.9	22.3	16.2	20.9	10.1	7.4	7.4	4.7	5.4	5.4	0.0	148	2.9
	60歳代	67.9	64.1	39.7	26.8	25.8	26.3	12.0	10.0	12.4	11.5	6.2	4.3	2.9	0.0	209	3.1
	70歳以上	65.2	71.6	36.8	31.8	24.9	20.4	10.9	9.5	10.0	10.0	12.9	3.5	3.5	3.0	201	3.1
出生地別	名古屋市	65.2	65.6	40.4	19.8	25.8	18.5	15.3	10.3	9.2	8.8	6.2	3.7	3.9	0.4	465	2.9
	名古屋市以外	66.7	65.9	35.9	25.5	17.3	19.5	18.2	11.8	11.1	10.9	5.5	2.9	3.5	0.9	451	2.9
居住歴別	30年以上	66.6	65.3	40.5	24.2	24.0	20.1	14.8	10.5	9.6	10.0	7.2	3.8	3.6	0.9	637	3.0
	20年以上30年未満	61.9	69.8	33.3	19.0	21.4	13.5	19.8	7.1	7.9	7.1	4.0	2.4	4.8	0.0	126	2.7
	10年以上20年未満	64.4	60.3	28.8	19.2	16.4	19.2	23.3	16.4	9.6	9.6	4.1	2.7	5.5	0.0	73	2.8
	5年以上10年未満	81.4	67.4	37.2	20.9	14.0	23.3	18.6	18.6	23.3	14.0	2.3	0.0	0.0	0.0	43	3.2
	5年未満	56.4	71.8	30.8	17.9	2.6	12.8	23.1	12.8	12.8	12.8	0.0	2.6	2.6	0.0	39	2.6
居住区別	千種区	68.5	69.9	54.8	19.2	31.5	24.7	15.1	16.4	24.7	13.7	9.6	1.4	5.5	0.0	73	3.5
	東区	69.7	66.7	33.3	9.1	15.2	6.1	12.1	12.1	6.1	0.0	0.0	9.1	3.0	0.0	33	2.4
	北区	63.6	65.5	29.1	23.6	16.4	9.1	20.0	5.5	7.3	16.4	7.3	5.5	5.5	1.8	55	2.8
	西区	65.2	72.7	45.5	21.2	27.3	25.8	19.7	12.1	10.6	10.6	6.1	3.0	6.1	0.0	66	3.3
	中村区	72.4	77.6	22.4	19.0	20.7	13.8	13.8	8.6	8.6	13.8	10.3	1.7	1.7	0.0	58	2.8
	中区	73.1	61.5	30.8	26.9	26.9	3.8	23.1	3.8	7.7	3.8	15.4	0.0	3.8	0.0	26	2.8
	昭和区	62.5	75.0	50.0	12.5	17.5	12.5	12.5	12.5	12.5	7.5	5.0	5.0	2.5	0.0	40	2.9
	瑞穂区	68.9	73.3	40.0	33.3	35.6	24.4	15.6	13.3	17.8	8.9	2.2	6.7	0.0	0.0	45	3.4
	熱田区	80.0	76.0	20.0	36.0	24.0	16.0	32.0	8.0	16.0	24.0	8.0	4.0	12.0	0.0	25	3.6
	中川区	69.5	62.2	25.6	30.5	13.4	17.1	17.1	8.5	6.1	9.8	11.0	1.2	2.4	2.4	82	2.8
	港区	71.7	60.4	24.5	30.2	22.6	18.9	20.8	3.8	3.8	5.7	9.4	1.9	1.9	0.0	53	2.8
	南区	57.1	75.0	28.6	17.9	21.4	10.7	10.7	5.4	3.6	7.1	10.7	10.7	7.1	0.0	56	2.7
	守山区	68.1	58.0	34.8	21.7	15.9	26.1	18.8	14.5	5.8	7.2	2.9	2.9	1.4	1.4	69	2.8
	緑区	71.0	57.0	43.9	26.2	15.9	23.4	15.9	12.1	6.5	11.2	0.9	3.7	2.8	0.9	107	2.9
	名東区	60.3	61.9	60.3	14.3	28.6	22.2	12.7	19.0	22.2	6.3	3.2	1.6	0.0	0.0	63	3.1
	天白区	45.5	60.6	45.5	21.2	21.2	24.2	16.7	12.1	6.1	9.1	0.0	4.5	1.5	1.5	66	2.7

（単位：%）

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 66.5%	交通の便がよい 65.9%	住環境がよい 38.0%	福祉や医療体制が充実している 22.9%	治安がよい 21.4%
平成24年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 71.4%	交通の便がよい 68.0%	住環境がよい 39.1%	福祉や医療体制が充実している 23.7%	緑や川などの自然環境がよい 22.7%
平成23年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 71.0%	交通の便がよい 63.9%	住環境がよい 38.1%	緑や川などの自然環境がよい 22.2%	福祉や医療体制が充実している 21.9%
平成22年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 68.2%	交通の便がよい 62.4%	住環境がよい 39.5%	緑や川などの自然環境がよい 21.0%	治安がよい 19.9%
平成21年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 70.1%	交通の便がよい 60.9%	住環境がよい 38.8%	治安がよい 19.3%	福祉や医療体制が充実している 17.8%
平成20年度	買い物する場所などが近くにあって生活に便利 71.0%	交通の便がよい 60.6%	住環境がよい 35.8%	緑や川などの自然環境がよい 19.7%	就業の機会が豊富である 19.3%

【上位５項目の経年比較】

上位３項目の順位に変化はみられません。

なお、平成23年度、前回の調査でともに第６位であった「治安がよい」は今回第５位に入りました。

【性別内比較】

「交通の便がよい」と答えた人は、男性（60.7%）よりも女性（69.3%）の方が、8.6ポイント高くなっています。

一方、「就業の機会が豊富である」と答えた人は、女性（14.3%）よりも男性（20.1%）の方が、5.8ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「交通の便がよい」と答えた人は20歳代、70歳以上で高くなっています。また、「福祉や医療体制が充実している」と答えた人は70歳以上で高くなっており、「買い物する場所などが近くにあって便利」、「住環境がよい」と答えた人は30歳代で高くなっています。

【出生地別内比較】

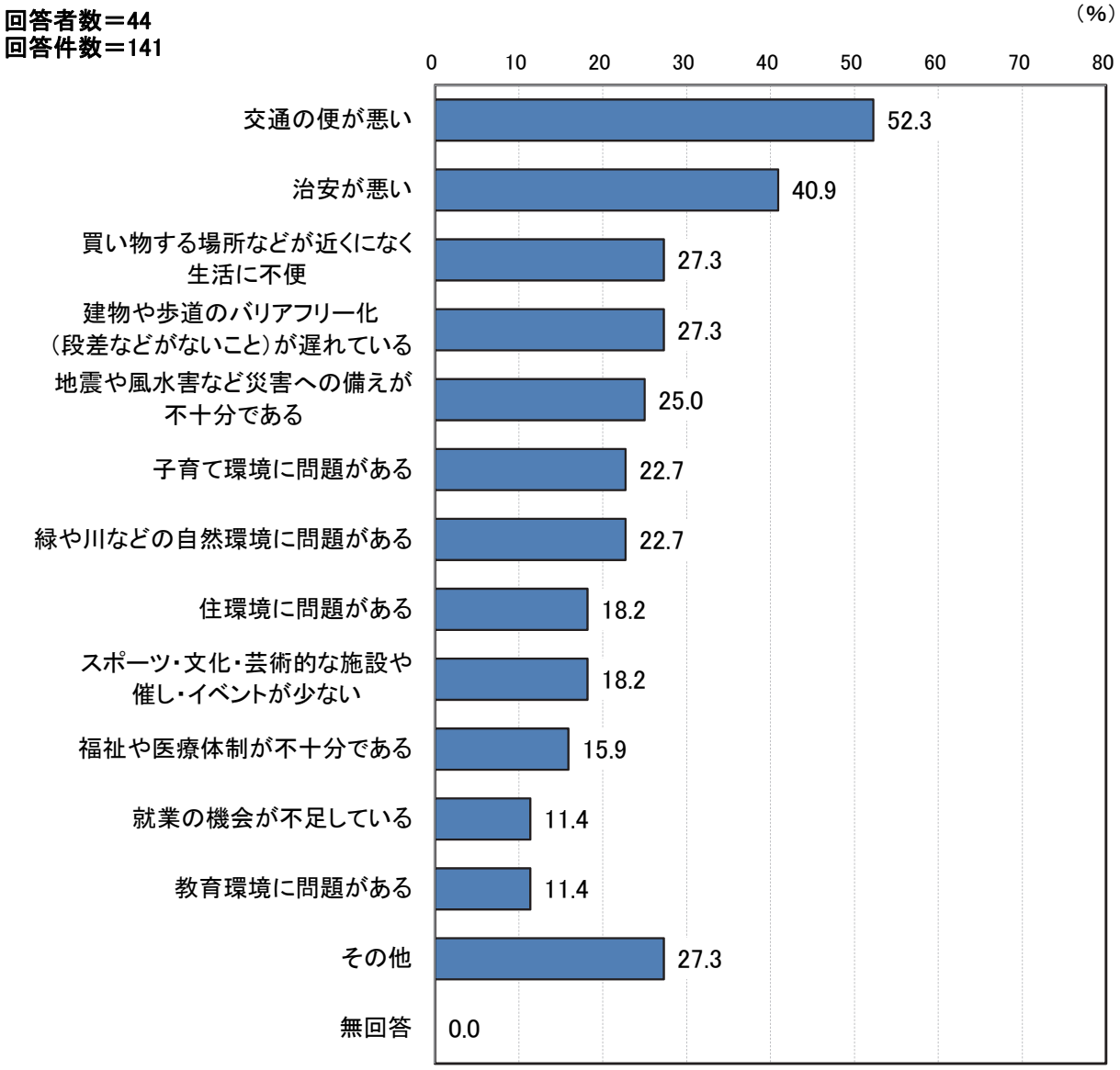
生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人は、名古屋市以外から引っ越してきた人と比べて「治安がよい」と答えた人が高くなっています。

一方、名古屋市外から引っ越してきた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人と比べて「福祉や医療体制が充実している」と答えた人が高くなっています。

【居住歴別比較】

「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」と答えた人は、5 年以上 10 年未満で高くなっており、「交通の便がよい」と答えた人は５年未満で高くなっています。

（５）住みにくい点（問５・ＭＡ）



◆　名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「交通の便が悪い」（52.3%）が約５割で最も高く、次いで「治安が悪い」（40.9%）、「買い物する場所などが近くになく生活に不便」（27.3%）、「建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている」（27.3%）となっています。

		交通の便が悪い	治安が悪い	買い物する場所などが近くになく生活に不便	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている	地震や風水害など災害への備えが不十分である	子育て環境に問題がある	緑や川などの自然環境に問題がある	住環境に問題がある	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない	福祉や医療体制が不十分である	就業の機会が不足している	教育環境に問題がある	その他	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		52.3	40.9	27.3	27.3	25.0	22.7	22.7	18.2	18.2	15.9	11.4	11.4	27.3	0.0	44	3.2
性別	男性	57.9	36.8	15.8	21.1	26.3	10.5	31.6	15.8	5.3	21.1	21.1	5.3	21.1	0.0	19	2.9
	女性	48.0	44.0	36.0	32.0	24.0	32.0	16.0	20.0	28.0	12.0	4.0	16.0	32.0	0.0	25	3.4
年代別	20歳代	40.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5	2.4
	30歳代	33.3	58.3	41.7	8.3	16.7	33.3	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3	41.7	0.0	12	2.8
	40歳代	63.6	45.5	27.3	36.4	36.4	36.4	54.5	36.4	27.3	27.3	9.1	36.4	27.3	0.0	11	4.6
	50歳代	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1.0
	60歳代	70.0	20.0	30.0	50.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10	2.9
	70歳以上	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	5	2.8
出生地別	名古屋市	60.0	50.0	20.0	40.0	30.0	0.0	50.0	30.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10	3.4
	名古屋市以外	50.0	38.2	29.4	23.5	23.5	29.4	14.7	14.7	17.6	17.6	8.8	14.7	32.4	0.0	34	3.1
居住歴別	30年以上	73.3	20.0	33.3	46.7	26.7	13.3	20.0	13.3	33.3	33.3	20.0	6.7	26.7	0.0	15	3.7
	20年以上30年未満	50.0	40.0	30.0	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10	2.6
	10年以上20年未満	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0	6	2.8
	5年以上10年未満	22.2	66.7	22.2	0.0	44.4	33.3	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	9	2.9
	5年未満	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	4	4.3
居住区別	千種区	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	3	2.3
	東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
	北区	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	3.0
	西区	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	3	3.3
	中村区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
	中区	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2	3.5
	昭和区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
	瑞穂区	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1	5.0
	熱田区	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	2	6.0
	中川区	50.0	66.7	16.7	16.7	50.0	33.3	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	6	4.2
	港区	20.0	40.0	0.0	20.0	60.0	20.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5	3.0
	南区	50.0	66.7	33.3	50.0	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	6	3.5
	守山区	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	4	2.8
	緑区	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	5	2.6
	名東区	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	4	2.3
	天白区	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	1.5

（単位：%）

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	交通の便が悪い 52.3%	治安が悪い 40.9%	生活に不便 27.3% バリアフリー化の遅れ 27.3%		地震や風水害など災害への備えが不十分であ 25.0%
平成24年度	交通の便が悪い 38.2%	子育て環境に問題がある 34.50%	治安が悪い 32.7%	教育環境に問題がある 27.3% 福祉や医療体制が不十分 27.3%	
平成23年度	交通の便が悪い 45.7%	災害への備えが不十分 30.0% スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない 30.0%		建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 27.1%	治安が悪い 25.7%
平成22年度	交通の便が悪い 42.4%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 32.9%	治安が悪い 27.1%	住環境に問題がある 24.7% 自然環境に問題がある 24.7%	
平成21年度	交通の便が悪い 44.8%	福祉や医療体制が不十分である 38.1%	住環境に問題がある 30.5%	治安が悪い 29.5%	買い物する場所などが近くになく生活に不便 28.6%
平成20年度	交通の便が悪い 40.4%	治安が悪い 32.1%	災害への備えが不十分 29.4% 生活に不便 29.4%		建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 26.6%

【上位５項目の経年比較】

「交通の便が悪い」が毎年第１位となっています。

【性別内比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「買い物する場所などが近くになく生活に不便」、「子育て環境に問題がある」と答えた人は、男性よりも女性の方が、高くなっています。

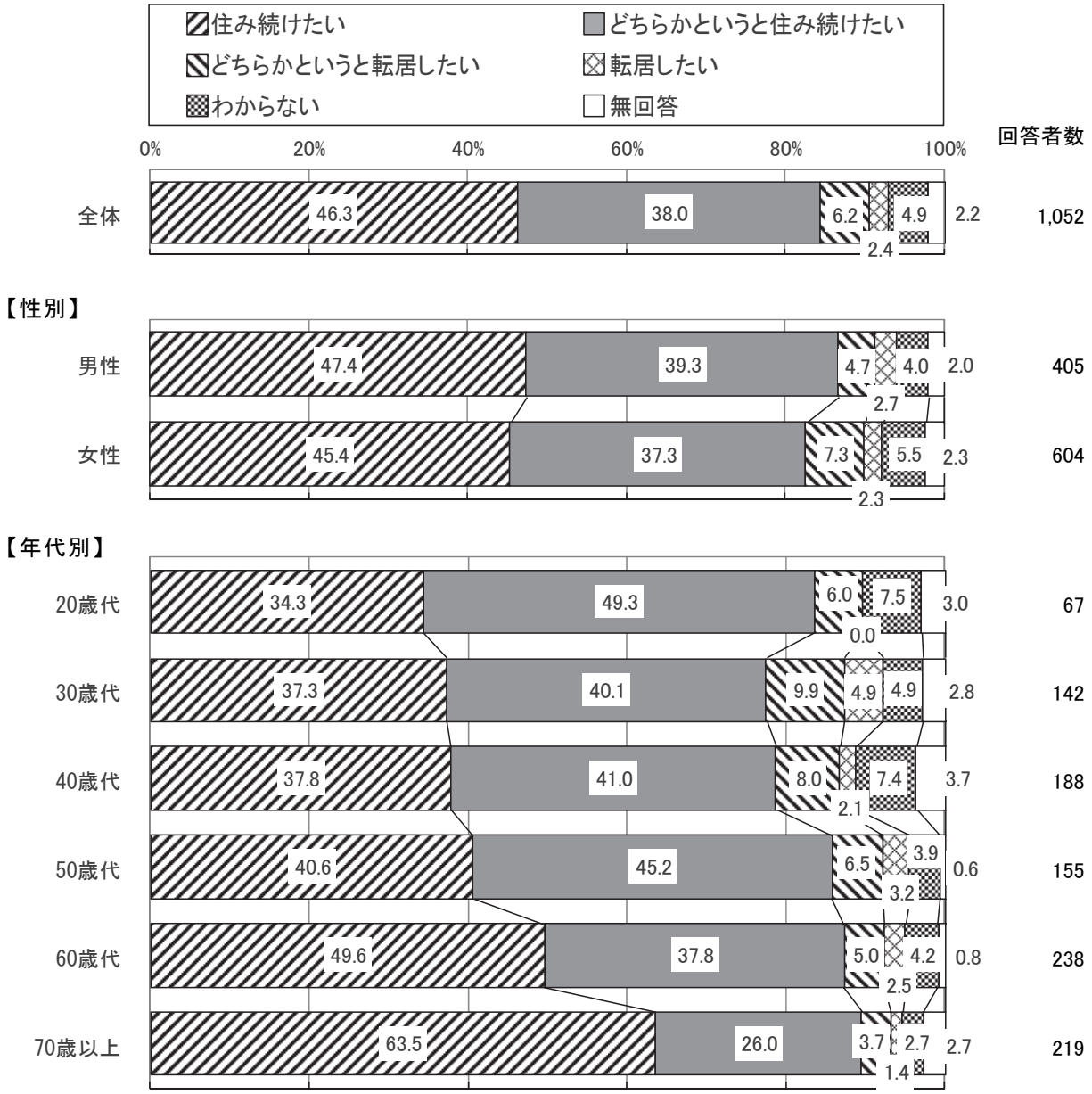
一方、「緑や川などの自然環境に問題がある」と答えた人は、女性よりも男性の方が、高くなっています。

【出生地別内比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人は、名古屋市以外から引っ越してきた人と比べて「交通の便が悪い」、「治安が悪い」と答えた人が高くなっています。

一方、名古屋市以外から引っ越してきた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人と比べて「買い物する場所などが近くになく生活に不便」、「子育て環境に問題がある」と答えた人が高くなっています。

（６）今の地域での居住意向（問６・ＳＡ）



◆　今の地域にずっと住み続けたいかとたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が46.3%、「どちらかというと住み続けたい」と答えた人が 38.0%で、あわせると、今の地域に住み続けたい人は８割以上（84.3%）でした。

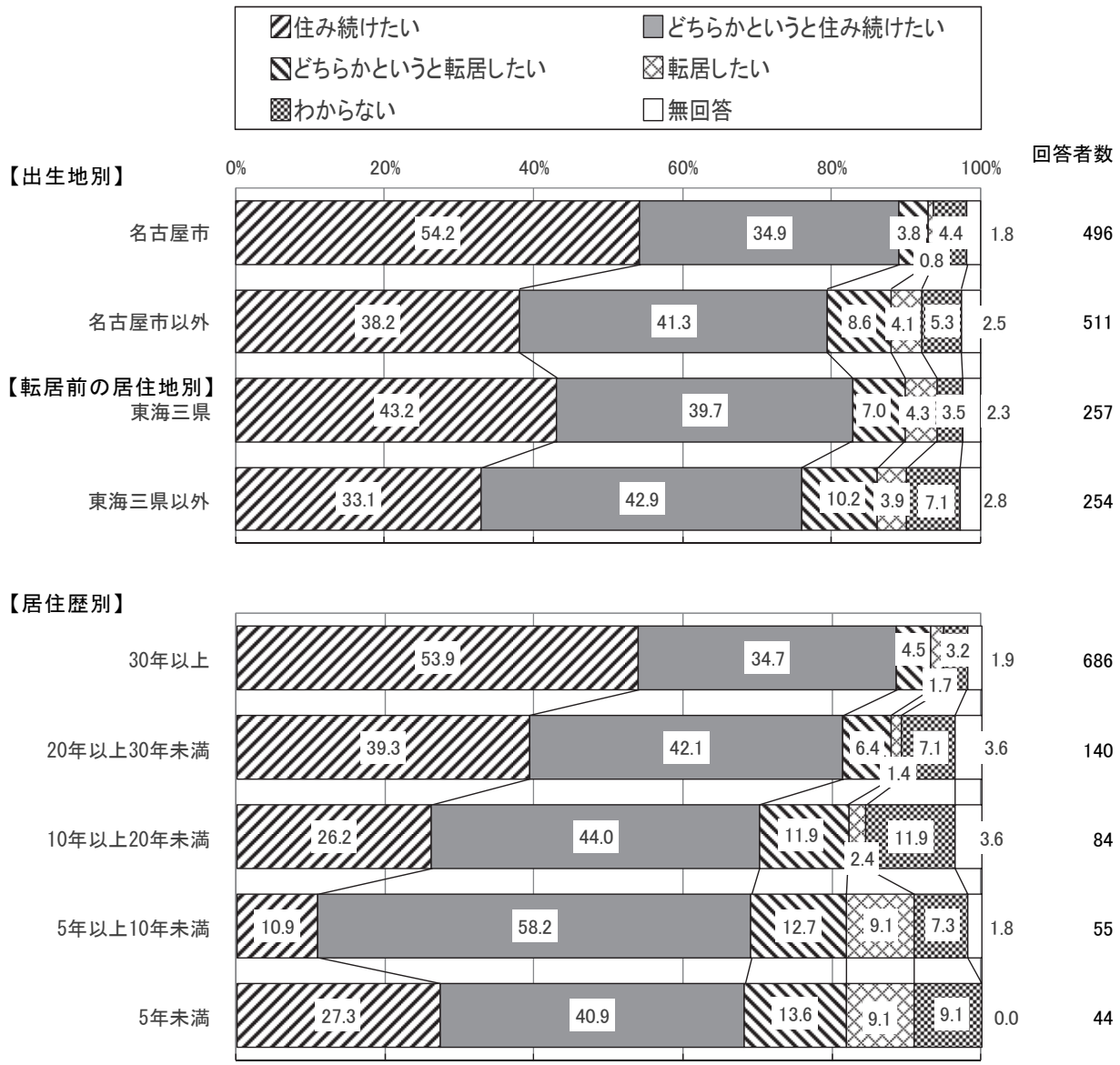
一方、「転居したい」と答えた人が 2.4%、「どちらかというと転居したい」と答えた人が6.2%で、あわせると、転居したいと思う人は約１割（8.6%）でした。

【性別内比較】

大きな差はありません。

【年代別比較】

「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」と答えた人の合計は、30歳代、40歳代で７割台、20歳代、50歳代～70歳以上では８割台となっています。



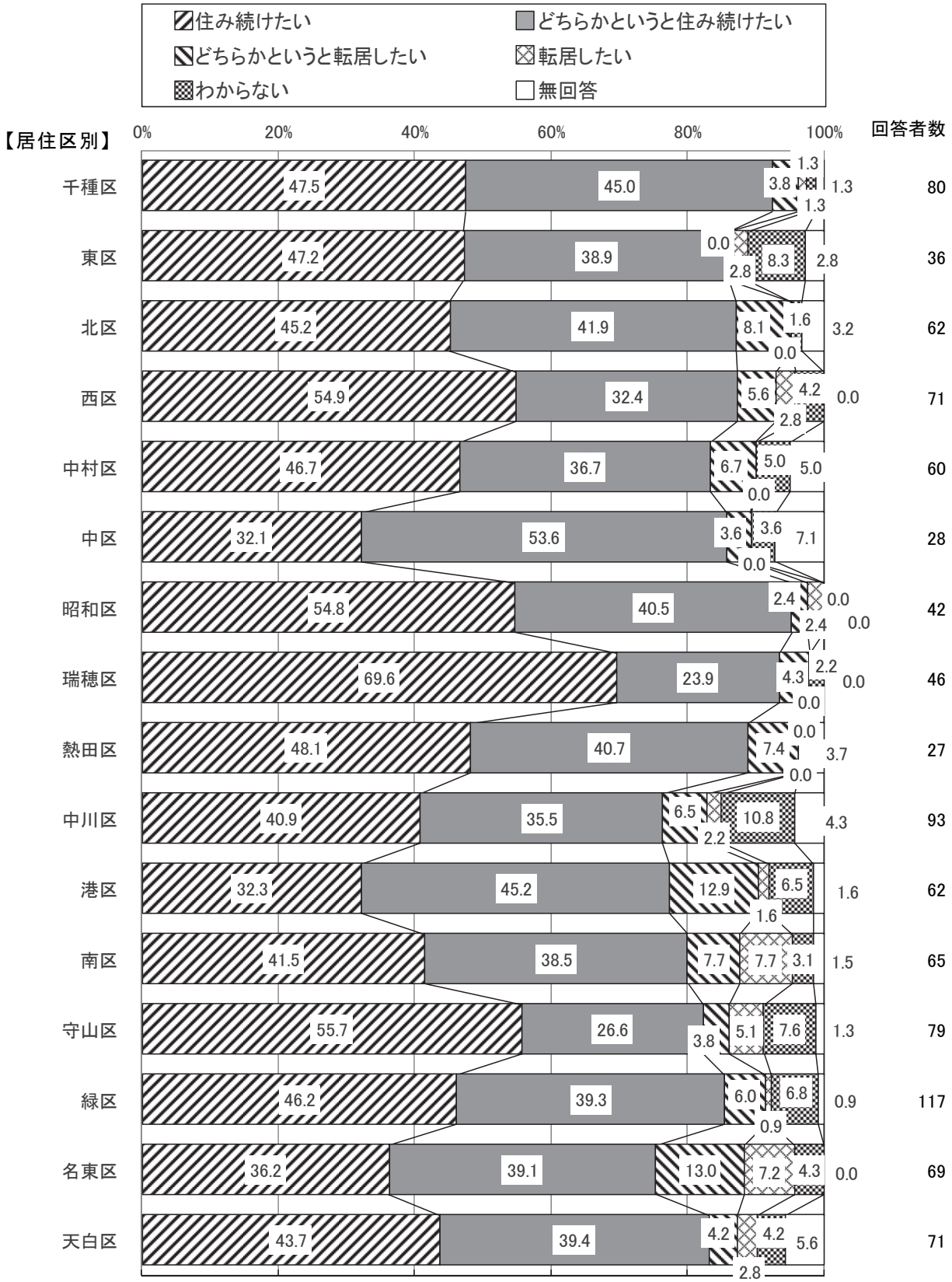
【出生地別内比較】

「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」と答えた人の合計は、名古屋市以外から引っ越してきた人（79.5%）よりも、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（89.1%）の方が、9.6ポイント高くなっています。

さらに、転居前の居住地別内比較では、東海三県以外から（76.0%）よりも、東海三県（愛知・岐阜・三重）から（82.9%）の方が6.9ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」と答えた人の合計は、居住歴が長いほど高い傾向があります。30年以上（88.6%）で最も高く、20年以上30年未満（81.4%）で８割台、10年以上20年未満（70.2%）で７割台、5年以上10年未満（69.1%）5年未満（68.2%）では６割台でした。



【居住区別比較】

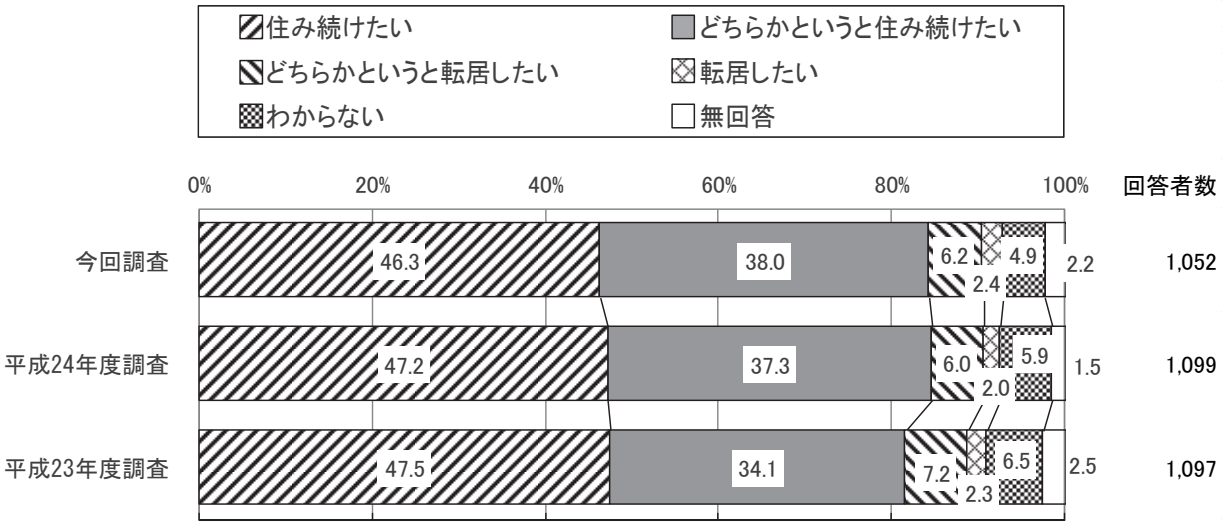
「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」と答えた人の合計は、すべての区で７割以上でした。

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　過去の調査と比較すると、今の地域に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人の合計は、いずれも８割台です。

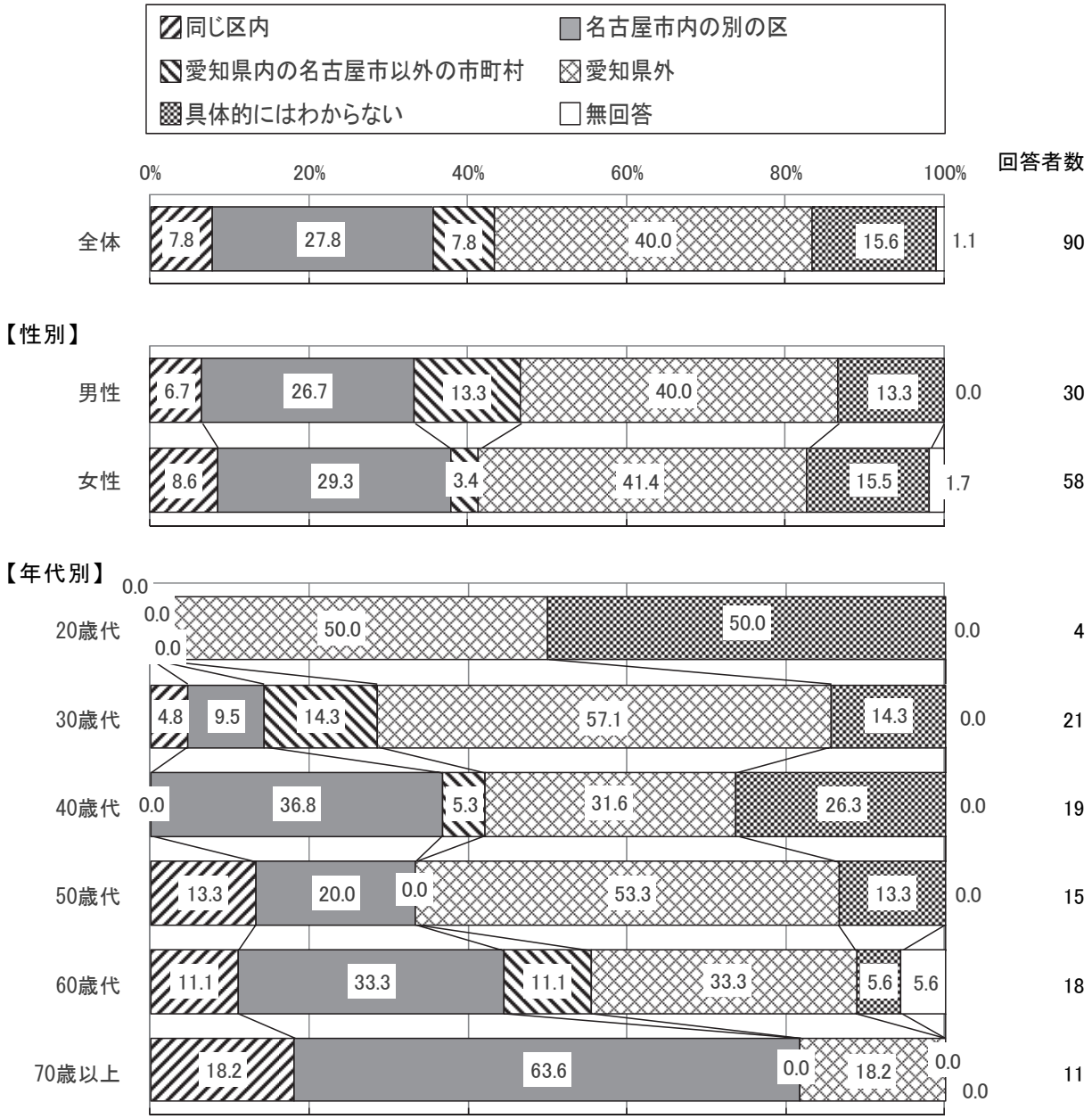
今の地域に住み続けたいか



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（７）転居したい地域（問７・ＳＡ）



◆　今の地域から転居したいと答えた人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」と答えた人が４割（40.0%）で最も高くなっています。

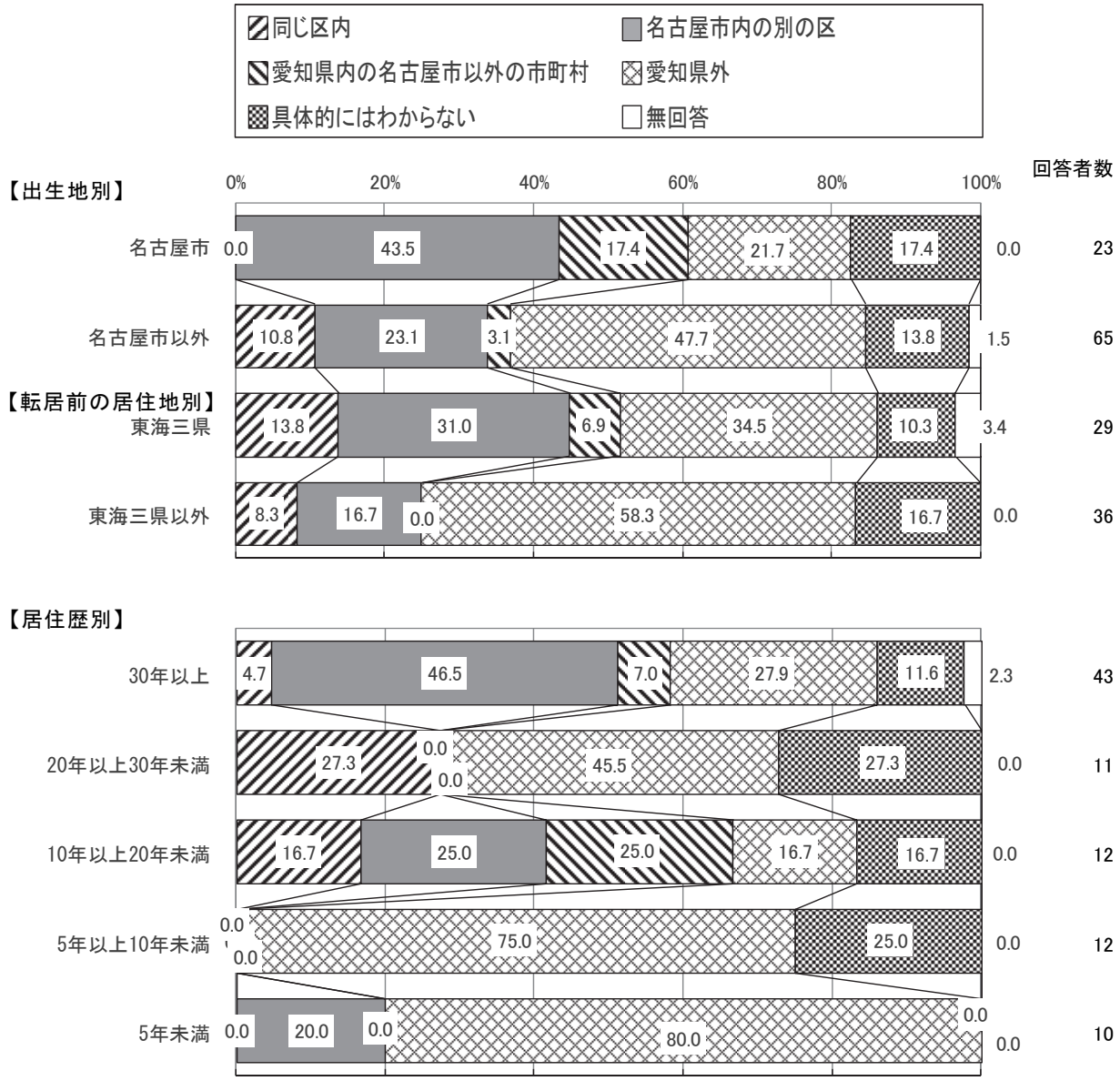
　また、「同じ区内」と答えた人は 7.8%、「名古屋市内の別の区」と答えた人が 27.8%で、あわせると、転居先も名古屋市内にしたいと思う人は３割以上（35.6%）でした。

【性別内比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「愛知県内の名古屋市以外の市町村」と答えた人は、女性（3.4%）よりも男性（13.3%）の方が、9.9ポイント高くなっています。

【年代別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「同じ区内」と「名古屋市内の別の区」と答えた人の合計は、60歳代、70歳以上で高くなっています。また、「愛知県外」と答えた人は20歳代、30歳代、50歳代で高くなっています。



【出生地別内比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「愛知県外」と答えた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人より、名古屋市以外から引っ越してきた人の方が高くなっています。

さらに、転居前の居住地別内比較では、「愛知県外」と答えた人は、東海三県（愛知・岐阜・三重）からよりも、東海三県以外からの方が高くなっています。

【居住歴別比較】

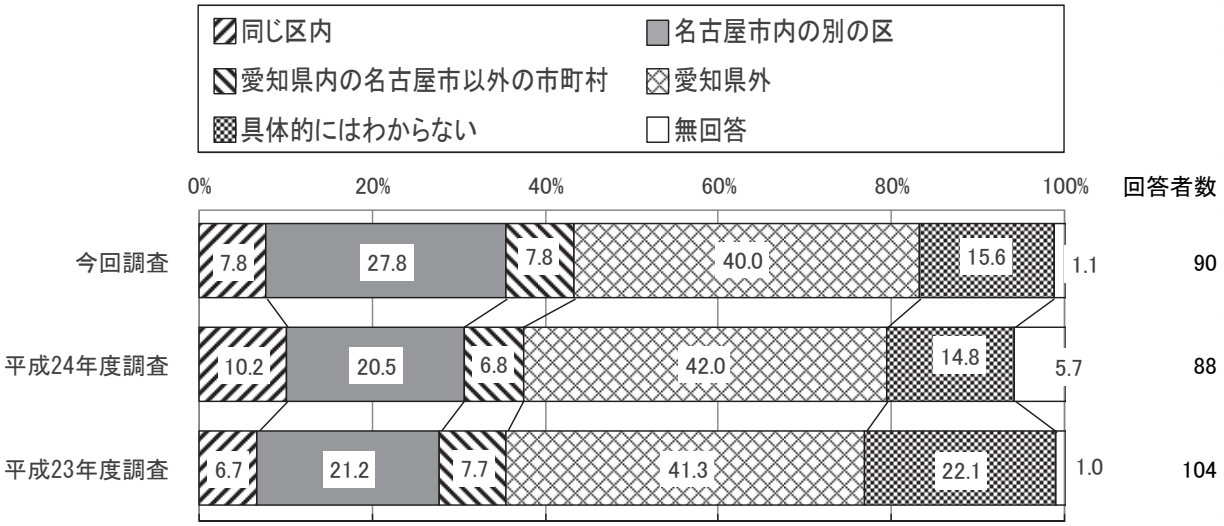
標本数が少ないため比較は難しいですが、「同じ区内」と「名古屋市内の別の区」と答えた人の合計は、10 年以上 20 年未満、30 年以上で高くなっています。

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　標本数が少ないため比較は難しいですが、過去の調査と比較すると、「名古屋市内の別の区」と答えた人が増加しています。

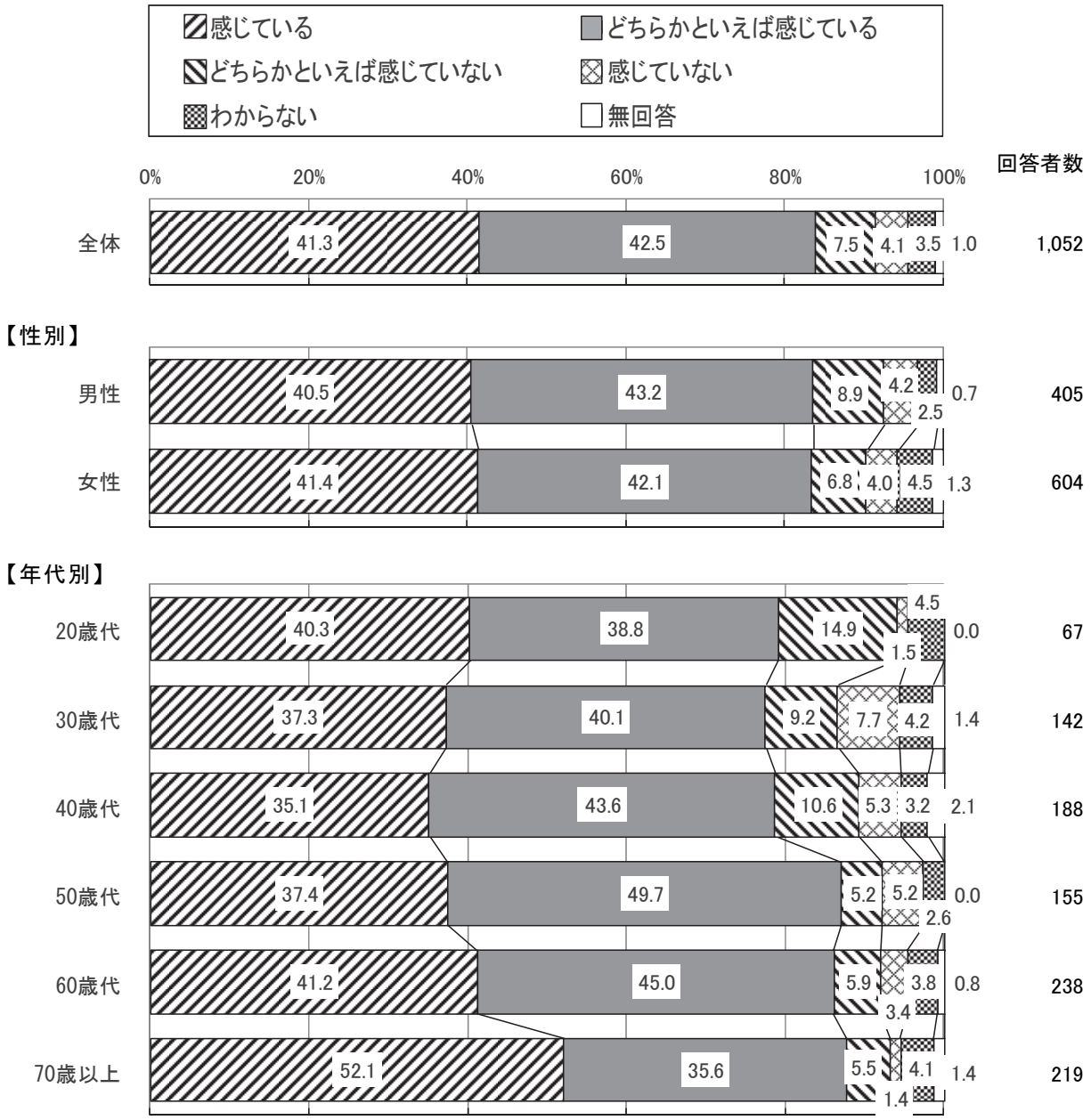
転居したい地域



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. 4 参照

（８）名古屋への愛着度（問８・ＳＡ）



◆　名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人が41.3%、「どちらかといえば感じている」と答えた人が42.5%で、あわせると、名古屋への愛着を感じている人は８割以上（83.8%）でした。

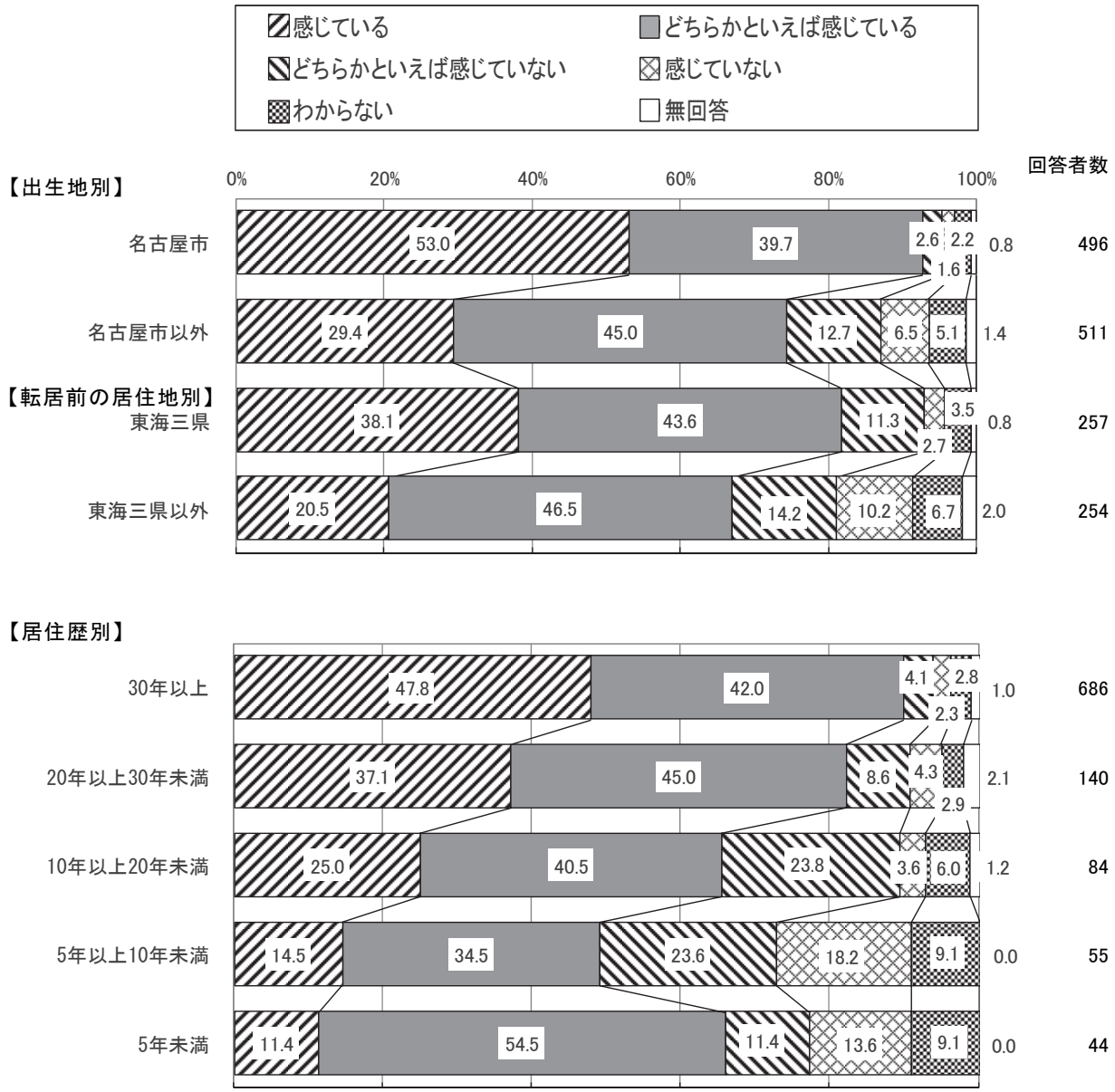
一方、「感じていない」と答えた人が4.1%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人が7.5%で、あわせると、名古屋への愛着を感じていない人は約１割（11.6%）でした。

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、50 歳代（87.1%）、60 歳代（86.2%）、70 歳以上（87.7%）で８割台、20 歳代（79.1%）、30 歳代（77.4%）、40 歳代（78.7%）で７割台でした。



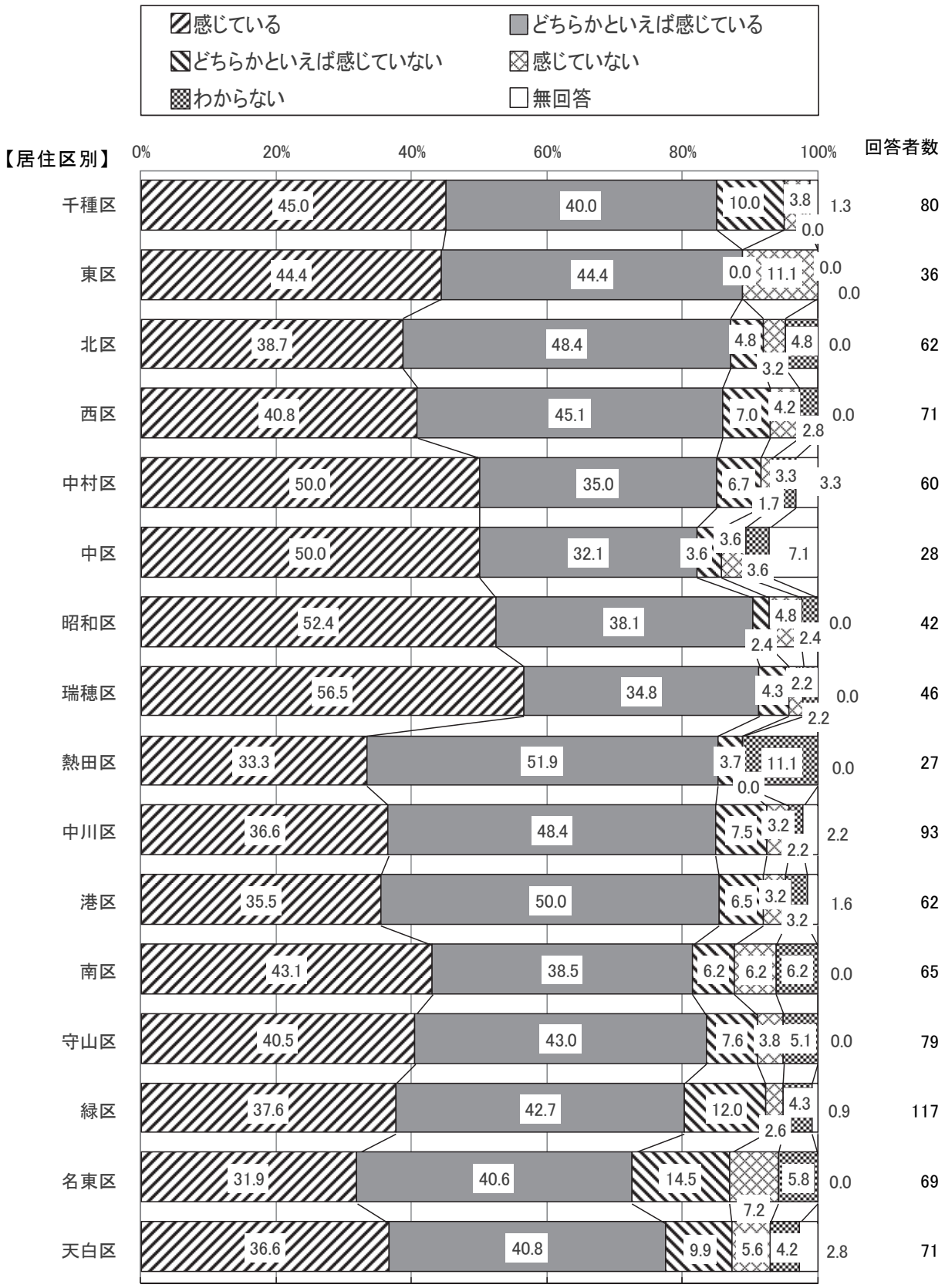
【出生地別内比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、名古屋市以外から引っ越してきた人（74.4%）よりも、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（92.7%）の方が、18.3 ポイント高くなっています。

さらに、転居前の居住地別内比較では、東海三県以外から（67.0%）よりも、東海三県（愛知・岐阜・三重）から（81.7%）の方が、14.7 ポイント高くなっています。

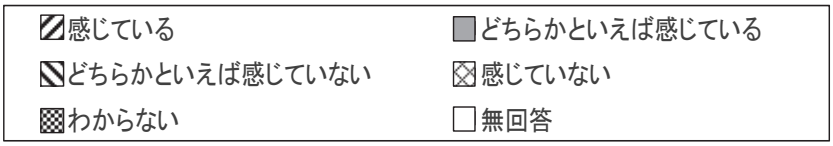
【居住歴別比較】

愛着を「感じている」と答えた人は、居住歴が長いほど高くなっています。

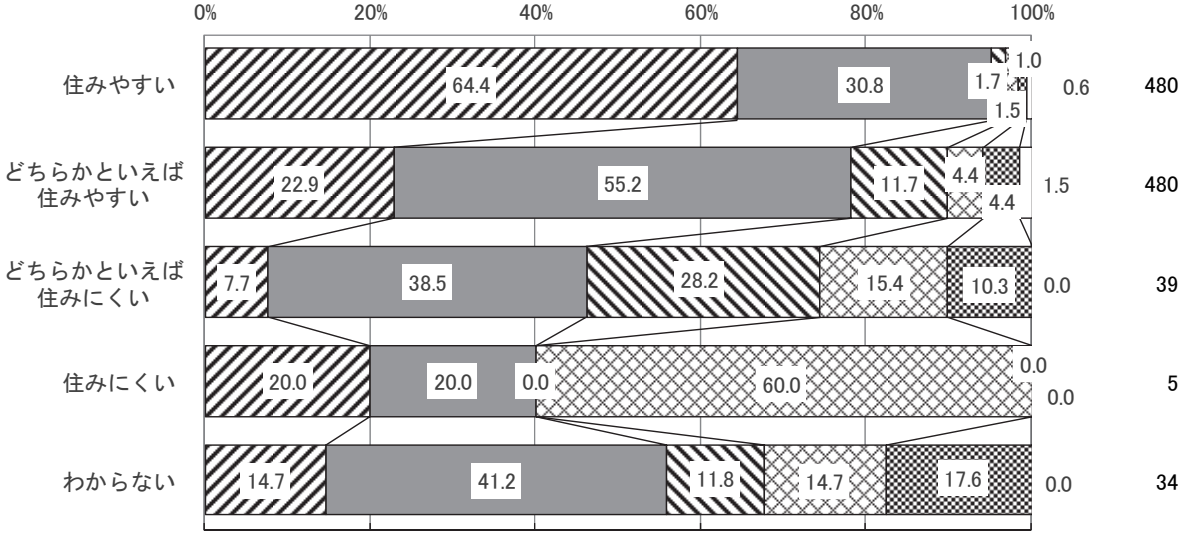


【居住区別比較】

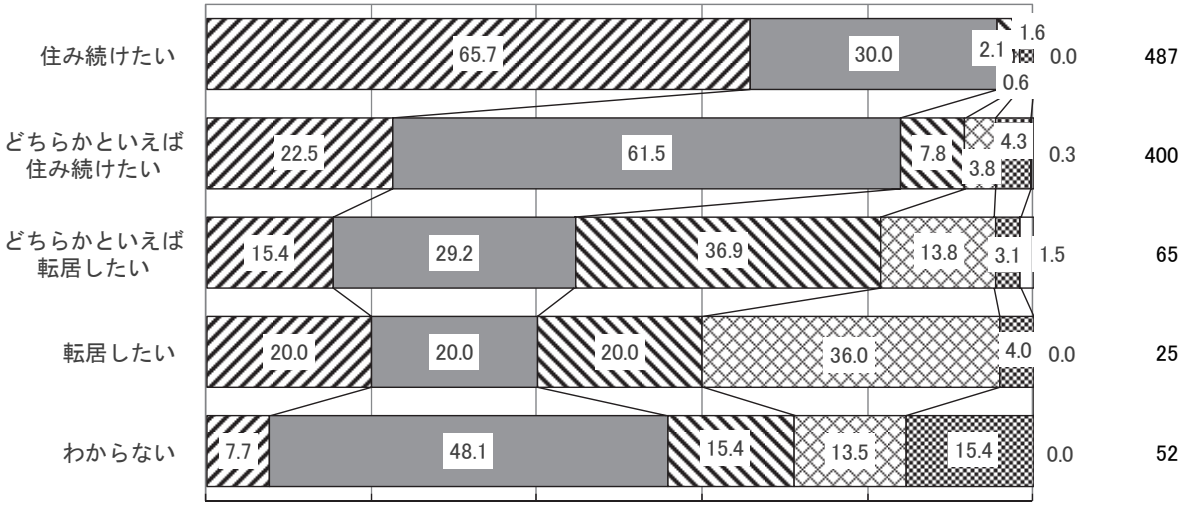
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、すべての区において７割以上でした。



【名古屋の住みやすさ別】



【今の地域での居住意向別】



【「問３　名古屋の住みやすさ」*別比較】

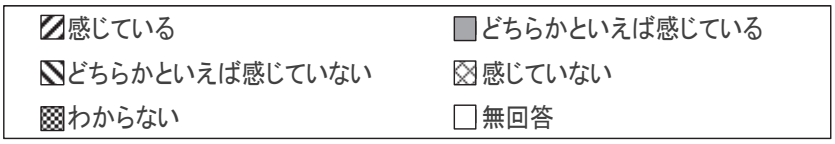
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、名古屋は住みやすいと思う人（95.2%）で９割台、どちらかといえば住みやすいと思う人（78.1%）で７割台でした。

＊「問３　名古屋の住みやすさ」についてはP.19 参照

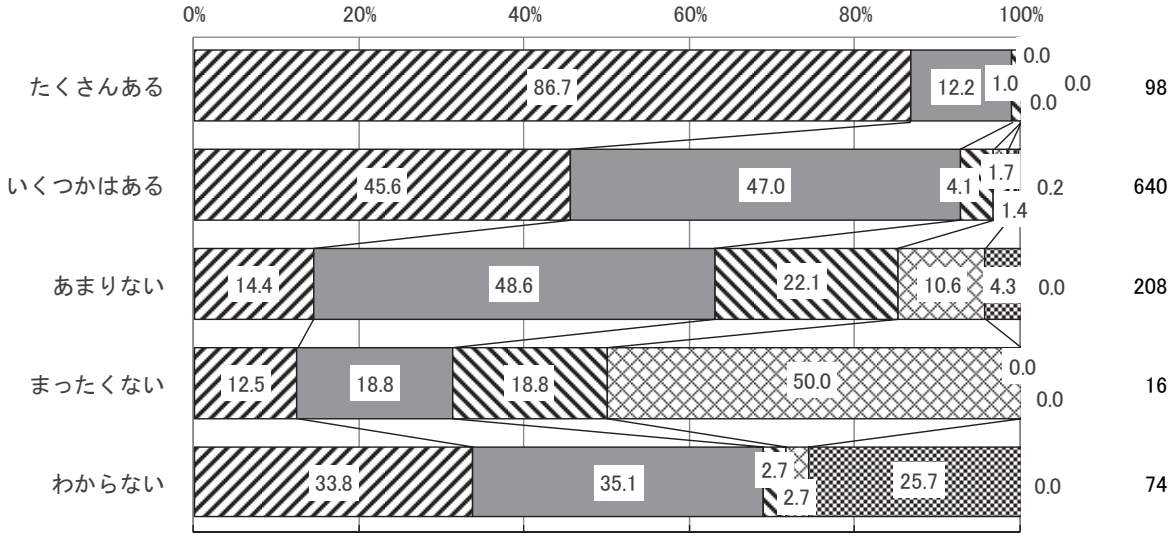
【「問６　今の地域での居住意向」*別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、今の地域にずっと住み続けたい人（95.7%）で９割台、どちらかといえば住み続けたい人（84.0%）で８割台、どちらかといえば転居したい人（44.6%）で４割台でした。

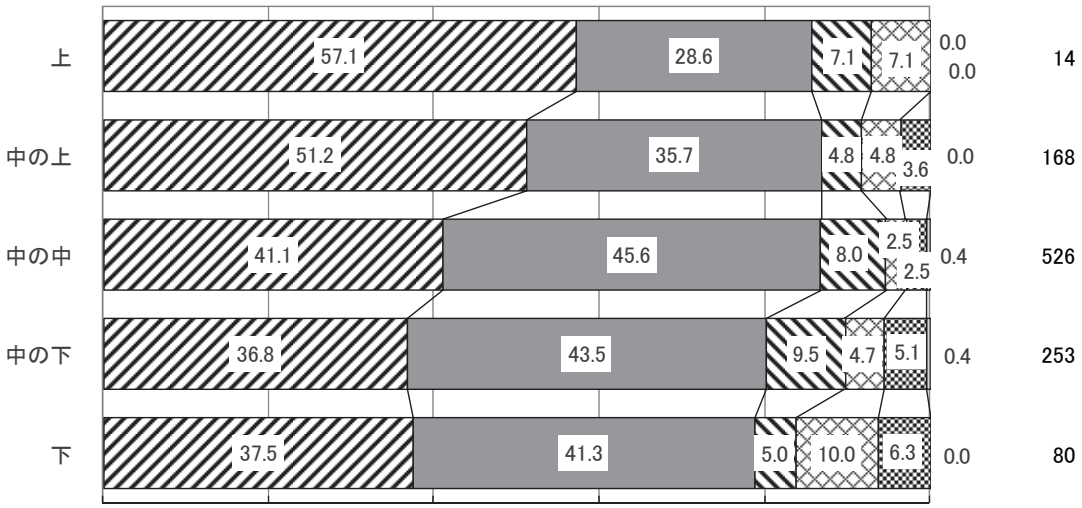
＊「問６　今の地域での居住意向」についてはP.32 参照



【名古屋の自慢できること別】



【家庭の生活の程度別】



【「問９　名古屋の自慢できること」*別比較】

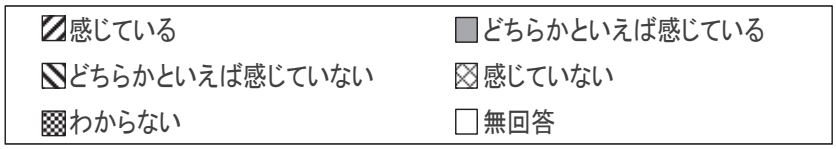
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、名古屋の自慢できることがたくさんある人（98.9%）、いくつかはある人（92.6%）でそれぞれ９割台、あまりない人（63.0%）で６割台でした。

＊「問９　名古屋の自慢できること」についてはP.46参照

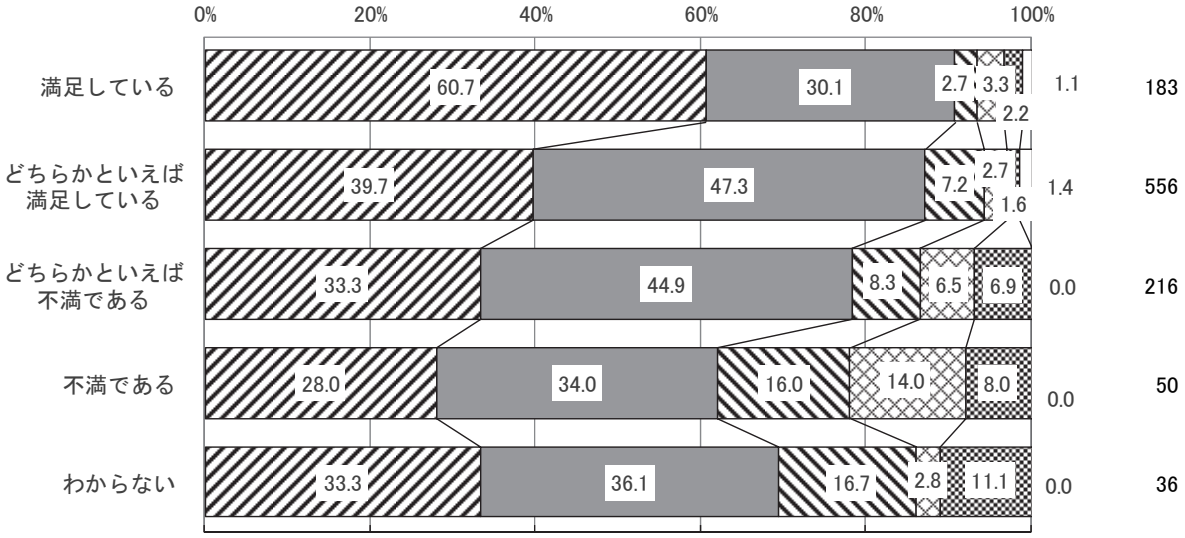
【「問 11　家庭の生活の程度」*別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、家庭の生活の程度が上だと思う人（85.7%）、中の上だと思う人（86.9%）、中の中だと思う人（86.7%）、中の下だと思う人（80.3%）で８割台、下と思う人（78.8%）で７割台でした。

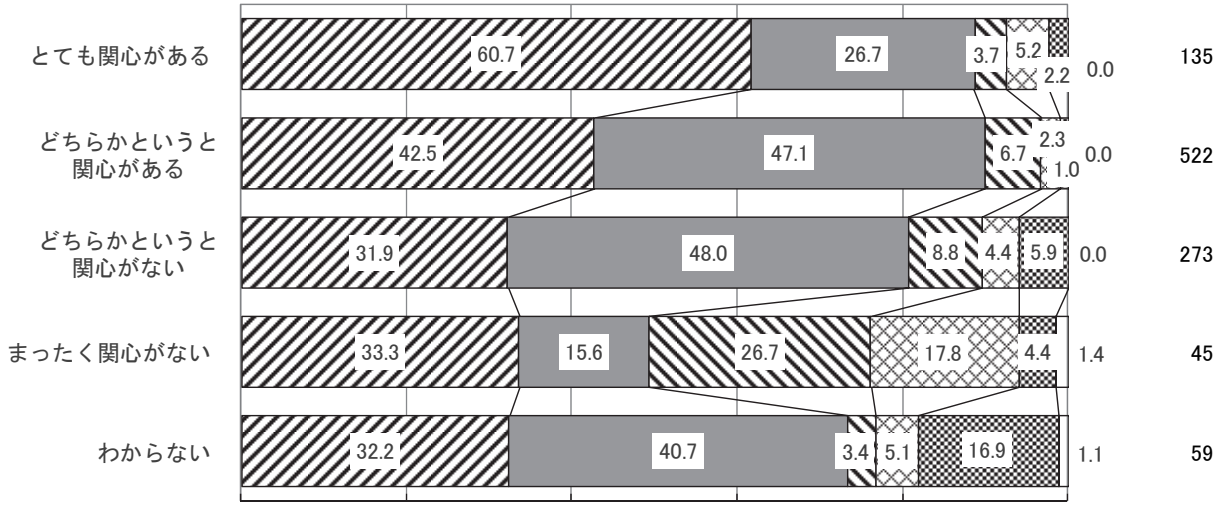
＊「問 11　家庭の生活の程度」についてはP.53参照



【生活の満足度別】



【市政への関心別】



【「問 13　生活の満足度」*別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、生活に満足している人（90.8%）では９割台、どちらかといえば満足している人（87.0%）で８割台、どちらかといえば不満である人（78.2%）で７割台、不満である人（62.0%）は６割台でした。

＊「問 13　生活の満足度」については P.57 参照

【「問 16　市政への関心」*別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、市政にとても関心がある人（87.4%）、どちらかというと関心がある人（89.6%）ではそれぞれ８割台、どちらかというと関心がない人（79.9%）で７割台、まったく関心がない人（48.9%）は４割台でした。

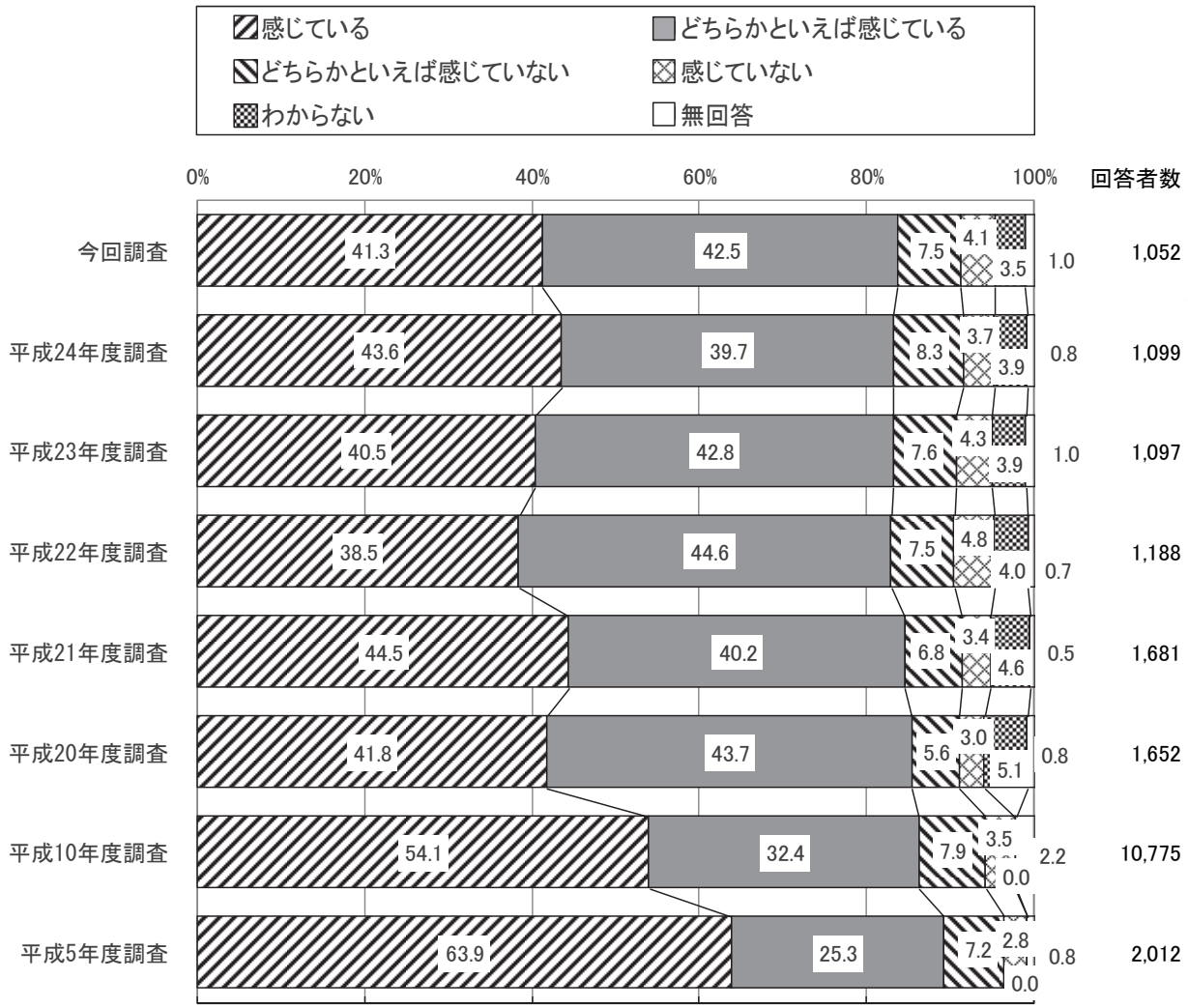
＊「問 16　市政への関心」については P.65 参照

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、過去の調査と比較すると、「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人の合計は、いずれの年度の調査においても８割台です。

名古屋への愛着度



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成５年度）

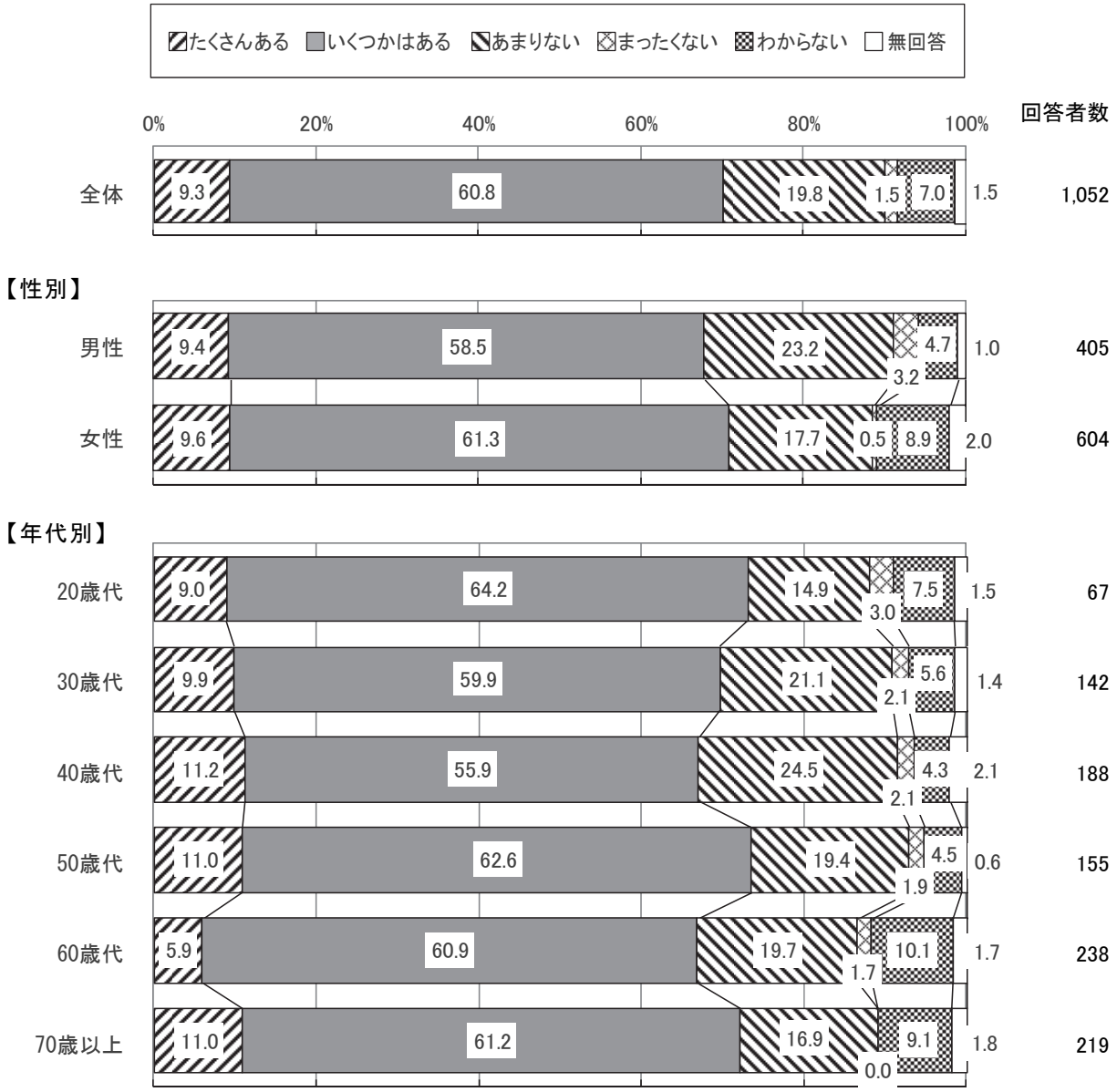
名古屋市「市民２万人アンケート」（平成 10 年度）

名古屋市「市政世論調査」

（平成 20 年度、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（９）名古屋の自慢できること（問９・ＳＡ）



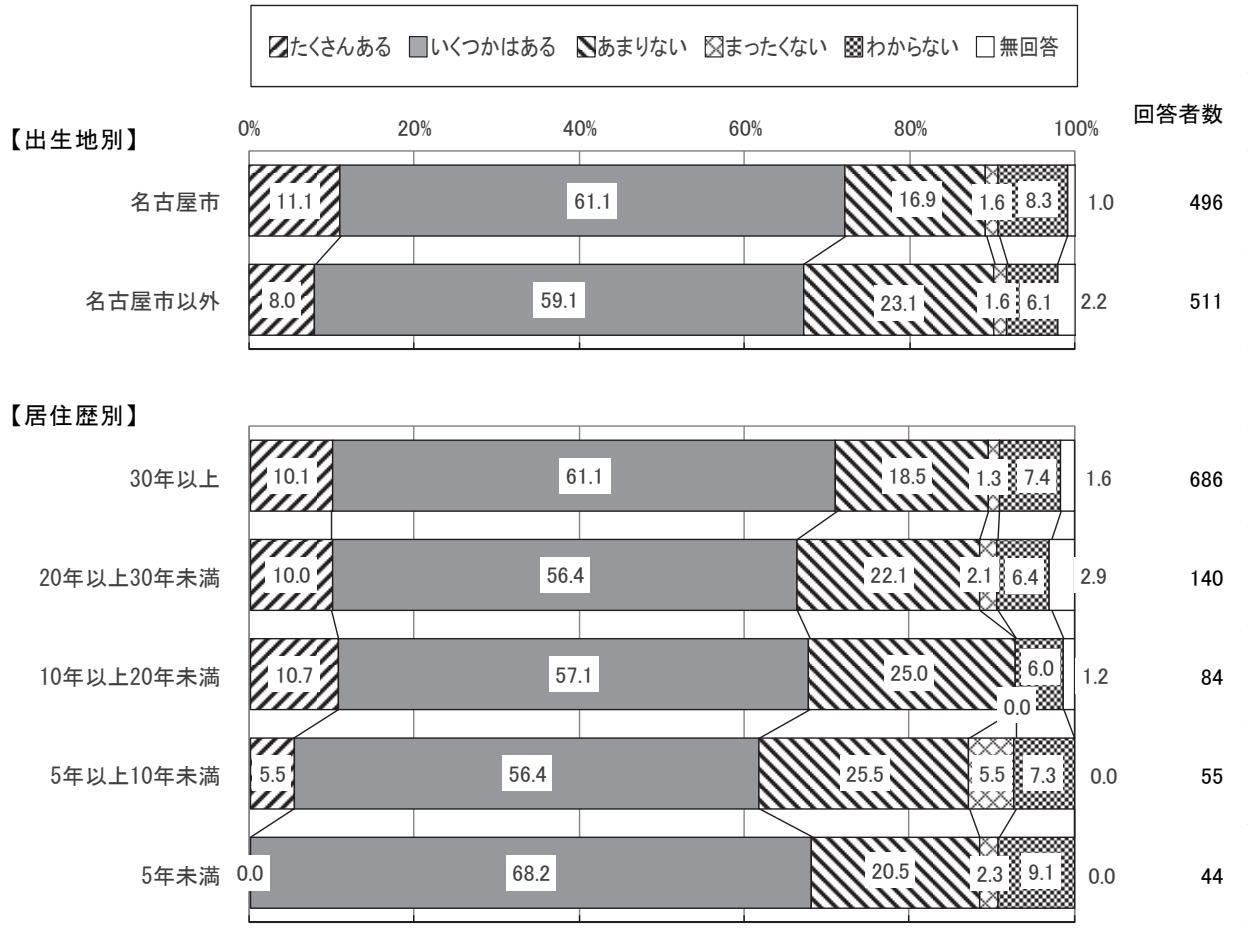
◆　よそのまちと比べて名古屋を自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人が 9.3%、「いくつかはある」と答えた人が 60.8%で、あわせると、名古屋を自慢できることがある人は約７割（70.1%）でした。

【性別内比較】

「あまりない」と「まったくない」と答えた人の合計は、女性（18.2%）よりも男性（26.4%）の方が、8.2 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

大きな差はみられません。



【出生地別内比較】

「たくさんある」と「いくつかある」と答えた人の合計は、名古屋市外から引っ越してきた人（67.1%）よりも、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（72.2%）の方が、5.1 ポイント高くなっています。

一方、「まったくない」と「あまりない」と答えた人の合計は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（18.5%）よりも、名古屋市外から引っ越してきた人（24.7%）の方が、6.2 ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

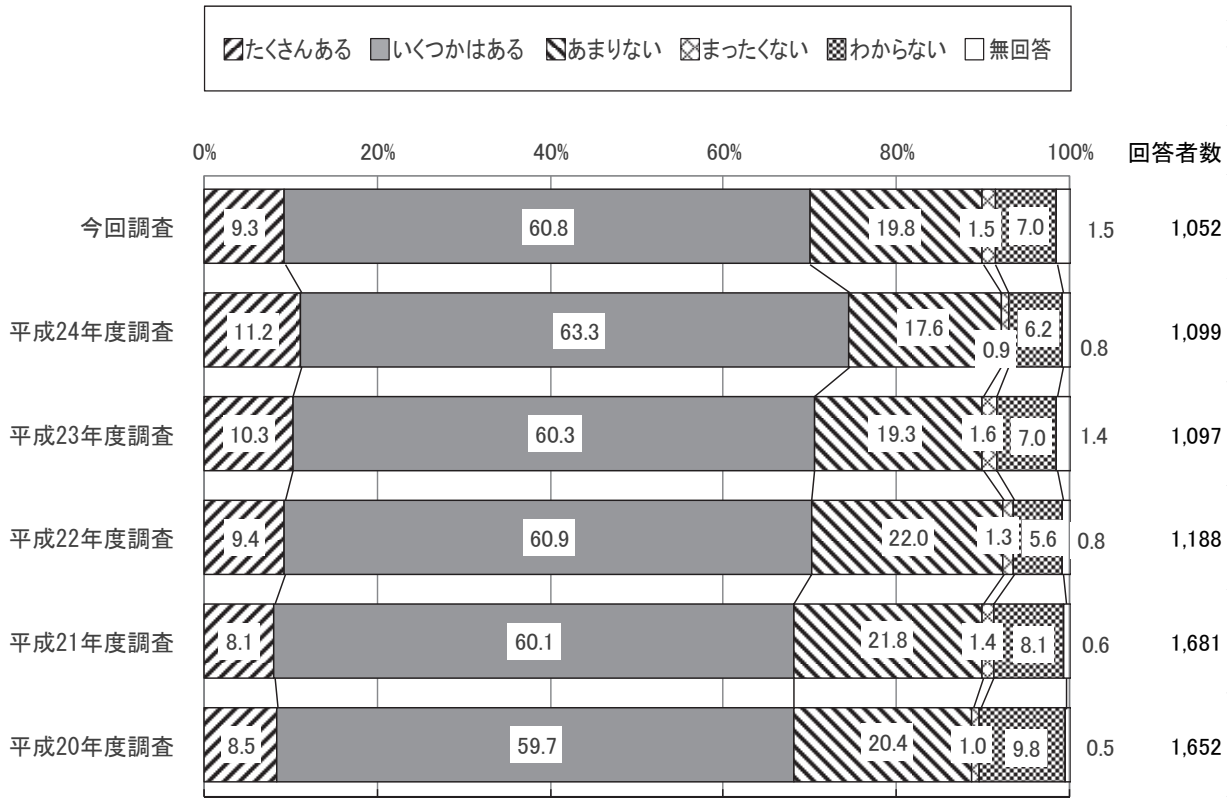
「たくさんある」と「いくつかはある」答えた人の合計は、30 年以上（71.2%）で７割台、20 年以上 30 年未満（66.4%）、10 年以上 20 年未満（67.8%）、5 年以上 10 年未満（61.9%）、5 年未満（68.2%）で６割台でした。

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、過去の調査と比較すると、名古屋の自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人の合計は、平成 20 年度、21 年度で６割台、平成 22 年度以降は７割台となっています。

名古屋の自慢できること

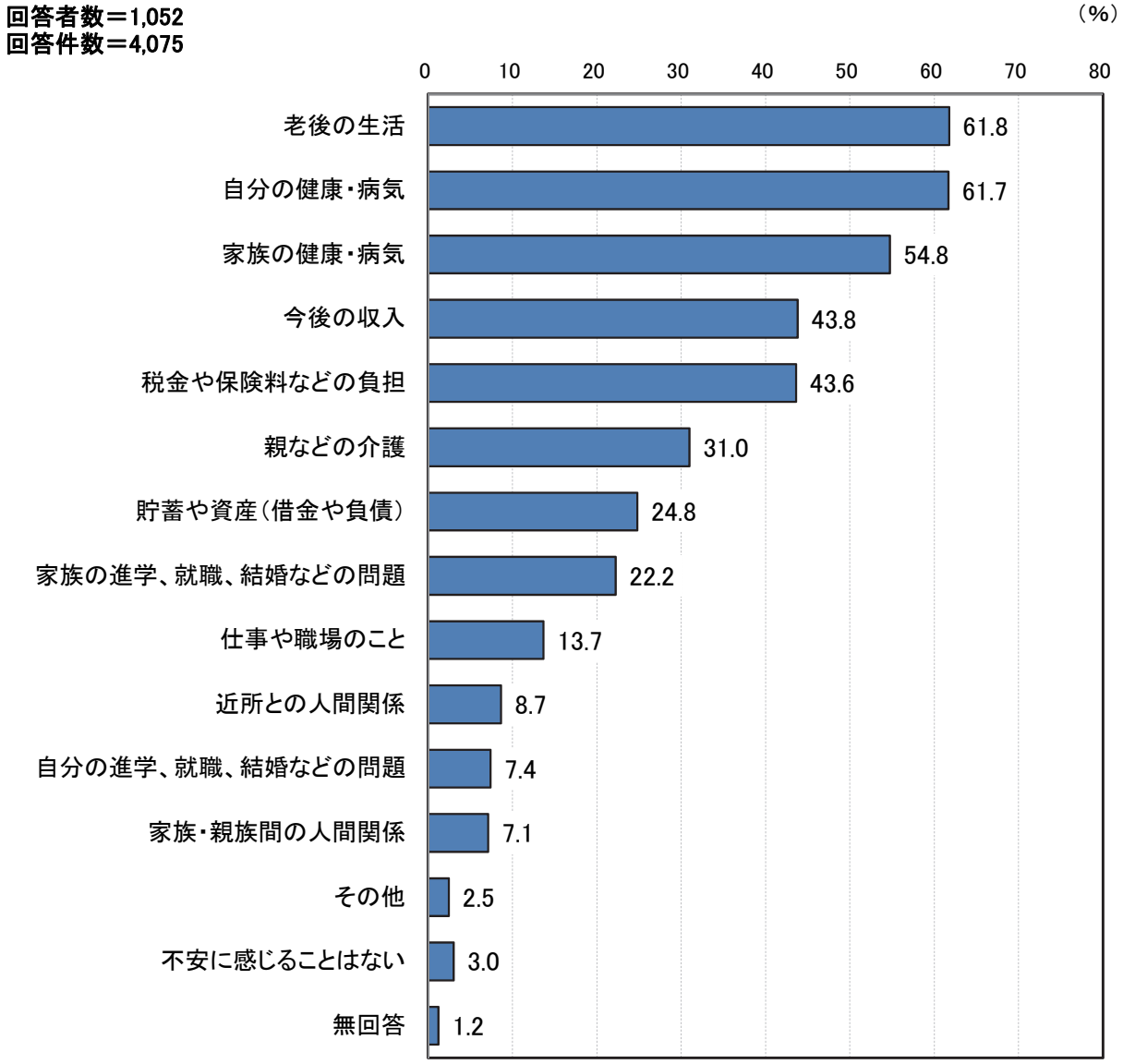


資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成 20 年度、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（10）今後の生活で不安に感じること（問 10・ＭＡ）



◆　今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「老後の生活」（61.8%）、「自分の健康・病気」（61.7%）がそれぞれ６割台で高く、これらに次いで、「家族の健康・病気」（54.8%）が５割台、「今後の収入」（43.8%）、「税金や保険料などの負担」（43.6%）がそれぞれ４割台と高くなっています。

		老後の生活	自分の健康・病気	家族の健康・病気	今後の収入	税金や保険料などの負担	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	家族の進学、就職、結婚などの問題	仕事や職場のこと	近所との人間関係	自分の進学、就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		61.8	61.7	54.8	43.8	43.6	31.0	24.8	22.2	13.7	8.7	7.4	7.1	2.5	3.0	1.2	1,052	3.9
性別	男性	58.3	60.5	52.3	46.4	42.5	29.6	28.1	20.0	19.3	8.4	8.6	7.2	2.5	3.5	1.5	405	3.9
	女性	63.7	62.9	57.5	41.6	43.9	31.6	22.7	23.8	9.9	8.3	6.5	6.8	2.3	2.5	1.2	604	3.8
年代別	20歳代	25.4	25.4	44.8	55.2	44.8	29.9	31.3	7.5	29.9	7.5	50.7	7.5	3.0	3.0	0.0	67	3.7
	30歳代	54.2	51.4	55.6	52.8	52.1	56.3	40.1	24.6	25.4	12.0	15.5	11.3	4.9	1.4	1.4	142	4.6
	40歳代	67.0	54.3	55.3	52.1	48.9	50.5	37.8	38.3	25.0	8.5	7.4	9.0	2.7	1.6	1.6	188	4.6
	50歳代	74.2	66.5	60.0	53.5	46.5	47.7	25.2	29.7	12.9	8.4	1.3	5.2	1.9	1.9	0.6	155	4.3
	60歳代	67.6	67.6	57.1	34.0	41.6	13.0	16.8	16.0	5.0	5.9	0.4	4.2	0.8	3.8	0.4	238	3.3
	70歳以上	57.1	76.7	52.5	28.8	31.1	4.6	10.0	12.8	0.9	8.7	0.0	6.4	2.3	5.0	2.7	219	3.0

（単位：%）

【性別内比較】

「老後の生活」と答えた人は、男性（58.3%）よりも女性（63.7%）の方が、5.4 ポイント高くなっています。また、「家族の健康・病気」と答えた人も、男性（52.3%）よりも女性（57.5%）の方が、5.2 ポイント高くなっています。

一方、「仕事や職場のこと」と答えた人は、女性（9.9%）よりも男性（19.3%）の方が、9.4 ポイント高くなっています。また、「貯蓄や資産（借金や負債）」と答えた人も、女性（22.7%）よりも男性（28.1%）の方が、5.4 ポイント高くなっています

【年代別比較】

「老後の生活」と答えた人は 40 歳代～60 歳代で高くなっています。「自分の健康・病気」と答えた人は 60 歳代、70 歳以上で高くなっています。「今後の収入」と答えた人は、20 歳代～50 歳代、「税金や保険料などの負担」と答えた人は、30 歳代、40 歳代、「親などの介護」と答えた人は、30 歳代～50 歳代で、それぞれ高くなっています。また、「貯蓄や資産（借金や負債）」と答えた人は、20 歳代～40 歳代で高くなっています。

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	老後の生活 61.8%	自分の健康・病気 61.7%	家族の健康・病気 54.8%	今後の収入 43.8%	税金や保険料などの負担 43.6%
平成24年度	老後の生活 66.3%	自分の健康・病気 64.4%	家族の健康・病気 60.7%	税金や保険料などの負担 48.8%	今後の収入 45.4%
平成23年度	老後の生活 65.3%	自分の健康・病気 61.6%	家族の健康・病気 58.5%	税金や保険料などの負担 52.7%	今後の収入 52.1%
平成22年度	自分の健康・病気 67.5%	老後の生活 64.7%	家族の健康・病気 62.2%	今後の収入 51.6%	税金や保険料などの負担 48.7%
平成21年度	自分の健康・病気 66.9%	老後の生活 65.9%	家族の健康・病気 64.5%	税金や保険料などの負担 49.6%	今後の収入 48.4%
平成20年度	自分の健康・病気 67.1%	家族の健康・病気 65.3%	老後の生活 63.9%	税金や保険料などの負担 47.6%	今後の収入 47.3%

【上位５項目の経年比較】

上位５項目の項目内容に変化はありません。平成23年度以降では、「老後の生活」が第１位、「自分の健康・病気」が第２位、「家族の健康・病気」が第３位となっています。前回と比較すると、第４位と第５位が入れ替わっています。

＜参考＞

【国の調査及び過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、国（内閣府）の調査（平成 25 年度）と名古屋市が過去に実施した調査と比較すると、今回の調査は、「自分の健康・病気」、「家族の健康・病気」といった健康・病気に関する不安が国の調査より 10 ポイント程度上回っています。

健康や病気に関する項目の割合は、名古屋市の今回及び過去５回の調査のいずれも、国より高い結果となっています。

今後の生活で不安に感じること

（単位＝%）

		自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	税金や保険料などの負担	今後の収入	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）
国	（平成25年度）	52.4	43.2	55.3	－	40.0	－	32.2
名古屋市	（平成25年度）	61.7	54.8	61.8	43.6	43.8	31.0	24.8
	（平成24年度）	64.4	60.7	66.3	48.8	45.4	33.5	25.3
	（平成23年度）	61.6	58.5	65.3	52.7	52.1	31.4	27.3
	（平成22年度）	67.5	62.2	64.7	48.7	51.6	37.2	27.0
	（平成21年度）	66.9	64.5	65.9	49.6	48.4	29.5	23.1
	（平成20年度）	67.1	65.3	63.9	47.4	47.3	30.9	26.2

		家族の進学、就職結婚などの問題	仕事や職場のこと	勤務先での仕事や人間関係について	事業や家業の経営上の問題について	近所との人間関係	家族・親族間の人間関係	自分の進学、就職結婚などの問題
国	（平成25年度）	27.7	－	12.2	7.5	7.2	11.7	16.6
名古屋市	（平成25年度）	22.2	13.7	－	－	8.7	7.1	7.4
	（平成24年度）	23.8	13.2	－	－	11.6	8.7	8.0
	（平成23年度）	20.1	14.9	－	－	10.0	9.4	9.0
	（平成22年度）	22.8	15.9	－	－	11.6	10.9	9.0
	（平成21年度）	21.6	13.2	－	－	9.6	9.1	6.4
	（平成20年度）	20.2	14.3	－	－	9.3	9.3	7.9

		その他	不安の感じることはない	わからない	無回答	件数
国	（平成25年度）	0.9	－	0.3	－	4,015
名古屋市	（平成25年度）	2.5	3.0	－	1.2	1,052
	（平成24年度）	1.9	1.5	－	1.1	1,099
	（平成23年度）	2.9	1.9	－	0.8	1,097
	（平成22年度）	2.7	1.3	－	0.5	1,188
	（平成21年度）	2.3	2.1	－	0.4	1,681
	（平成20年度）	2.1	2.1	－	0.7	1,652

注：－は、調査をしていない項目

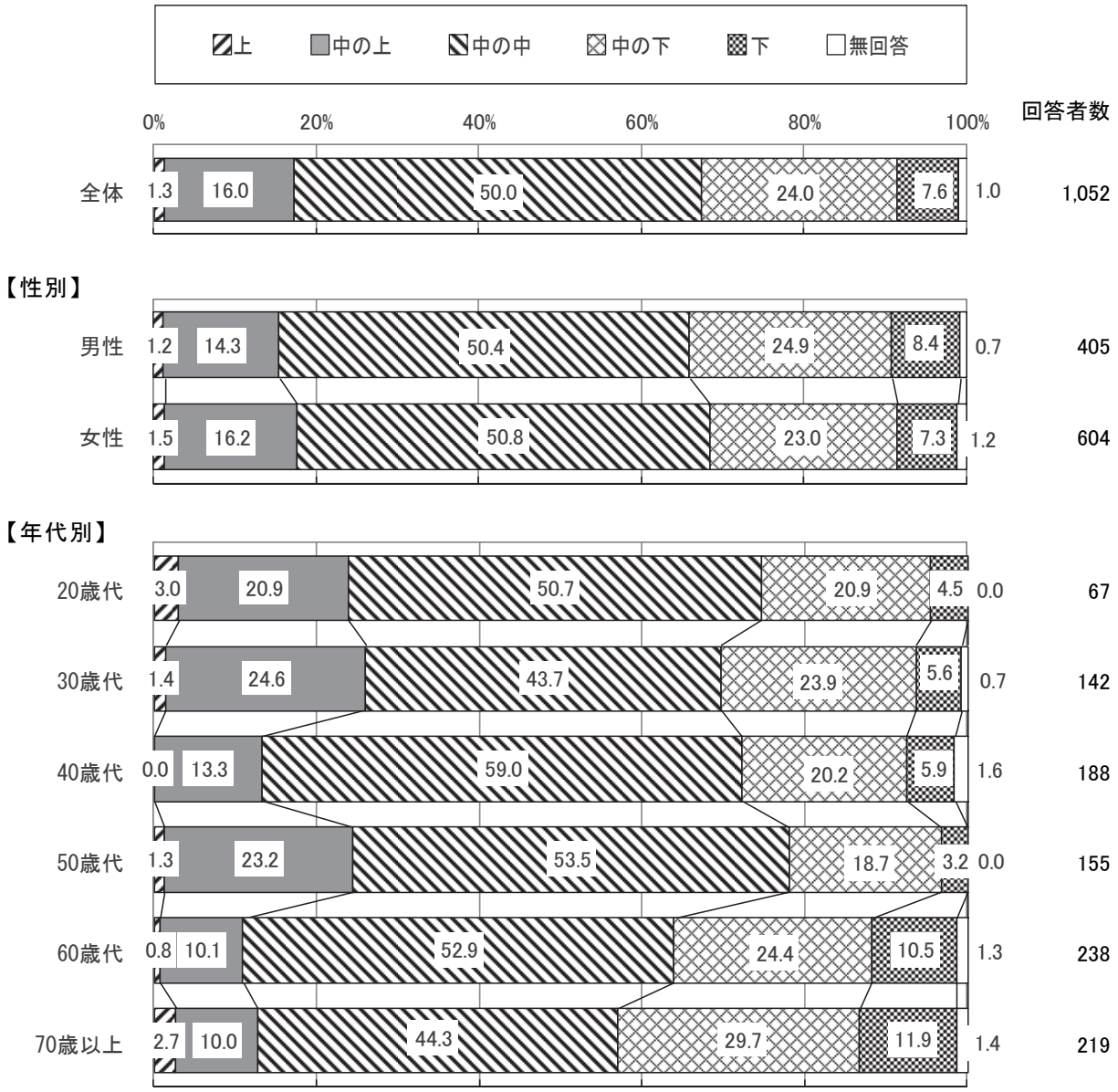
資料：国（内閣府）「国民生活に関する世論調査」（平成 25 年 6 月）

名古屋市「市政世論調査」

（平成20年度、平成21年度、平成22年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（11）家庭の生活の程度（問 11・ＳＡ）



◆　家庭の生活の程度についてたずねたところ、「中の中」と答えた人が５割（50.0%）で最も高く、次いで「中の下」と答えた人が 24.0%、「中の上」と答えた人が 16.0%、「下」と答えた人が 7.6%と続いています。

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

「中の上」と答えた人は、20 歳代、30 歳代、50 歳代で高くなっています。また、「中の中」と答えた人は、40 歳代で、「中の下」、「下」と答えた人は、70 歳以上で高くなっています。

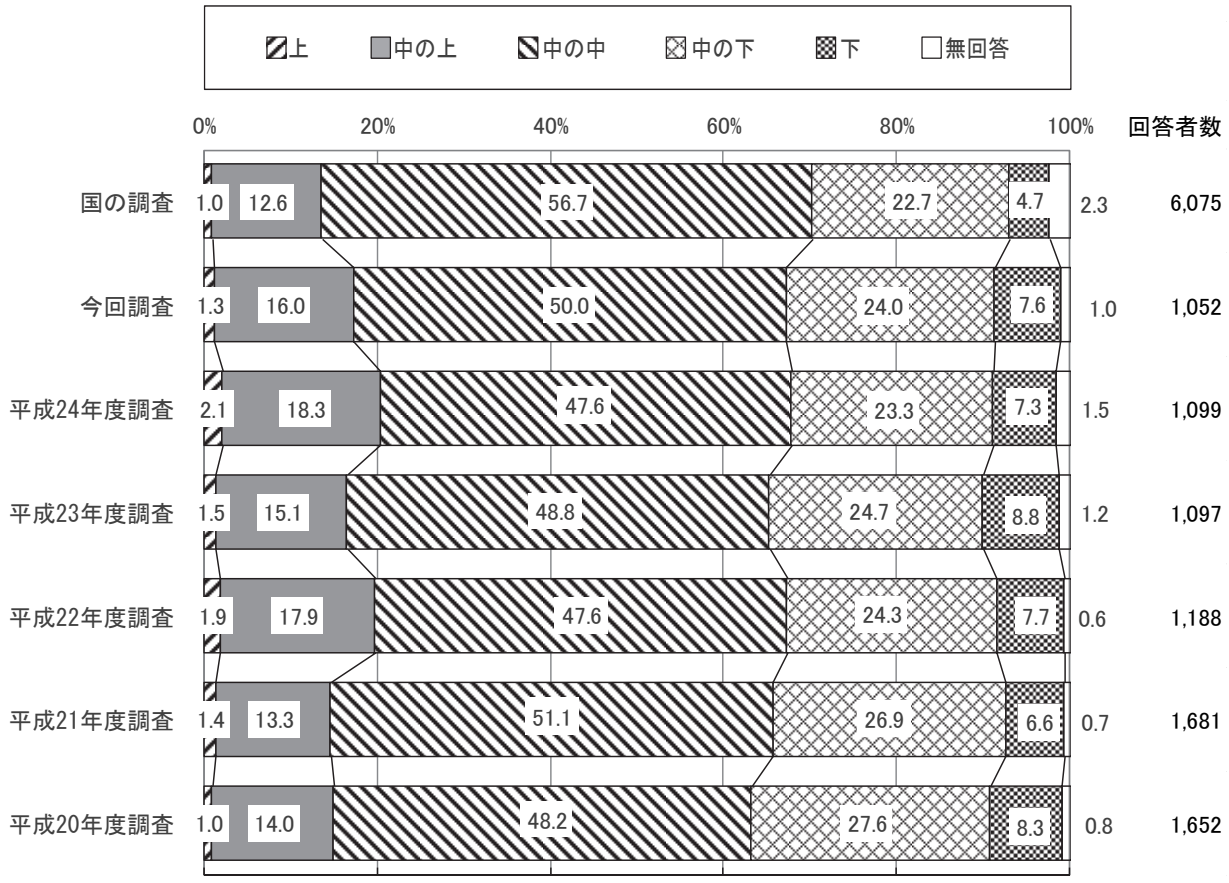
＜参考＞

【国の調査及び過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、国（内閣府）の調査（平成25年度）と名古屋市が過去に実施した調査と比較すると、今回の調査での本市の「上」、「中の上」、「中の中」と答えた人の合計（67.3%）は、国の調査（70.3%）より、やや下回っています。

本市の平成20年度以降をみると「上」、「中の上」、「中の中」と答えた人の合計は、６割台で推移しています。

家庭の生活の程度



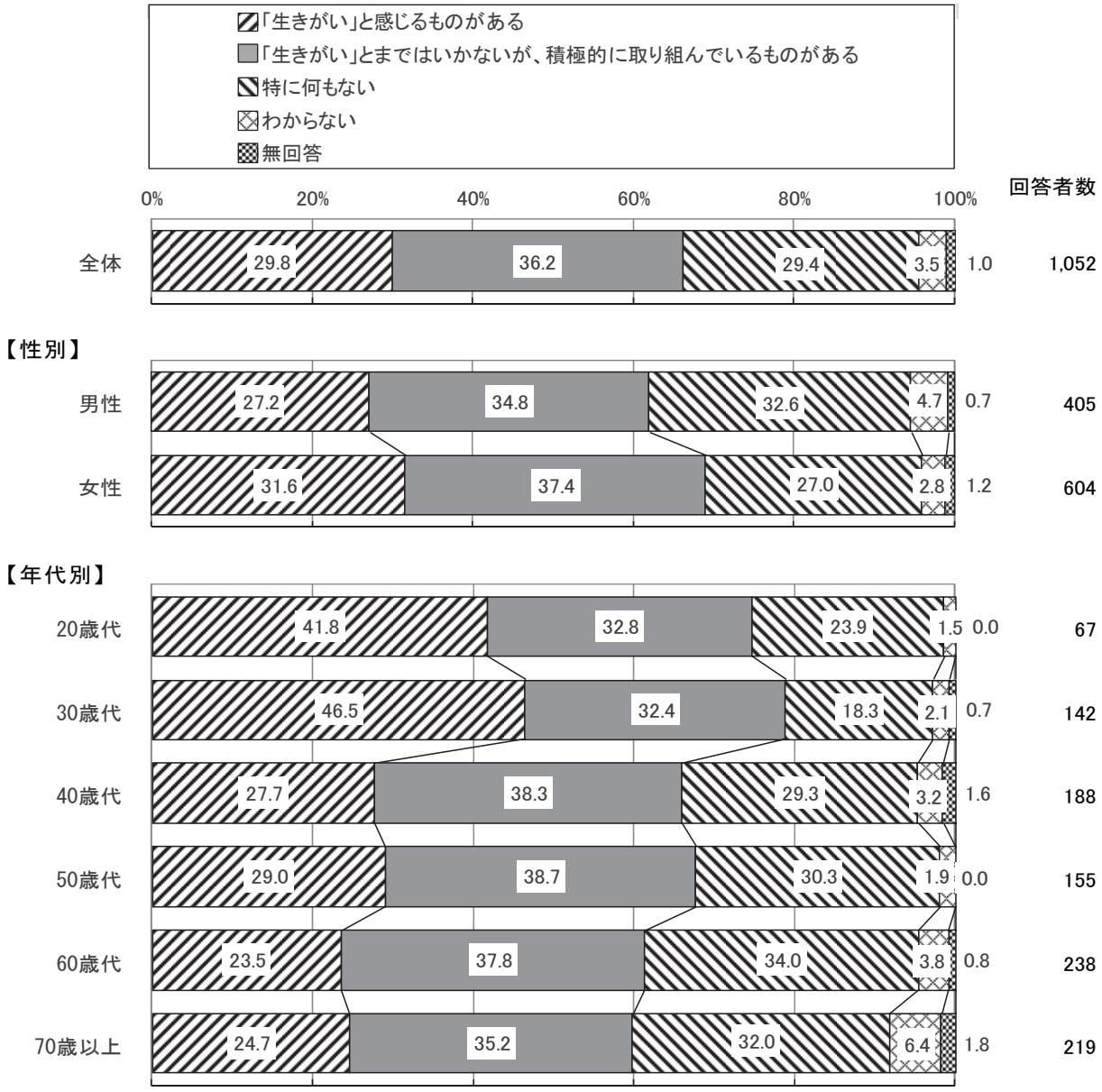
資料：国（内閣府）「国民生活に関する世論調査」（平成 25 年 6 月）

名古屋市「市政世論調査」

（平成20年度、平成21年度、平成22年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

(12)「生きがい」と感じるもの（問 12・ＳＡ）



◆　「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人が 36.2％で３割以上、「生きがいと感じるものがある」と答えた人が 29.8％、「特に何もない」と答えた人が 29.4％と、それぞれ約３割となっています。

【性別内比較】

「生きがいと感じるものがある」と答えた人は、男性（27.2％）よりも女性（31.6％）の方が、4.4 ポイント高くなっています。

一方、「特に何もない」と答えた人は、女性（27.0％）よりも男性（32.6％）の方が、5.6 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「生きがいと感じるものがある」と答えた人は、20 歳代（41.8％）、30 歳代（46.5％）で４割台、40 歳代（27.7％）、50 歳代（29.0％）、60 歳代（23.5％）、70 歳以上（24.7％）で２割台でした。

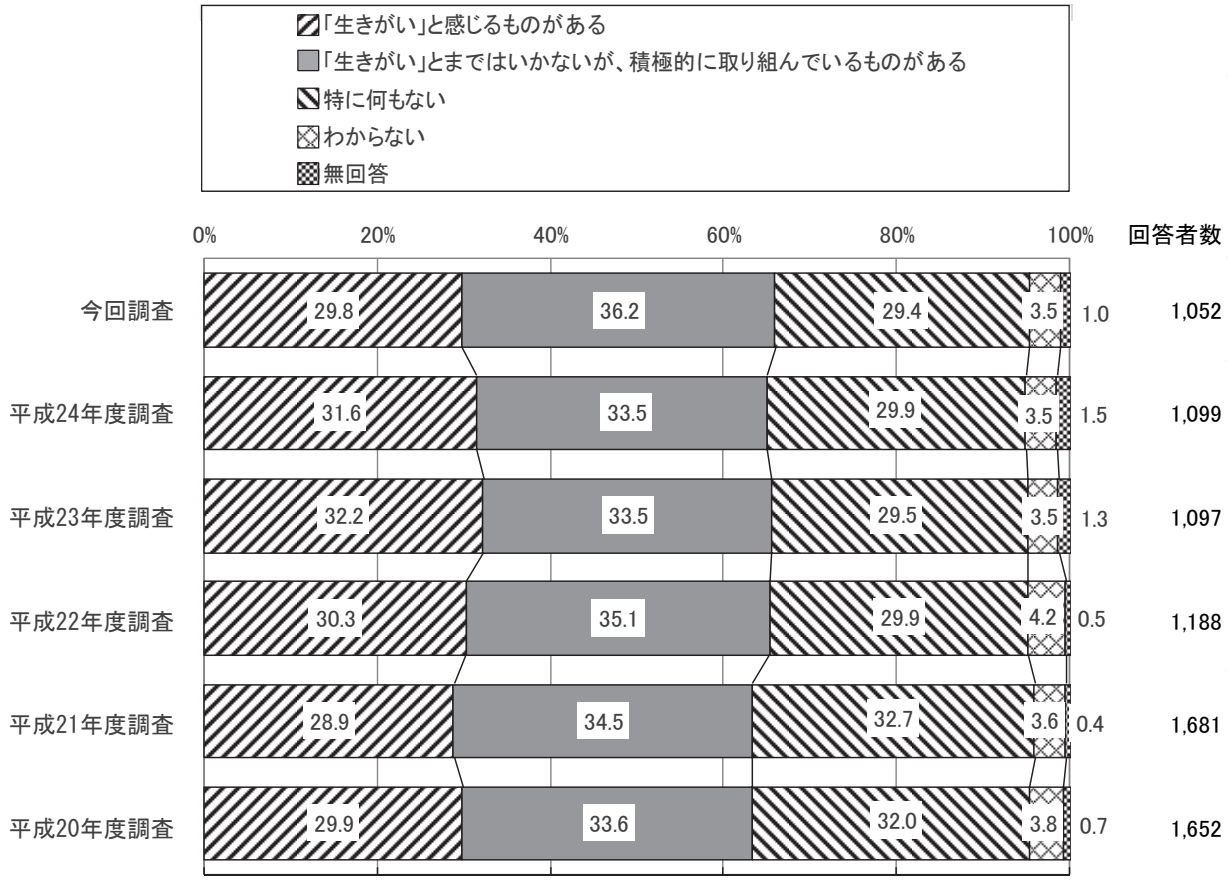
一方、「特に何もない」と答えた人は 40 歳代～70 歳以上で約３割となっています。

＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、過去の調査と比較すると、「生きがいと感じるものがある」と「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人の合計は、いずれの年度の調査においても６割台となっています。

「生きがい」と感じるもの

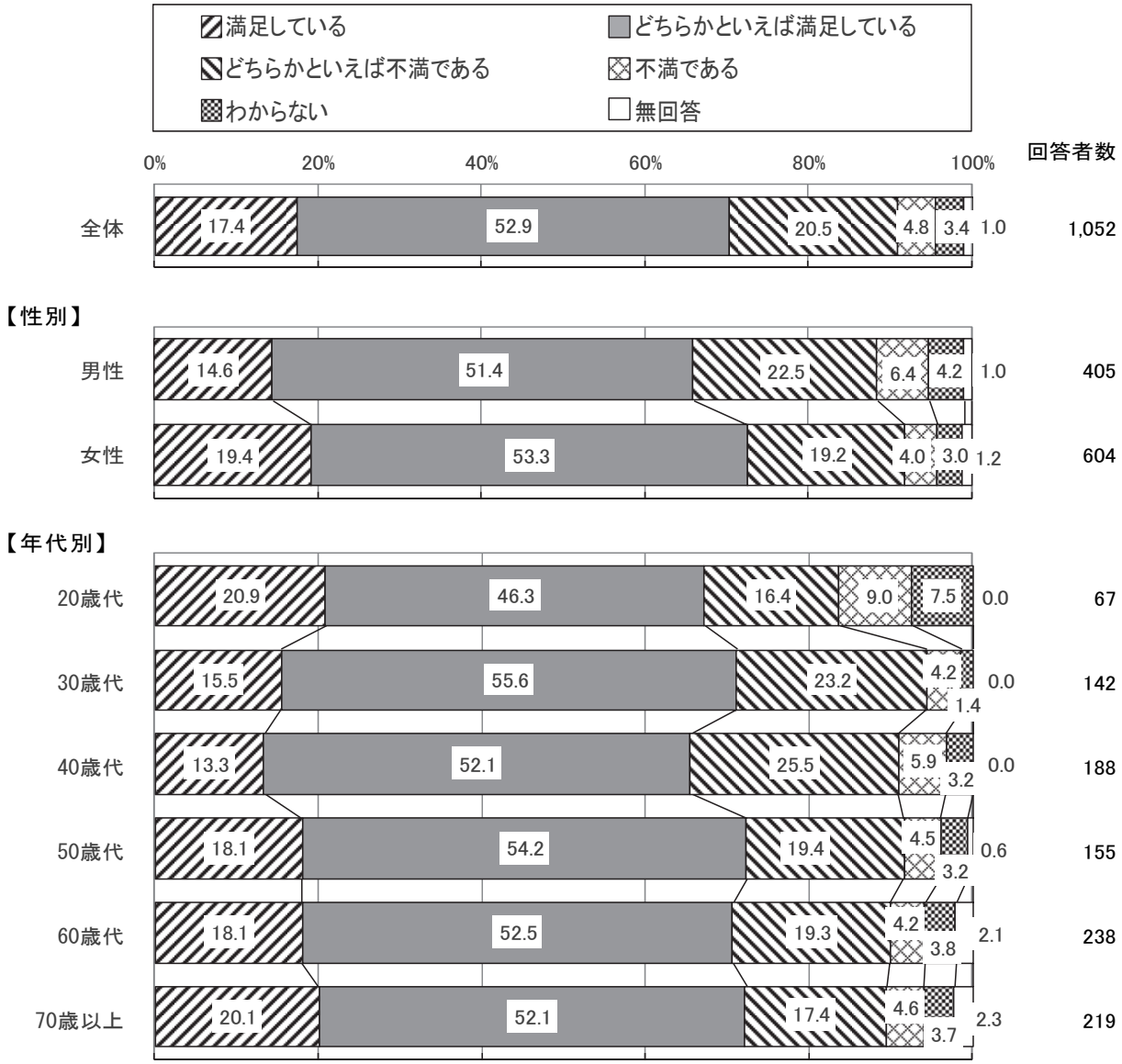


資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成20年度、平成21年度、平成22年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（13）生活の満足度（問 13・ＳＡ）



◆　生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人が17.4％、「どちらかといえば満足している」と答えた人が52.9％で、あわせると、満足している人は約７割（70.3％）となっています。

一方、「不満である」と答えた人が4.8％、「どちらかといえば不満である」と答えた人が20.5％で、あわせると、不満である人は２割以上（25.3％）となっています。

【性別内比較】

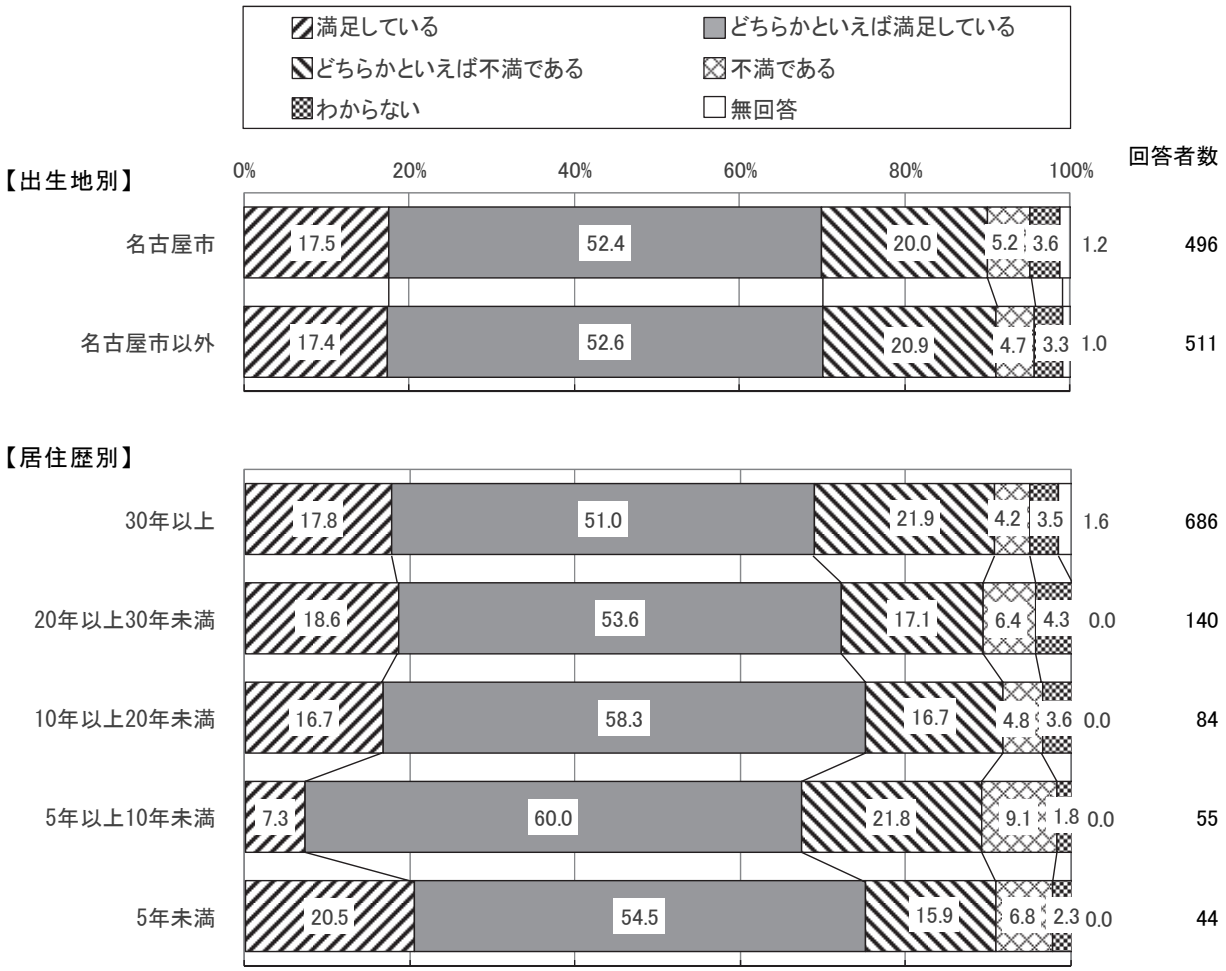
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人の合計は、男性（66.0％）よりも女性（72.7％）の方が、6.7 ポイント高くなっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」と答えた人の合計は、女性（23.2％）よりも男性（28.9％）の方が、5.7 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人の合計は、20 歳代、40 歳代で６割台、30 歳代、60 歳代、70 歳以上で７割台となっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」と答えた人の合計は、20 歳代、30 歳代、50 歳代～70 歳以上は２割台、40 歳代は３割台となっています。



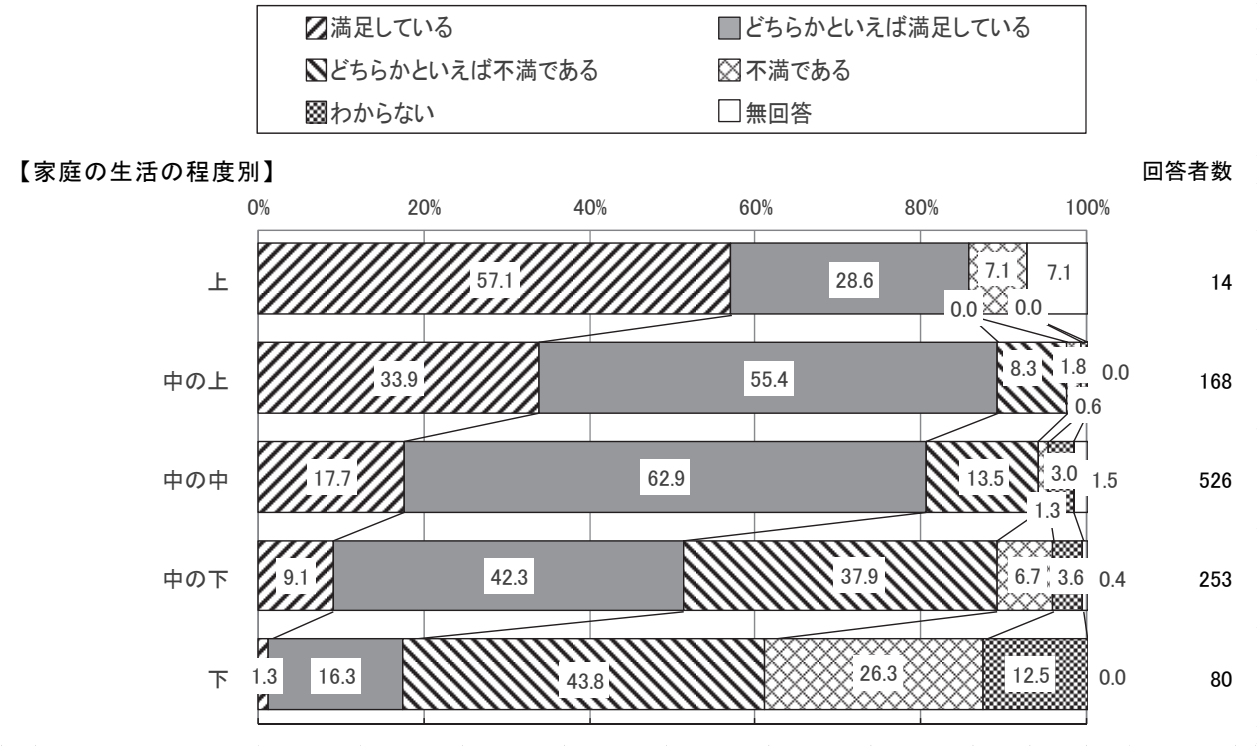
【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

【居住歴別比較】

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人の合計は、5 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満で７割台、5 年以上 10 年未満、30 年以上で６割台となっています。

一方、「不満である」と「どちからといえば不満である」と答えた人の合計は、5 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満、30 年以上で２割台、5 年以上 10 年未満で３割台となっています。



【「問 11　家庭の生活の程度」*別比較】

家庭の生活の程度により生活の満足度は大きく異なっています。生活の程度が上だと思う人の方が満足度は高く、下だと思う人の方が満足度は低くなっています。

＊「問 11　家庭の生活の程度」については P. 53 参照

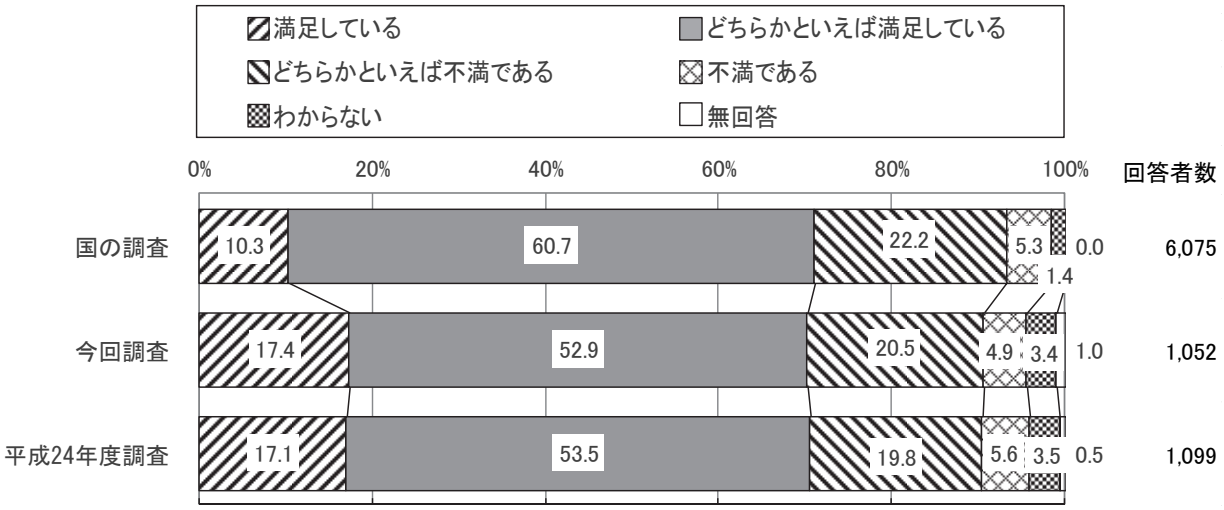
＜参考＞

【国の調査及び昨年の市政世論調査との比較】

◆　調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、国（内閣府）の調査（平成25年度）と名古屋市の調査を比較すると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人の合計は、今回の調査（70.3%）は、国の調査（71.0%）と大きな差はみられません。

今回、「不満である」と「どちらかといえば不満である」と答えた人の合計（25.4%）は、国の調査（27.5%）と大きな差はみられません。

生活の満足度

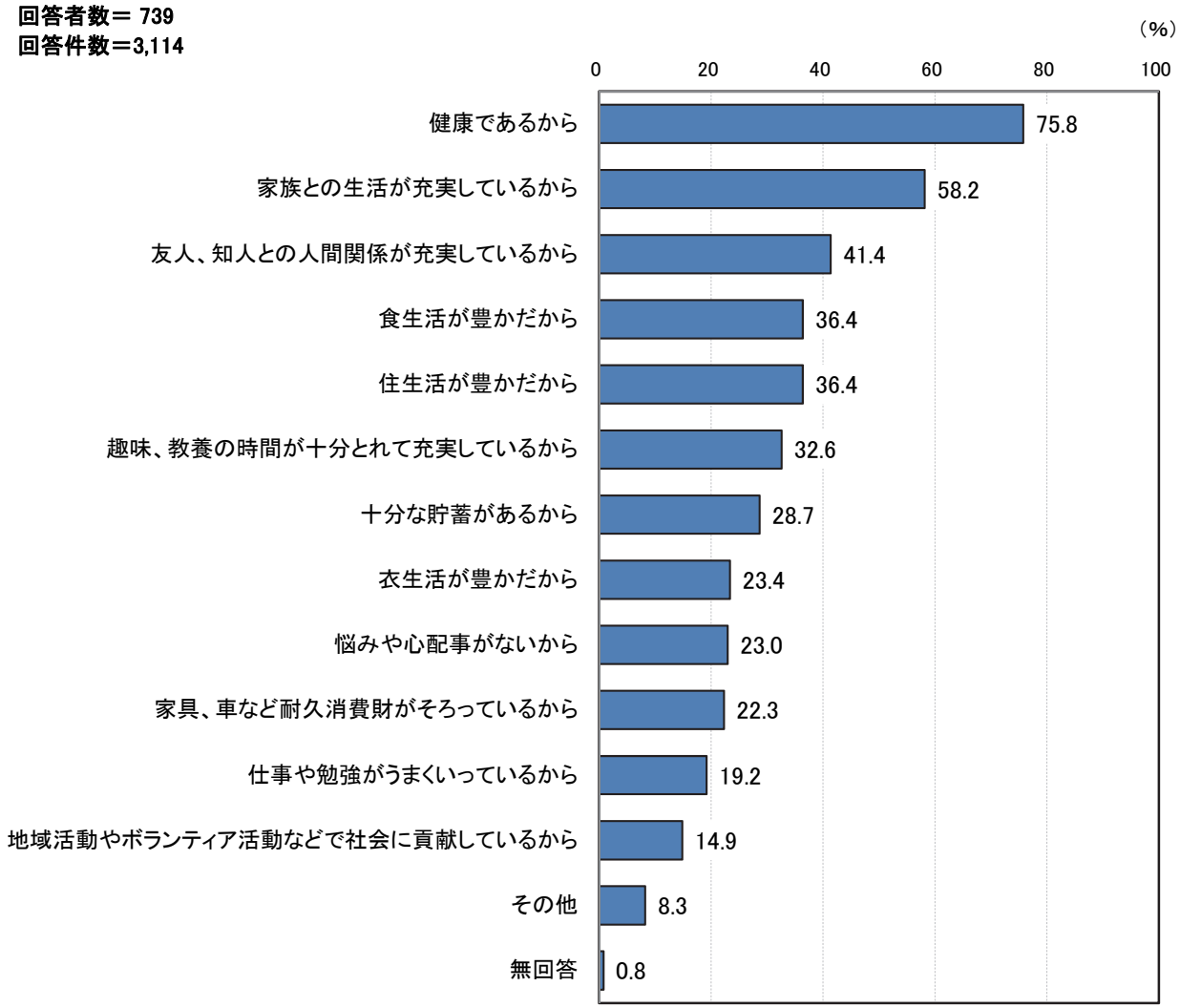


資料：国（内閣府）「国民生活に関する世論調査」（平成25年6月）

名古屋市「市政世論調査」（平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P.４参照

（14）生活に満足している理由（問 14・ＭＡ）



◆　生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」（75.8%）が７割以上で最も高く、次いで「家族との生活が充実しているから」（58.2%）、「友人、知人との人間関係が充実しているから」（41.4%）と続いています。

		健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	十分な貯蓄があるから	衣生活が豊かだから	悩みや心配事がないから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	仕事や勉強がうまくいっているから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		75.8	58.2	41.4	36.4	36.4	32.6	28.7	23.4	23.0	22.3	19.2	14.9	8.3	0.8	739	4.2
性別	男性	74.5	49.8	33.7	33.3	35.2	38.2	32.2	19.9	23.6	28.5	28.1	17.6	6.4	0.7	267	4.2
	女性	75.9	63.3	46.9	38.3	37.4	29.6	26.2	25.7	22.3	18.7	13.9	13.2	9.1	0.9	439	4.2
年代別	20歳代	73.3	62.2	57.8	60.0	37.8	40.0	20.0	35.6	33.3	22.2	31.1	20.0	4.4	0.0	45	5.0
	30歳代	75.2	68.3	43.6	33.7	42.6	32.7	29.7	25.7	18.8	23.8	23.8	7.9	6.9	1.0	101	4.3
	40歳代	76.4	59.3	34.1	39.8	35.8	34.1	30.9	26.0	26.8	39.8	32.5	15.4	16.3	0.8	123	4.7
	50歳代	72.3	62.5	39.3	32.1	29.5	26.8	27.7	20.5	16.1	20.5	22.3	9.8	7.1	0.9	112	3.9
	60歳代	79.2	58.3	39.9	32.7	35.1	32.1	26.8	21.4	23.2	15.5	13.7	16.1	5.4	0.6	168	4.0
	70歳以上	72.8	46.2	46.8	35.4	38.6	34.8	29.7	21.5	23.4	16.5	5.7	19.0	7.0	1.3	158	4.0

（単位：％）

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	健康であるから 75.8%	家族との生活が充実しているから 58.2%	友人、知人との人間関係が充実しているから 41.4%	食生活が豊かだから 36.4% 住生活が豊かだから 36.4%	
平成24年度	健康であるから 68.4%	家族との生活が充実しているから 54.9%	友人、知人との人間関係が充実しているから 42.8%	食生活が豊かだから 32.7%	住生活が豊かだから 29.4%

【上位５項目の経年比較】

前回と比べ、大きな変化はありません。

【性別内比較】

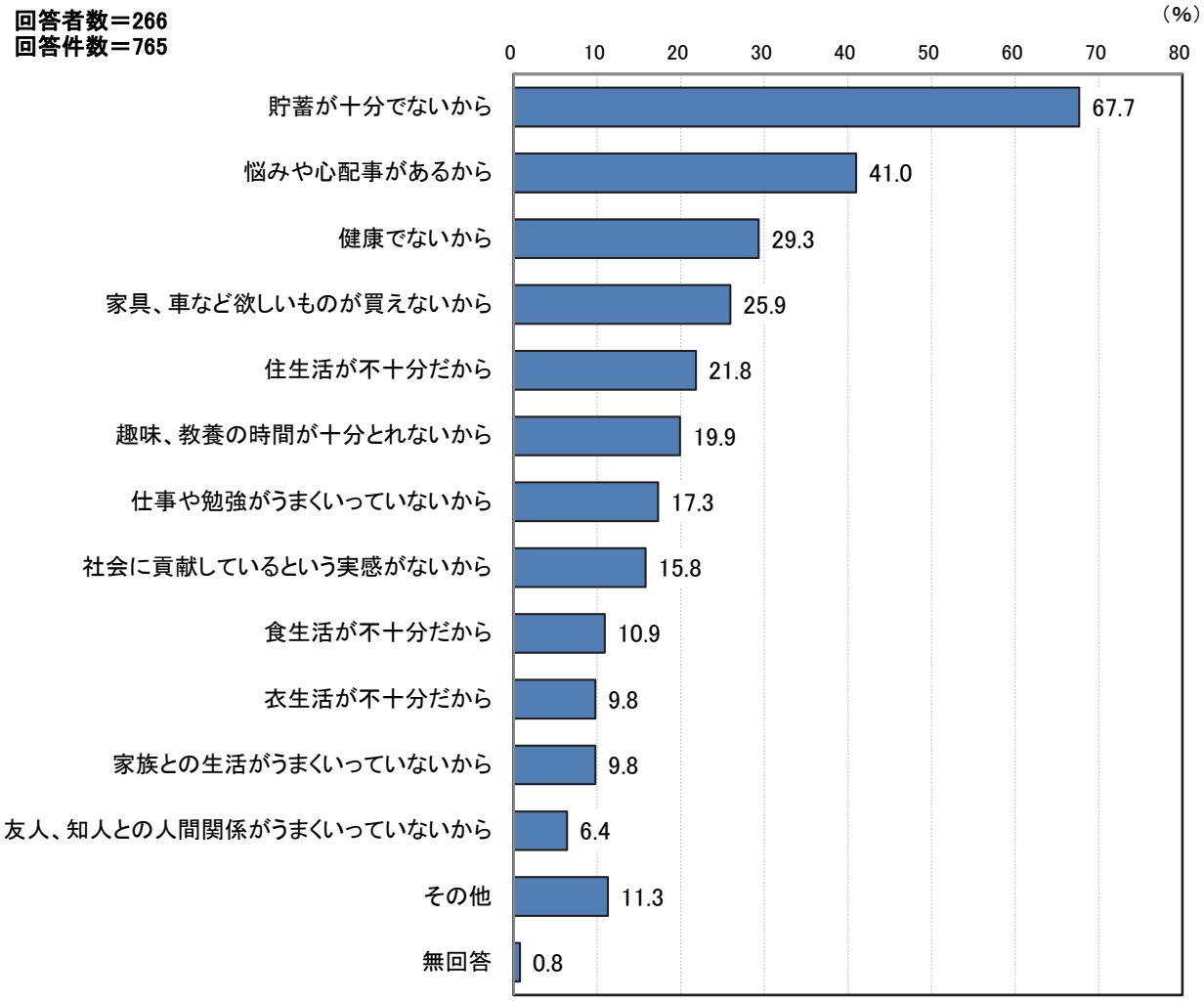
「家族との生活が充実しているから」、「友人、知人との人間関係が充実しているから」と答えた人は、男性よりも女性の方が、高くなっています。

一方、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」、「家具、車など耐久消費財がそろっているから」と答えた人は、女性よりも男性の方が、高くなっています。

【年代別比較】

「友人、知人との人間関係が充実しているから」、「衣・食の生活が豊かだから」、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」と答えた人は、20 歳代で最も高くなっています。また、「家族との生活が充実しているから」、「住生活が豊かだから」と答えた人は 30 歳代で最も高くなっています。

（15）生活に不満である理由（問 15・ＭＡ）



◆　生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」（67.7%）が約７割で最も高く、次いで「悩みや心配事があるから」（41.0%）と続いています。

		貯蓄が十分でないから	悩みや心配事があるから	健康でないから	家具、車など欲しいものが買えないから	住生活が不十分だから	趣味、教養の時間が十分とれないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献しているという実感がないから	食生活が不十分だから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		67.7	41.0	29.3	25.9	21.8	19.9	17.3	15.8	10.9	9.8	9.8	6.4	11.3	0.8	266	2.9
性別	男性	66.7	38.5	26.5	32.5	22.2	26.5	25.6	22.2	16.2	10.3	6.0	5.1	7.7	0.9	117	3.1
	女性	66.4	42.1	30.0	19.3	20.0	15.0	10.7	10.7	5.7	7.9	12.9	7.1	12.9	0.7	140	2.6
年代別	20歳代	47.1	58.8	17.6	35.3	17.6	17.6	47.1	41.2	11.8	5.9	17.6	23.5	5.9	0.0	17	3.5
	30歳代	64.1	38.5	12.8	38.5	15.4	33.3	25.6	10.3	2.6	2.6	5.1	2.6	10.3	0.0	39	2.6
	40歳代	57.6	44.1	20.3	37.3	20.3	30.5	28.8	13.6	13.6	15.3	15.3	11.9	25.4	1.7	59	3.3
	50歳代	81.1	40.5	16.2	27.0	27.0	21.6	18.9	10.8	8.1	5.4	16.2	5.4	5.4	0.0	37	2.8
	60歳代	64.3	44.6	41.1	14.3	23.2	14.3	3.6	12.5	10.7	8.9	7.1	3.6	3.6	0.0	56	2.5
	70歳以上	77.1	27.1	47.9	8.3	20.8	4.2	2.1	20.8	14.6	10.4	2.1	0.0	6.3	2.1	48	2.4

（単位：％）

（上位５項目の過去との比較）

年度	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
平成25年度	貯蓄が十分でないから 67.7%	悩みや心配事があるから 41.0%	健康でないから 29.3%	家具、車など欲しいものが買えないから 25.9%	住生活が不十分だから 21.8%
平成24年度	貯蓄が十分でないから 63.2%	悩みや心配事があるから 42.9%	健康でないから 27.9%	住生活が不十分だから 23.6%	家具、車など欲しいものが買えないから 22.5%

【上位５項目の経年比較】

前回と項目に変化はなく、第４位と第５位が入れ替わっています。

【性別内比較】

「家具、車など欲しいものが買えないから」、「趣味、教養の時間が十分とれないから」、「仕事や勉強がうまくいっていないから」と答えた人は、女性よりも男性の方が、高くなっています。

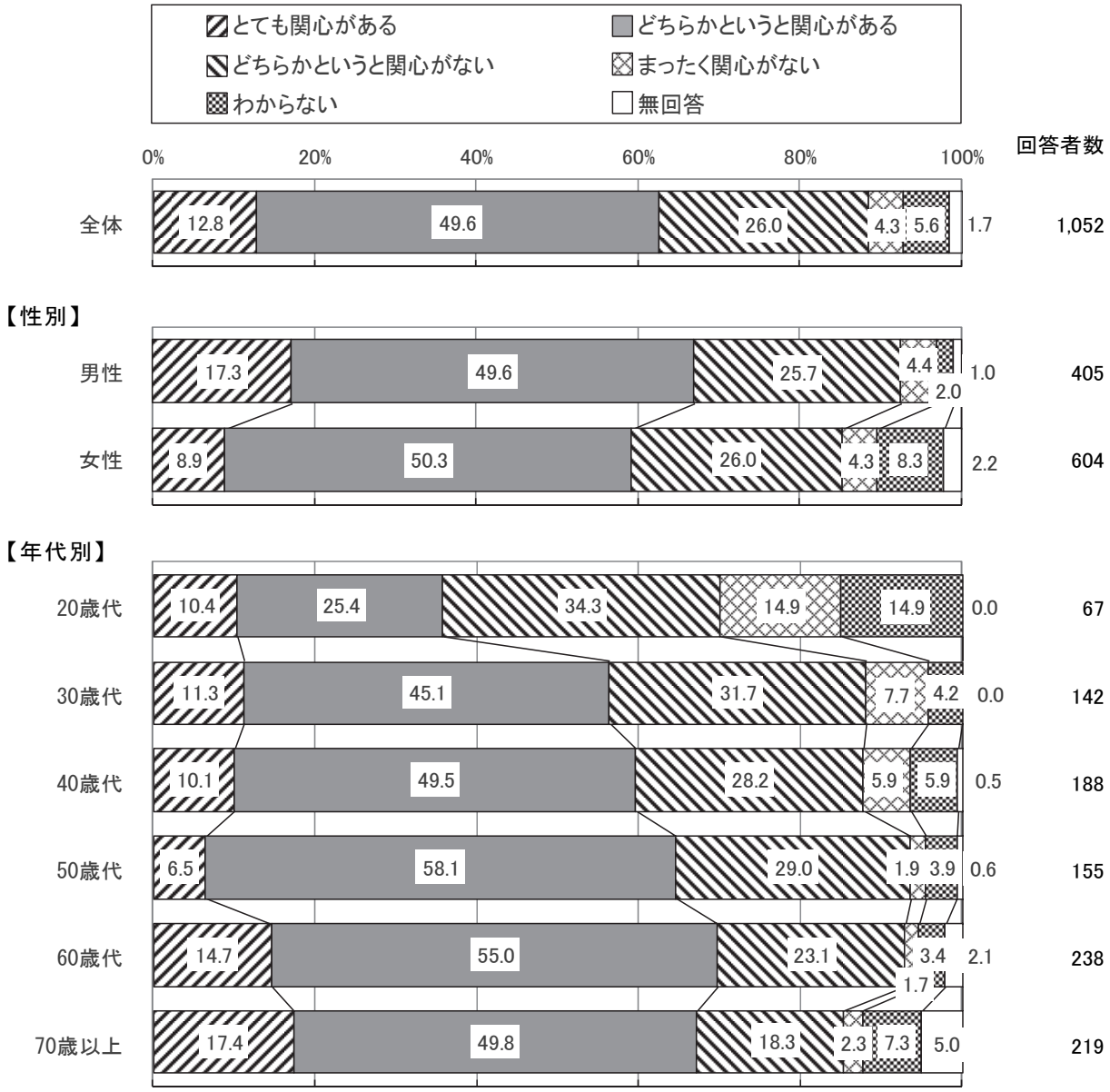
【年代別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「貯蓄が十分でないから」と答えた人は、50 歳代（81.1%）、70 歳以上（77.1%）で高く、「悩みや心配事があるから」と答えた人は、20 歳代（58.8%）で高くなっています。

２　市政について

２　市政について

（１）市政への関心（問 16・ＳＡ）



◆　市政（市の施策や事業など）に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人が12.8％、「どちらかというと関心がある」と答えた人が49.6％で、あわせると、市政に関心がある人は約６割（62.4％）でした。

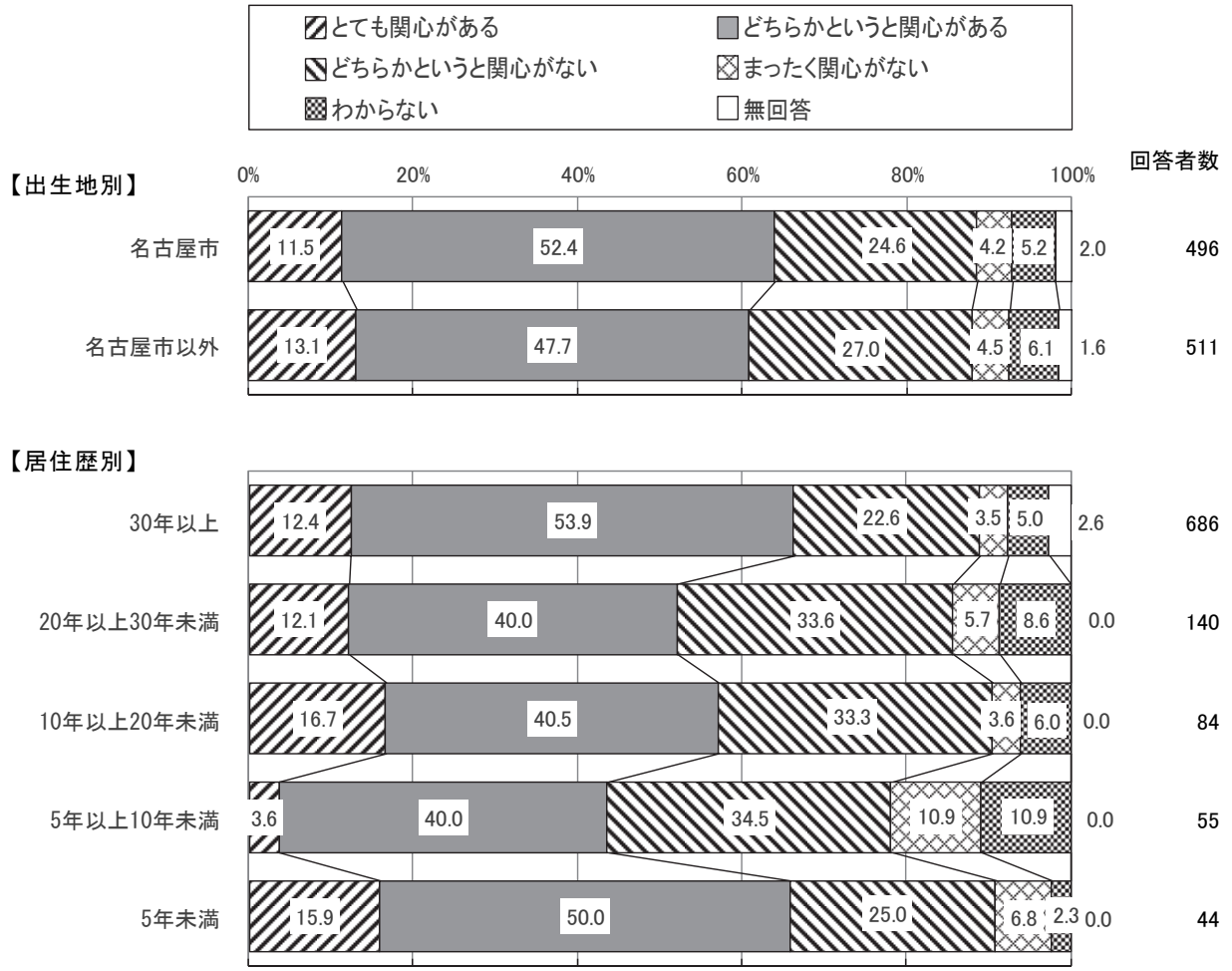
一方、「どちらかというと関心がない」と答えた人が26.0％、「まったく関心がない」と答えた人が4.3％で、市政に関心がない人は約３割（30.3％）でした。

【性別内比較】

「とても関心がある」と「どちらかというと関心がある」と答えた人の合計は、女性（59.2％）よりも男性（66.9％）の方が、7.7 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人の合計は、20 歳代で低くなっています。



【出生地別内比較】

大きな差はみられませんでした。

【居住歴別比較】

「とても関心がある」と「どちらかというと関心がある」と答えた人の合計は、5 年未満（65.9%）、30 年以上（66.3%）で６割台、10 年以上 20 年未満（57.2%）、20 年以上 30 年未満（52.1%）で５割台、5 年以上 10 年未満（43.6%）では４割台でした。

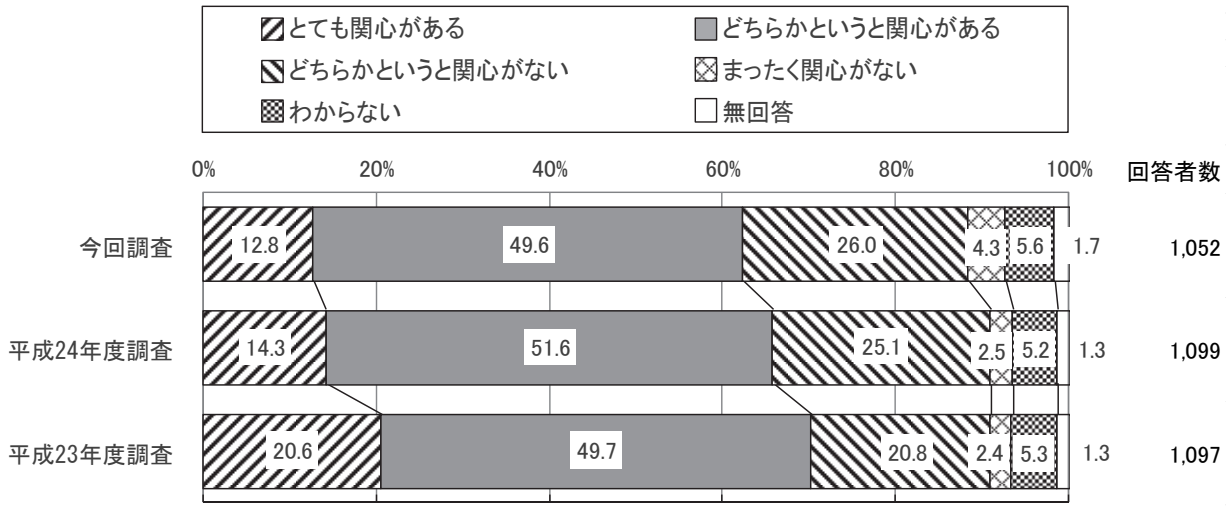
＜参考＞

【過去の市政世論調査との比較】

◆　過去の調査と比較すると、市政に「とても関心がある」と「どちらかというと関心がある」と答えた人の合計は、減少傾向がみられます。

　一方、「まったく関心がない」と「どちらかというと関心がない」と答えた人の合計は、増加傾向がみられます。

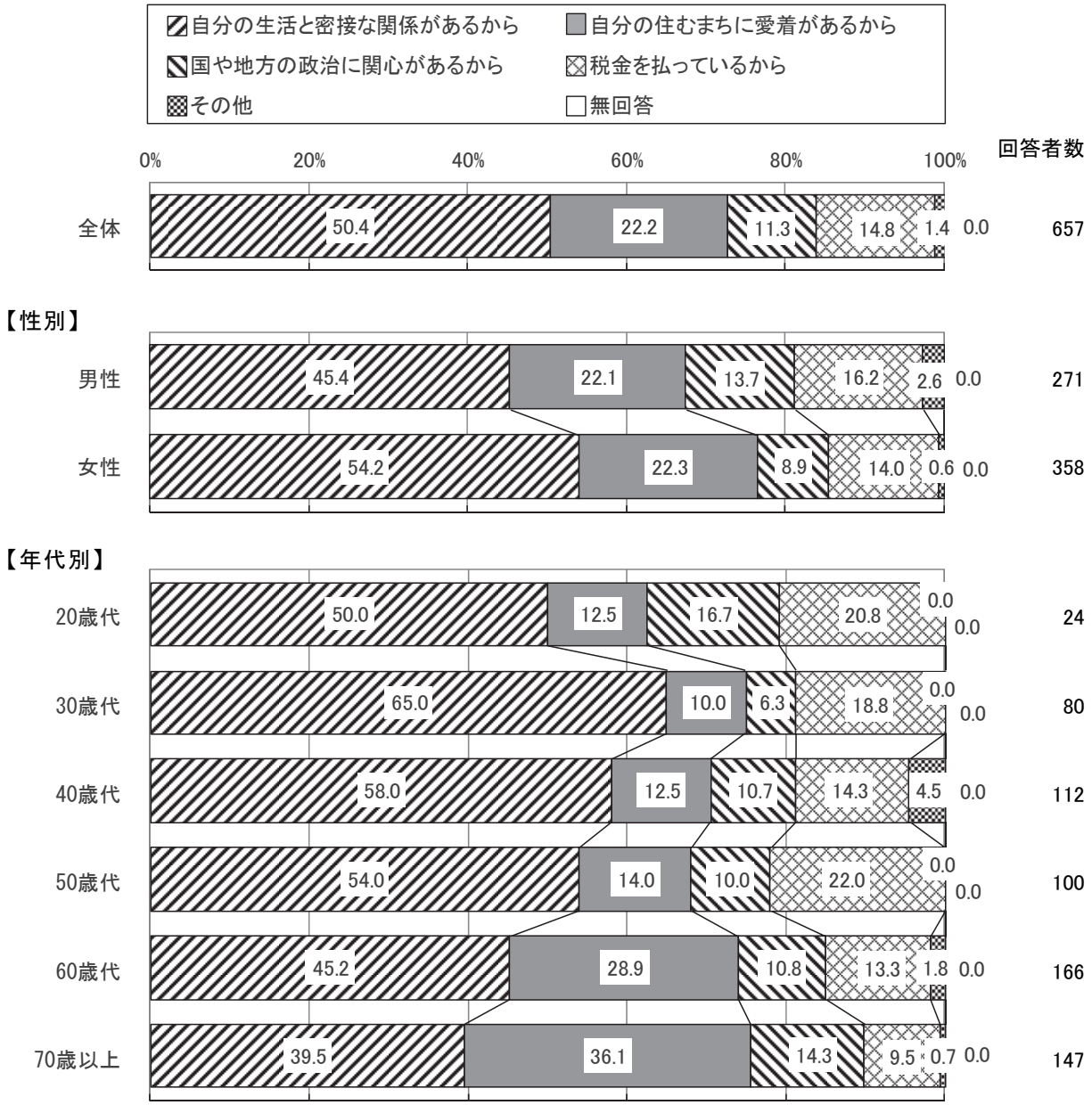
市政への関心



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（２）市政に関心がある理由（問 17・ＳＡ）



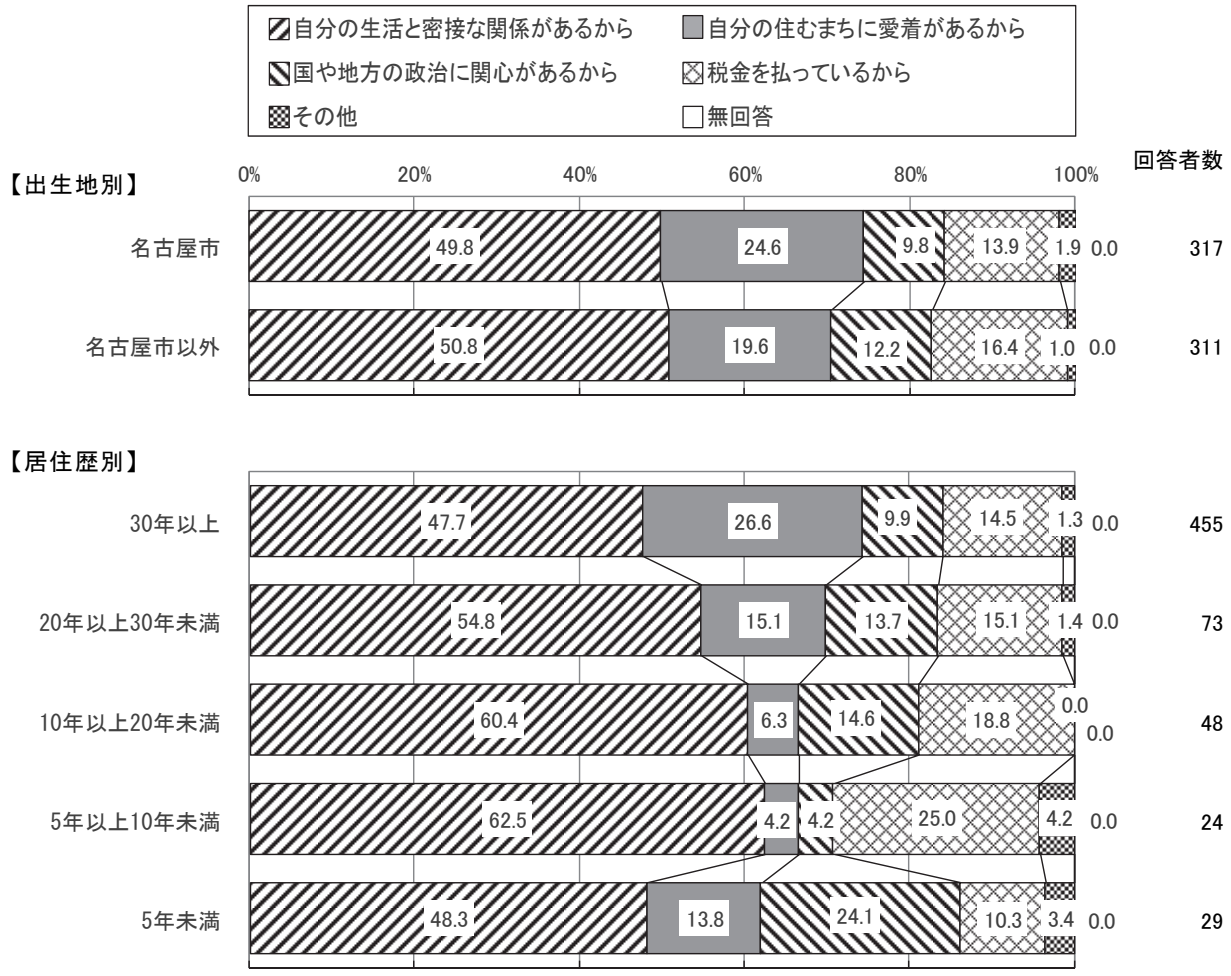
◆　市政に関心があると答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活と密接な関係があるから」と答えた人が約５割（50.4%）で最も高くなっています。次いで「自分の住むまちに愛着があるから」と答えた人が約２割（22.2%）となっています。

【性別内比較】

「自分の生活と密接な関係があるから」と答えた人は、男性（45.4%）よりも女性（54.2%）の方が、8.8 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「自分の住むまちに愛着あるから」と答えた人は、20 歳代～50 歳代で１割台、60 歳代で２割台、70 歳以上で３割台でした。



【出生地別内比較】

「自分の住むまちに愛着があるから」と答えた人は、名古屋市以外から引っ越してきた人（19.6%）よりも、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（24.6%）の方が、5.0 ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

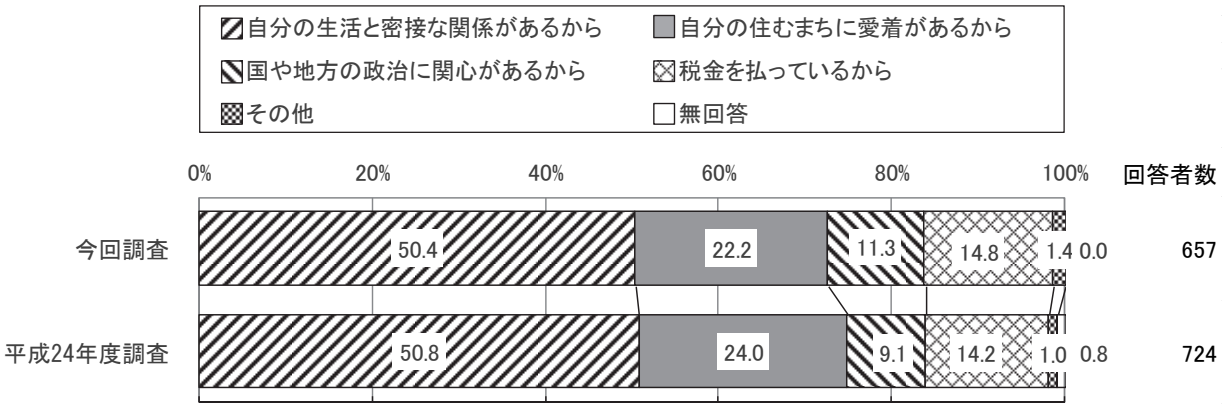
標本数が少なく比較が難しいですが、「自分の生活と密接な関係があるから」と答えた人は 5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満で高くなっています。また、「自分のまちに愛着があるから」と答えた人は 5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満で 1 割未満でした。

＜参考＞

【昨年の市政世論調査との比較】

◆　昨年の調査と比較すると、大きな差は見られません。

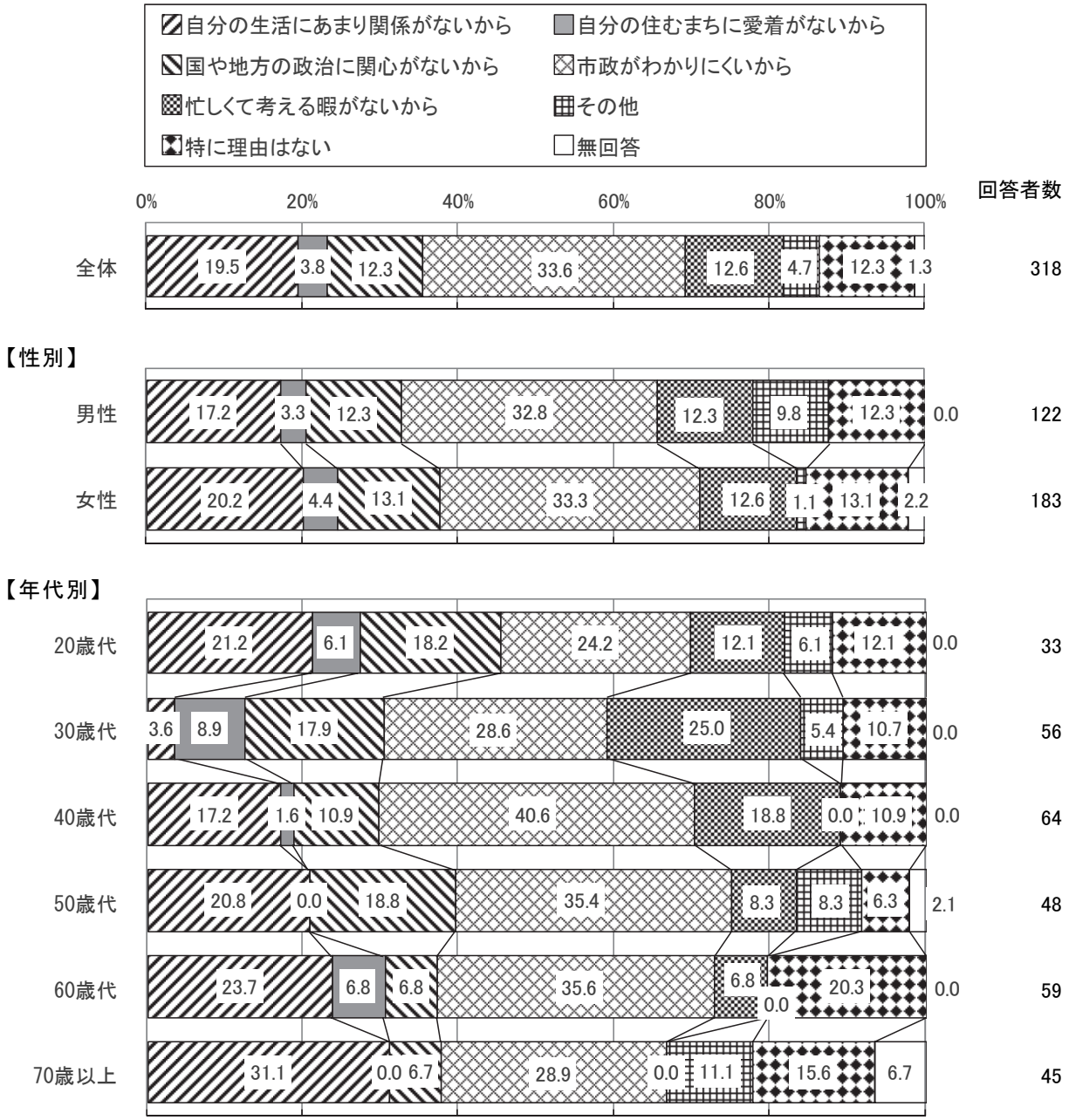
市政に関心がある理由



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

（３）市政に関心がない理由（問 18・ＳＡ）



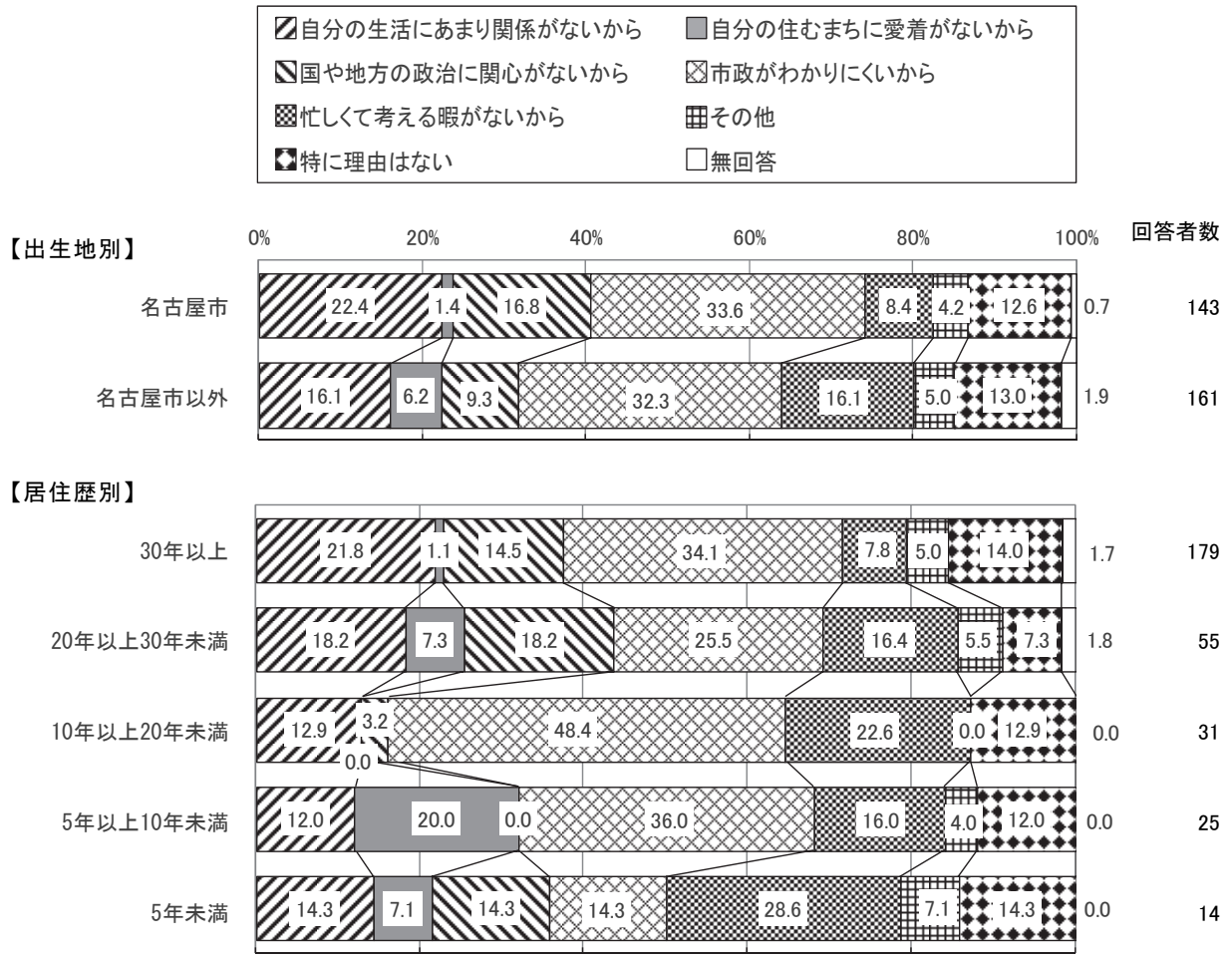
◆　市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」と答えた人が３割以上（33.6%）で最も高くなっています。次いで「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人が約２割（19.5%）となっています。

【性別内比較】

大きな差はみられませんでした。

【年代別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「市政がわかりにくいから」と答えた人は 40 歳代（40.6%）で高くなっています。



【出生地別内比較】

「忙しくて考える暇がないから」と答えた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（8.4%）よりも、名古屋市以外から引っ越してきた人（16.1%）の方が、7.7 ポイント高くなっています。

一方、「国や地方の政治に関心がないから」と答えた人は、名古屋市外から引っ越してきた人（9.3%）よりも、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（16.8%）の方が、7.5 ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

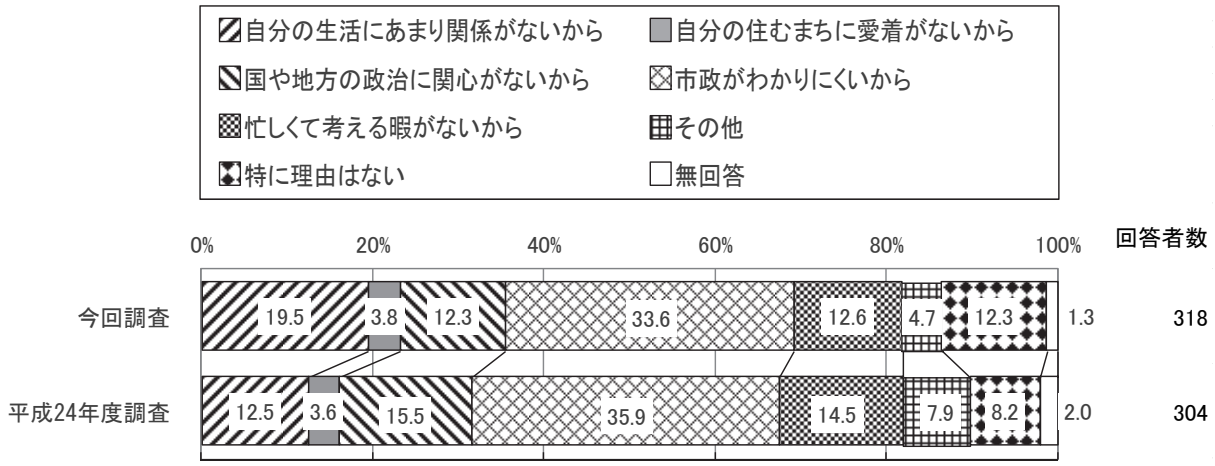
標本数が少ないため比較は難しいですが、「市政がわかりにくいから」と答えた人は 10 年以上 20 年未満（48.4%）で高くなっています。

＜参考＞

【昨年の市政世論調査との比較】

◆　昨年の調査と比較すると、「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人が増加傾向にあります。

市政に関心がない理由



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成24年度、平成25年度（今回の調査））

※　各調査の詳細については、P. ４参照

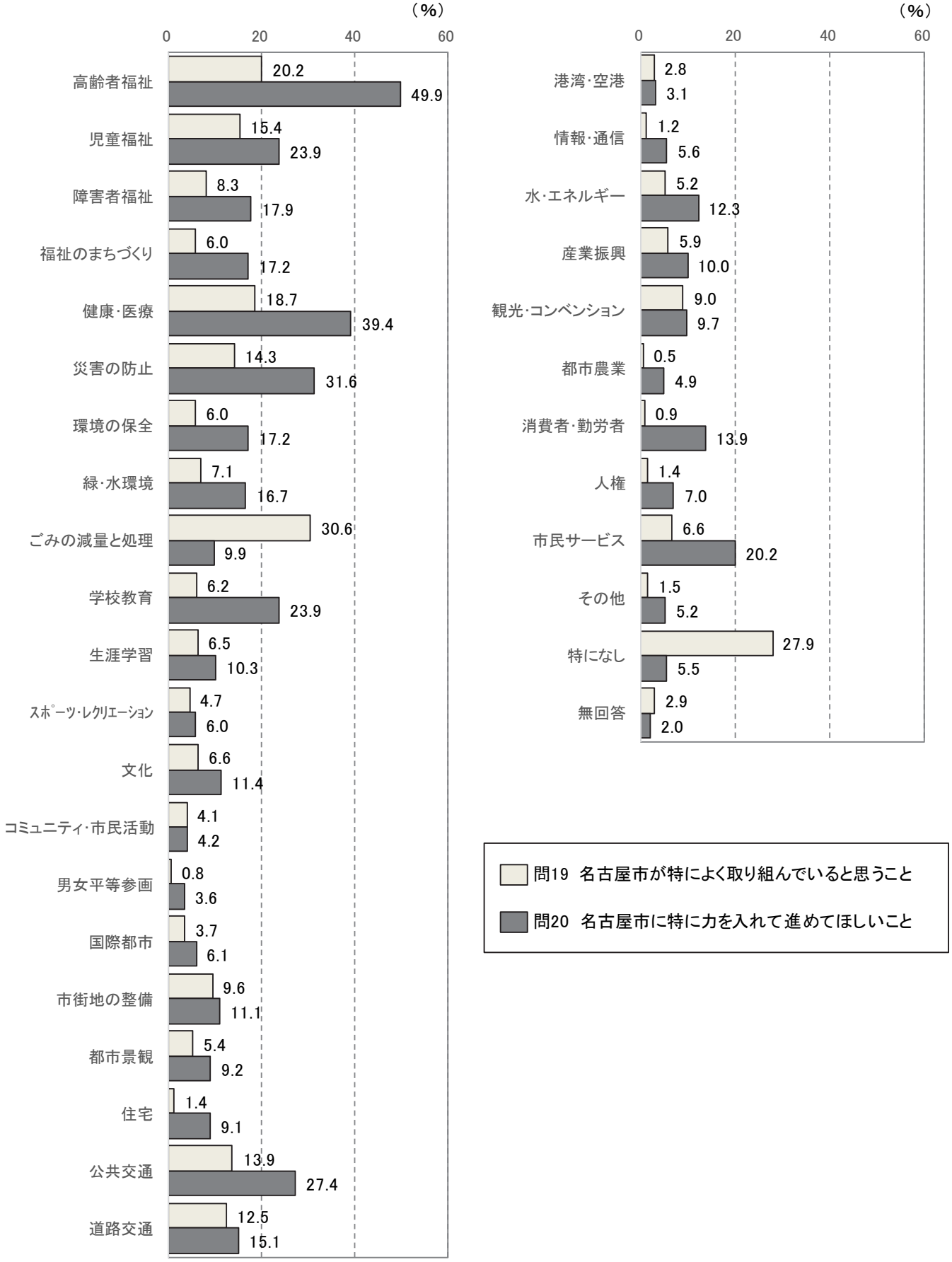
市政について、その評価と今後の要望をたずねました。

名古屋市基本構想に基づき構成した30項目（「その他」を除く）の中から、「特によく取り組んでいると思う」項目（問19）及び「特に力を入れて進めてほしい」項目（問20）を、それぞれ複数選んでもらう方式で行ったもので、同じ項目では平成12年度の第39回市政世論調査から実施しています。

以下の項目は、現在、名古屋市が進めている事業を分野別に 30 項目にまとめたものです。

		問19 特によく取り組んでいると思うこと	問20 特に力を入れて進めてほしいこと
1 高齢者福祉	介護サービスの充実、高齢者が生きがいを感じ安心して暮らすための支援など	20.2	49.9
2 児童福祉	保育の充実、支援を要する子どもへの取り組みなど	15.4	23.9
3 障害者福祉	障害者のための施設や制度の充実、仕事をもって暮らすための支援など	8.3	17.9
4 福祉のまちづくり	バリアフリーのまちづくり、高齢者の知恵や経験を生かした地域活動の推進など	6.0	17.2
5 健康･医療	市民の健康づくり、病気の予防、医療の充実など	18.7	39.4
6 災害の防止	地震対策や河川･下水道の水害対策、消防･救急の体制の充実など	14.3	31.6
7 環境の保全	温室効果ガスの排出抑制などの地球環境問題、公害防止への取り組み	6.0	17.2
8 緑･水環境	まちに緑を増やしたり、公園の整備やうるおいのある水辺づくりへの取り組み	7.1	16.7
9 ごみの減量と処理	ごみの発生を抑えること、リサイクルの推進、処理施設の整備など	30.6	9.9
10 学校教育	幼児期から大学までの教育内容や教育環境の充実、制度・設備の整備など	6.2	23.9
11 生涯学習	誰もが学びたいときに自由に学べるような環境づくりやそのための情報提供など	6.5	10.3
12 ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	スポーツやレクリエーション活動の普及、施設の整備など	4.7	6.0
13 文化	芸術や文化活動の支援、独自の魅力・文化の発信、文化財を守ることなど	6.6	11.4
14 コミュニティ･市民活動	住民が地域で活動するための条件整備や活動を活発にしていくこと	4.1	4.2
15 男女平等参画	女性が社会のあらゆる分野で活動できるような環境づくりの推進、女性に対する暴力への対策の推進	0.8	3.6
16 国際都市	国際交流の推進、外国人市民が暮らしやすいまちづくりなど	3.7	6.1
17 市街地の整備	土地の合理的な利用、まちの整備など	9.6	11.1
18 都市景観	魅力あるまちなみづくり、歴史的に重要な建築物の保存･活用など	5.4	9.2
19 住宅	質の高い住まいづくりや住まいの確保への支援など	1.4	9.1
20 公共交通	市バス・地下鉄等の公共交通の利便性向上や利用促進など	13.9	27.4
21 道路交通	車道や歩道など道路の整備、駐車･駐輪対策、交通安全対策など	12.5	15.1
22 港湾･空港	国際競争力をもつ港や空港を整備することなど	2.8	3.1
23 情報･通信	情報ﾈｯﾄﾜｰｸを活用した市民ｻｰﾋﾞｽの向上、安全で格差のない情報化の推進など	1.2	5.6
24 水･エネルギー	安全でおいしい水の安定的な供給、地球環境に配慮したｴﾈﾙｷﾞｰ利用の促進	5.2	12.3
25 産業振興	中小企業や商店街の支援、企業誘致や創業支援、研究や開発の活発化など	5.9	10.0
26 観光･コンベンション	観光客を増やしたり、国際会議や見本市などを誘致したりすること	9.0	9.7
27 都市農業	農業への支援、農業を通じた交流の推進	0.5	4.9
28 消費者･勤労者	消費者を守ることや、就労を支援したり勤労者の福祉を増進させること	0.9	13.9
29 人権	差別や偏見がない社会の実現をめざすこと	1.4	7.0
30 市民サービス	情報公開や情報提供・情報発信の推進、区役所･支所等における市民の利便性を向上させることなど	6.6	20.2
31 その他		1.5	5.2
32 特になし		27.9	5.5
無回答		2.9	2.0

（単位：％）


（%）
0
20
40
60
高齢者福祉 20.2 49.9
児童福祉 15.4 23.9
障害者福祉 8.3 17.9
福祉のまちづくり 6.0 17.2
健康･医療 18.7 39.4
災害の防止 14.3 31.6
環境の保全 6.0 17.2
緑･水環境 7.1 16.7
ごみの減量と処理 30.6 9.9
学校教育 6.2 23.9
生涯学習 6.5 10.3
ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ 4.7 6.0
文化 6.6 11.4
コミュニティ･市民活動 4.1 4.2
男女平等参画 0.8 3.6
国際都市 3.7 6.1
市街地の整備 9.6 11.1
都市景観 5.4 9.2
住宅 1.4 9.1
公共交通 13.9 27.4
道路交通 12.5 15.1
（%）
0
20
40
60
港湾･空港 2.8 3.1
情報･通信 1.2 5.6
水･エネルギー 5.2 12.3
産業振興 5.9 10.0
観光･コンベンション 9.0 9.7
都市農業 0.5 4.9
消費者･勤労者 0.9 13.9
人権 1.4 7.0
市民サービス 6.6 20.2
その他 1.5 5.2
特になし 27.9 5.5
無回答 2.9 2.0
問19 名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと
問20 名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと

（４）市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（問 19・ＭＡ）

市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）の上位 10 項目は以下のとおりです。

今回調査			前回調査		前回比較
順位	項目	%	順位	%	順位
1	ごみの減量と処理	30.6	①	35.8	→
2	高齢者福祉	20.2	③	19.0	↑
3	健康･医療	18.7	②	19.7	↓
4	児童福祉	15.4	⑧	11.7	↑
5	災害の防止	14.3	⑤	15.5	→
6	公共交通	13.9	④	16.3	↓
7	道路交通	12.5	⑥	13.0	↓
8	市街地の整備	9.6	⑦	12.0	↓
9	観光･コンベンション	9.0	⑫	7.1	↑
10	障害者福祉	8.3	⑩	8.3	→

◆　市政への評価では「ごみの減量と処理」が最も高く、前回調査と同様に第１位でした。前回第８位であった「児童福祉」が第４位に、前回第 12 位だった「観光・コンベンション」が第９位に上昇しています。

前回と比べて、順位の上昇がみられるのは、「高齢者福祉」、「児童福祉」、「観光・コンベンション」です。逆に順位が下降したのは、「健康・医療」、「公共交通」、「道路交通」、「市街地の整備」です。

市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）について、第１位から第５位までの傾向は、次のとおりです。（性別、年代別などのデータ一覧は、83 ページ以降にあります。）

第１位　ごみの減量と処理（30.6%）

【性別内比較】

男性（28.1%）よりも女性（32.3%）の方が、4.2ポイント評価が高くなっています。

【年代別比較】

70歳以上（39.3%）の評価が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

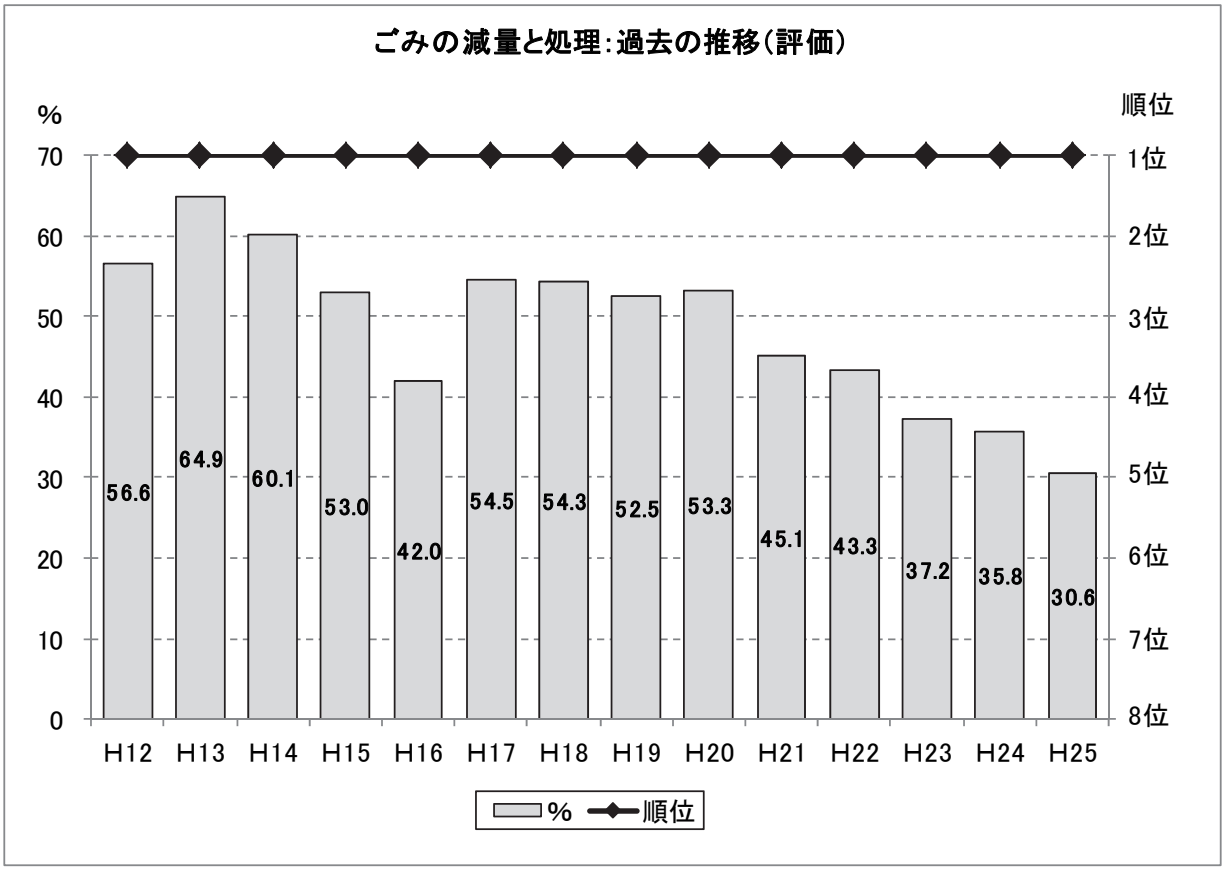
【居住歴別内比較】

5年未満（18.2%）、5年以上10年未満（18.2%）の評価が低くなっています。

【居住区別比較】

千種区（42.5%）の評価が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4参照）。

第２位　高齢者福祉（20.2%）

【性別内比較】

男性（17.3%）よりも女性（21.9%）の方が、4.6ポイント評価が高くなっています。

【年代別比較】

60歳代（26.1%）、70歳以上（36.5%）の評価が高くなっています。

【出生地別内比較】

生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（17.7%）よりも、名古屋市以外から引っ越してきた人（22.3%）の方が、4.6ポイント高くなっています。

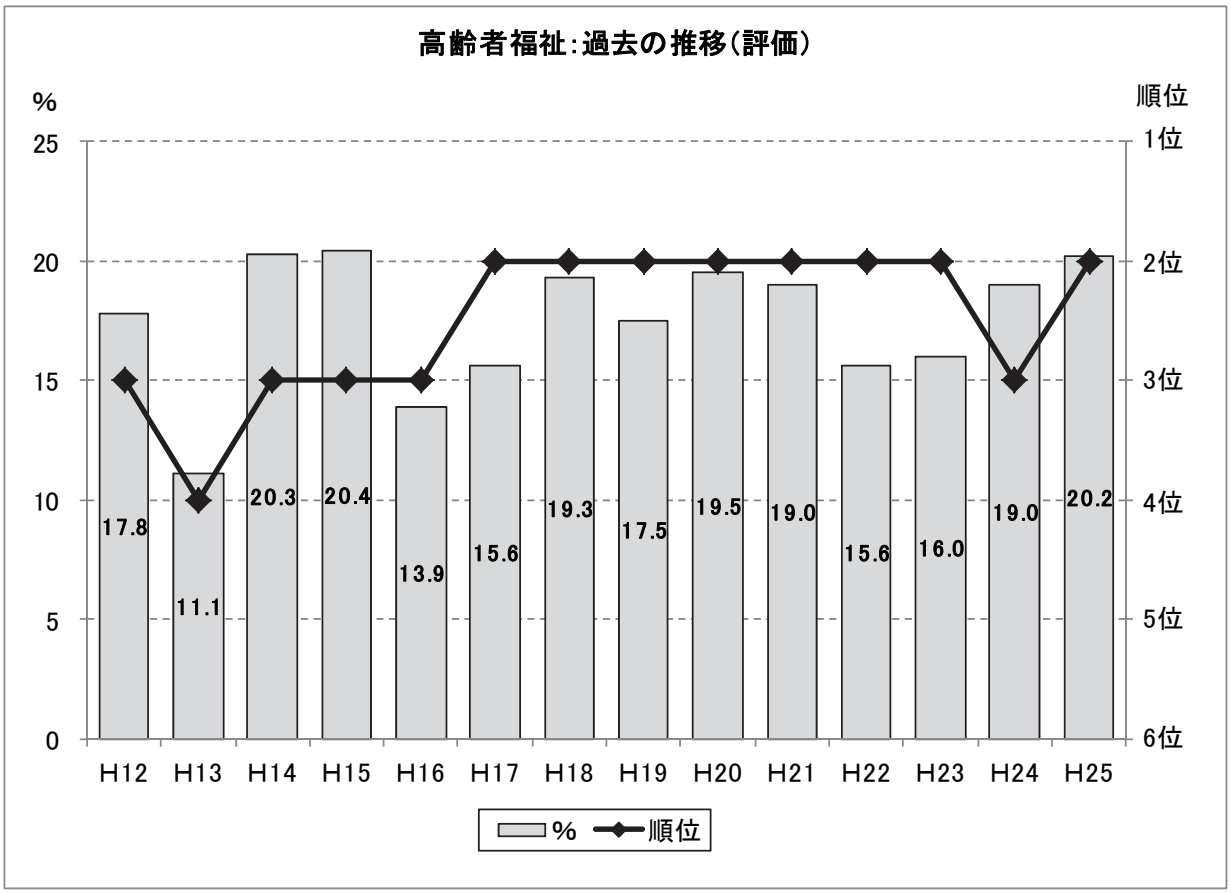
【居住歴別内比較】

5年未満（9.1%）、5年以上10年未満（7.3%）の評価が低く、30年以上（24.2%）の評価が高くなっています。

【居住区別比較】

中村区（33.3%）、瑞穂区（28.3%）、南区（26.2%）の評価が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. ４参照）。

第３位　健康・医療（18.7%）

【性別内比較】

男性（16.5%）よりも女性（20.2%）の方が、3.7ポイント評価が高くなっています。

【年代別比較】

70歳以上（24.7%）の評価が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

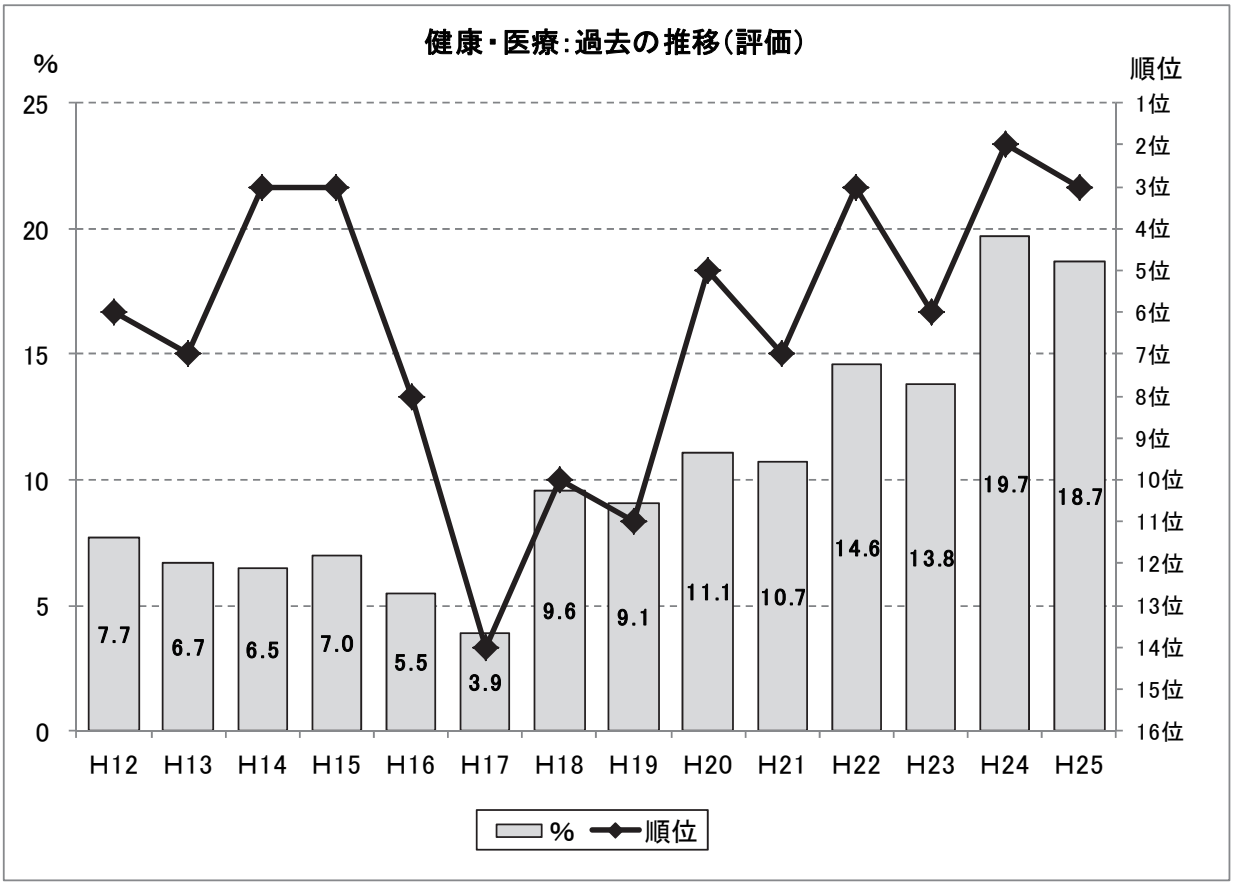
【居住歴別内比較】

5年以上10年未満（10.9%）の評価が低く、5年未満（22.7%）の評価が高くなっています。

【居住区別比較】

熱田区（25.9%）、中川区（28.0%）の評価が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. ４参照）。

第４位　児童福祉（15.4%）

【性別内比較】

男性（12.3%）よりも女性（17.7%）の方が、5.4ポイント評価が高くなっています。

【年代別比較】

大きな差はみられません。

【出生地別内比較】

生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（13.7%）よりも、名古屋市以外から引っ越してきた人（17.2%）の方が、3.5ポイント高くなっています。

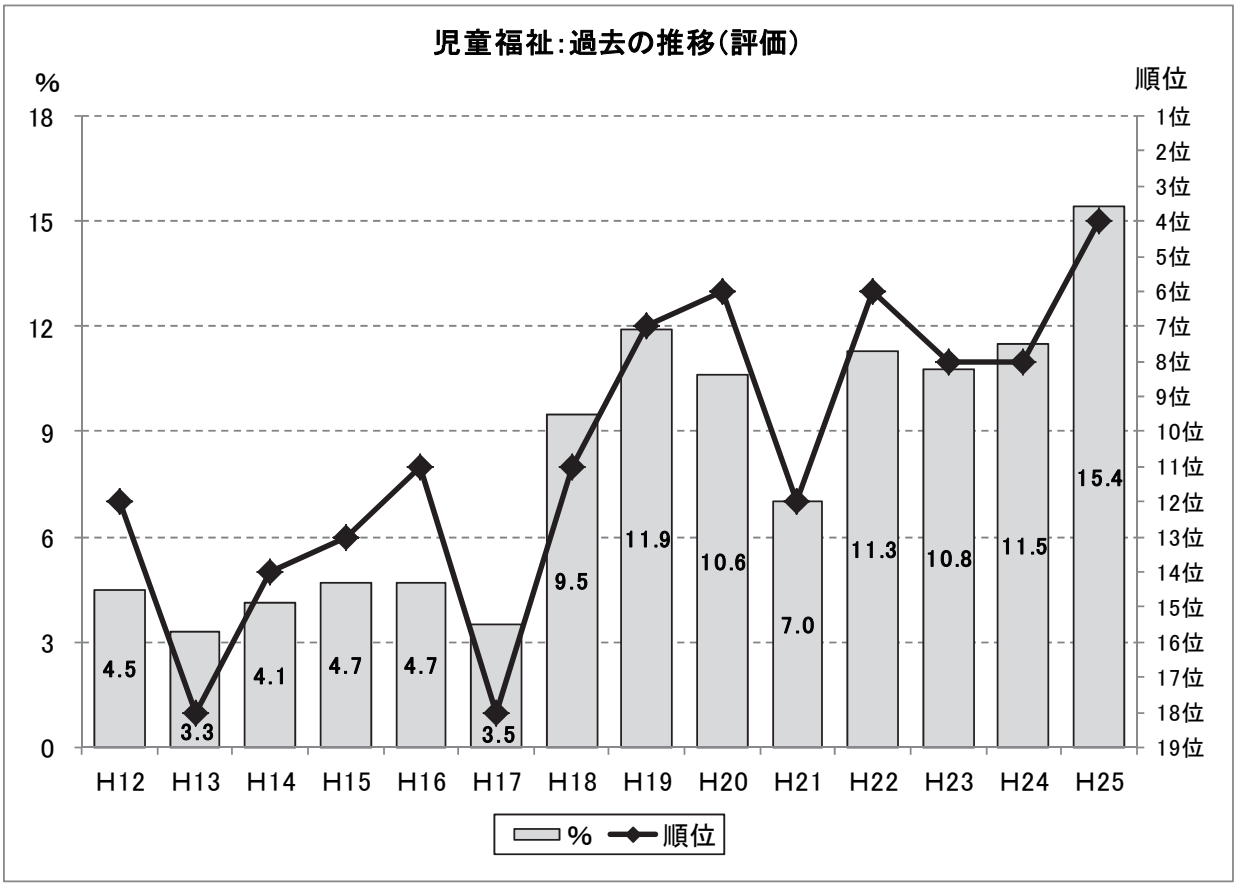
【居住歴別内比較】

5年未満（25.0%）の評価が高くなっています。

【居住区別比較】

千種区（22.5%）、西区（21.1%）の評価が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. ４参照）。

第５位　災害の防止（14.3%）

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

40歳代（10.6%）の評価が低くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

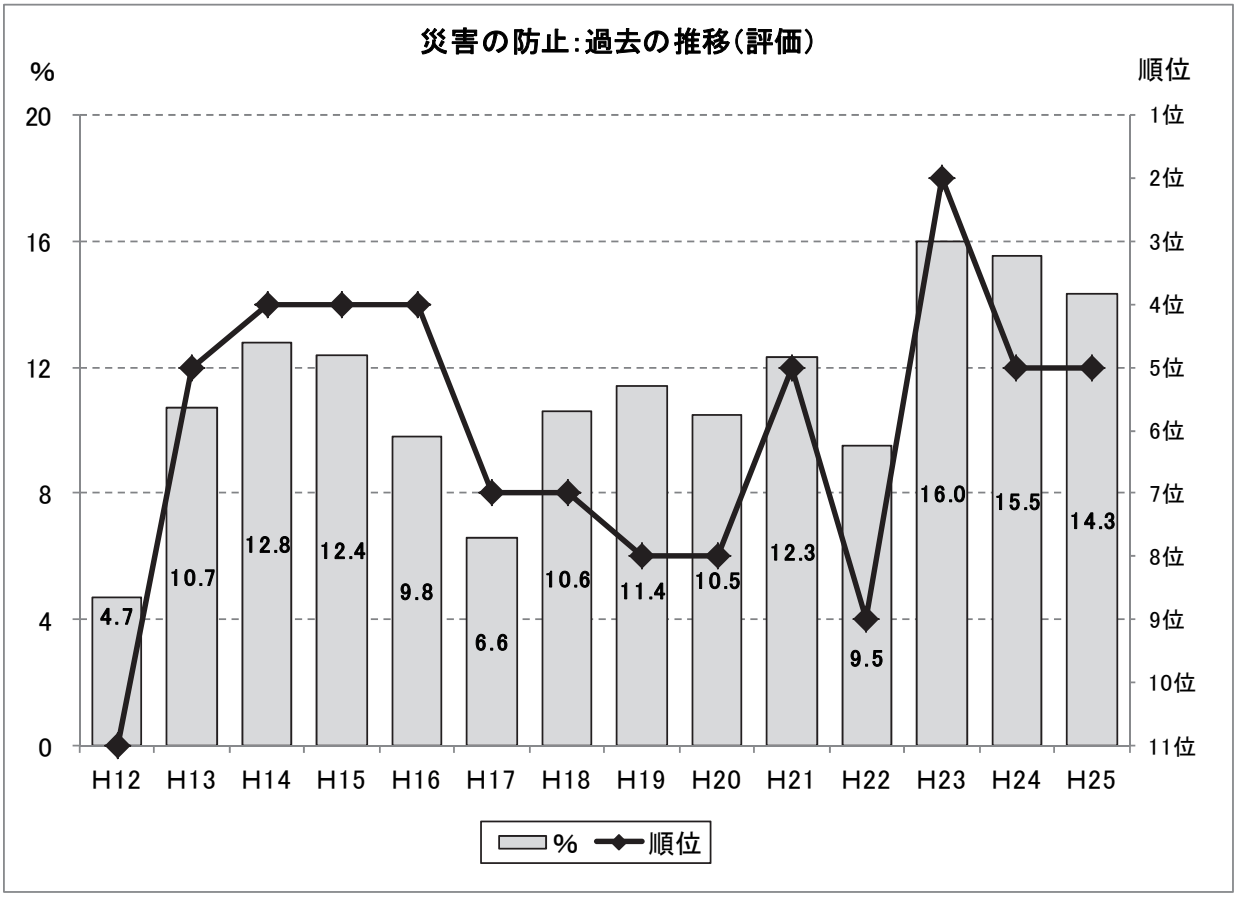
【居住歴別内比較】

5年以上10年未満（9.1%）で評価が低くなっています。

【居住区別比較】

西区（22.5%）、南区（27.7%）の評価が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4参照）。

		第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		ごみの減量と処理 30.6%	高齢者福祉 20.2%	健康・医療 18.7%	児童福祉 15.4%	災害の防止 14.3%
性別	男性	ごみの減量と処理 28.1%	公共交通 18.3%	高齢者福祉 17.3%	健康・医療　16.5% 道路交通　16.5%	
	女性	ごみの減量と処理 32.3%	高齢者福祉 21.9%	健康・医療 20.2%	児童福祉 17.7%	災害の防止 14.4%
年代別	20歳代	ごみの減量と処理 17.9%	災害の防止 16.4%	公共交通 13.4%	児童福祉 11.9%	高齢者福祉 9.0%
	30歳代	ごみの減量と処理 17.6% 児童福祉　17.6%		健康・医療 15.5%	道路交通 14.1%	災害の防止 12.7%
	40歳代	ごみの減量と処理 29.8%	健康・医療 16.5%	児童福祉 13.3%	高齢者福祉　11.7% 観光・ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ　11.7%	
	50歳代	ごみの減量と処理 29.7%	健康・医療 20.0%	道路交通 18.7%	災害の防止 16.1%	児童福祉 15.5%
	60歳代	ごみの減量と処理 34.5%	高齢者福祉 26.1%	健康・医療 18.9%	公共交通 17.6%	災害の防止　15.1% 児童福祉　15.1%
	70歳以上	ごみの減量と処理 39.3%	高齢者福祉 36.5%	健康・医療 24.7%	児童福祉 17.4%	公共交通 16.4%

【上位５項目の性別順位比較】

男性、女性ともに第１位が「ごみの減量と処理」、第２位が男性は「公共交通」、女性は「高齢者福祉」となっています。

【上位５項目の年代別順位比較】

「ごみの減量と処理」はすべての年代で第１位となっています。「健康・医療」は30歳代～70歳以上で第２位または第３位となっています。また、全体で第４位の「児童福祉」は30歳代で第１位、40歳代で第３位となっています。

問 19　市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（その１）

		ごみの減量と処理	高齢者福祉	健康・医療	児童福祉	災害の防止	公共交通	道路交通	市街地の整備	観光・コンベンション	障害者福祉	緑・水環境	文化	市民サービス	生涯学習	学校教育	福祉のまちづくり	環境の保全
全　体		30.6	20.2	18.7	15.4	14.3	13.9	12.5	9.6	9.0	8.3	7.1	6.6	6.6	6.5	6.2	6.0	6.0
性別	男性	28.1	17.3	16.5	12.3	14.3	18.3	16.5	10.4	8.9	8.4	7.7	7.4	7.9	5.4	7.7	6.2	6.2
	女性	32.3	21.9	20.2	17.7	14.4	11.4	10.1	9.3	9.3	8.3	7.0	6.5	5.8	7.3	5.1	6.1	5.8
年代別	20歳代	17.9	9.0	9.0	11.9	16.4	13.4	7.5	6.0	9.0	3.0	1.5	6.0	4.5	4.5	9.0	4.5	3.0
	30歳代	17.6	7.0	15.5	17.6	12.7	11.3	14.1	11.3	9.2	3.5	12.0	12.7	2.1	3.5	6.3	4.9	4.2
	40歳代	29.8	11.7	16.5	13.3	10.6	10.6	10.1	8.0	11.7	5.3	6.4	6.9	5.9	6.4	7.4	4.3	5.9
	50歳代	29.7	15.5	20.0	15.5	16.1	12.9	18.7	12.9	11.0	5.8	4.5	7.7	8.4	8.4	5.2	6.5	7.1
	60歳代	34.5	26.1	18.9	15.1	15.1	17.6	11.8	8.8	8.8	10.1	10.5	5.5	8.4	6.3	5.0	6.3	6.3
	70歳以上	39.3	36.5	24.7	17.4	16.0	16.4	11.9	9.6	5.9	15.1	5.0	4.1	7.8	8.2	5.5	8.2	7.3
職業別	会社員（フルタイム）	23.7	10.0	14.1	12.4	12.9	15.8	15.8	12.0	9.1	3.7	5.8	9.5	7.5	5.4	7.5	5.8	4.6
	公務員	22.6	6.5	9.7	12.9	6.5	16.1	6.5	12.9	16.1	3.2	6.5	9.7	6.5	6.5	9.7	3.2	3.2
	自営・自由業	44.7	23.4	30.9	17.0	13.8	12.8	18.1	9.6	9.6	14.9	11.7	7.4	5.3	7.4	6.4	8.5	5.3
	アルバイト・パート(派遣も含む)	29.5	18.9	17.4	18.9	16.8	10.5	11.6	6.3	7.9	8.4	8.9	6.8	4.7	4.7	5.8	6.3	8.4
	家事専業	35.9	27.1	23.2	21.0	17.1	12.7	11.0	12.2	11.0	8.8	8.3	6.6	8.3	8.8	6.1	5.5	4.4
	学生	19.0	4.8	9.5	9.5	23.8	19.0	4.8	9.5	23.8	4.8	4.8	0.0	4.8	9.5	14.3	4.8	9.5
	無職	31.8	27.6	18.7	11.7	13.6	16.8	10.3	7.5	6.1	11.7	5.1	4.2	7.5	7.5	3.3	7.0	6.5
	その他	23.5	26.5	14.7	14.7	8.8	14.7	14.7	11.8	5.9	2.9	2.9	5.9	0.0	2.9	8.8	2.9	11.8
出生地別	名古屋市	30.4	17.7	17.9	13.7	14.3	13.7	13.1	10.3	9.5	8.1	5.2	6.3	5.0	7.1	6.9	5.8	6.5
	名古屋市以外	30.3	22.3	19.4	17.2	14.5	14.9	11.9	9.2	9.0	8.6	9.0	7.4	8.2	6.1	5.5	6.5	5.7
居住歴別	30年以上	32.8	24.2	20.7	14.9	15.0	14.9	12.4	9.9	8.3	9.5	6.4	5.5	7.0	7.0	5.4	7.3	6.9
	20年以上30年未満	30.0	12.1	14.3	17.1	12.1	14.3	13.6	7.9	11.4	7.1	5.7	8.6	5.0	7.1	7.9	5.7	2.9
	10年以上20年未満	26.2	14.3	13.1	14.3	16.7	13.1	15.5	13.1	11.9	7.1	8.3	13.1	7.1	7.1	6.0	3.6	4.8
	5年以上10年未満	18.2	7.3	10.9	12.7	9.1	12.7	14.5	7.3	9.1	0.0	14.5	9.1	3.6	1.8	10.9	0.0	3.6
	5年未満	18.2	9.1	22.7	25.0	15.9	9.1	4.5	9.1	11.4	6.8	11.4	6.8	9.1	2.3	6.8	2.3	9.1
居住区別	千種区	42.5	20.0	17.5	22.5	15.0	16.3	16.3	18.8	8.8	8.8	12.5	15.0	10.0	6.3	7.5	7.5	8.8
	東区	22.2	11.1	19.4	16.7	8.3	8.3	8.3	13.9	13.9	11.1	0.0	0.0	11.1	2.8	0.0	0.0	0.0
	北区	35.5	16.1	12.9	17.7	14.5	12.9	8.1	9.7	6.5	9.7	9.7	8.1	8.1	8.1	8.1	3.2	4.8
	西区	33.8	23.9	21.1	21.1	22.5	15.5	18.3	18.3	11.3	18.3	7.0	5.6	7.0	7.0	9.9	11.3	7.0
	中村区	30.0	33.3	13.3	11.7	18.3	18.3	10.0	15.0	13.3	13.3	6.7	10.0	6.7	6.7	3.3	10.0	8.3
	中区	25.0	7.1	17.9	10.7	7.1	17.9	17.9	10.7	10.7	0.0	3.6	7.1	14.3	3.6	0.0	7.1	0.0
	昭和区	23.8	19.0	21.4	16.7	16.7	11.9	9.5	9.5	11.9	7.1	4.8	4.8	7.1	4.8	0.0	2.4	4.8
	瑞穂区	32.6	28.3	13.0	19.6	13.0	6.5	6.5	8.7	8.7	8.7	10.9	2.2	0.0	4.3	8.7	2.2	4.3
	熱田区	29.6	11.1	25.9	11.1	7.4	11.1	11.1	7.4	0.0	11.1	3.7	3.7	3.7	7.4	14.8	3.7	0.0
	中川区	23.7	22.6	28.0	15.1	16.1	8.6	17.2	6.5	9.7	8.6	4.3	8.6	10.8	7.5	6.5	7.5	7.5
	港区	33.9	22.6	19.4	9.7	12.9	9.7	16.1	8.1	8.1	8.1	1.6	3.2	6.5	4.8	3.2	4.8	9.7
	南区	24.6	26.2	15.4	16.9	27.7	15.4	7.7	9.2	9.2	6.2	4.6	6.2	7.7	6.2	4.6	6.2	7.7
	守山区	30.4	16.5	17.7	13.9	15.2	10.1	7.6	10.1	2.5	6.3	10.1	2.5	2.5	8.9	7.6	11.4	7.6
	緑区	31.6	18.8	20.5	12.8	9.4	21.4	12.0	5.1	7.7	6.8	9.4	6.0	6.8	6.0	2.6	4.3	4.3
	名東区	27.5	15.9	10.1	10.1	10.1	15.9	13.0	2.9	14.5	5.8	4.3	10.1	2.9	5.8	13.0	2.9	4.3
	天白区	31.0	16.9	22.5	18.3	9.9	18.3	15.5	4.2	8.5	2.8	11.3	8.5	2.8	8.5	7.0	7.0	5.6

（単位：%）

問 19　市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（その２）

		産業振興	都市景観	水・エネルギー	スポーツ・レクリエーション	コミュニティ・市民活動	国際都市	港湾・空港	住宅	人権	情報・通信	消費者・勤労者	男女平等参画	都市農業	その他	特になし	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		5.9	5.4	5.2	4.7	4.1	3.7	2.8	1.4	1.4	1.2	0.9	0.8	0.5	1.5	27.9	2.9	1,052	2.6
性別	男性	8.6	3.7	6.4	4.2	3.5	5.2	3.7	1.0	1.0	0.5	1.2	1.2	0.7	0.7	28.6	2.7	405	2.7
	女性	4.5	6.6	4.8	4.8	4.6	3.0	2.2	1.8	1.8	1.7	0.7	0.5	0.3	2.2	28.0	3.0	604	2.7
年代別	20歳代	7.5	3.0	1.5	4.5	0.0	3.0	0.0	4.5	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	3.0	35.8	1.5	67	2.0
	30歳代	4.9	8.5	5.6	4.2	3.5	1.4	1.4	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	1.4	28.9	3.5	142	2.3
	40歳代	5.3	5.9	3.2	3.2	3.2	4.8	2.1	0.5	2.7	1.1	0.5	1.6	0.5	2.1	32.4	1.6	188	2.4
	50歳代	7.7	3.9	5.2	6.5	4.5	2.6	3.9	1.9	0.6	0.6	1.3	0.0	0.0	1.9	21.3	3.9	155	2.7
	60歳代	5.0	5.5	8.0	2.9	3.8	4.2	3.4	0.8	2.1	0.8	0.4	0.4	0.4	1.3	31.1	2.1	238	2.9
	70歳以上	7.3	5.0	5.9	5.9	6.8	5.5	3.2	2.7	1.8	2.7	1.4	1.4	1.4	0.9	23.3	4.1	219	3.1
職業別	会社員（フルタイム）	7.5	4.1	5.8	5.0	4.1	4.6	3.3	0.0	0.4	0.8	0.8	0.8	0.4	1.2	31.1	1.2	241	2.5
	公務員	16.1	9.7	0.0	0.0	3.2	0.0	6.5	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	12.9	9.7	31	2.2
	自営・自由業	5.3	7.4	7.4	3.2	5.3	4.3	3.2	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	1.1	1.1	18.1	4.3	94	3.1
	アルバイト・パート(派遣も含む)	5.3	6.8	4.7	2.6	2.1	2.6	2.6	4.2	3.2	1.1	1.6	1.1	0.0	2.6	28.4	2.1	190	2.6
	家事専業	5.0	6.6	6.1	8.8	5.0	2.8	2.2	1.1	1.1	1.7	0.0	0.0	0.6	2.8	23.2	1.7	181	3.0
	学生	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	33.3	4.8	21	2.4
	無職	5.1	3.3	5.6	3.3	6.1	5.1	2.3	1.4	1.9	1.4	1.4	0.9	0.9	0.5	33.2	4.2	214	2.7
	その他	5.9	2.9	2.9	8.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3	5.9	34	2.4
出生地別	名古屋市	5.0	4.2	6.7	4.4	3.6	3.8	2.2	1.4	1.0	1.0	0.4	0.6	0.4	1.8	29.6	3.0	496	2.6
	名古屋市以外	7.0	6.8	4.3	4.7	4.7	3.9	3.1	1.6	2.0	1.4	1.4	1.0	0.6	1.4	26.6	2.7	511	2.8
居住歴別	30年以上	5.7	5.1	6.4	4.5	4.7	3.8	2.8	1.3	1.7	1.5	0.7	0.9	0.7	1.6	27.7	3.4	686	2.8
	20年以上30年未満	5.0	5.0	3.6	4.3	2.1	5.0	1.4	2.1	0.7	0.0	2.1	0.7	0.0	0.7	30.7	2.1	140	2.5
	10年以上20年未満	7.1	6.0	3.6	3.6	6.0	6.0	6.0	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	3.6	20.2	2.4	84	2.6
	5年以上10年未満	10.9	10.9	1.8	5.5	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	32.7	1.8	55	2.2
	5年未満	9.1	6.8	4.5	6.8	2.3	0.0	2.3	4.5	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	36.4	0.0	44	2.6
居住区別	千種区	7.5	8.8	7.5	7.5	8.8	5.0	3.8	0.0	2.5	0.0	1.3	0.0	0.0	2.5	23.8	1.3	80	3.3
	東区	11.1	2.8	5.6	0.0	5.6	5.6	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	22.2	0.0	36	2.1
	北区	4.8	3.2	6.5	6.5	1.6	4.8	3.2	1.6	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	3.2	27.4	4.8	62	2.6
	西区	8.5	7.0	4.2	7.0	4.2	2.8	2.8	4.2	1.4	1.4	2.8	2.8	2.8	0.0	19.7	5.6	71	3.3
	中村区	6.7	5.0	3.3	3.3	6.7	3.3	5.0	0.0	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0	1.7	25.0	0.0	60	2.9
	中区	3.6	3.6	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	3.6	28	2.3
	昭和区	2.4	7.1	4.8	2.4	2.4	7.1	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	31.0	4.8	42	2.4
	瑞穂区	4.3	2.2	6.5	4.3	4.3	2.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	23.9	4.3	46	2.3
	熱田区	0.0	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	37.0	3.7	27	2.3
	中川区	7.5	8.6	10.8	4.3	7.5	6.5	5.4	4.3	5.4	3.2	3.2	3.2	1.1	1.1	32.3	4.3	93	3.1
	港区	4.8	1.6	4.8	0.0	3.2	1.6	3.2	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	32.3	1.6	62	2.4
	南区	7.7	4.6	3.1	1.5	0.0	6.2	4.6	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	33.8	7.7	65	2.7
	守山区	6.3	5.1	7.6	8.9	1.3	3.8	1.3	2.5	2.5	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	34.2	0.0	79	2.6
	緑区	5.1	7.7	0.9	2.6	3.4	3.4	1.7	0.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	24.8	3.4	117	2.4
	名東区	5.8	5.8	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	33.3	1.4	69	2.3
	天白区	5.6	0.0	8.5	9.9	7.0	1.4	0.0	4.2	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	23.9	0.0	71	2.6

（単位：%）

問 19　市政への評価（時系列）（その１）

	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	③	17.8	④	11.1	②	20.3	③	20.4	③	13.9
2　児童福祉	12	4.5	18	3.3	14	4.1	13	4.7	11	4.7
3　障害者福祉	⑨	5.8	18	3.3	11	4.8	12	5.0	12	4.3
4　福祉のまちづくり	⑧	7	⑨	5.6	⑧	6.1	⑩	5.2	13	4.2
5　健康･医療	⑥	7.7	⑦	6.7	⑦	6.5	⑦	7.0	⑧	5.5
6　災害の防止	11	4.7	⑤	10.7	④	12.8	④	12.4	④	9.8
7　環境の保全	22	1.9	20	2.8	17	3.5	21	2.3	20	2.6
8　緑･水環境	④	10.3	③	11.6	⑤	9.6	⑤	10.3	⑥	8.1
9　ごみの減量と処理	①	56.6	①	64.9	①	60.1	①	53.0	①	42.0
10　学校教育	23	1.7	23	1.5	22	2.1	23	1.6	22	2.5
11　生涯学習	13	3.6	⑩	5.2	⑩	4.9	17	3.2	16	3.7
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	⑦	7.2	⑧	5.7	⑨	5.2	11	5.1	⑩	4.9
13　文化	17	2.8	17	3.7	18	3.4	18	3.1	19	2.8
14　コミュニティ･市民活動	19	2.6	14	4.1	20	2.9	20	2.4	20	2.6
15　男女平等参画	28	0.5	26	1.1	25	1.4	25	0.8	25	0.8
16　国際都市	21	2	22	1.6	23	1.5	23	1.6	24	1.3
17　市街地の整備	15	3.5	13	4.2	16	3.7	15	4.4	14	4.1
18　都市景観	15	3.5	16	4.0	15	4.1	14	4.6	16	3.7
19　住宅	14	3.6	21	2.4	21	2.4	19	2.7	18	3.0
20　公共交通	②	19	②	15.2	③	13.1	②	20.6	②	20.4
21　道路交通	⑤	8.3	⑥	7.9	⑥	7.5	⑧	6.6	⑦	6.7
22　港湾･空港	17	2.8	15	4.0	12	4.7	⑨	5.3	⑤	8.3
23　情報･通信	25	0.8	24	1.4	26	0.6	29	0.3	27	0.6
24　水･エネルギー	10	5.5	11	5.1	13	4.5	⑥	7.3	⑨	5.1
25　産業振興	29	0.2	28	0.5	29	0.4	26	0.6	26	0.7
26　観光･コンベンション	24	1.1	25	1.3	23	1.5	22	2.2	23	1.9
27　都市農業	29	0.2	30	0.1	30	0.1	30	0.1	30	0.5
28　消費者･勤労者	27	0.6	29	0.2	28	0.5	26	0.6	27	0.6
29　人権	26	0.7	27	0.8	26	0.6	28	0.5	27	0.6
30　市民サービス	20	2.4	12	4.5	19	3.3	16	3.7	15	3.9
31　その他	－	0.6	－	0.5	－	0.2	－	0.4	－	0.2
32　特になし	－	16.6	－	15.5	－	14.9	－	11.2	－	6.6
※　無回答	－	0.8	－	2.1	－	2.1	－	8.2	－	20.2

注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

問 19　市政への評価（時系列）（その２）

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	②	15.6	②	19.3	②	17.5	②	19.5	②	19.0
2　児童福祉	18	3.5	11	9.5	⑦	11.9	⑥	10.6	⑨	7.9
3　障害者福祉	⑧	6.5	⑧	10.5	⑩	9.5	⑥	10.6	12	7.0
4　福祉のまちづくり	15	3.8	15	5.8	15	6.4	13	5.7	15	6.0
5　健康･医療	14	3.9	⑩	9.6	11	9.1	⑤	11.1	⑦	10.7
6　災害の防止	⑦	6.6	⑦	10.6	⑧	11.4	⑧	10.5	⑤	12.3
7　環境の保全	19	2.8	13	6.9	14	7.1	14	5.6	11	7.4
8　緑･水環境	⑨	5.0	⑨	10.2	⑨	10.0	⑨	9.9	⑧	10.2
9　ごみの減量と処理	①	54.5	①	54.3	①	52.5	①	53.3	①	45.1
10　学校教育	20	2.0	23	2.9	23	2.6	23	3.0	24	2.7
11　生涯学習	⑨	5.0	12	8.3	13	7.4	11	6.7	⑩	7.6
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	24	1.4	20	5.1	20	4.9	17	4.5	17	5.7
13　文化	26	1.0	22	3.0	24	2.4	21	3.2	22	3.5
14　コミュニティ･市民活動	13	4.1	15	5.8	18	5.7	20	3.4	18	3.7
15　男女平等参画	27	0.7	27	1.5	27	1.2	26	1.7	27	1.2
16　国際都市	11	4.8	14	6.6	17	6.1	18	4.4	20	3.6
17　市街地の整備	⑥	7.1	⑤	12.3	⑤	12.8	⑩	9.1	⑥	10.8
18　都市景観	17	3.6	18	5.6	12	7.6	16	4.7	15	6.0
19　住宅	23	1.6	21	3.2	22	3.4	25	2.3	25	2.1
20　公共交通	③	12.0	③	13.6	③	16.2	④	13.5	③	14.6
21　道路交通	④	10.5	④	13.2	④	15.5	③	14.5	④	12.7
22　港湾･空港	⑤	9.3	⑥	11.6	⑤	12.8	12	5.8	20	3.6
23　情報･通信	25	1.2	26	2.3	26	2.2	27	1.3	26	1.9
24　水･エネルギー	21	1.9	15	5.8	19	5.0	15	5.1	12	7.0
25　産業振興	12	4.3	19	5.5	16	6.2	19	3.5	23	3.1
26　観光･コンベンション	16	3.7	23	2.9	25	2.3	24	2.7	18	3.7
27　都市農業	28	0.3	30	0.8	30	0.4	30	0.7	28	1.1
28　消費者･勤労者	29	0.2	28	1.2	28	0.8	28	1.0	30	1.0
29　人権	29	0.2	29	1.1	29	0.6	29	0.8	28	1.1
30　市民サービス	22	1.7	23	2.9	21	3.5	21	3.2	14	6.8
31　その他	－	0.4	－	0.3	－	1.2	－	0.5	－	1.8
32　特になし	－	19.8	－	22.8	－	23.0	－	26.0	－	25.6
※　無回答	－	7.9	－	2.9	－	2.5	－	1.2	－	2.5

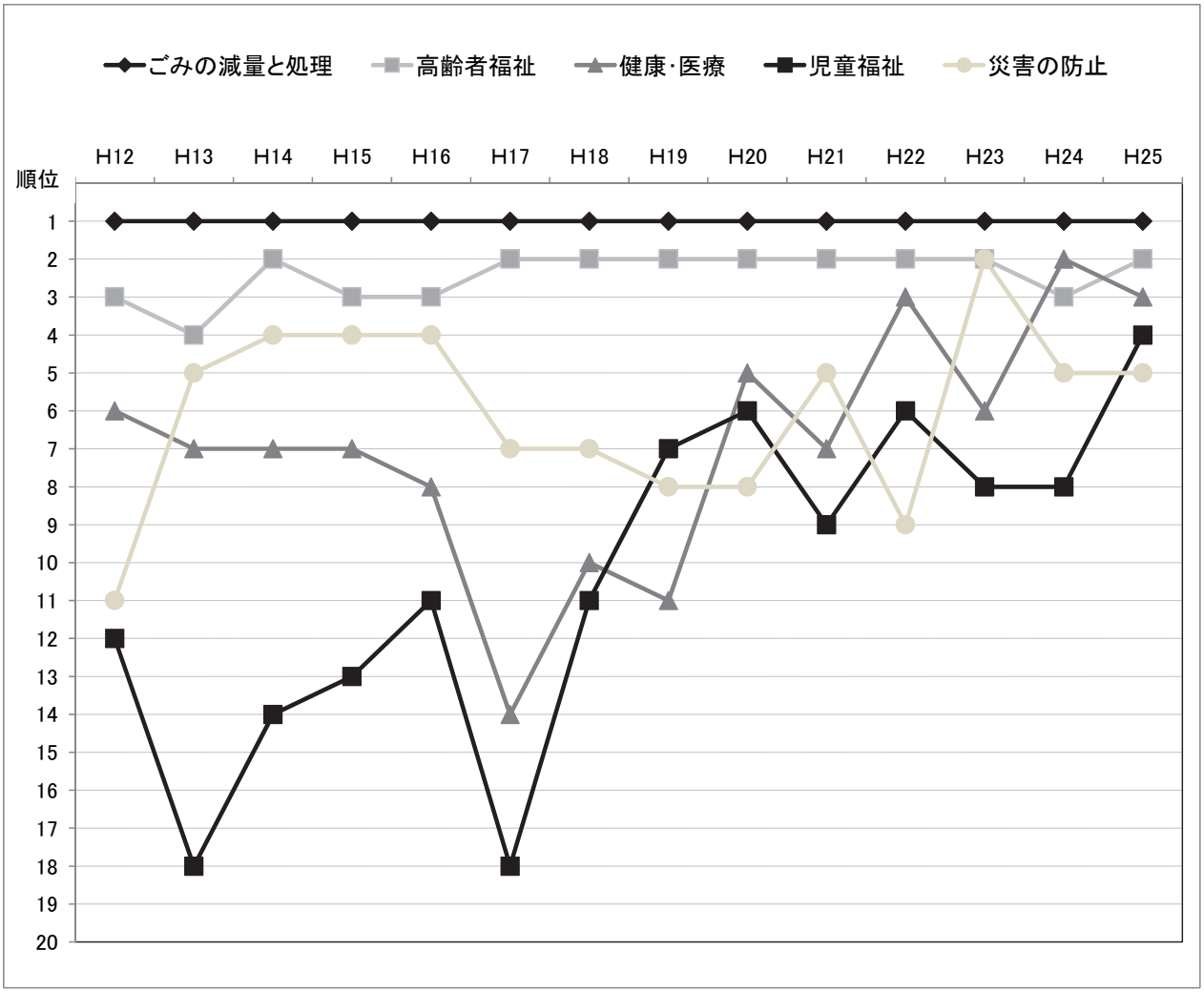
注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

問 19　市政への評価（時系列）（その３）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	②	15.6	②	16.0	③	19.0	②	20.2
2　児童福祉	⑥	11.3	⑧	10.8	⑧	11.7	④	15.4
3　障害者福祉	13	6.8	19	4.6	⑩	8.3	⑩	8.3
4　福祉のまちづくり	14	5.7	13	5.7	16	6.4	16	6.0
5　健康･医療	③	14.6	⑥	13.8	②	19.7	③	18.7
6　災害の防止	⑨	9.5	②	16.0	⑤	15.5	⑤	14.3
7　環境の保全	11	7.7	14	5.4	18	5.0	17	6.0
8　緑･水環境	⑧	10.1	⑩	8.2	⑨	10.2	11	7.1
9　ごみの減量と処理	①	43.3	①	37.2	①	35.8	①	30.6
10　学校教育	22	3.8	16	5.1	22	4.4	15	6.2
11　生涯学習	19	4.6	22	3.8	13	6.8	14	6.5
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	18	4.8	21	3.9	20	4.8	21	4.7
13　文化	16	5.1	22	3.8	18	5.0	12	6.6
14　コミュニティ･市民活動	20	4.1	18	4.7	17	5.7	22	4.1
15　男女平等参画	29	0.8	28	1.3	29	1.3	29	0.8
16　国際都市	12	7.0	19	4.6	24	2.5	23	3.7
17　市街地の整備	10	8.3	⑦	11.1	⑦	12.0	⑧	9.6
18　都市景観	16	5.1	14	5.4	14	6.7	19	5.4
19　住宅	25	1.5	24	2.6	24	2.5	25	1.4
20　公共交通	④	13.6	②	16.0	④	16.3	⑥	13.9
21　道路交通	⑤	11.6	⑤	14.3	⑥	13.0	⑦	12.5
22　港湾･空港	24	2.4	24	2.6	23	3.7	24	2.8
23　情報･通信	27	1.3	28	1.3	27	1.5	27	1.2
24　水･エネルギー	20	4.1	12	5.8	15	6.6	20	5.2
25　産業振興	23	3.0	17	5.0	21	4.5	18	5.9
26　観光･コンベンション	⑦	10.9	⑨	8.8	12	7.1	⑨	9.0
27　都市農業	30	0.7	30	0.7	30	0.9	30	0.5
28　消費者･勤労者	25	1.5	26	1.5	27	1.5	28	0.9
29　人権	28	1.2	27	1.2	26	1.6	26	1.4
30　市民サービス	15	5.4	11	5.4	11	7.6	13	6.6
31　その他	－	1.7	－	1.7	－	1.0	－	1.5
32　特になし	－	25.3	－	25.3	－	25.1	－	27.9
※　無回答	－	3.7	－	3.7	－	3.6	－	2.9

注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

上位５項目の順位の経年変化（市政の評価）



◆　「ごみの減量と処理」は毎年第１位となっています。

◆　「健康・医療」は、平成 17 年度の第 14 位から今年度は第３位となっています。

◆　「児童福祉」は、平成 17 年度の第 18 位から今年度は第４位となっています。

資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成 12 年度、平成 13 年度、平成 14 年度、平成 15 年度、平成 16 年度、平成 17 年度、平成 18 年度、平成 19 年度、平成 20 年度、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の調査の調査については、P. ４参照

（５）市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めて欲しいこと）（問 20・ＭＡ）

市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）の上位 10 項目は以下のとおりです。

今回調査			前回調査		前回比較
順位	項目	%	順位	%	順位
1	高齢者福祉	49.9	①	51.0	→
2	健康･医療	39.4	②	43.2	→
3	災害の防止	31.6	③	35.9	→
4	公共交通	27.4	⑥	24.0	↑
5	児童福祉	23.9	④	25.7	↓
5	学校教育	23.9	⑤	24.7	→
7	市民サービス	20.2	⑦	20.9	→
8	障害者福祉	17.9	⑨	18.9	↑
9	福祉のまちづくり	17.2	⑧	20.3	↓
9	環境の保全	17.2	⑨	18.9	→

◆　市政への要望では「高齢者福祉」が最も高く、前回調査と同様に第１位で、次いで「健康・医療」が前回と同様に第２位となっています。また、前回第６位であった「公共交通」は第４位に上昇しています。

前回調査と比較して、順位が上昇したのは、「公共交通」、「障害者福祉」です。逆に順位が下降したのは、「児童福祉」、「福祉のまちづくり」です。

市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）について、第１位から第５位までの傾向は、次のとおりです。（性別、年代別などのデータ一覧は、97 ページ以降にあります。）

第１位　高齢者福祉（49.9%）

【性別内比較】

男性（46.2%）よりも女性（52.3%）の方が、6.1ポイント要望が高くなっています。

【年代別比較】

20歳代（22.4%）の要望が低く、60歳代（59.2%）、70歳以上（69.4%）の要望が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

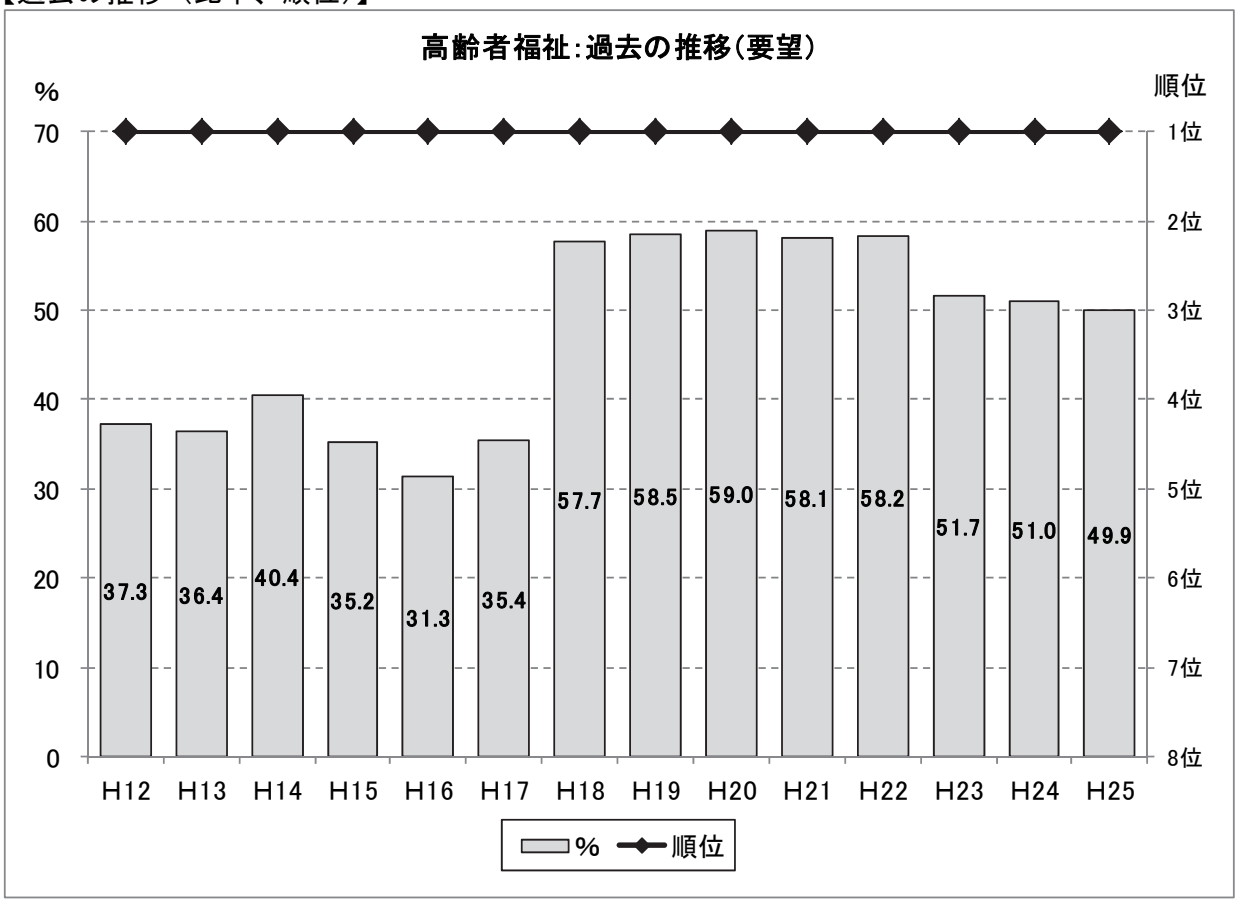
【居住歴別内比較】

30年以上（56.7%）の要望が高くなっています。

【居住区別比較】

北区（58.1%）、瑞穂区（58.7%）、南区（61.5%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4 参照）。

第２位　健康・医療（39.4%）

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

70歳以上（42.9%）の要望が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

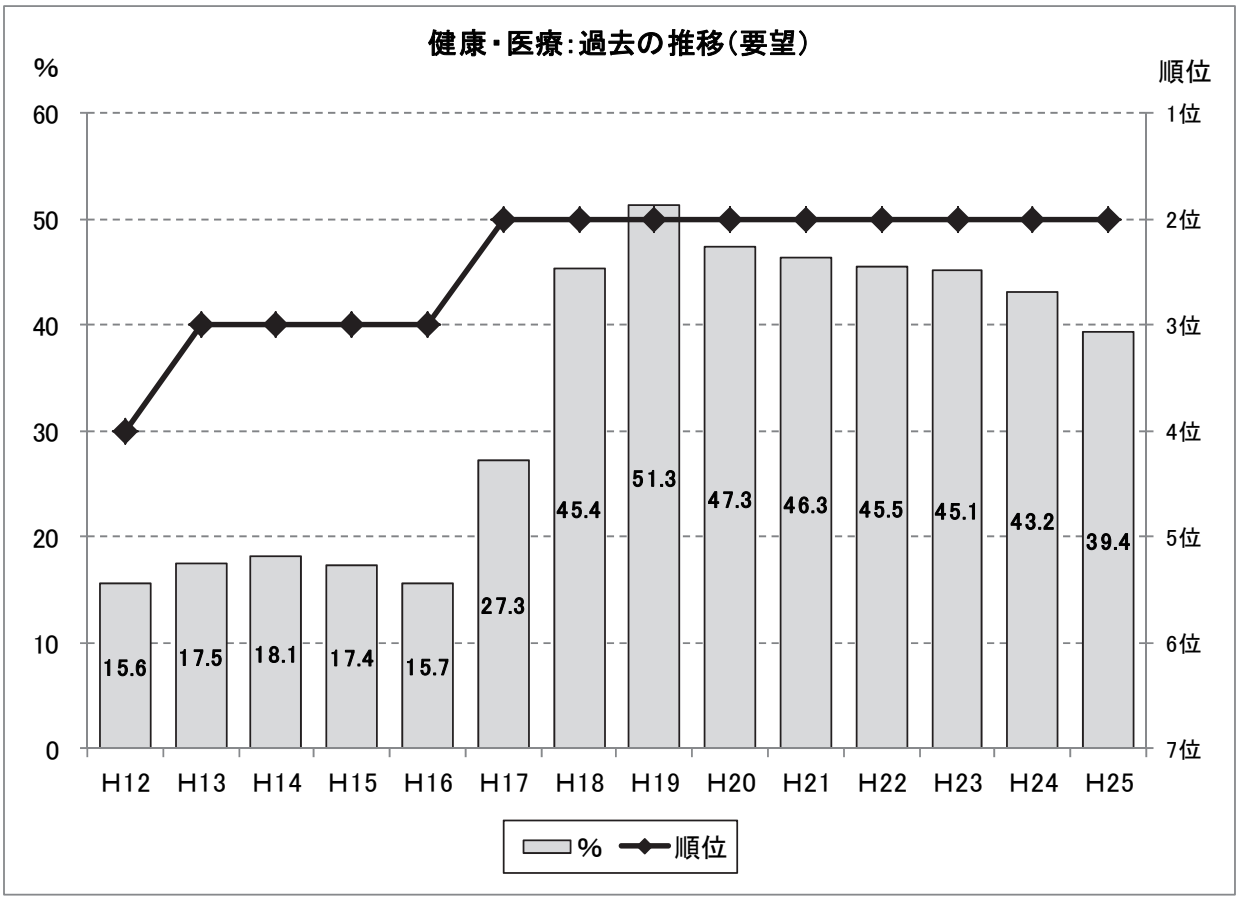
【居住歴別内比較】

大きな差はみられません。

【居住区別比較】

北区（46.8%）、熱田区（48.1%）、守山区（50.6%）、名東区（50.7%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4 参照）。

第３位　災害の防止（31.6%）

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

70歳以上（26.0%）の要望が低く、40歳代（36.7%）の要望が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

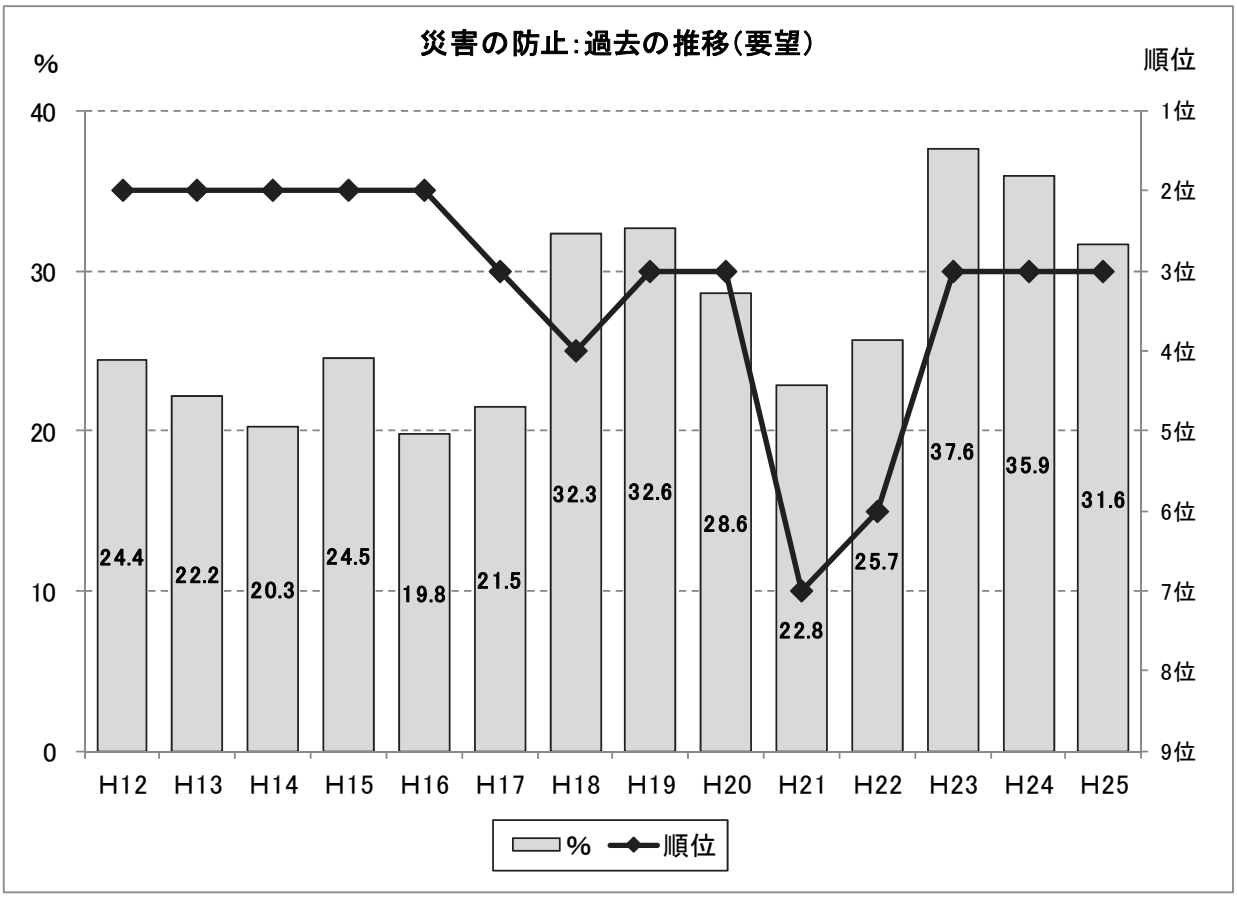
【居住歴別内比較】

5年以上10年未満（47.3%）の要望が高くなっています。

【居住区別比較】

北区（37.1%）、中区（39.3%）、港区（46.8%）、緑区（37.6%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4 参照）。

第４位　公共交通（27.4%）

【性別内比較】

大きな差はみられません。

【年代別比較】

大きな特徴はみられません。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

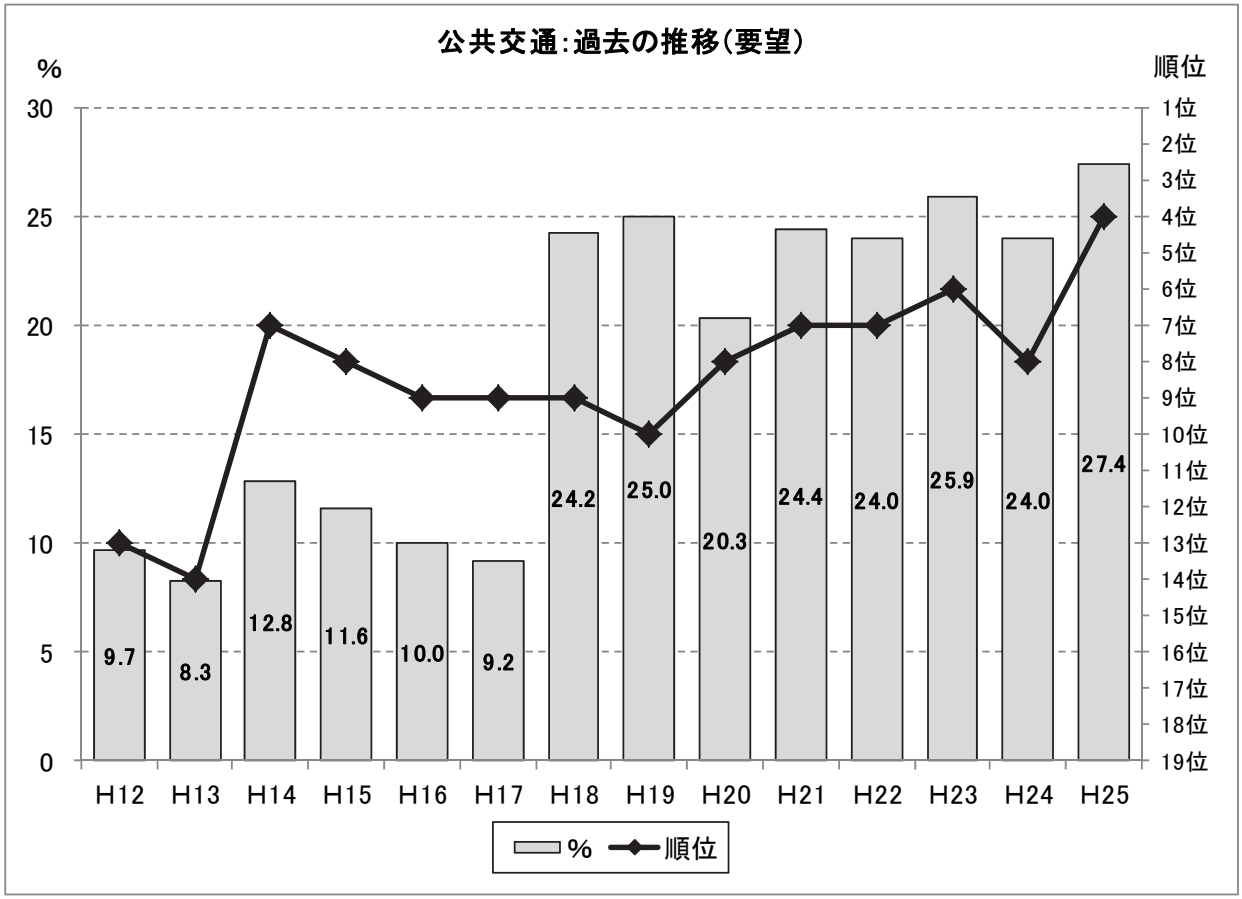
【居住歴別内比較】

5年未満（22.7%）で要望が低く、10年以上20年未満（32.1%）の要望が高くなっています。

【居住区別比較】

名東区（37.7%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. ４参照）。

第５位　児童福祉（23.9%）

【性別内比較】

男性（20.5%）よりも女性（26.2%）の方が、5.7ポイント要望が高くなっています。

【年代別比較】

60歳代（16.4%）の要望が低く、30歳代（40.8%）の要望が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

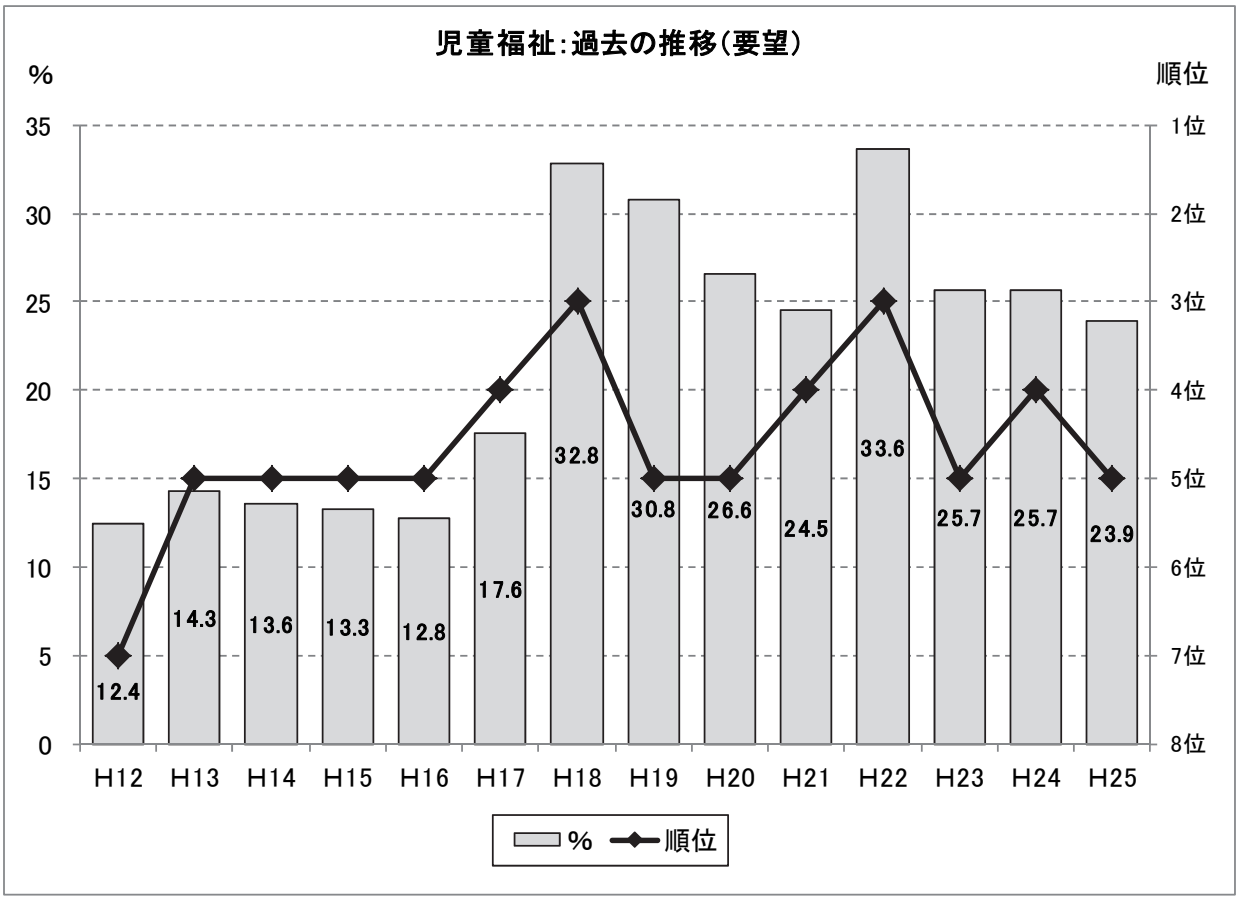
【居住歴別内比較】

5年未満（31.8%）、5年以上10年未満（36.4%）、10年以上20年未満（29.8%）の要望が高くなっています。

【居住区別比較】

南区（32.3%）、緑区（29.1%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. 4 参照）。

第５位　学校教育（23.9%）

【性別内比較】

男性（20.0%）よりも女性（26.2%）の方が、6.2ポイント要望が高くなっています。

【年代別比較】

70歳以上（13.7%）の要望が低く、30歳代（40.1%）、40歳代（32.4%）の要望が高くなっています。

【出生地別内比較】

大きな差はみられません。

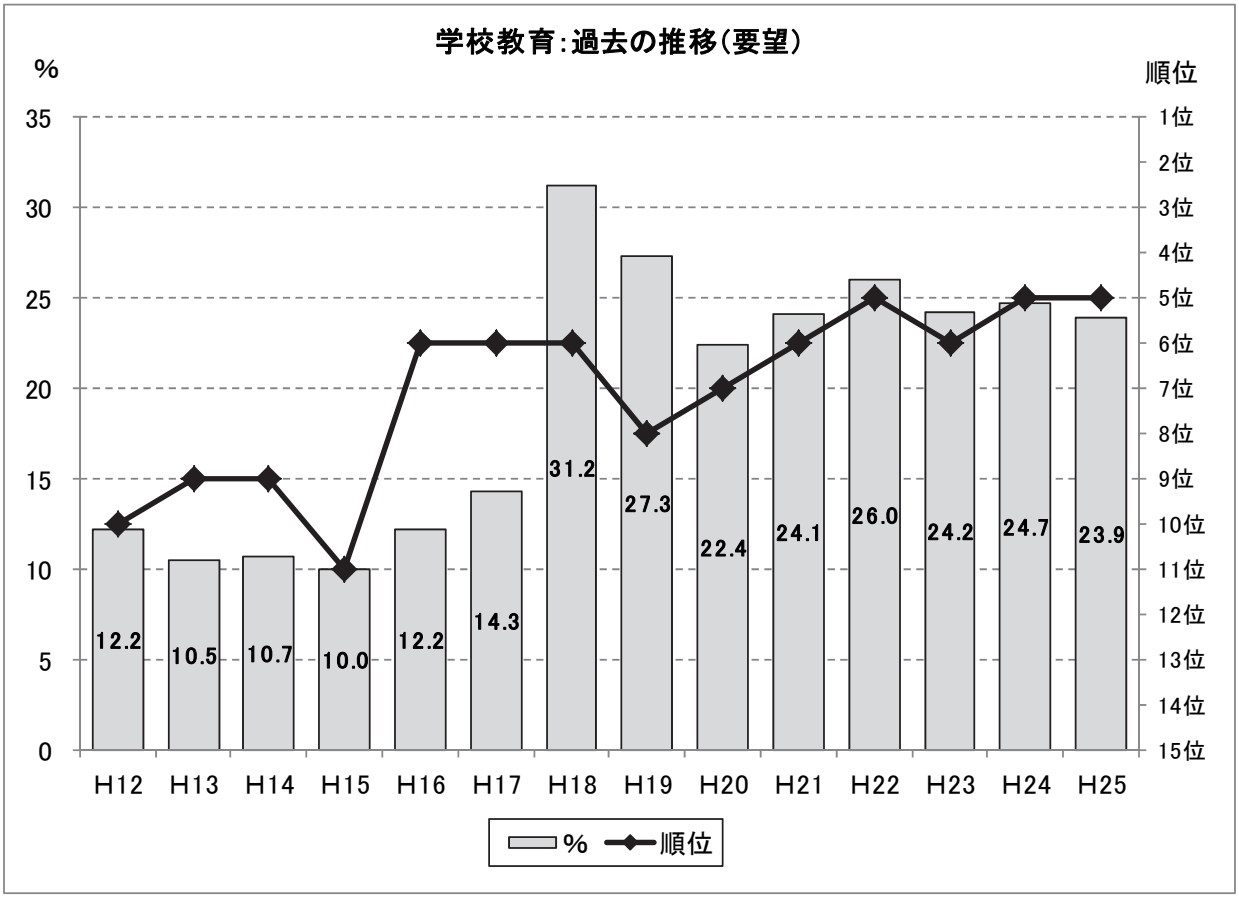
【居住歴別内比較】

5年未満（36.4%）、5年以上10年未満（45.5%）、10年以上20年未満（35.7%）の要望が高くなっています。

【居住区別比較】

千種区（32.5%）、緑区（29.9%）の要望が高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P. ４参照）。

		第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		高齢者福祉 49.9%	健康･医療 39.4%	災害の防止 31.6%	公共交通 27.4%	児童福祉　23.9% 学校教育　23.9%
性別	男性	高齢者福祉 46.2%	健康･医療 39.5%	災害の防止 31.4%	公共交通 28.4%	児童福祉 20.50%
	女性	高齢者福祉 52.3%	健康･医療 39.6%	災害の防止 32.6%	公共交通 27.0%	児童福祉　26.2% 学校教育　26.2%
年代別	20歳代	災害の防止 35.8%	健康･医療 32.8%	学校教育　28.4% 公共交通　28.4%		児童福祉 25.4%
	30歳代	児童福祉 40.8%	学校教育 40.1%	高齢者福祉 39.4%	健康･医療 36.6%	災害の防止 35.9%
	40歳代	高齢者福祉　37.8% 健康･医療　37.8%		災害の防止 36.7%	学校教育 32.4%	公共交通 29.3%
	50歳代	高齢者福祉 44.5%	健康･医療 38.1%	災害の防止 34.2%	公共交通 25.2%	福祉のまちづくり 23.9%
	60歳代	高齢者福祉 59.2%	健康･医療 42.0%	災害の防止 29.0%	公共交通 28.2%	障害者福祉 21.4%
	70歳以上	高齢者福祉 69.4%	健康･医療 42.9%	災害の防止 26.0%	公共交通 25.6%	市民サービス 21.0%

【上位５項目の性別順位比較】

男性、女性とも第１位から第４位まで同じ順位になっています。

【上位５項目の年代別順位比較】

20 歳代の第１位は「災害の防止」、30 歳代の第１位は「児童福祉」、40 歳代の第 1 位は同率で「高齢者福祉」、「健康・医療」、50 歳代～70 歳以上の第１位は「高齢者福祉」となっています。

また、全体で第２位である「健康・医療」は、20 歳代、50 歳代～70 歳以上は第２位となっており、全体で第３位である「災害の防止」は 40 歳代～70 歳以上で第３位となっています。

問 20　市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）（その１）

		高齢者福祉	健康・医療	災害の防止	公共交通	児童福祉	学校教育	市民サービス	障害者福祉	福祉のまちづくり	環境の保全	緑・水環境	道路交通	消費者・勤労者	水・エネルギー	文化	市街地の整備	生涯学習
全　体		49.9	39.4	31.6	27.4	23.9	23.9	20.2	17.9	17.2	17.2	16.7	15.1	13.9	12.3	11.4	11.1	10.3
性別	男性	46.2	39.5	31.4	28.4	20.5	20.0	20.0	17.5	15.1	16.8	18.8	14.8	11.6	11.4	12.8	13.1	9.4
	女性	52.3	39.6	32.6	27.0	26.2	26.2	20.4	17.9	18.7	17.5	15.4	15.1	15.1	13.2	10.8	9.6	10.9
年代別	20歳代	22.4	32.8	35.8	28.4	25.4	28.4	22.4	11.9	10.4	16.4	13.4	17.9	17.9	9.0	17.9	11.9	13.4
	30歳代	39.4	36.6	35.9	29.6	40.8	40.1	19.7	16.2	18.3	16.2	16.9	18.3	19.0	14.8	4.9	9.9	4.9
	40歳代	37.8	37.8	36.7	29.3	26.6	32.4	22.9	13.3	17.6	18.1	18.6	18.6	14.4	10.1	16.0	12.2	11.7
	50歳代	44.5	38.1	34.2	25.2	23.2	19.4	16.1	21.3	23.9	18.7	18.7	11.6	12.3	8.4	12.9	10.3	11.6
	60歳代	59.2	42.0	29.0	28.2	16.4	17.2	20.2	21.4	16.0	17.2	19.7	13.0	13.9	13.4	12.6	9.7	10.9
	70歳以上	69.4	42.9	26.0	25.6	18.7	13.7	21.0	17.8	15.1	16.0	11.0	12.8	9.1	16.0	8.2	11.9	10.0
職業別	会社員（フルタイム）	40.2	36.9	35.3	36.5	22.0	22.4	17.0	12.9	14.5	15.8	17.0	19.1	17.8	12.4	13.3	14.5	9.1
	公務員	35.5	32.3	38.7	19.4	41.9	38.7	22.6	12.9	19.4	12.9	12.9	9.7	9.7	9.7	9.7	3.2	16.1
	自営・自由業	47.9	37.2	24.5	21.3	29.8	24.5	23.4	23.4	18.1	17.0	22.3	12.8	10.6	18.1	10.6	9.6	8.5
	アルバイト・パート(派遣も含む)	52.1	42.1	35.8	20.5	30.0	25.8	20.5	18.9	17.4	18.9	17.4	12.6	18.4	9.5	12.1	11.1	9.5
	家事専業	53.6	42.0	32.6	28.2	25.4	31.5	22.7	18.8	22.7	19.3	16.6	17.1	13.8	12.7	13.3	8.8	13.8
	学生	38.1	33.3	38.1	23.8	23.8	33.3	19.0	19.0	19.0	19.0	14.3	4.8	9.5	4.8	23.8	0.0	9.5
	無職	58.9	42.1	25.7	28.5	15.0	14.5	20.6	19.6	14.0	16.4	14.0	13.6	8.9	13.1	7.0	12.6	9.8
	その他	55.9	35.3	38.2	20.6	20.6	17.6	14.7	11.8	23.5	14.7	20.6	14.7	2.9	14.7	11.8	2.9	8.8
出生地別	名古屋市	49.6	38.1	31.3	27.8	22.6	22.6	21.0	16.7	17.1	16.9	16.9	15.1	14.7	13.1	11.7	11.5	10.3
	名古屋市以外	50.3	40.7	32.7	27.2	25.4	25.0	19.2	19.0	17.4	17.4	16.6	14.9	12.9	11.7	11.5	10.4	10.4
居住歴別	30年以上	56.7	40.8	30.0	27.6	22.3	19.7	21.1	18.5	17.5	17.2	16.8	14.1	13.8	14.0	10.2	11.2	10.5
	20年以上30年未満	38.6	35.0	33.6	26.4	21.4	24.3	17.9	14.3	14.3	15.7	15.0	15.0	15.7	5.7	17.1	8.6	12.9
	10年以上20年未満	39.3	38.1	34.5	32.1	29.8	35.7	21.4	21.4	21.4	20.2	21.4	14.3	13.1	16.7	15.5	13.1	8.3
	5年以上10年未満	30.9	36.4	47.3	27.3	36.4	45.5	14.5	14.5	16.4	20.0	18.2	16.4	14.5	5.5	12.7	7.3	12.7
	5年未満	27.3	40.9	34.1	22.7	31.8	36.4	18.2	15.9	15.9	11.4	13.6	27.3	6.8	9.1	4.5	13.6	2.3
居住区別	千種区	55.0	40.0	32.5	30.0	22.5	32.5	27.5	23.8	20.0	25.0	17.5	15.0	11.3	16.3	21.3	8.8	16.3
	東区	44.4	33.3	19.4	22.2	19.4	22.2	19.4	13.9	25.0	13.9	13.9	11.1	16.7	8.3	25.0	5.6	5.6
	北区	58.1	46.8	37.1	29.0	24.2	16.1	17.7	11.3	11.3	14.5	9.7	16.1	14.5	8.1	6.5	12.9	11.3
	西区	47.9	31.0	31.0	22.5	22.5	21.1	18.3	18.3	18.3	14.1	11.3	16.9	8.5	15.5	12.7	9.9	9.9
	中村区	41.7	28.3	31.7	20.0	18.3	21.7	20.0	18.3	13.3	11.7	18.3	11.7	15.0	15.0	10.0	5.0	10.0
	中区	46.4	25.0	39.3	28.6	21.4	14.3	28.6	10.7	17.9	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	21.4	10.7	17.9
	昭和区	47.6	33.3	23.8	26.2	21.4	26.2	16.7	14.3	11.9	19.0	11.9	19.0	14.3	11.9	16.7	2.4	9.5
	瑞穂区	58.7	43.5	23.9	23.9	23.9	17.4	13.0	17.4	21.7	13.0	13.0	13.0	15.2	8.7	8.7	8.7	13.0
	熱田区	37.0	48.1	29.6	25.9	22.2	22.2	14.8	22.2	18.5	18.5	18.5	29.6	11.1	3.7	18.5	14.8	18.5
	中川区	51.6	44.1	30.1	28.0	28.0	28.0	22.6	20.4	14.0	20.4	15.1	14.0	12.9	12.9	6.5	17.2	5.4
	港区	50.0	30.6	46.8	21.0	19.4	19.4	19.4	17.7	17.7	22.6	21.0	9.7	24.2	11.3	9.7	12.9	11.3
	南区	61.5	41.5	32.3	29.2	32.3	23.1	21.5	26.2	21.5	20.0	20.0	15.4	18.5	15.4	6.2	23.1	10.8
	守山区	44.3	50.6	29.1	31.6	19.0	22.8	11.4	15.2	12.7	16.5	13.9	10.1	15.2	11.4	6.3	10.1	7.6
	緑区	54.7	38.5	37.6	29.1	29.1	29.9	25.6	17.9	22.2	14.5	21.4	13.7	12.0	15.4	12.8	7.7	11.1
	名東区	39.1	50.7	36.2	37.7	20.3	26.1	21.7	15.9	14.5	14.5	15.9	23.2	11.6	14.5	14.5	10.1	7.2
	天白区	46.5	36.6	21.1	26.8	28.2	19.7	18.3	14.1	15.5	18.3	21.1	16.9	7.0	9.9	4.2	11.3	8.5

（単位：％）

問 20　市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）（その２）

		産業振興	ごみの減量と処理	観光・コンベンション	都市景観	住宅	人権	国際都市	スポーツ・レクリエーション	情報・通信	都市農業	コミュニティ・市民活動	男女平等参画	港湾・空港	その他	特になし	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全　体		10.0	9.9	9.7	9.2	9.1	7.0	6.1	6.0	5.6	4.9	4.2	3.6	3.1	5.2	5.5	2.0	1,052	4.6
性別	男性	12.3	10.1	11.9	11.4	5.9	7.7	7.9	6.9	6.9	4.4	2.5	4.2	6.7	6.7	5.9	1.2	405	4.6
	女性	8.6	9.6	8.1	7.8	10.8	6.8	5.0	5.3	5.0	4.0	4.5	2.5	3.6	4.3	5.3	2.2	604	4.6
年代別	20歳代	10.4	16.4	11.9	13.4	4.5	4.5	7.5	13.4	7.5	4.5	7.5	6.0	7.5	3.0	6.0	0.0	67	4.6
	30歳代	10.6	4.9	14.8	7.7	8.5	8.5	5.6	4.2	5.6	4.2	1.4	2.1	4.2	6.3	3.5	0.0	142	4.7
	40歳代	10.1	7.4	13.3	11.7	10.6	10.1	6.9	10.1	7.4	4.3	7.4	2.1	4.8	7.4	4.3	2.7	188	4.9
	50歳代	7.7	5.2	7.1	8.4	5.2	5.8	3.9	1.3	5.2	3.2	2.6	3.2	4.5	5.2	1.9	2.6	155	4.2
	60歳代	9.7	10.5	7.1	8.0	8.8	8.0	5.5	5.5	4.6	4.2	2.5	2.1	4.6	5.0	8.0	2.1	238	4.5
	70歳以上	11.9	14.6	6.8	8.2	11.0	4.6	7.8	4.6	5.5	4.6	2.7	5.0	5.0	3.7	7.8	1.8	219	4.5
職業別	会社員（フルタイム）	11.6	7.1	18.7	12.4	7.5	10.8	7.1	7.9	10.4	4.1	2.9	4.6	5.8	7.9	2.1	0.4	241	4.8
	公務員	6.5	3.2	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	3.2	0.0	0.0	6.5	12.9	3.2	3.2	31	4.2
	自営・自由業	10.6	8.5	4.3	11.7	4.3	6.4	6.4	2.1	2.1	3.2	0.0	2.1	5.3	3.2	9.6	4.3	94	4.4
	アルバイト・パート(派遣も含む)	10.5	9.5	6.3	7.4	11.6	6.8	5.3	6.3	3.7	2.1	5.8	1.1	5.3	3.2	3.7	1.6	190	4.6
	家事専業	9.9	13.3	7.7	7.7	10.5	7.2	5.5	6.1	4.4	5.0	4.4	1.7	3.9	3.3	5.5	0.6	181	4.9
	学生	19.0	19.0	19.0	14.3	0.0	0.0	9.5	14.3	9.5	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0	21	4.8
	無職	7.0	9.8	7.0	7.9	10.7	5.6	6.1	4.7	5.6	5.6	4.2	4.7	3.7	5.6	9.3	3.7	214	4.3
	その他	14.7	14.7	0.0	2.9	5.9	2.9	8.8	0.0	2.9	5.9	0.0	5.9	2.9	5.9	8.8	0.0	34	4.1
出生地別	名古屋市	11.3	10.1	10.3	10.1	7.3	8.7	6.7	5.8	5.8	3.4	4.0	3.6	6.3	5.0	5.4	1.2	496	4.6
	名古屋市以外	9.0	9.4	9.0	8.2	10.6	5.7	5.5	6.1	5.7	4.9	3.1	2.7	3.7	5.5	5.7	2.3	511	4.6
居住歴別	30年以上	10.2	9.8	9.2	8.5	8.3	7.7	6.6	5.1	5.7	4.1	2.8	3.5	5.0	5.1	6.4	2.2	686	4.6
	20年以上30年未満	7.9	9.3	10.0	9.3	10.0	5.0	4.3	8.6	7.1	2.9	6.4	3.6	5.0	4.3	4.3	0.7	140	4.3
	10年以上20年未満	20.2	10.7	15.5	19.0	14.3	10.7	8.3	4.8	6.0	7.1	4.8	2.4	9.5	7.1	1.2	2.4	84	5.4
	5年以上10年未満	3.6	3.6	9.1	1.8	5.5	0.0	5.5	5.5	3.6	5.5	5.5	1.8	1.8	3.6	9.1	0.0	55	4.4
	5年未満	4.5	18.2	4.5	9.1	9.1	6.8	2.3	13.6	4.5	2.3	4.5	0.0	0.0	9.1	2.3	0.0	44	4.2
居住区別	千種区	11.3	10.0	12.5	12.5	12.5	11.3	7.5	6.3	6.3	5.0	3.8	6.3	5.0	6.3	3.8	0.0	80	5.4
	東区	5.6	8.3	8.3	2.8	8.3	8.3	8.3	8.3	2.8	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	36	3.9
	北区	3.2	11.3	6.5	6.5	16.1	1.6	4.8	9.7	3.2	9.7	1.6	3.2	1.6	4.8	4.8	1.6	62	4.3
	西区	14.1	9.9	12.7	12.7	5.6	7.0	9.9	14.1	8.5	4.2	4.2	7.0	4.2	4.2	4.2	2.8	71	4.5
	中村区	16.7	15.0	13.3	6.7	6.7	10.0	3.3	1.7	8.3	1.7	1.7	1.7	5.0	3.3	5.0	0.0	60	4.1
	中区	10.7	3.6	21.4	3.6	3.6	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	3.6	10.7	0.0	3.6	28	4.5
	昭和区	4.8	0.0	2.4	4.8	7.1	7.1	2.4	2.4	2.4	7.1	2.4	7.1	0.0	7.1	9.5	4.8	42	3.9
	瑞穂区	6.5	10.9	4.3	8.7	4.3	2.2	10.9	0.0	2.2	2.2	2.2	2.2	6.5	8.7	4.3	0.0	46	4.1
	熱田区	3.7	7.4	11.1	14.8	3.7	11.1	7.4	0.0	3.7	0.0	7.4	0.0	3.7	22.2	0.0	3.7	27	4.7
	中川区	10.8	12.9	11.8	10.8	10.8	9.7	7.5	5.4	9.7	7.5	4.3	6.5	5.4	1.1	6.5	2.2	93	4.9
	港区	12.9	8.1	8.1	9.7	14.5	6.5	6.5	9.7	9.7	6.5	4.8	3.2	12.9	0.0	9.7	1.6	62	4.9
	南区	10.8	13.8	7.7	20.0	12.3	4.6	9.2	4.6	1.5	3.1	6.2	1.5	6.2	10.8	4.6	3.1	65	5.4
	守山区	11.4	12.7	5.1	5.1	5.1	6.3	1.3	1.3	6.3	1.3	2.5	0.0	5.1	2.5	6.3	0.0	79	4.0
	緑区	12.0	7.7	8.5	3.4	4.3	12.8	4.3	7.7	6.0	4.3	2.6	1.7	6.0	4.3	7.7	2.6	117	4.9
	名東区	11.6	8.7	14.5	14.5	11.6	4.3	8.7	4.3	5.8	1.4	5.8	1.4	1.4	8.7	5.8	1.4	69	4.8
	天白区	5.6	8.5	8.5	8.5	9.9	2.8	2.8	7.0	2.8	2.8	1.4	1.4	5.6	2.8	7.0	1.4	71	4.0

（単位：%）

問 20　市政への要望（時系列）（その１）

	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	①	37.3	①	36.4	①	40.4	①	35.2	①	31.3
2　児童福祉	⑦	12.4	⑤	14.3	⑤	13.9	⑤	13.3	⑤	12.8
3　障害者福祉	⑨	12.3	⑦	11.1	⑧	11.3	⑨	10.4	13	8.5
4　福祉のまちづくり	⑤	14.8	④	14.9	④	15.9	④	15.0	④	13.0
5　健康･医療	④	15.6	③	17.5	③	18.1	③	17.4	③	15.7
6　災害の防止	②	24.4	②	22.2	②	20.3	②	24.5	②	19.8
7　環境の保全	⑦	12.4	⑥	13.1	⑩	10.1	⑦	12.0	⑩	9.9
8　緑･水環境	11	10	13	8.7	11	9.4	⑩	10.2	⑧	10.7
9　ごみの減量と処理	⑥	13.9	⑩	10.2	13	8.2	14	8.3	12	8.7
10　学校教育	⑩	12.2	⑨	10.5	⑨	10.7	11	10.0	⑥	12.2
11　生涯学習	14	8.1	15	7.1	15	7.0	15	7.9	15	5.5
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	22	3.2	23	3.4	23	3.5	20	3.5	19	3.7
13　文化	26	1.8	27	1.8	24	2.9	25	2.7	22	2.8
14　コミュニティ･市民活動	29	1.2	25	2.3	28	2.0	28	2.1	26	2.4
15　男女平等参画	20	3.4	21	3.9	18	4.3	23	2.9	24	2.5
16　国際都市	23	2.6	26	2.3	27	2.0	27	2.5	23	2.6
17　市街地の整備	19	3.5	20	4.4	21	3.8	19	4.3	17	4.1
18　都市景観	21	3.4	21	3.9	20	4.0	18	4.4	18	3.8
19　住宅	17	4.8	17	5.2	17	4.5	17	5.3	20	3.0
20　公共交通	13	9.7	14	8.3	⑦	12.8	⑧	11.6	⑨	10.0
21　道路交通	③	15.8	⑧	10.7	⑥	13.5	⑥	12.8	⑦	10.8
22　港湾･空港	28	1.3	30	0.8	29	1.4	30	0.9	29	1.0
23　情報･通信	24	2.5	24	3.1	25	2.1	25	2.7	28	1.5
24　水･エネルギー	15	6.6	16	6.6	14	7.7	16	6.5	14	6.0
25　産業振興	24	2.5	18	4.7	21	3.8	20	3.5	21	2.9
26　観光･コンベンション	27	1.3	28	1.5	25	2.1	23	2.9	27	2.1
27　都市農業	30	0.7	29	1.3	30	0.9	29	1.2	29	1.0
28　消費者･勤労者	16	5.7	12	9.1	16	6.5	13	9.1	15	5.5
29　人権	18	3.9	19	4.5	19	4.0	22	3.4	24	2.5
30　市民サービス	11	10	11	9.8	12	8.7	12	9.4	11	9.5
31　その他	－	1.6	－	1.1	－	2.1	－	1.2	－	2.7
32　特になし	－	5.9	－	5.8	－	5.2	－	3.3	－	2.0
※　無回答	－	0.4	－	1.5	－	1.4	－	5.1	－	13.7

注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

問 20　市政への要望（時系列）（その２）

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	①	35.4	①	57.7	①	58.5	①	59.0	①	58.1
2　児童福祉	④	17.6	③	32.8	⑤	30.8	⑤	26.6	④	24.7
3　障害者福祉	⑦	11.2	⑤	31.5	④	30.9	④	28.0	⑩	21.1
4　福祉のまちづくり	⑧	9.7	⑧	25.7	⑦	27.5	⑥	24.2	⑨	21.7
5　健康･医療	②	27.3	②	45.4	②	51.3	②	47.3	②	46.3
6　災害の防止	③	21.5	④	32.3	③	32.6	③	28.6	⑦	22.8
7　環境の保全	⑤	15.0	⑦	26.6	⑥	27.7	⑨	18.5	⑧	22.6
8　緑･水環境	⑩	8.9	⑩	23.3	⑨	26.5	12	16.9	③	28.5
9　ごみの減量と処理	13	6.7	12	18.2	12	19.5	⑩	17.4	12	19.9
10　学校教育	⑥	14.3	⑥	31.2	⑧	27.3	⑦	22.4	⑥	24.1
11　生涯学習	16	4.5	19	10.7	19	10.9	16	10.4	19	10.1
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	21	2.6	21	7.9	22	7.9	23	7.1	25	6.5
13　文化	17	4.0	18	11.2	17	11.7	19	8.9	20	9.6
14　コミュニティ･市民活動	28	1.4	28	5.2	27	6.1	27	5.4	28	3.8
15　男女平等参画	28	1.4	29	4.0	29	4.2	29	4.0	30	3.0
16　国際都市	21	2.6	23	7.0	21	9.3	27	5.4	27	4.8
17　市街地の整備	19	3.1	14	12.8	16	12.7	18	9.6	16	11.4
18　都市景観	18	3.3	17	11.5	15	13.1	20	8.4	15	12.4
19　住宅	15	5.4	20	10.5	19	10.9	15	11.1	22	9.0
20　公共交通	⑨	9.2	⑨	24.2	⑩	25.0	⑧	20.3	⑤	24.4
21　道路交通	11	8.0	11	18.5	13	19.2	13	16.7	14	13.3
22　港湾･空港	30	0.3	30	2.6	30	3.5	30	2.4	29	3.4
23　情報･通信	26	1.8	24	6.9	25	7.4	25	6.9	26	5.9
24　水･エネルギー	25	2.0	16	11.9	18	11.5	17	10.1	18	10.9
25　産業振興	20	2.7	24	6.9	26	6.8	21	8.1	17	11.0
26　観光･コンベンション	23	2.2	26	6.4	24	7.6	26	6.1	21	9.2
27　都市農業	27	1.7	27	5.8	28	6.0	22	7.9	24	6.9
28　消費者･勤労者	14	6.1	15	12.2	14	14.1	14	12.2	13	13.9
29　人権	23	2.2	22	7.6	22	7.9	24	7.0	23	7.4
30　市民サービス	12	7.8	13	18.1	11	22.4	⑩	17.4	11	20.2
31　その他	－	2.7	－	3.0	－	4.2	－	2.3	－	5.1
32　特になし	－	5.8	－	6.8	－	5.2	－	6.8	－	4.5
※　無回答	－	7.8	－	1.9	－	0.8	－	1.6	－	1.3

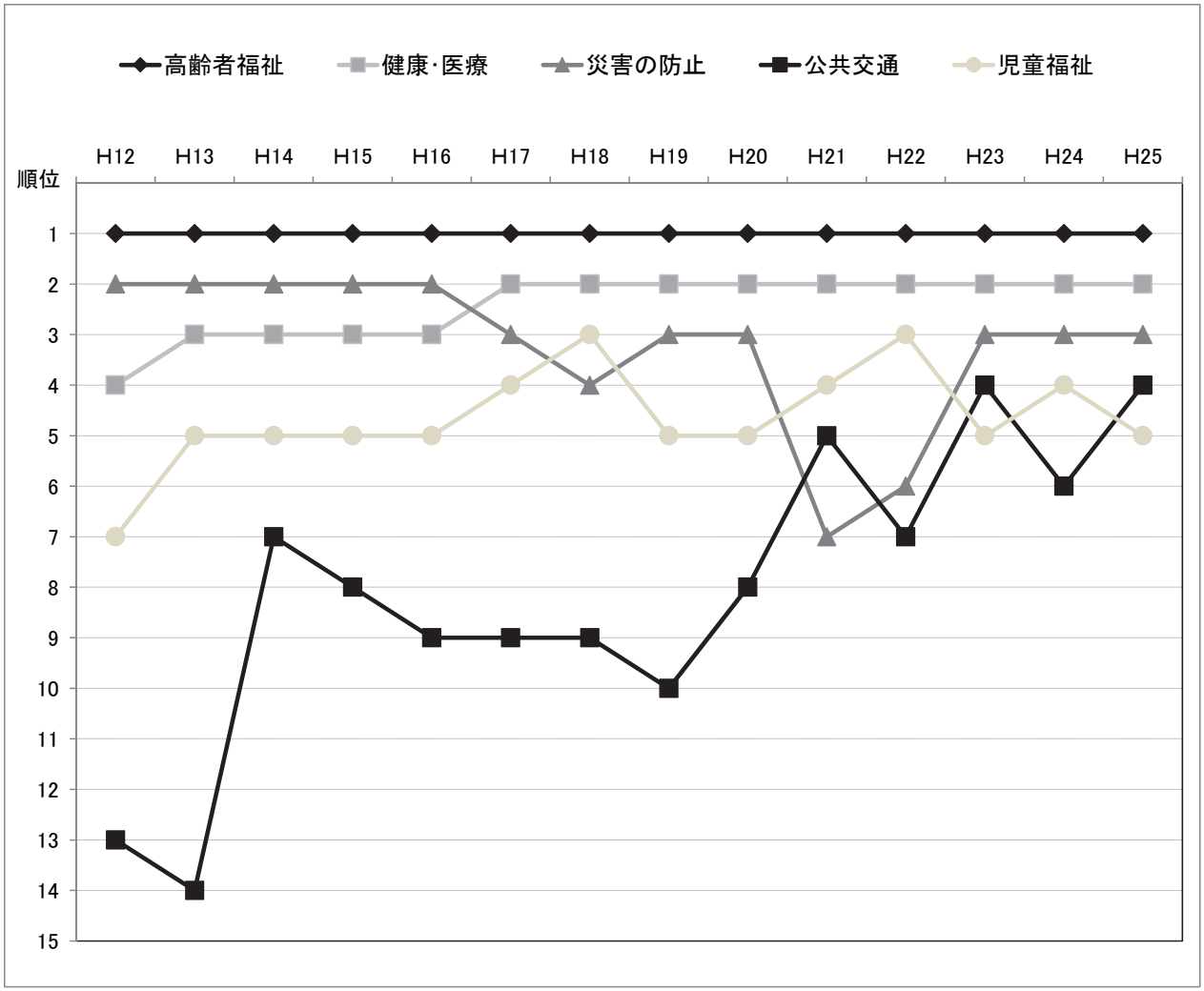
注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

問 20　市政への要望（時系列）（その３）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1　高齢者福祉	①	58.2	①	51.7	①	51.0	①	49.9
2　児童福祉	③	33.6	⑤	25.7	④	25.7	⑤	23.9
3　障害者福祉	④	27.3	⑨	18.2	⑨	18.9	⑧	17.9
4　福祉のまちづくり	⑧	21.9	⑧	19.1	⑧	20.3	⑨	17.2
5　健康･医療	②	45.5	②	45.1	②	43.2	②	39.4
6　災害の防止	⑥	25.7	③	37.6	③	35.9	③	31.6
7　環境の保全	⑧	21.9	11	17.6	⑨	18.9	⑨	17.2
8　緑･水環境	⑩	20.9	⑩	18.0	⑨	18.9	11	16.7
9　ごみの減量と処理	12	16.5	15	13.3	18	11.5	19	9.9
10　学校教育	⑤	26.0	⑥	24.2	⑤	24.7	⑤	23.9
11　生涯学習	15	13.9	18	11.0	21	10.0	17	10.3
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	23	8.8	25	7.0	25	6.7	25	6.0
13　文化	22	9.1	21	10.2	19	10.6	15	11.4
14　コミュニティ･市民活動	28	5.0	28	5.2	28	4.5	29	4.2
15　男女平等参画	30	3.6	29	4.6	30	3.8	30	3.6
16　国際都市	25	7.4	24	7.7	24	7.6	24	6.1
17　市街地の整備	17	11.4	19	10.8	16	11.9	16	11.1
18　都市景観	17	11.4	17	12.0	15	12.1	21	9.2
19　住宅	20	11.2	22	10.1	22	8.5	22	9.1
20　公共交通	⑦	24.0	④	25.9	⑥	24.0	④	27.4
21　道路交通	13	15.0	12	17.3	13	16.0	12	15.1
22　港湾･空港	29	4.1	30	3.6	29	4.1	31	3.1
23　情報･通信	27	6.1	26	6.7	26	5.9	26	5.6
24　水･エネルギー	17	11.4	16	12.9	17	11.8	14	12.3
25　産業振興	16	12.5	14	14.9	12	16.2	18	10.0
26　観光･コンベンション	21	9.6	20	10.7	20	10.3	20	9.7
27　都市農業	26	6.6	27	6.3	26	5.9	28	4.9
28　消費者･勤労者	14	14.3	13	15.8	14	15.5	13	13.9
29　人権	23	8.8	23	8.7	23	8.1	23	7.0
30　市民サービス	11	20.5	⑦	22.5	⑦	20.9	⑦	20.2
31　その他	－	4.0	－	6.0	－	3.5	－	5.2
32　特になし	－	2.9	－	4.7	－	5.5	－	5.5
※　無回答	－	2.7	－	1.3	－	2.2	－	2.0

注：%が小数点以下第１位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。
注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度までは３つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

上位５項目の順位の経年変化（市政への要望）



◆　「高齢者福祉」は毎年第１位となっています。

◆　「健康・医療」は平成 17 年度以降、毎年第２位となっています。

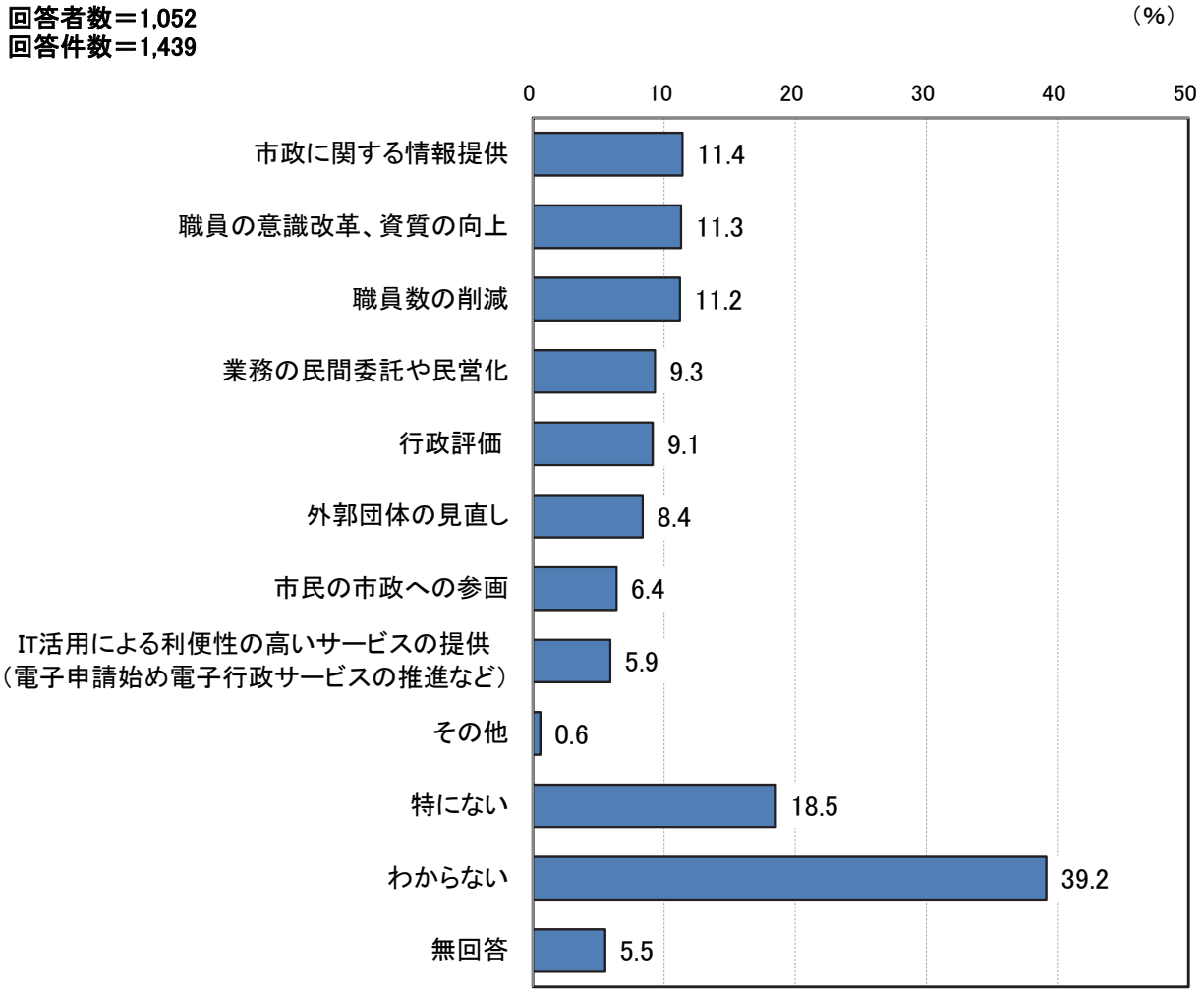
◆　「災害の防止」は平成 12 年度～16 年度までは毎年第２位となっており、平成 21 年度では第７位、平成 22 年度では第６位でしたが、平成 23 年度以降は第３位となっています。

◆　「公共交通」は平成 13 年度では第 14 位でしたが、平成 14 年度以降、上位 10 項目に入っており、順位の上昇傾向がみられます。

資料：名古屋市「市政世論調査」
（平成 12 年度、平成 13 年度、平成 14 年度、平成 15 年度、平成 16 年度、平成 17 年度、平成 18 年度、平成 19 年度、平成 20 年度、平成 21 年度、平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度（今回の調査））

※　各調査の調査の調査については、P. ４参照

（６）市の行政改革への取り組みへの評価（問 21・ＭＡ）



◆　市の行政改革の取り組みのなかで、よく取り組んでいると思うものをたずねたところ、「わからない」と答えた人が約４割（39.2%）を占めています。

評価としては、「市政に関する情報提供」（11.4%）、「職員の意識改革、資質の向上」（11.3%）、「職員数の削減」（11.2%）がそれぞれ１割を超えています。

		市政に関する情報提供	職員の意識改革、資質の向上	職員数の削減	業務の民間委託や民営化	行政評価	外郭団体の見直し	市民の市政への参画	IT活用による利便性の高いサービスの提供（電子申請始め電子行政サービスの推進など）	その他	特にない	わからない	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全体		11.4	11.3	11.2	9.3	9.1	8.4	6.4	5.9	0.6	18.5	39.2	5.5	1,052	1.3
性別	男性	10.4	15.6	15.6	10.9	10.6	10.9	8.4	6.7	1.0	21.7	28.9	5.7	405	1.4
	女性	11.9	8.4	8.4	8.4	8.4	7.3	5.3	5.0	0.2	15.6	46.5	5.5	604	1.3
年代別	20歳代	10.4	6.0	13.4	9.0	6.0	9.0	4.5	4.5	0.0	17.9	43.3	6.0	67	1.2
	30歳代	12.7	4.9	5.6	9.9	8.5	4.2	6.3	7.0	0.7	16.2	50.0	2.1	142	1.3
	40歳代	9.0	4.8	6.9	5.9	6.4	5.9	3.7	9.6	0.5	23.4	44.1	2.1	188	1.2
	50歳代	15.5	9.0	11.0	9.0	8.4	5.2	10.3	5.8	0.6	16.1	43.9	2.6	155	1.3
	60歳代	8.8	16.0	12.2	12.2	12.6	12.2	7.6	4.2	0.8	19.3	31.1	6.7	238	1.4
	70歳以上	11.9	19.2	17.4	9.6	10.0	12.8	5.5	3.2	0.0	15.1	33.8	11.0	219	1.4
職業別	会社員（フルタイム）	11.6	9.5	12.0	11.2	7.5	8.3	7.9	7.9	0.8	21.2	35.3	2.9	241	1.3
	公務員	19.4	6.5	16.1	9.7	16.1	16.1	6.5	12.9	3.2	16.1	19.4	0.0	31	1.4
	自営・自由業	13.8	13.8	10.6	14.9	9.6	11.7	5.3	7.4	1.1	21.3	33.0	4.3	94	1.4
	アルバイト・パート(派遣も含む)	7.4	10.0	6.8	6.8	9.5	4.7	6.3	4.7	0.5	13.7	52.6	4.7	190	1.2
	家事専業	16.0	9.4	8.8	9.4	11.0	11.0	6.6	2.8	0.0	13.8	45.3	3.9	181	1.3
	学生	9.5	14.3	19.0	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	9.5	42.9	9.5	21	1.3
	無職	8.9	15.0	15.4	8.9	8.9	8.4	6.5	3.7	0.0	20.1	33.6	10.7	214	1.3
	その他	8.8	14.7	11.8	0.0	8.8	11.8	2.9	8.8	0.0	29.4	35.3	8.8	34	1.3

（単位：%）

【性別内比較】

「職員の意識改革、資質の向上」と答えた人は、女性（8.4%）よりも男性（15.6%）の方が、7.2 ポイント高く、「職員数の削減」と答えた人も、女性（8.4%）よりも男性（15.6%）の方が、7.2 ポイント高くなっています。

一方、「わからない」と答えた人は男性（28.9%）よりも女性（46.5%）の方が、17.6 ポイント高くなっています。

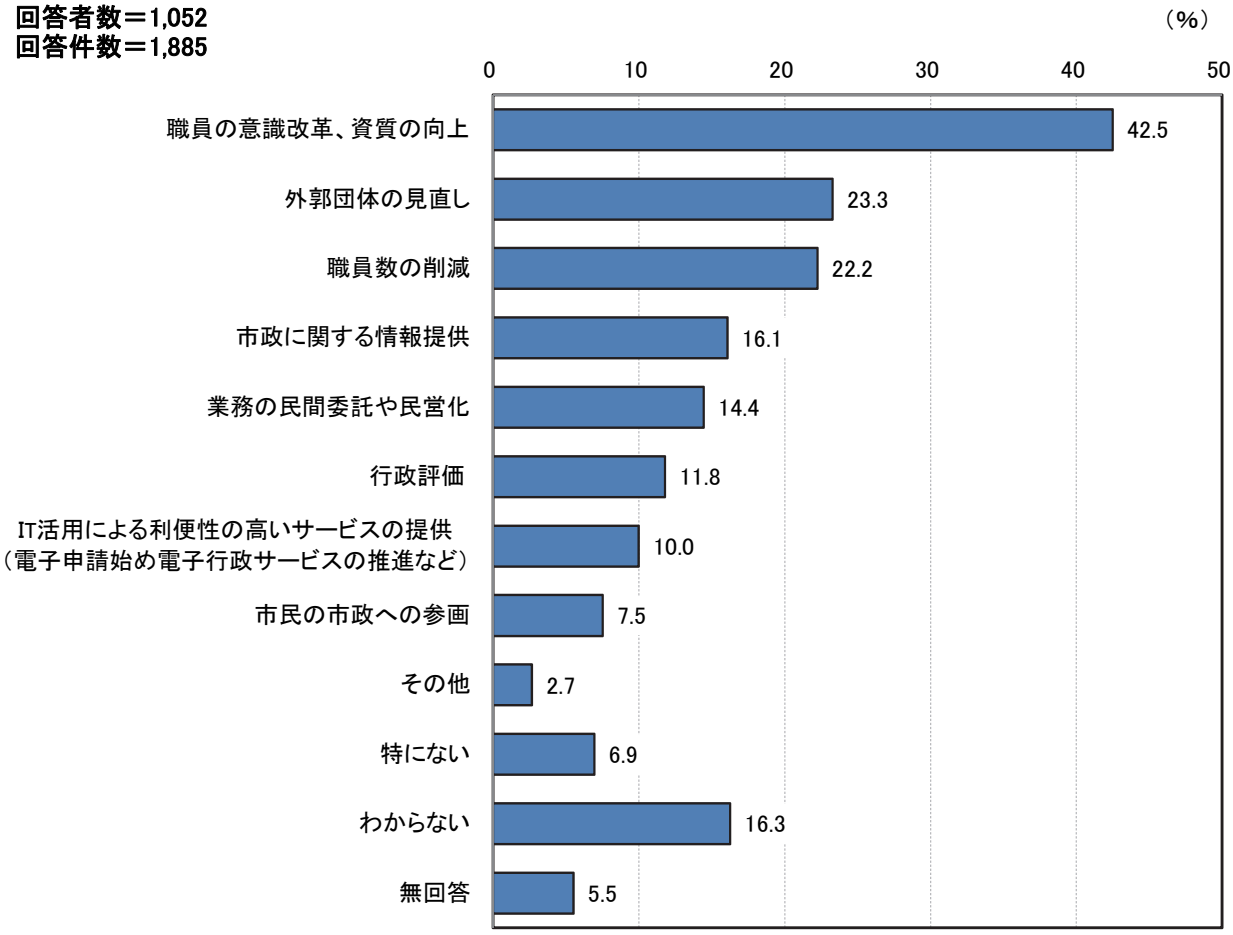
【年代別比較】

「職員の意識改革、資質の向上」、「職員数の削減」と答えた人は 70 歳以上で高くなっています。なお、「わからない」と答えた人は 30 歳代で高くなっています。

【職業別比較】

標本数が少ないため比較が難しいですが、「市政に関する情報提供」と答えた人は、公務員で高くなっています。なお、「わからない」と答えた人は、アルバイト・パート（派遣も含む）、家事専業で高くなっています。

（７）市の行政改革の取り組みへの要望（問 22・ＭＡ）



◆　市の行政改革の取り組みのなかで、特に力を入れて進めてほしいと思うものをたずねたところ、「職員の意識改革、資質の向上」と答えた人が約４割（42.5%）で最も高く、次いで「外郭団体の見直し」（23.3%）、「職員数の削減」（22.2%）、「市政に関する情報提供」（16.1%）、「業務の民間委託や民営化」（14.4%）の順となっています。

		職員の意識改革、資質の向上	外郭団体の見直し	職員数の削減	市政に関する情報提供	業務の民間委託や民営化	行政評価	IT活用による利便性の高いサービスの提供（電子申請始め電子行政サービスの推進など）	市民の市政への参画	その他	特にない	わからない	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全体		42.5	23.3	22.2	16.1	14.4	11.8	10.0	7.5	2.7	6.9	16.3	5.5	1,052	1.7
性別	男性	43.7	26.4	20.7	15.6	17.0	13.1	12.1	10.1	4.0	7.4	11.1	5.4	405	1.8
	女性	41.6	21.4	22.8	16.6	13.4	10.9	8.8	6.1	1.3	6.6	19.9	5.6	604	1.7
年代別	20歳代	31.3	19.4	13.4	16.4	17.9	13.4	19.4	7.5	0.0	4.5	28.4	3.0	67	1.7
	30歳代	45.8	19.0	17.6	15.5	16.2	9.2	17.6	6.3	3.5	9.9	16.2	2.1	142	1.8
	40歳代	47.3	23.9	15.4	16.5	13.3	8.5	12.8	6.9	3.7	6.9	17.6	1.6	188	1.7
	50歳代	45.2	29.0	27.7	18.1	16.8	14.2	10.3	6.5	1.9	3.9	14.2	3.9	155	1.9
	60歳代	43.3	27.3	28.6	17.2	16.4	12.6	5.5	9.2	0.8	7.6	12.2	6.7	238	1.8
	70歳以上	36.5	19.2	22.4	13.7	11.4	12.8	5.0	8.2	3.2	7.3	17.8	11.9	219	1.6
職業別	会社員(フルタイム)	49.8	26.1	19.5	15.4	18.7	10.8	13.7	8.3	2.5	6.2	11.2	2.9	241	1.8
	公務員	25.8	32.3	6.5	29.0	6.5	12.9	32.3	6.5	6.5	0.0	16.1	0.0	31	1.7
	自営・自由業	52.1	30.9	30.9	13.8	19.1	14.9	7.4	11.7	3.2	8.5	7.4	2.1	94	2.0
	アルバイト・パート(派遣も含む)	44.2	22.6	22.1	16.8	12.6	11.1	7.9	4.7	0.5	6.8	22.6	5.8	190	1.7
	家事専業	38.7	23.2	25.4	16.0	17.7	12.2	6.1	8.3	0.6	6.1	18.2	5.0	181	1.7
	学生	23.8	23.8	14.3	28.6	19.0	19.0	33.3	14.3	0.0	9.5	9.5	4.8	21	2.0
	無職	35.5	16.8	21.0	15.4	10.7	11.7	7.5	5.6	3.3	7.5	19.2	12.1	214	1.5
	その他	44.1	26.5	26.5	8.8	5.9	8.8	8.8	17.6	11.8	11.8	17.6	0.0	34	1.9

（単位：%）

【性別内比較】

「外郭団体の見直し」と答えた人は、女性（21.4%）よりも男性（26.4%）の方が、5.0 ポイント高くなっています。

一方、「わからない」と答えた人は男性（11.1%）よりも女性（19.9%）の方が、8.8 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「職員数の削減」と答えた人は 50 歳代、60 歳代で高くなっています。また、「外郭団体の見直し」と答えた人は、50 歳代で高くなっています。

【職業別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「職員の意識改革、資質の向上」と答えた人は会社員（フルタイム）、自営・自由業で高くなっています。また、「外郭団体の見直し」と答えた人は、公務員、自営・自由業で、「職員数の削減」と答えた人は、自営・自由業でそれぞれ高くなっています。

（５）市政への意見・要望（問 23・自由記載回答）

◆　今後の市政について自由意見をたずねたところ、回答率は 24.5%あり、回答総数では 454 件となりました。

名古屋市基本構想に基づき構成した 30 項目及びその他１項目で該当する意見の件数をとりまとめたところ、「その他」を除くと、「高齢者福祉」に関する意見が最も多く寄せられ、次いで「道路交通」、「児童福祉」と続いています。

分類項目	件数	割合	分類項目	件数	割合
1　高齢者福祉	39	8.6%	17　市街地の整備	5	1.1%
2　児童福祉	30	6.6%	18　都市景観	0	0.0%
3　障害者福祉	2	0.4%	19　住宅	4	0.9%
4　福祉のまちづくり	13	2.9%	20　公共交通	25	5.5%
5　健康･医療	7	1.5%	21　道路交通	31	6.8%
6　災害の防止	10	2.2%	22　港湾･空港	0	0.0%
7　環境の保全	4	0.9%	23　情報･通信	2	0.4%
8　緑･水環境	10	2.2%	24　水･エネルギー	7	1.5%
9　ごみの減量と処理	11	2.4%	25　産業振興	6	1.3%
10　学校教育	24	5.3%	26　観光･ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ	15	3.3%
11　生涯学習	2	0.4%	27　都市農業	2	0.4%
12　ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	0	0.0%	28　消費者･勤労者	4	0.9%
13　文化	12	2.6%	29　人権	1	0.2%
14　コミュニティ･市民活動	11	2.4%	30　市民サービス	20	4.4%
15　男女平等参画	2	0.4%	31　その他	153	33.7%
16　国際都市	2	0.4%	回答総数	454	100.0%

※　一人で複数の意見を記入しているものはそれぞれ１件と数えています。

※　「名古屋市基本構想に基づき構成した 30 項目」の詳細については、P.74 を参照ください。

いただいた主な意見は以下のとおりです。また、意見の多かったものについては、さらに分類をしました。

１．高齢者福祉（39 件）

（１）敬老パスについて（19 件）

・敬老パスを値上げしても継続してほしい ･･･ 4 件
・敬老パスを使って高齢者が出かけることによる経済効果は高い ･････････････････････ 4 件
・敬老パスの値上げ反対 ･･･ 3 件
・敬老パスを現状維持 ･･ 2 件
・敬老パスの廃止反対 ･･ 1 件
・敬老パスなど他県と比べ高齢者の福祉が充実している ･･････････････････････････････ 1 件
・敬老パスの負担金が安く、値上げしないのが不思議 ･･････････････････････････････ 1 件
・敬老パスの利用料の段階を５～８段階くらいに幅広くし、支払いやすくしてほしい ････ 1 件
・敬老パスの支給年齢を遅らせたり、負担金も増やしたり考えなければならない時期 ････ 1 件
・敬老パスの全面廃止 ･･ 1 件

（２）その他（20 件）

・高齢者向け住宅・施設の充実 ･･ 5 件
・年金で生活ができるよう力を入れて進めてほしい ･････････････････････････････････ 2 件
・今後進む高齢化に向けた積極的な体制づくり ･･････････････････････････････････････ 1 件
・高齢者が元気に暮らせるように、講座や筋トレなど出来る施設の増加 ･･････････････ 1 件
・定年を迎えた人に次の行動を促すような機会の場の創設 ･･････････････････････････ 1 件
・行政手続きが高齢者にとって複雑なので、簡素化してほしい ･･････････････････････ 1 件
・年老いた時に安心して住めてこそまちの価値がある ･･････････････････････････････ 1 件
・高齢者の生きがいづくり施策の実施 ･･ 1 件
・介護サービスで訪問看護をもっと受けやすくなるようにしてほしい ･･････････････････ 1 件
・後期高齢者医療の保険料が高い ･･ 1 件
・区役所の福祉課の福祉相談員の方などが定期的に訪問してくれることは、心強い ･････ 1 件
・認知症になっても安心して生活ができる環境づくり ･･････････････････････････････ 1 件
・福祉関係の施設の民間委託や民営化は、厳しい審査基準を設けて許認可をしてほしい ･･ 1 件
・高齢社会に向けて、福祉や施設の充実等に力を入れて、すべての人々が住みやすいまち
　であってほしい ･･ 1 件
・高齢者の生活支援をしてほしい ･･ 1 件

２．児童福祉（30 件）

・待機児童を減らしてほしい ･･･ 4 件
・公立保育園の民間委託・民営化反対 ･･･ 4 件
・認可保育園の増設 ･･･ 3 件
・保育園の十分な受け入れ対策 ･･･ 2 件
・保育の充実 ･･･ 1 件
・保育費の完全無料化 ･･･ 1 件
・保育所のサービス向上 ･･･ 1 件
・希望の保育所に入れるようにしてほしい ･････････････････････････････････････ 1 件
・待機児童対策は評価できる ･･･ 1 件
・保育園が増えることはよいが、幼稚園に入園する人が減っているので、今ある園を大切にし、変えていくようにした方がよい ･････････････････････････････････････ 1 件
・児童手当の増額 ･･･ 1 件
・子ども達を育てていく過程での金銭的負担の軽減 ･････････････････････････････ 1 件
・児童館の充実 ･･･ 1 件
・子どもの医療の充実 ･･･ 1 件
・虐待、学童保育、少子化対策をし、親にとって働きやすい職場、環境整備 ･････････ 1 件
・次世代を生きる子ども達を大切に思ってほしい ･･･････････････････････････････ 1 件
・子どもの声がいっぱい聞こえるまちづくり ･･･････････････････････････････････ 1 件
・全学校でトワイライトスクールの時間延長 ･･･････････････････････････････････ 1 件
・学童保育の利点をトワイライトスクールに取り入れ、指導員の雇用も確保した上で、トワイライトスクールと学童保育を統合してほしい ･･･････････････････････････ 1 件
・子育てしやすくしてほしい ･･･ 1 件
・子育てに市税を使いすぎ ･･･ 1 件

３．障害者福祉（２件）

・障害者に対する福祉事業の充実 ･･･ 1 件
・障害者のための仕事を増やしてほしい ･･･････････････････････････････････････ 1 件

４．福祉のまちづくり（13 件）

・生活保護受給の見直し ･･･ 4 件
・低所得者へ援助 ･･･ 3 件
・本当に困っている人を援助 ･･･ 1 件
・生活弱者へ、消費税増税のため一時金の支給 ･････････････････････････････････ 1 件
・ひきこもりの支援 ･･･ 1 件
・民生委員に生活困窮者等の保護をしてほしい ･････････････････････････････････ 1 件
・名古屋駅に授乳室をつくり、わかりやすく表示 ･･･････････････････････････････ 1 件
・障害者用駐車スペースに健常者が停めることは許されない ･････････････････････ 1 件

５．健康・医療（７件）

・医療・医者の向上 …… 1 件
・医療費の削減 …… 1 件
・医療費の負担はこれからも市民のことをよく考えて決定してほしい …… 1 件
・市民病院の医師の充実 …… 1 件
・ジェネリック医薬品使用の義務付け …… 1 件
・予防接種の補助は評価できる …… 1 件
・毎年来る健康診査の案内送付は無駄使い …… 1 件

６．災害の防止（10 件）

・災害による将来が心配 …… 1 件
・大規模災害に対する備え …… 1 件
・地震・災害が起こった際の対応を広めてほしい …… 1 件
・予想を上回る雨量があるため川の氾濫が心配 …… 1 件
・津波対策を早くやってほしい …… 1 件
・水害対策に力を入れてほしい …… 1 件
・下水道や川の氾濫防止 …… 1 件
・もっと大規模な区民全員が参加する効果的な防災啓発活動をしてほしい …… 1 件
・大津波・大地震に対し、運河の海側入口を自動で開閉できるようにしてほしい …… 1 件
・最近、全国的に自然災害が増加しているので、今まで以上の対策が必要不可欠 …… 1 件

７．環境の保全（４件）

・一般車へのアイドリングストップの普及推進 …… 1 件
・禁煙エリアとそうでないエリアの住み分けの基準の明確化 …… 1 件
・すべての歩道を喫煙禁止としてほしい …… 1 件
・駅付近の喫煙スペースが不快なので何とかしてほしい …… 1 件

８．緑・水環境（10 件）

・川・水の保全 …… 1 件
・新川がごみで汚すぎるのでちゃんとそうじをしてほしい …… 1 件
・黒川の清流を保全してほしい …… 1 件
・夏の暑さ対策 …… 1 件
・中川運河で世界から注目されるプロジェクトを実施し、憩いの場所にしてほしい …… 1 件
・ドイツのようにリバークルーズができるようにしてほしい …… 1 件
・子どもが遊べる公園を近所に増やしてほしい …… 1 件
・市内の公園のあちこちにごみが捨てられている …… 1 件
・安全性が高く、夏場にも遊べる環境の公園の整備 …… 1 件
・土手の植樹は計画的ではないので、一部の事業者救済にしか思えない …… 1 件

９．ごみの減量と処理（11 件）

・可燃ごみもプラスチックも同じ所で燃やしていると聞いており、分別するのは疑問 ‥‥2 件
・ごみが日曜祝日でも回収されていることに感心。今後も継続してほしい ‥‥‥‥‥‥‥1 件
・ごみの持ち去りへの対策 ‥‥‥‥‥‥‥

13. 文化（12 件）

・本丸御殿は不要 ･･･ 4 件
・文化、芸術にもっと予算をまわしてほしい ･････････････････････････････････ 1 件
・東京や大阪に比べ、美術館など芸術に関係した施設が少ない ･････････････････ 1 件
・名古屋にも、香川県の直島のようなアートな空間・施設を整備してほしい ･････････ 1 件
・文化活動に力を注いでほしい ･･･ 1 件
・安価で気軽に美術鑑賞できるまちづくり ･･････････････････････････････････ 1 件
・コンサート会場に子どもを預けられるサービスや場所の設置 ･････････････････ 1 件
・戦国武将などの尾張文化を世界に広めてほしい ･････････････････････････････ 1 件
・歴史に関連した施設を作るべき ･･ 1 件

14. コミュニティ・市民活動（11 件）

・街灯の増設 ･･･ 2 件
・防犯カメラの設置 ･･ 1 件
・犯罪の防止に力を入れてほしい ･･ 1 件
・各学区の区政協力委員会への関与や指導に力を入れてほしい ･････････････････ 1 件
・地域内、世代間のふれあい、コミュニケーションづくり施策 ･････････････････ 1 件
・区単位の年間イベントの競合による活性化 ･･････････････････････････････････ 1 件
・市民サークルが気軽に利用できる施設を維持、整備してほしい ･･････････････････ 1 件
・学生がもっと活躍できる場所が必要 ･･････････････････････････････････････ 1 件
・町内、学区、区単位の横のつながり、上のつながりが上手にいっていない ･･････････ 1 件
・市の後押し制度を拡充、拡大すると市民のパワーが活かされ発展する ･･････････････ 1 件

15. 男女平等参画（２件）

・女性の考え方を重んじてほしい ･･ 1 件
・男女平等参画の企業向けの啓発が少ないのか、意識が低い ･･････････････････ 1 件

16. 国際都市（２件）

・もっと国際事業に力を入れてほしい ･･････････････････････････････････････ 1 件
・外国人に対してもっと住みやすい都市にしてほしい ･･････････････････････････ 1 件

17. 市街地の整備（５件）

・区画整理における公社の必要性検討 ･･････････････････････････････････････ 1 件
・利便性の良い場所が有効活用されたまちづくり ･･････････････････････････････ 1 件
・熱田神宮前エリアの整備 ･･･ 1 件
・守山志段味地区の区画整理 ･･ 1 件
・空き家の増加対策 ･･ 1 件

18. 都市景観（０件）

19. 住宅（４件）

・市営住宅の入居、優先順位の枠を広げてほしい ･････････････････････････････････ 1 件
・単身用市営住宅を増やしてほしい ･･･ 1 件
・市営住宅の駐車場の値上げが一方的 ･･･ 1 件
・家賃が値上がりしており、納税者への配慮が足りない ･････････････････････････････ 1 件

20. 公共交通（25 件）

・市バス、地下鉄の値下げへの前向きな取り組み ･････････････････････････････････ 5 件
・市バス本数の増加 ･･･ 3 件
・守山区へ地下鉄が通るように努力してほしい ･････････････････････････････････････ 1 件
・地下鉄の転落防止柵を全駅に設置 ･･ 1 件
・地下鉄の女性専用車両を終日にしてほしい ･･････････････････････････････････････ 1 件
・オリンピックに向け電車での外国語表示を増やしてほしい ･････････････････････････ 1 件
・地下鉄など営業時間を延長し、公共交通の充実 ･･････････････････････････････････ 1 件
・ベビーカー利用者には、名古屋駅が非常に利用しづらく、エレベーターも少ない ･････ 1 件
・足の不自由な者は階段の上りよりも下りの方が辛いので、エスカーレーターは下りに変更
　してほしい ･･ 1 件
・エレベーターを利用するためには改札口までの距離が遠くなる ･･････････････････････ 1 件
・市バスの始発をもっと早く、終発を遅くしてほしい ･･････････････････････････････ 1 件
・市バスの最終便を地下鉄に合わせてほしい ･･････････････････････････････････････ 1 件
・市バスや地下鉄の事故情報が開示されていない ･･････････････････････････････････ 1 件
・ドニチエコキップを 18 日、28 日も使えるようにしてほしい･･････････････････････ 1 件
・あおなみ線やリニモでも１日乗車券で乗れるようにしてほしい ･･････････････････････ 1 件
・交通機関が便利だと外出しやすい ･･ 1 件
・もっと電車網が発達していればよい ･･･ 1 件
・名古屋の中心部以外の交通が不便 ･･ 1 件
・市電の復活 ･･･ 1 件

21. 道路交通（31 件）

・取り締まりや指導強化など交通安全に力を入れてほしい ･････････････････････････ 7 件
・駐輪場の整備拡大 ･･･ 4 件
・交通マナーが悪い ･･･ 3 件
・道路標識及び路面の標識を整備してほしい ･･････････････････････････････････････ 3 件
・道路改修に人と時間をかけすぎ ･･･ 1 件
・交通安全教育を学校教育に位置づけ、体系化検討 ･･････････････････････････････････ 1 件
・大規模な区民全員参加の効果的な交通安全啓発活動運動 ･･････････････････････････ 1 件
・交通事故を減らすため、信号機などの改善 ･･････････････････････････････････････ 1 件
・道路の整備（工事）は大通りや見える所ばかりで、見えていない所は行っていない ････ 1 件
・街路樹の適切な管理 ･･･ 2 件

・道路堤防での整備が悪く、草や樹木の枝が道路に突き出し自転車・車の運転に支障あり　1件
・道路の中央分離帯は植木よりも他のものにしたほうが、運転の見通しがよい ･････････1件
・道路拡張工事のために、立ち退きする住人への対応が悪すぎる ･････････････････････1件
・自転車が車道を走るのは疑問 ･･･1件
・自動車は不可欠で便利になっているが、渋滞が増えている ･････････････････････････1件
・自動車で安心して通行できるまちである名古屋に住みたい ･････････････････････････1件
・弥富相生山線の工事再開を早急に決断してほしい ･････････････････････････････････1件

22. 港湾・空港（０件）

23. 情報・通信（２件）
・ＷｉＦｉ（インフラ）環境をもっと整え、便利にしてほしい ･････････････････････････1件
・道路がいつ開通するのかインターネットで公開してほしい ･････････････････････････1件

24. 水・エネルギー（７件）
・自然に優しいエネルギー活用（小水力発電など）の推進 ･････････････････････････････2件
・原発での発電は、絶対止めてほしい ･･･1件
・水道水が消毒臭くおいしくなくなったので、調査・改善してほしい ･････････････････1件
・二世帯住宅の水道料金を二分割にするようにしてほしい ･････････････････････････････1件
・水が余っているならば道路に散水したり、万博の際にあった霧を発生させる装置を市内
　に設置したりして暑さを和らげ生活しやすいまちにしてほしい ･････････････････････1件
・土地を有効活用している緑区の太陽光発電はとてもよい ･････････････････････････････1件

25. 産業振興（６件）
・お店の営業時間を長くして夜遅くまで安心、安全で楽しめるまちづくりをしてほしい ･･1件
・周辺都市（県内）との産業振興について連携 ･････････････････････････････････････1件
・他府県企業の参入と地域企業の競争で活性化をしてほしい ･････････････････････････1件
・ものづくりのまちとして「技術後継展」のような大きなイベントを開催し、若者に多様
　な働き方を提示してほしい ･･･1件
・熱田神宮の古い商店街を何とかしてほしい ･･･1件
・歩行者天国は不要 ･･･1件

26. 観光・コンベンション（15件）
・ＳＬの運行は不要 ･･･3件
・オリンピックに向けて、公共施設での外国語表示の増加 ･････････････････････････････2件
・世界からの観光客を増やし、まちの活性化につなげてほしい ･････････････････････････2件
・キャラクターはたくさんいらない ･･･2件
・「くまもん」のように全国の人に愛されるキャラクターを作って、名古屋をもっとアピ
　ールしてほしい ･･･1件
・イベント等をもっと名古屋でやってほしい ･･･1件
・大きな会場を増やしてほしい ･･1件

・オタク文化を愛知から世界に発信してほしい ・・・

31. その他（153 件）

（１）行政改革について（24 件）

・税金を無駄のないように大切に使ってほしい ･････････････････････････････････････ 6 件
・減税はやめてほしい ･･･ 3 件
・外郭団体の見直し ･･･ 2 件
・外郭団体への無駄な天下りをさせない ･･･ 1 件
・必要な施策を強力に進め無駄をなくしてほしい ･････････････････････････････････ 1 件
・減税の推進 ･･･ 1 件
・不正があると聞くので、何でも民間委託するのは困る ･････････････････････････････ 1 件
・行政改革、効率化を進めるあまり、質の低下が生じることを懸念する ･････････････････ 1 件
・減税、と言いながら、減税されている傾向が全くみられない ･････････････････････ 1 件
・借金をしながら減税するのは本末転倒である ･････････････････････････････････････ 1 件
・業務の民間委託や民営化はサービスの低下になる ･････････････････････････････････ 1 件
・民間委託や民営化をなくしてほしい ･･･ 1 件
・やみくもに業務の民間委託をするべきではない ･････････････････････････････････ 1 件
・名古屋だけ多少減税しても経済効果は期待できず、財政健全化のためには増税が必要 ･･ 1 件
・見せかけだけの無駄な処置をやめるなど前例や慣例を尊重するより変革も大切なこと ･･ 1 件
・公共施設などの点検・整備を充実してほしい ･････････････････････････････････････ 1 件

（２）職員について（27 件）

・職員の不祥事をなくしてほしい ･･･ 5 件
・職員の意識改革をしてほしい ･･･ 5 件
・職員の削減 ･･･ 5 件
・職員削減より質の向上をしてほしい ･･･ 4 件
・職員を増やして欲しい ･･･ 1 件
・職員同士の飲み会が多い ･･･ 1 件
・職員に対してもっと民間のように評価制にするとか、歩合制にするとかしてほしい ････ 1 件
・職員の中でも、マナーが悪すぎる人が多い ･････････････････････････････････････ 1 件
・職員は、市会議員に弱い。もっとダメなものはダメとはっきりさせてほしい ･････････ 1 件
・職員の異動が多すぎる ･･･ 1 件
・市長は変な人だが、職員の方は気にせず働いてください ･････････････････････････ 1 件
・市民の収入より職員の給与が高いのはおかしい ･････････････････････････････････ 1 件

（３）市長・市会議員について（50 件）

ア．市長について（20 件）

・市長にがんばってほしい ･･･ 5 件
・市長は、市民の立場に立った初の市長と思うので、長く市長を務めてほしい ･････････ 1 件
・市長のパフォーマンスを控えてほしい ･･･ 5 件
・市長の名古屋弁はやめてほしい ･･･ 5 件
・市長が前面に出すぎる ･･･ 1 件
・市長は口ばかりで実行力がない ･･･ 1 件

・税金を減らすことだけが民意ではないことを市長はもっと考えてほしい ･････････････ 1 件
・市長に早くやめてほしい ･･･ 1 件

イ．市会議員について（20 件）

・市会議員の人数削減 ･･･ 7 件
・市議の意識改革をしてほしい ･･･ 5 件
・議員報酬の減額 ･･･ 3 件
・政務活動費の廃止 ･･･ 2 件
・市会議員の政務活動費の不正発覚時には処遇を発表し、即議員を辞任する制度にしてほしい ･･･ 2 件
・議員の事務所は名古屋市役所内へ統合 ･･･ 1 件

ウ．その他（10 件）

・市長と市議が対立せず、歩み寄ってほしい ･････････････････････････････････････ 7 件
・市長の議員報酬 800 万円を継続する考えは大変良い事だと思うが、それに対し議員は我が身だけの事を思っているとしか考えられない ･････････････････････････････ 1 件
・目先のことではなく長期的な視野で、政党の利益ではなく本当に市民の為になる政治を行ってほしい ･･･ 1 件
・議会民主主義を優先すべき ･･･ 1 件

（４）アンケート（市政世論調査）について（13 件）

・アンケートがきっかけで市政に関心を持とうと思った ･･････････････････････････ 7 件
・アンケートを何回も送るのはやめてほしい ･････････････････････････････････････ 2 件
・アンケートの回答をしやすいようにしてほしい ･････････････････････････････････ 1 件
・アンケートは今後も行ってほしい ･･ 1 件
・アンケートをインターネットでできると利便性が高く、多くの方の参加が見込まれる ･･ 1 件
・アンケートは役に立たない ･･･ 1 件

（５）その他（39 件）

・20 年後、30 年後など未来を見据えた施策を考えてほしい ･･････････････････････ 2 件
・一生暮らしていけるような街にしてほしい ･････････････････････････････････････ 1 件
・公で赤字、民で黒字はなぜか ･･ 1 件
・中部地区の反社会勢力と警察や行政との癒着のない環境づくり ･･････････････････ 1 件
・東京、大阪が取り組めていない政策をとって、住みやすくするなど、本格的な行政による特色を生み出してほしい ･･ 1 件
・飼犬のマナーが悪い ･･ 1 件
・人の上に立つ立場の方は、人格、知識などを備え持った人であって欲しい ･･････････ 1 件
・名古屋はこれまで素晴らしいリーダーが育つ所なのに近年それが見られない ･･････ 1 件
・さまざまな事で感謝している ･･ 1 件
・景気を良くして誰もが笑って暮らせる素晴らしいまちにしてほしい ･･････････････ 1 件
・地域委員会には大反対 ･･･ 1 件
・周辺都市との連携・交流 ･･ 1 件
・名古屋市を全国にアピールしてほしい ･･ 1 件

・これからも名古屋市のためにいろいろ考えてほしい ・・・

Ⅳ　使用調査票

はち丸
（名古屋市公式ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

「市政世論調査」へのご協力のお願い

調査期間　　平成 25 年 10 月 29 日～11 月 12 日

名古屋市

名古屋市では、市民の皆さまのお考えやご意見を市政に生かすことが重要だと考えており、市民の皆さまにご協力をお願いして市政世論調査を実施しております。

この調査は、名古屋市内にお住まいの満 20 歳以上の方（約 185 万人）の中から、統計的手法で無作為に 2,000 人の方を選ばせていただき実施するもので、今回そのお一人として、あなたに回答をお願いすることとなったものです。

調査結果は、今後の市政運営の参考としていきたいと考えておりますので、突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

- この調査には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- 回答の結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、個人のお名前が出ることや、調査対象者の名簿、個人を特定できる回答内容が外部に漏れることは決してございません。ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- このアンケートは、あなた個人におたずねするものです。必ずご本人（封筒の宛名の方）がご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入ください。）

〈記入の方法〉

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。ご記入には､鉛筆・ボールペンなど何をお使いいただいてもかまいません。記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**11月12日（火）までに郵便ポストに投函してください。**

【お問い合わせ】
ご不審やご不明な点がありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

名古屋市 市民経済局（しみんけいざいきょく） 広聴課（こうちょうか）　　担当：澤（さわ）、中西（なかにし）
電話 ９７２－３１４０　FAX ９７２－３１６４

名古屋の魅力・住みやすさについて

名古屋の魅力についておたずねします

だなも
（名古屋市公式ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

問１　名古屋の誇れるところ、良いところは何だと思いますか。（○はいくつでも）

1	地理的に日本各地への移動が便利	(63.1%)
2	名古屋人の気質	(8.9%)
3	名古屋ことば（名古屋弁）	(6.1%)
4	名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）	(39.8%)
5	三英傑ゆかりの地で歴史がある	(40.9%)
6	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ	(46.3%)
7	活発な経済活動	(14.4%)
8	名古屋の水道水がおいしい	(47.9%)
9	街並みが美しい	(10.9%)
10	道路が広くて整備されている	(44.5%)
11	ごみの分別、エコマネーなど、さまざまな環境保全への取り組み	(25.9%)
12	その他（具体的に：　　）	(4.4%)
13	特にない	(3.2%)
	無回答	(1.0%)

問２　名古屋の悪いところ、嫌いなところは何ですか。（○はいくつでも）

1	東京と大阪のはざ間で存在感がない	(22.7%)
2	名古屋人の気質	(13.4%)
3	名古屋ことば（名古屋弁）	(22.7%)
4	歴史や伝統がない	(1.2%)
5	文化、芸術的雰囲気に乏しい	(17.6%)
6	情報発信が上手くない	(21.8%)
7	活気や賑わいがない	(10.5%)
8	観光名所が少ない	(47.0%)
9	街並みが美しくない	(4.6%)
10	公共交通網が整っていない	(12.7%)
11	夏が蒸し暑い	(65.3%)
12	交通マナーが悪い	(44.7%)
13	その他（具体的に：　　）	(6.7%)
14	特にない	(3.6%)
	無回答	(1.4%)

名古屋の住みやすさについておたずねします

歴まちくん
（名古屋市歴史まちづくり PR ｷｬﾗｸﾀｰ）

問３　あなたは、名古屋が「住みやすい」と思いますか。（○は１つだけ）

1	住みやすい	(45.6%)
2	どちらかといえば住みやすい	(45.6%)
3	どちらかといえば住みにくい	(3.7%)
4	住みにくい	(0.5%)
5	わからない　⇒【問６へ】	(3.2%)
	無回答	(1.3%)

《問３で１、２を選んだ方（住みやすいと答えた方）におたずねします。》

問４　どのような点が「住みやすい」と思いますか。（○はいくつでも）

1	就業の機会が豊富である	(17.1%)
2	交通の便がよい	(65.9%)
3	住環境がよい	(38.0%)
4	買い物する場所などが近くにあって生活に便利	(66.5%)
5	教育環境がよい	(10.2%)
6	子育て環境がよい	(11.0%)
7	福祉や医療体制が充実している	(22.9%)
8	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が進んでいる	(6.0%)
9	緑や川などの自然環境がよい	(19.0%)
10	治安がよい	(21.4%)
11	地震や風水害など災害への備えが十分である	(3.5%)
12	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが多い	(9.7%)
13	その他（具体的に：　　）	(3.6%)
	無回答	(0.6%)

《問３で３、４を選んだ方（住みにくいと答えた方）におたずねします。》

問５　どのような点が「住みにくい」と思いますか。（○はいくつでも）

1	就業の機会が不足している	(11.4%)
2	交通の便が悪い	(52.3%)
3	住環境に問題がある	(18.2%)
4	買い物する場所などが近くになく生活に不便	(27.3%)
5	教育環境に問題がある	(11.4%)
6	子育て環境に問題がある	(22.7%)
7	福祉や医療体制が不十分である	(15.9%)
8	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている	(27.3%)
9	緑や川などの自然環境に問題がある	(22.7%)
10	治安が悪い	(40.9%)
11	地震や風水害など災害への備えが不十分である	(25.0%)
12	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない	(18.2%)
13	その他（具体的に：　　）	(27.3%)
	無回答	(0.0%)

《すべての方におたずねします。》

問６　あなたは、これからも今の地域にずっと住み続けたいですか。（○は１つだけ）

1	住み続けたい	⇒【問８へ】	(46.3%)
2	どちらかというと住み続けたい	⇒【問８へ】	(38.0%)
3	どちらかというと転居したい		(6.2%)
4	転居したい		(2.4%)
5	わからない	⇒【問８へ】	(4.9%)
	無回答		(2.2%)

《問６で３、４を選んだ方（転居したいと答えた方）におたずねします。》

問７　どこに転居したいと思いますか。（○は１つだけ）

1	同じ区内	(7.8%)
2	名古屋市内の別の区（区名：　　）	(27.8%)
3	愛知県内の名古屋市以外の市町村（市町村名：　　）	(7.8%)
4	愛知県外（都道府県名・市町村名：　　）	(40.0%)
5	具体的にはわからない	(15.6%)
	無回答	(1.1%)

《すべての方におたずねします。》

名古屋への愛着についておたずねします

なごっち
（なごや子ども条例ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

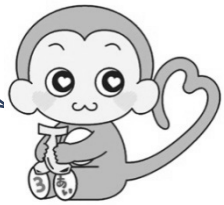
問８　あなたは、名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じていますか。
（○は１つだけ）

1	感じている	(41.3%)
2	どちらかといえば感じている	(42.5%)
3	どちらかといえば感じていない	(7.5%)
4	感じていない	(4.1%)
5	わからない	(3.5%)
	無回答	(1.0%)

問９　あなたは、よそのまちと比べて名古屋を自慢できることがあると思いますか。
（○は１つだけ）

1	たくさんある	(9.3%)
2	いくつかはある	(60.8%)
3	あまりない	(19.8%)
4	まったくない	(1.5%)
5	わからない	(7.0%)
	無回答	(1.5%)

あなた自身のことについておたずねします



あいモン
（あいさつ活動ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

問１０　あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありますか。
（○はいくつでも）

1	自分の健康・病気	(61.7%)
2	家族の健康・病気	(54.8%)
3	自分の進学、就職、結婚などの問題	(7.4%)
4	家族の進学、就職、結婚などの問題	(22.2%)
5	今後の収入	(43.8%)
6	貯蓄や資産（借金や負債）	(24.8%)
7	税金や保険料などの負担	(43.6%)
8	親などの介護	(31.0%)
9	老後の生活	(61.8%)
10	家族・親族間の人間関係	(7.1%)
11	近所との人間関係	(8.7%)
12	仕事や職場のこと	(13.7%)
13	その他（具体的に：　　）	(2.5%)
14	不安に感じることはない	(3.0%)
	無回答	(1.2%)

問１１　あなたの家庭の生活の程度は、世間一般からみて、どう思いますか。
（○は１つだけ）

1	上	(1.3%)
2	中の上	(16.0%)
3	中の中	(50.5%)
4	中の下	(24.0%)
5	下	(7.6%)
	無回答	(1.0%)

問１２　あなたには、趣味、スポーツ、学習活動、地域活動、仕事、子どもの成長など、何か「生きがい」と感じるものはありますか。（○は１つだけ）

1	「生きがい」と感じるものがある	(29.8%)
2	「生きがい」とまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある	(36.2%)
3	特に何もない	(29.4%)
4	わからない	(3.5%)
	無回答	(1.0%)

アサラ
（名古屋市科学館ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

問１３　あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか。（○は１つだけ）

1	満足している	(17.4%)
2	どちらかといえば満足している	(52.9%)
3	どちらかといえば不満である	(20.5%)
4	不満である	(4.8%)
5	わからない　⇒【問 16 へ】	(3.4%)
	無回答	(1.0%)

《問 13 で１、２を選んだ方（満足していると答えた方）におたずねします。》

問１４　どのような理由で満足されていますか。（○はいくつでも）

1	健康であるから	(75.8%)
2	衣生活が豊かだから	(23.4%)
3	食生活が豊かだから	(36.4%)
4	住生活が豊かだから	(36.4%)
5	家族との生活が充実しているから	(58.2%)
6	友人、知人との人間関係が充実しているから	(41.4%)
7	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	(14.9%)
8	仕事や勉強がうまくいっているから	(19.2%)
9	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	(32.6%)
10	家具、車など耐久消費財がそろっているから	(22.3%)
11	十分な貯蓄があるから	(28.7%)
12	悩みや心配事がないから	(23.0%)
13	その他（具体的に：　　）	(8.3%)
	無回答	(0.8%)

ホリゴン
（「堀川」ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

《問 13 で３、４を選んだ方（不満であると答えた方）におたずねします。》

問１５　どのような理由で不満であると感じていますか。（○はいくつでも）

1	健康でないから	(29.3%)
2	衣生活が不十分だから	(9.8%)
3	食生活が不十分だから	(10.9%)
4	住生活が不十分だから	(21.8%)
5	家族との生活がうまくいっていないから	(9.8%)
6	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	(6.4%)
7	社会に貢献しているという実感がないから	(15.8%)
8	仕事や勉強がうまくいっていないから	(17.3%)
9	趣味、教養の時間が十分とれないから	(19.9%)
10	家具、車など欲しいものが買えないから	(25.9%)
11	貯蓄が十分でないから	(67.7%)
12	悩みや心配事があるから	(41.0%)
13	その他（具体的に：　　）	(11.3%)
	無回答	(0.8%)

《すべての方におたずねします。》

市政について

問１６　あなたは、名古屋市政（市の施策や事業など）に関心がありますか。

（○は１つだけ）

1	とても関心がある	(12.8%)
2	どちらかというと関心がある	(49.6%)
3	どちらかというと関心がない	(26.0%)
4	まったく関心がない	(4.3%)
5	わからない　⇒【問 19】へ	(5.6%)
	無回答	(1.7%)

《問 16 で１、２を選んだ方（市政に関心があると答えた方）におたずねします。》

問１７　名古屋市政に関心があるのはどんな理由からですか。（○は１つだけ）

1	自分の生活と密接な関係があるから	(50.4%)
2	自分の住むまちに愛着があるから	(22.2%)
3	国や地方の政治に関心があるから	(11.3%)
4	税金を払っているから	(14.8%)
5	その他（具体的に：　　）	(1.4%)
	無回答	(0.0%)

《問 16 で３、４を選んだ方（市政に関心がないと答えた方）におたずねします。》

問１８　名古屋市政に関心がないのはどんな理由からですか。（○は１つだけ）

1	自分の生活にあまり関係がないから	(19.5%)
2	自分の住むまちに愛着がないから	(3.8%)
3	国や地方の政治に関心がないから	(12.3%)
4	市政がわかりにくいから	(33.6%)
5	忙しくて考える暇がないから	(12.6%)
6	その他（具体的に：　　）	(4.7%)
7	特に理由はない	(12.3%)
	無回答	(1.3%)

アメンボ
（上下水道局ｲﾒｰｼﾞ ｷｬﾗｸﾀｰ）

《すべての方におたずねします。》

問 19 と問 20 の項目は、現在、名古屋市が進めている事業を分野別に 30 項目にまとめたものです。それぞれの項目の具体的な内容は、次ページに記載してあります。

問１９　あなたは、最近、名古屋市が特によく取り組んでいると思う項目はどれですか。

（○はいくつでも）

＜あてはまる項目がない場合は、32「特になし」の番号に○印をつけてください。＞

1	高齢者福祉	9	ごみの減量と処理	17	市街地の整備	25	産業振興
	(20.2%)		(30.6%)		(9.6%)		(5.9%)
2	児童福祉	10	学校教育	18	都市景観	26	観光･ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ
	(15.4%)		(6.2%)		(5.4%)		(9.0%)
3	障害者福祉	11	生涯学習	19	住宅	27	都市農業
	(8.3%)		(6.5%)		(1.4%)		(0.5%)
4	福祉のまちづくり	12	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	20	公共交通	28	消費者･勤労者
	(6.0%)		(4.7%)		(13.9%)		(0.9%)
5	健康･医療	13	文化	21	道路交通	29	人権
	(18.7%)		(6.6%)		(12.5%)		(1.4%)
6	災害の防止	14	ｺﾐｭﾆﾃｨ･市民活動	22	港湾･空港	30	市民サービス
	(14.3%)		(4.1%)		(2.8%)		(6.6%)
7	環境の保全	15	男女平等参画	23	情報･通信		
	(6.0%)		(0.8%)		(1.2%)		
8	緑･水環境	16	国際都市	24	水･エネルギー		
	(7.1%)		(3.7%)		(5.2%)		
31	その他（具体的に：				）		(1.5%)
32	特になし						(27.9%)
	無回答						(2.9%)

問２０　あなたは、今後、名古屋市に特に力を入れて進めて欲しい項目はどれですか。

（○はいくつでも）

＜あてはまる項目がない場合は、32「特になし」の番号に○印をつけてください。＞

1	高齢者福祉	9	ごみの減量と処理	17	市街地の整備	25	産業振興
	(49.9%)		(9.9%)		(11.1%)		(10.0%)
2	児童福祉	10	学校教育	18	都市景観	26	観光･ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ
	(23.9%)		(23.9%)		(9.2%)		(9.7%)
3	障害者福祉	11	生涯学習	19	住宅	27	都市農業
	(17.9%)		(10.3%)		(9.1%)		(4.9%)
4	福祉のまちづくり	12	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	20	公共交通	28	消費者･勤労者
	(17.2%)		(6.0%)		(27.4%)		(13.9%)
5	健康･医療	13	文化	21	道路交通	29	人権
	(39.4%)		(11.4%)		(15.1%)		(7.0%)
6	災害の防止	14	ｺﾐｭﾆﾃｨ･市民活動	22	港湾･空港	30	市民サービス
	(31.6%)		(4.2%)		(3.1%)		(20.2%)
7	環境の保全	15	男女平等参画	23	情報･通信		
	(17.2%)		(3.6%)		(5.6%)		
8	緑･水環境	16	国際都市	24	水･エネルギー		
	(16.7%)		(6.1%)		(12.3%)		
31	その他（具体的に：				）		(5.2%)
32	特になし						(5.5%)
	無回答						(2.0%)

30 項目の具体的な内容＜参考＞

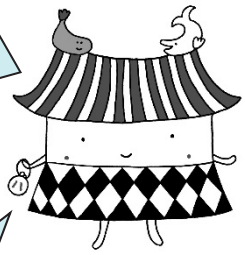
１．	**高齢者福祉**	（介護サービスの充実、高齢者が生きがいを感じ安心して暮らすための支援など）
２．	**児童福祉**	（保育の充実、支援を要する子どもへの取り組みなど）
３．	**障害者福祉**	（障害者のための施設や制度の充実、仕事をもって暮らすための支援など）
４．	**福祉のまちづくり**	（バリアフリーのまちづくり、高齢者の知恵や経験を生かした地域活動の推進など）
５．	**健康・医療**	（市民の健康づくり、病気の予防、医療の充実など）
６．	**災害の防止**	（地震対策や河川・下水道の水害対策、消防・救急の体制の充実など）
７．	**環境の保全**	（温室効果ガスの排出抑制などの地球環境問題、公害防止への取り組み）
８．	**緑・水環境**	（まちに緑を増やしたり、公園の整備やうるおいのある水辺づくりへの取り組み）
９．	**ごみの減量と処理**	（ごみの発生を抑えること、リサイクルの推進、処理施設の整備など）
10.	**学校教育**	（幼児期から大学までの教育内容や教育環境の充実、制度・設備の整備など）
11.	**生涯学習**	（誰もが学びたいときに自由に学べるような環境づくりやそのための情報提供など）
12.	**ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ**	（スポーツやレクリエーション活動の普及、施設の整備など）
13.	**文化**	（芸術や文化活動の支援、独自の魅力・文化の発信、文化財を守ることなど）
14.	**ｺﾐｭﾆﾃｨ・市民活動**	（住民が地域で活動するための条件整備や活動を活発にしていくこと）
15.	**男女平等参画**	（女性が社会のあらゆる分野で活動できるような環境づくりの推進、女性に対する暴力への対策の推進など）
16.	**国際都市**	（国際交流の推進、外国人市民が暮らしやすいまちづくりなど）
17.	**市街地の整備**	（土地の合理的な利用、まちの整備など）
18.	**都市景観**	（魅力あるまちなみづくり、歴史的に重要な建築物の保存・活用など）
19.	**住宅**	（質の高い住まいづくりや住まいの確保への支援など）
20.	**公共交通**	（市バス・地下鉄等の公共交通の利便性向上や利用促進など）
21.	**道路交通**	（車道や歩道など道路の整備、駐車・駐輪対策、交通安全対策など）
22.	**港湾・空港**	（国際競争力をもつ港や空港を整備することなど）
23.	**情報・通信**	（情報ﾈｯﾄﾜｰｸを活用した市民ｻｰﾋﾞｽの向上、安全で格差のない情報化の推進など）
24.	**水・エネルギー**	（安全でおいしい水の安定的な供給、地球環境に配慮したｴﾈﾙｷﾞｰ利用の促進）
25.	**産業振興**	（中小企業や商店街の支援、企業誘致や創業支援、研究や開発の活発化など）
26.	**観光・コンベンション**	（観光客を増やしたり、国際会議や見本市などを誘致したりすること）
27.	**都市農業**	（農業への支援、農業を通じた交流の推進）
28.	**消費者・勤労者**	（消費者を守ることや、就労を支援したり勤労者の福祉を増進させること）
29.	**人権**	（差別や偏見がない社会の実現をめざすこと）
30.	**市民サービス**	（情報公開や情報提供・情報発信の推進、区役所・支所等における市民の利便性を向上させることなど）

行政改革について

行政運営にあたって、常に組織及び運営の合理化に努め、最少の経費で最大の効果をあげることは、地方公共団体の責務です（地方自治法第２条）。
本市においては、これまでも計画的な定員管理や、外郭団体の見直し等に努め、簡素で効率的な行政運営に取り組んできておりますが、今後も引き続き行政改革に取り組んでいきます。

行政評価とは−

行政評価とは、本市が実施している事業（手段）について、施策（目標）に対する有効性・達成度・効率性などの観点から点検・評価をするものです。点検・評価の結果に基づき事業の改善、見直し、整理合理化や事業の廃止を行い、行政資源の有効活用等を図っています。
実施にあたっては、無作為抽出で選ばれた市民が評価を行う手法も一部に取り入れて、市民の市政参加を促進しています。



エビザベス
（名古屋市公式ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

名古屋市の外郭団体とは−

公益財団法人名古屋国際センターなど、名古屋市が一定の出資をしている公益法人や株式会社などの団体で、25 団体あります（平成 25 年 10 月 1 日現在）。
名古屋市では、外郭団体への随意契約や職員派遣など本市の財政的・人的関与の見直しを進めています。

問２１　市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市がよく取り組んでいるとあなたが思うものはどれですか。（○は３つまで）

1	行政評価	(9.1%)
2	外郭団体の見直し	(8.4%)
3	職員数の削減	(11.2%)
4	業務の民間委託や民営化	(9.3%)
5	IT 活用による利便性の高いサービスの提供（電子申請始め電子行政サービスの推進など）	(5.9%)
6	職員の意識改革、資質の向上	(11.3%)
7	市政に関する情報提供	(11.4%)
8	市民の市政への参画	(6.4%)
9	その他（具体的に：　　）	(0.6%)
10	特にない	(18.5%)
11	わからない	(39.2%)
	無回答	(5.5%)

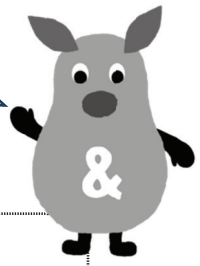
問２２　市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市に特に力を入れて進めてほしいとあなたが思うものはどれですか。（○は３つまで）

1	行政評価	(11.8%)
2	外郭団体の見直し	(23.3%)
3	職員数の削減	(22.2%)
4	業務の民間委託や民営化	(14.4%)
5	IT活用による利便性の高いサービスの提供（電子申請始め電子行政サービスの推進など）	(10.0%)
6	職員の意識改革、資質の向上	(42.5%)
7	市政に関する情報提供	(16.1%)
8	市民の市政への参画	(7.5%)
9	その他（具体的に：　　）	(2.7%)
10	特にない	(6.9%)
11	わからない	(16.3%)
	無回答	(5.5%)

問２３　今後の名古屋市の施策や事業に対して、ご意見・ご要望があれば、以下の欄にご自由にお書きください。

※ご意見・ご要望に対して個別に回答はしませんのでご了承ください。

アンケートを統計的に分析するために、あなたご自身についておうかがいします



ズーボ
（東山動植物園の公式ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

Ｆ１　あなたの性別は（○は１つだけ）

1	男性	(38.5%)	2	女性	(57.4%)
				無回答	(4.1%)

Ｆ２　あなたの年代をお聞かせください。（○は１つだけ）

1	20 歳代	(6.4%)	4	50 歳代	(14.7%)
2	30 歳代	(13.5%)	5	60 歳代	(22.6%)
3	40 歳代	(17.9%)	6	70 歳以上	(20.8%)
				無回答	(4.1%)

Ｆ３　あなたのご職業をお聞かせください。（○は１つだけ）

1	会社員（フルタイム）	(22.9%)	5	家事専業	(17.2%)
2	公務員	(2.9%)	6	学生	(2.0%)
3	自営・自由業	(8.9%)	7	無職	(20.3%)
4	アルバイト・パート(派遣も含む)	(18.1%)	8	その他	(3.2%)
				無回答	(4.4%)

Ｆ４　あなたは、生まれてからずっと名古屋市にお住まいですか。（○は１つだけ）

1	生まれてからずっと名古屋市に住んでいる （進学や転勤で一時的に名古屋市を離れた方も含む）	(47.1%)
2	名古屋市以外から引っ越してきた	(48.6%)
	無回答	(4.3%)

《Ｆ４で２を選んだ方（名古屋市以外から引っ越してきた方）におたずねします。》

Ｆ５　名古屋市へはどちらから引っ越してきましたか。（○は１つだけ）

1	東海三県（愛知・岐阜・三重）から	(50.3%)
2	東海三県以外から	(49.7%)
	無回答	(0.0%)

《すべての方におたずねします。》

Ｆ６　あなたが名古屋市にお住まいになって、何年になりますか。（○は１つだけ）

1	30 年以上	(65.2%)	4	5 年以上 10 年未満	(5.2%)
2	20 年以上 30 年未満	(13.3%)	5	5 年未満	(4.2%)
3	10 年以上 20 年未満	(8.0%)		無回答	(4.1%)

Ｆ７　あなたがお住まいの区をお教えください。（○は１つだけ）

1 千種区	(7.6%)	5 中村区	(5.7%)	9 熱田区	(2.6%)	13 守山区	(7.5%)
2 東区	(3.4%)	6 中区	(2.7%)	10 中川区	(8.8%)	14 緑区	(11.1%)
3 北区	(5.9%)	7 昭和区	(4.0%)	11 港区	(5.9%)	15 名東区	(6.6%)
4 西区	(6.7%)	8 瑞穂区	(4.4%)	12 南区	(6.2%)	16 天白区	(6.7%)
						無回答	(4.2%)

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに１１月１２日（火）までに**ポストに投函してください。

コアラのハッピー
（消費生活センターﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ）

平　成　25　年　度

第52回 市 政 世 論 調 査

発　　行	名古屋市
編　　集	名古屋市市民経済局市民生活部広聴課
発行年月	平成 26年 3月
発行部数	２８０部
委　　託	株式会社　創建環境エンジニアーズ

この報告書は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。